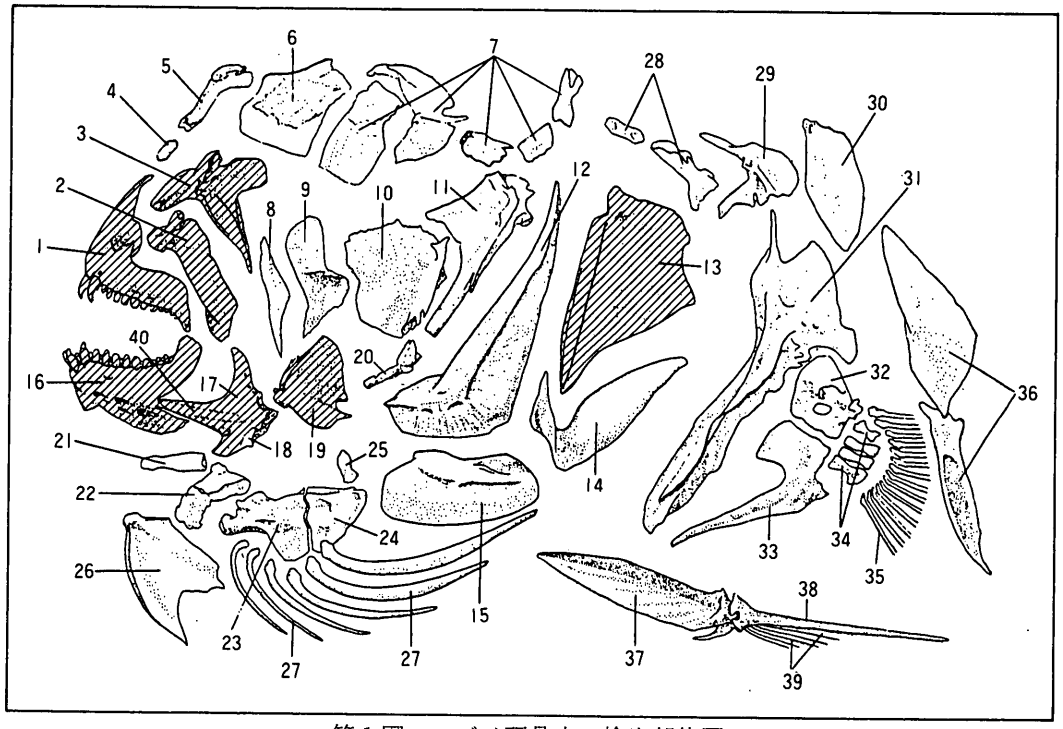
謝　辞

末尾ながら，調査の機会を与えられ種々御教示下さった財団法人香川県埋蔵文化財調査センターの西岡達哉氏，資料整理に多大な御協力を仰いだ名古屋大学文学研究科修士課程学生久保和士，同文学部学生梶　昌樹の両君に対し，衷心より謝意を表する次第である。



第１図　マダイ頭骨中の検出部位図

（１：前上顎骨，２：主上顎骨，３：口蓋骨，13：主鰓蓋骨，16：下顎歯骨，17：角骨，19：方骨）

第1表　動物遺体種名一覧表

脊椎動物門　VERTEBRATA

魚　類　PISCES

硬骨魚綱　OSTEICHTHYES

1．ニシン科の1種　Clupeidae sp.

2．キス科の1種　Sillaginidae sp.

3．タイ科のマダイ　*Pagrus major* Temminck et Schlegel

4．コチ科の1種　Sparidae sp.

5．ヒラメ科の1種　Paralichthyidae sp.

両生類　AMPHIBIA

鳥　類　AVES

哺乳類　MAMMALIA

偶蹄目　ARTIODACTYLA

1．イノシシ科イノシシ　*Sus scrofa leucomystax* Temminck

2．シカ科ニホンジカ　*Cerves nippon nippon* Temminck

霊長目　PRIMATES

1．オナガザル科ニホンザル　*Macaca fuscata* Blyth

第2表　土壙と検出種名の関係

土壙番号		308	338
魚類	ニシン科	○	
	キス科	○	
	マダイ	○	○
	コチ科	○	
	ヒラメ科	○	○
両生類			○
鳥類			○
哺乳類	イノシシ	○	
	ニホンジカ	○	○
	ニホンザル	○	

第3表　魚骨出土数量表

種　名	部　　位		SK308	SK338
ニシン科	脊椎骨		1	
キス科	脊椎骨		4	
マダイ	前上顎骨	l	5	1
		r	6	1
	下顎歯骨	l	4	1
		r	6	
	主上顎骨	l	5	
		r	7	3
	口蓋骨	l	4	1
		r	5	1
	角　骨	l	2	
	方　骨	l	2	
		r	6	2
	主鰓蓋骨	l	3	
		r	2	
	前頭骨			1
	上後頭骨		5	
	基後頭骨		1	1
タイ科	第1脊椎骨		1	2
	脊椎骨		6	34
	尾部棒状骨		1	1
コチ科	脊椎骨		1	
ヒラメ科	脊椎骨		3	4

第4表　獣骨出土数量表（P：小臼歯，M：大臼歯）

種　名	部　　位			数　量
イノシシ	上顎遊離歯	l	M_3	1
	下顎遊離歯	l	P_4	1
	〃	l	M_2	1
	〃	l	M_3	1
	〃	r	M_3	1
シ　カ	手根骨	l		2
	中足骨	?		1
	中節骨			1
サ　ル	上顎遊離歯	l	P_1	1
	〃	l	P_2	1
	〃	l	M_1	1
	〃	r	P_1	1
	〃	r	P_2	1
	〃	r	M_1	1

第９節　一の谷遺跡群出土の金属製品の材質分析

奈良教育大学教授　三辻利一

蛍光Ｘ線分析というのは試料にＸ線（１次Ｘ線）を照射し，その結果，試料表面で発生した蛍光Ｘ線（２次Ｘ線）を検出器がキャッチし，エネルギー分析することによって試料表面の組成を知る方法である。このように，蛍光Ｘ線分析は表面分析であるため，表面を含めて均質な試料であることが要求される。ところが，遺跡から出土する銅製品は表面は腐食しており，表面を含めて均質な試料とは云い難いものである。このような試料の性格から，筆者は銅製品の定量分析をすることを差し控え，定性分析で材質を検査し，どのようなことが云えるかを検索してみることにした。

試料は研磨することなく，そのまま，試料台にのせ，その全表面にＸ線を照射した。銅製品にはSn（スズ），Sb（アンチモン）を含む場合が多いので，高エネルギー領域をカバーするため，２次ターゲットとしてGd（カドニウム）を使用し，蛍光Ｘ線スペクトルを測定した。つづいて，Cu（銅）からPb（鉛）にかけてのエネルギー領域を拡大して検索するため，Mo（モリブデン）を２次ターゲットにして蛍光Ｘ線スペクトルを測定した。観測した蛍光Ｘ線スペクトルより，すべての場合に，銅製品の表面と裏面で成分元素は一致した。ただ，ピークの高さは若干異なった。

定性分析のための蛍光Ｘ線のエネルギーの同定には，CuのKα,Kβ,PbのLα,Lβ,SnのKα,Kβによりエネルギー較正曲線を作成し，この較正曲線を使って銅製品の蛍光Ｘ線スペクトルを定性分析した。

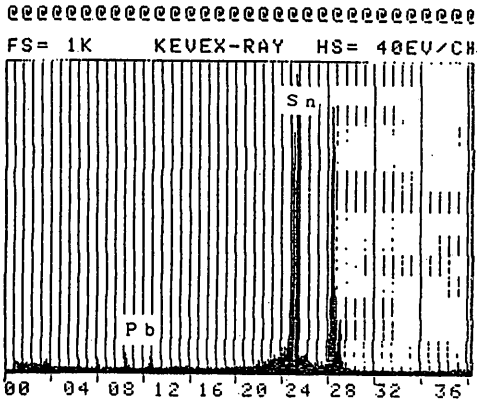
図１には銅鏡の蛍光Ｘ線スペクトルを示す。この図の横軸は蛍光Ｘ線エネルギーであり，縦軸は蛍光Ｘ線強度である。横軸の蛍光Ｘ線エネルギーは前記のエネルギー較正曲線によって解析された。しかし，縦軸の蛍光Ｘ線強度については腐食した銅製品の場合，定量性に問題があるので，定性的に読みとることにした。図１より，銅鏡はSn,Cu,Pbを主成分とする青銅であることがわかる。図１の左側をみると，Cu,Pbのピークに比べて，Snのピークが著しく高い。勿論，試料表面は蛍光Ｘ線スペクトルにみられるように，Snに富むと思われるが，それが表面の腐食によるためかもしれず，ピークの高さの違いがそのまま，試料の組成を表すとは考え難い。しかし，この点を考慮に入れても，銅鏡の材質はSnが相当リッチであると思われる。銅鐸や銅銭に比べて銅鏡にSnの含有量が多いのはこれまでの報告の示すところである。この点では，本銅鏡は古代・中世の青銅鏡と同じ材質であると云える。一方，副成分元素としてはFe（鉄）とごくわずかのSbが観測された。しかし，古代青銅製品にごくあたりまえにみられるAg(銀)は検出されなかった。AgはCu中の不純物とみられ，古代銅製品には必ずといってもよい位に認められる。逆に，現代コインになると，銅を電解精錬するため完全に除去されてしまう。しかし，電解精錬処理がなされなかった近世以前の銅製品には多少ともAgが残存していることになる。しかも，面白いことには古代から近世へかけて時代が下がるにつれて，Agが観測されなくなる傾向がある。この理由はいろいろ

考えられるであろうが，銅製品は幾度も鋳直されるため，鋳直しの過程でAgが脱落してしまうことが原因の一つと考えられよう。この点では一の谷遺跡群の銅鏡は近世の製品らしい青銅鏡であると云えよう。Feが混入することについての意味は不明である。

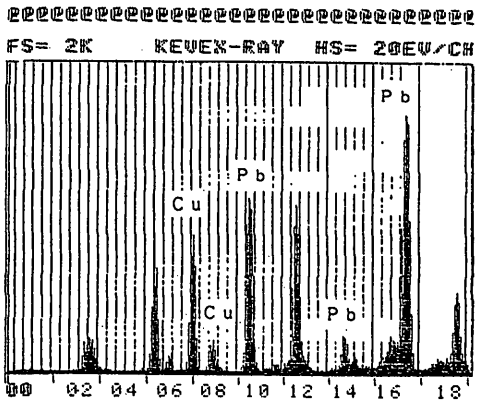
図2には銅剣の蛍光X線スペクトルを示す。Cu,Snを主成分として，若干のPbを含む典型的な古代・中世型青銅である。Agの存在も確認される。

上述したように蛍光X線スペクトルをみる限り，銅鏡，銅剣とも材質は青銅であることには間違いはないが，組成に差違があり，前者は不純物Agよりみて近世的，後者は全成分よりみて古代・中世的であるということもできよう。

図1　銅鏡の蛍光X線スペクトル

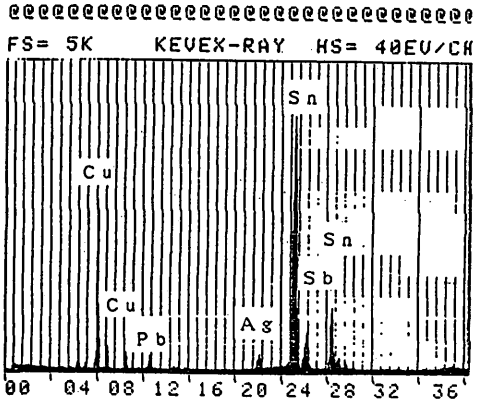


（Gdターゲット使用）

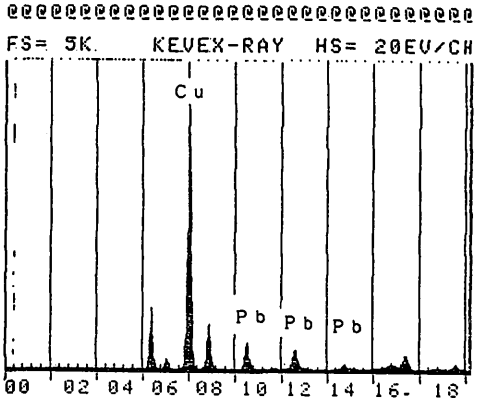


（Moターゲット使用）

図2　銅剣の蛍光X線スペクトル



（Gdターゲット使用）



（Moターゲット使用）

第10節　一の谷遺跡群近世遺構出土の金属製品の材質分析

奈良教育大学教授　三辻利一

1．はじめに

古代・中世の銅銭の分析データはこれまでにも報告例は多いが，その特質について述べた報文は少ない。筆者はこれまでに多数の中国，日本の銅銭の材質を蛍光X線分析によって調べた経験をもつ[1)]が，それによると古代から中世にかけて終始一貫して銅銭の材質は青銅(CuとSnの合金)であった。近世に入ると黄銅(CuとZnの合金)を素材にした硬貨が出現し，現代ではCuとNiの合金である白銅貨が使用されている。このように，銅銭の素材の主要な流れは青銅→黄銅→白銅であり，現代ではSn（スズ）は貴重な金属なので青銅貨を硬貨として使用している国は世界中には一つもない。世界各国共通して，黄銅貨（日本では5円，10円硬貨）と白銅貨（50円，100円，500円硬貨）が併用されている場合が多い。このように銅銭の素材には一つの流れがあるが，これからはずれた素材の硬貨もある。この点については未だ十分なデータが報告されていない。また，日本の近世の銅銭である寛永通宝の素材もおおむね青銅であるが，時と場合により，Pbの含有量が多かったり，Snの含有量が少なかったり，また，黄銅銭，鉄銭が混じることもある。

今回は一の谷遺跡群その他の近世遺構から出土した寛永通宝とキセルの吸口，かんざしの材質を蛍光X線分析法によって検索した結果について報告する。

2．分析方法

試料は表面を研磨せず，そのまま試料台にのせ，試料全体にX線を照射した。Sn,Sbまでの高エネルギー領域をカバーするため，2次ターゲットとしてGdを使用した。また，Znを検出するため，2次ターゲットにMoを使用し，Cu,Pbのエネルギー領域を拡大した。元素の同定にはCuのKα，Kβ,PbのLα,Lβ,SnのKα,Kβを使って作成したエネルギー較正曲線を使用した。

試料の表面と裏面の両方にX線を照射し蛍光X線スペクトルを観測したが，含有元素についての違いはなかった。蛍光X線強度に若干の違いが認められた。蛍光X線強度は試料表面の腐食の状況によって異なるが，その差違は大きなものではなかった。したがって，Snのピークの高いものはSnの含有量が比較的に多いと判断した。しかし，蛍光X線分析は表面分析であり，今回分析の対象となった試料の表面は腐食しているため，当然，得られる蛍光X線強度には定量性は余りないと考えられる。そのため，蛍光X線強度についても定性的に解釈することにした。

3．分析結果

はじめに，分析試料のリストを表1に示す。参考までに図1には古代の典型的な銅銭である中国漢代の五銖銭の蛍光X線スペクトルを示しておく。横軸は蛍光X線エネルギーであり，エネルギー較正曲線を使って分析すれば，どんな元素が含まれているか，元素の同定ができる。縦軸は蛍光X線強度であり，本来は含有量に比例するはずであるが，今回の試料の場合には定量性はよくない。図1より，五銖銭はCu,Snを主成分とする青銅であることがわかる。この他に若干のPbを

主成分として含む。さらに，不純物としてSb,Agを含むことがわかる。

以下に，今回分析した試料の蛍光X線スペクトルを示す。

図2にはキセルの吸口の蛍光X線スペクトルを示す。Cu,Pb,Sn,Agのピークが観測されるが，Cuのピークが他の元素のピークに比べて圧倒的に高い。このことからCuに富む材質とみられる。図1の右側の蛍光X線スペクトルを見ると，CuのKαとKβの間に，Kβのショウダーとして小さなピークが認められる。これはZnのKαである。したがって，キセル吸口はCuを主要成分とするが，わずかのZn,Pb,Snを含有し，この点で青銅とも黄銅とも云える材質である。このような材質は銅銭には認められない。

図3にはかんざしの蛍光X線スペクトルを示す。図2と比較すると，Pbが若干多いだけで，きわめて類似したスペクトルと云える。この程度に類似すると，同一素材を使って同一場所で製作した銅製品である可能性をもつと云えよう。

次に，45枚の寛永通宝の蛍光X線スペクトルを示す。

No.1　図4より，Snに富む青銅である。

No.2　図5より，Pb量の多い青銅である。

No.3　図6より，Snに富む青銅である。

No.4　図7より，Cu,Snを主成分とする典型的な古代・中世型青銅である。

No.5　図8より，Snに富む青銅である。

No.6　図9より，Pb量の多い青銅である。

No.7　図10より，No.4と類似する典型的な青銅である。

No.8　図11より，Snに富む青銅である。

No.9，10　図12より，Snの代わりにSbを含む，Cuリッチのアンチモン青銅である。

No.11　図13より，Snに富む青銅である。

No.12　図14より，Snに富む青銅である。No.1，3，5，8，11と同質の材質である。

No.13　図15より，Cu,Snを主成分とする典型的な青銅である。Agのピークがわずかに認められる。

No.14　図16より，Snに富む青銅である。

No.15　図17より，Snに富む青銅である。

No.16　図18より，Snに富む青銅である。

No.17　図19より，Snに富む青銅である。

No.18　図20より，Snに富む青銅である。

No.19　図21より，Snに富む青銅である。

No.20　図22より，Cu,Sn,Pbを主成分とする典型的な青銅である。

No.21　図23より，Pb量の多い青銅である。しかし，不純物として，Sbを含有しない。

No.22　図24より，Snに富む青銅である。

No.23　図25より，Snに富む青銅である。

No.24　図26より，Pb量の多い青銅である。珍らしくSbを含む。

No.25　図27より，Cuに富む青銅である。ただし，Sn量は少なく，不純物であるSbと同程度の含有量である。

No.26　図28より，Snに富む青銅である。

No.27　図29より，Cu,Sn,Pbを主成分とする典型的な青銅である。

No.28　図30より，Sn,Pb量の少ない青銅である。

No.29　図31より，Sn,Pb量の少ない青銅である。蛍光X線スペクトルより，No.28とNo.29の材質は類似している。

No.30　図32より，Sn,Pb量の少ない青銅である。しかし，SbをSnと同程度含有しており，No.25と類似した材質である。

No.31　図33より，Sn,Pb量が少なく，SbをSnと同程度含有する。材質はNo.25，30と類似。

No.32　図34より，相当量のPbを含む青銅である。Agのピークが認められる。

No.33　図35より，Cu,Sn,Pbを主成分とする典型的な青銅である。

No.34　図36より，No.33と同じ典型的青銅である。

No.35　図37より，Cuに富む青銅である。No.28，29と類似の材質である。

No.36　図38より，Pb量が多く，Snの少ない青銅である。Pbを除けば，No.25，30，31と類似した材質となる。

No.37　図39より，Cuに富む青銅である。Sbは検出されない。No.28，29，35と類似した材質である。

No.38　図40より，Snの代わりにSbを多量に含むアンチモン青銅である。No.9，10と類似した材質である。

No.39　図41より，Cuに富む，Sn,Pbの少ない青銅である。Sbも含有する。材質からはNo.25，30，31，36と同質である。

No.40　図42より，Cu,Sn,Pbを主成分とする典型的青銅である。

No.41　図43より，典型的青銅である。材質はNo.4，7，13，20，27，33，34，40と類似する。

No.42　図44より，No.4～40と類似した材質である。

No.43　図45より，No.42と類似した青銅である。

No.44　図46より，Cuに富む青銅である。SbをSnと同程度含有する。材質的にはNo.25，30，31，36，39と類似する。

No.45　図47より，Cu,Sn,Pbを主成分とする典型的青銅である。No.4，7，13，20，27，33，34，40，41，42，43とは材質的には同質である。

以上の結果，Znを含有する近世後期型とも云える寛永通宝は一枚もなかった。ほとんどがCu,Sn,Pbを主成分とする青銅であった。これらのうち，No.4，7，13，20，27，33，34，40，41，42，43，45の12枚はCu,Sn,Pbを主成分とする典型的な古代・中世型の青銅であった。これをⅠ群とする。これに対して，No.1，3，5，8，11，12，14，15，16，17，18，19，22，23，26（これらをII群とする）の15枚はSnに富んだ青銅であった。Ⅰ，II群はCu,Sn,Pbを主成分とするものであり，この点では本質的に同質の材質とみられる。また，No.2，6，21，24，32の5枚もPb量が多いだけで，Ⅰ，II群とは本質的には同質の材質であろう。これらを一応，III群としておく。一方，No.9，10とNo.38の2枚は殆んどSnを含有しておらずアンチモン青銅と云えるものであり，他の42枚の寛永通宝とは異質の材質である。しかし，No.25，30，31，36，39，44の6枚も主成分Cuに富み，Pb,Snを少量しか含有しない。しかも，Snと同程度にSbを含有し，アンチモン青銅とも云えるものであった。これら8枚をIV群とする。残るNo.28，29，35，37の4枚はSn量の少ない青銅であり，この点でIV群の寛永通宝と類似するが，Sbを含有しない点では異なる。これら4枚もⅤ群としておく。

このように，45枚の寛永通宝を5群に分類したが，このうち，Ⅰ，II，III群は材質的にみてCu,Sn,Pbを主成分としており，本質的には同質の青銅と云える。これに対して，IV，Ⅴ群はSn量は少なく，主成分とは云えないくらいであり，この点で互いに類似するが，IV群にはSbを含有しているのに対し，Ⅴ群にはSbは含まれていない点で異質のものと云えよう。

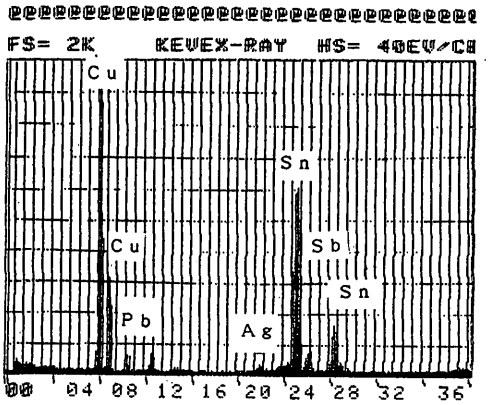
引用文献

1） 三辻利一（1983）：「日本の古銭の成分について」日本金属学会会報，第22巻，第12号 P1062～64

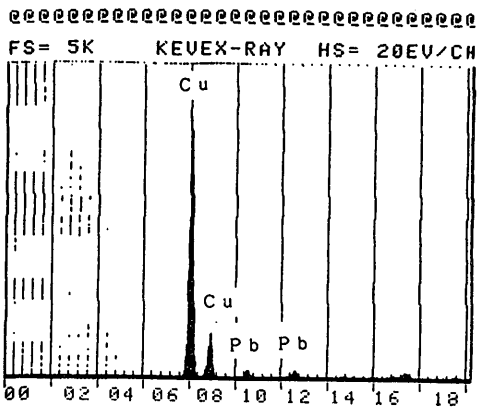
表1　試料一覧表

試料番号	遺跡名称	所在地	出土位置	直径(cm)	特記事項
1	一の谷遺跡群	観音寺市	SX101	2.48	まずまず良好。
2	〃	〃	サ38第2層	2.35	少し歪みがある。全体に不明瞭である。
3	〃	〃	コ39第2層	2.3	少し歪みがある。"宝"の字が不明瞭である。
4	〃	〃	ヌ21第3層	2.35	判読困難である。
5	〃	〃	ST03	2.4	副葬品。
6	〃	〃	〃	2.5	〃
7	〃	〃	〃	2.4	〃　8と癒着している。
8	〃	〃	〃	2.5	〃
9	〃	〃	〃	2.35	〃　10と癒着している。
10	〃	〃	〃	2.28	〃
11	柞田八丁遺跡	〃	L3包含層	2.5	半分に割れている。かろうじて"寛"の字が判読されるのみ。
12	長砂古遺跡	〃	I8第2・3層	2.45	半分に割れている。いずれの字ともに判読困難である。
13	〃	〃	I9第2・3層	2.45	少し歪みがある。左半分の文字が判読困難である。
14	延命遺跡	豊中町	包含層	2.3	全体に不明瞭である。
15	利生寺遺跡	高瀬町	G6包含層	2.45	良好。
16	〃	〃	〃	2.48	非常に良好。
17	中村遺跡	善通寺市	SD-1, SD-14	2.55	裏面に"文"の字が入る。ひび割れが少し入る。まずまず良好。
18	高松城	高松市	市道部(攪乱)	2.5	"寛", "宝"の2字が不明瞭である。
19	〃	〃	木樋中	2.5	裏面に"文"の字が入る。半分が欠損。全体に不明瞭である。明治。
20	〃	〃	C8第5層	2.55	裏面に"文"の字が入る。全体に不明瞭である。17世紀。
21	〃	〃	目隠し塀礎石直下	2.45	全体に判読困難である。17世紀後半。
22	〃	〃	I16第5層	2.5	"永"の字以外は不明瞭。17世紀。
23	〃	〃	C16第4層	2.4	全体に不明瞭である。19世紀後半。
24	〃	〃	C12第3層	2.3	全体に判読困難である。明治。
25	〃	〃	A12第3層	2.45	全体に不明瞭である。明治。
26	〃	〃	O12第3層	2.45	全体に不明瞭である。明治。
27	〃	〃	K18第3層	2.38	"寛", "宝"の2字が判読困難である。明治。
28	〃	〃	B8第3層	2.55	全体に判読困難である。明治。
29	〃	〃	A16第3層	2.45	半分が欠損。かろうじて"永"の字が確認される。明治。
30	〃	〃	C16第3層	2.38	"寛", "永"の2字が不明瞭である。明治。
31	〃	〃	C16第3層	2.25	全体に判読困難である。明治。
32	〃	〃	F16第3層	2.35	"寛"の字が不明瞭である。明治。
33	〃	〃	K16第3層	2.48	全体に不明瞭である。明治。
34	〃	〃	O12第3層	2.6	全体に不明瞭である。明治。
35	〃	〃	O12第3層	2.51	全体に不明瞭である。明治。
36	〃	〃	I8第3層	2.41	いずれの字ともに部分的に判読不可能である。明治。
37	〃	〃	I8第3層	2.47	判読困難である。明治。
38	〃	〃	C12第3層	2.38	全体に不明瞭である。明治。
39	〃	〃	K8・SB03第3層	2.28	判読困難である。明治。
40	〃	〃	O12第3層	2.55	裏面に"文"の字が入る。まずまず良好。明治。
41	〃	〃	O16第3層	2.49	"寛"の字が不明瞭である。明治。
42	〃	〃	A12第2層	2.35	判読困難である。明治。
43	〃	〃	C12第2層	2.4	"寛", "宝"の2字が不明瞭である。明治。
44	〃	〃	A8第3層	2.25	全体に判読困難である。明治。
45	〃	〃	B8第2層	2.48	"寛"の字が不明瞭である。明治。

図1　標準古代青銅銭，五銖銭の蛍光X線スペクトル

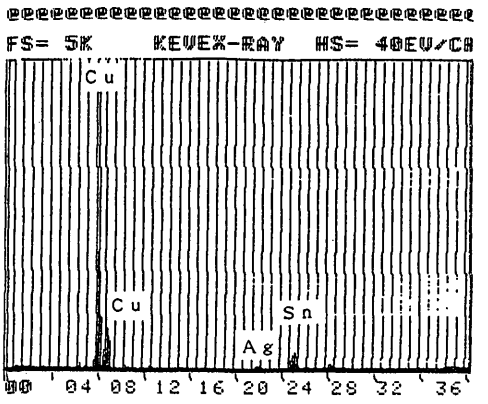


（Gdターゲット使用）

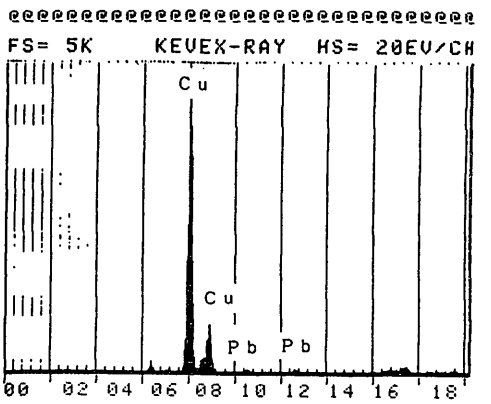


（Moターゲット使用）

図2　キセル吸口の蛍光X線スペクトル

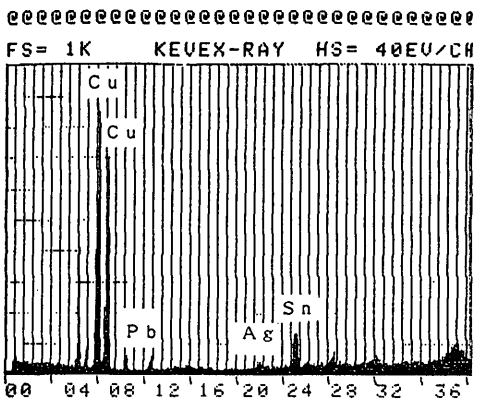


（Gdターゲット使用）

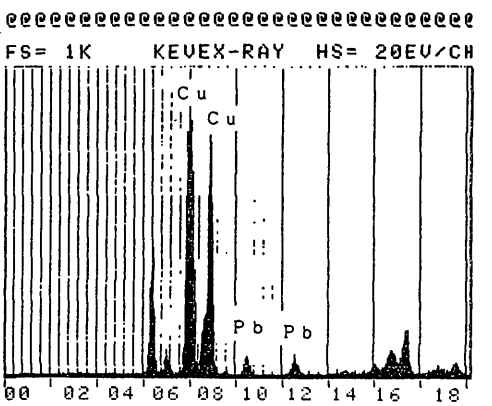


（Moターゲット使用）

図3　かんざしの蛍光X線スペクトル

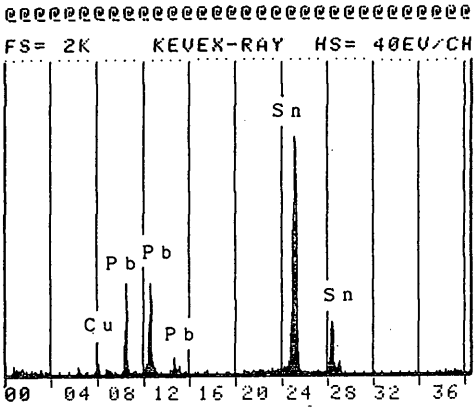


（Moターゲット使用）

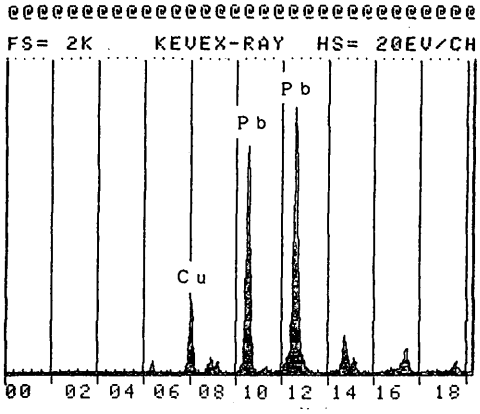


（Gdターゲット使用）

図4　寛永通宝（No.1）の蛍光X線スペクトル

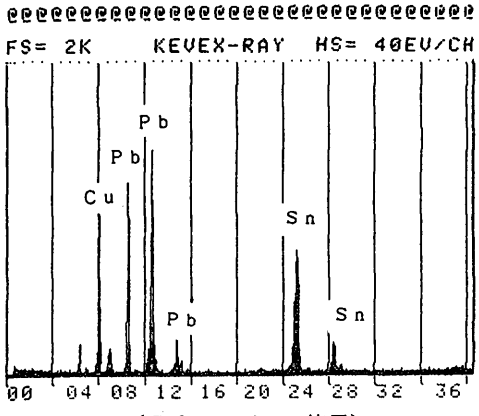


（Gdターゲット使用）

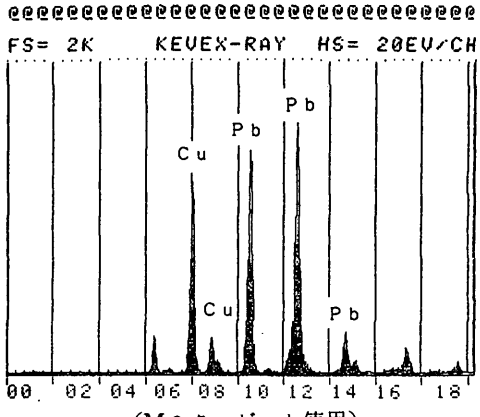


（Moターゲット使用）

図5　寛永通宝（No.2）の蛍光X線スペクトル

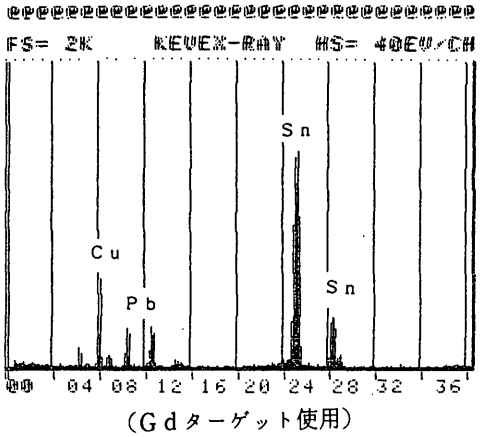


（Gdターゲット使用）

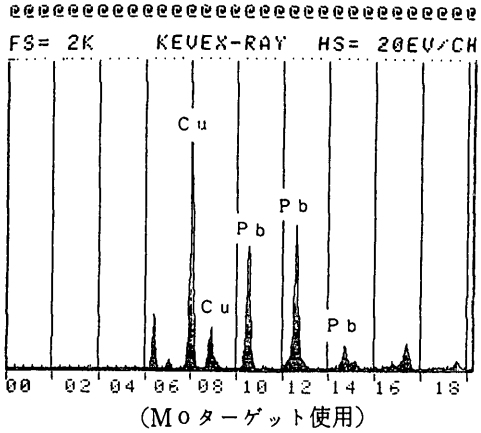


（Moターゲット使用）

図6　寛永通宝（No.3）の蛍光X線スペクトル

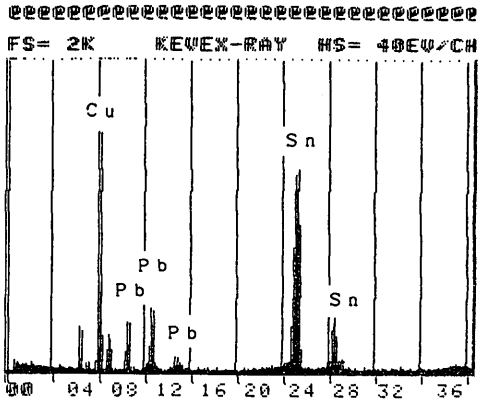


（Gdターゲット使用）

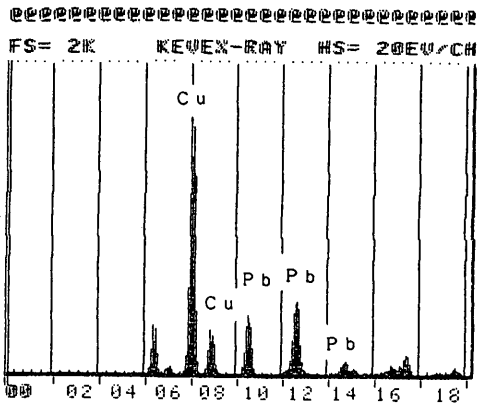


（Moターゲット使用）

図7　寛永通宝（No.4）の蛍光X線スペクトル

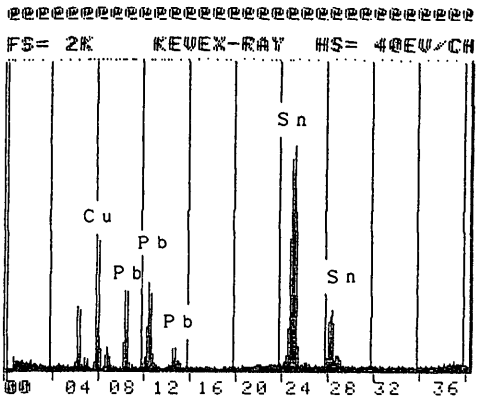


（Gdターゲット使用）

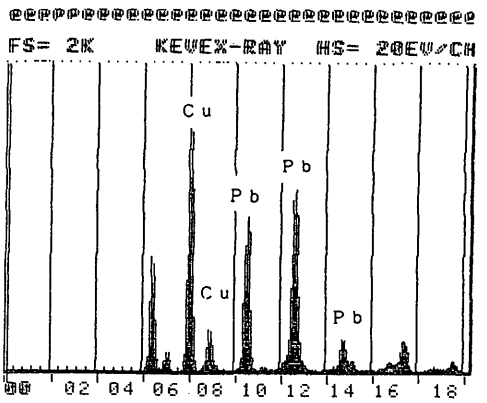


（Moターゲット使用）

図8　寛永通宝（No.5）の蛍光X線スペクトル

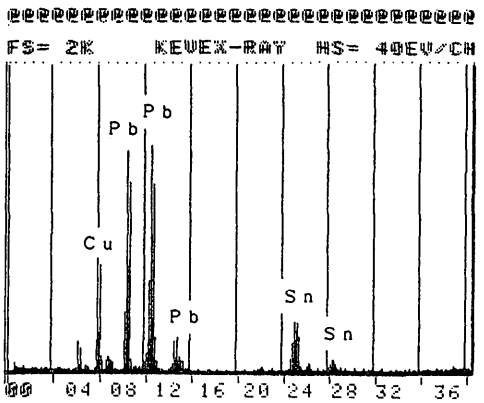


（Gdターゲット使用）

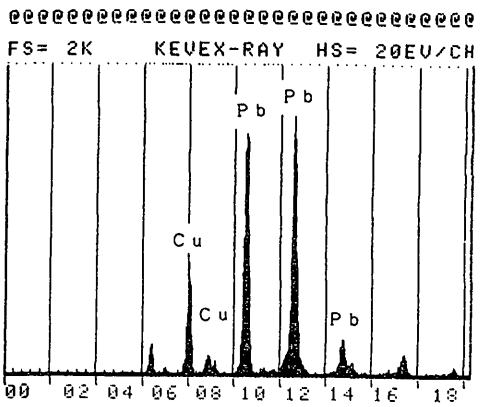


（Moターゲット使用）

図9　寛永通宝（No.6）の蛍光X線スペクトル

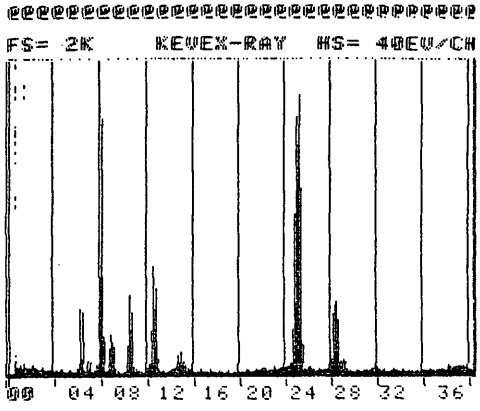


（Gdターゲット使用）

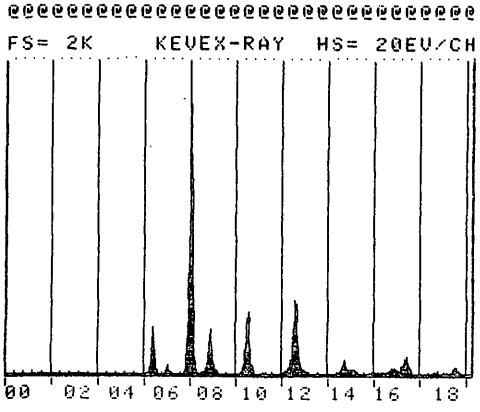


（Moターゲット使用）

図10　寛永通宝（No.7）の蛍光X線スペクトル

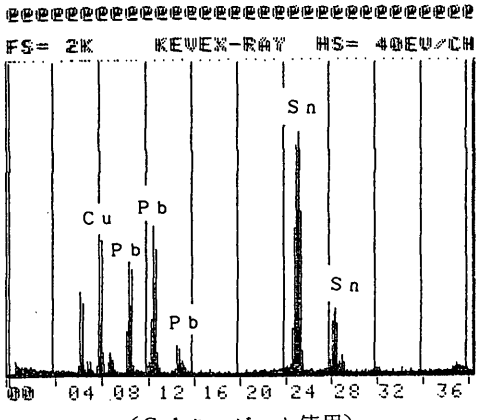


（Gdターゲット使用）

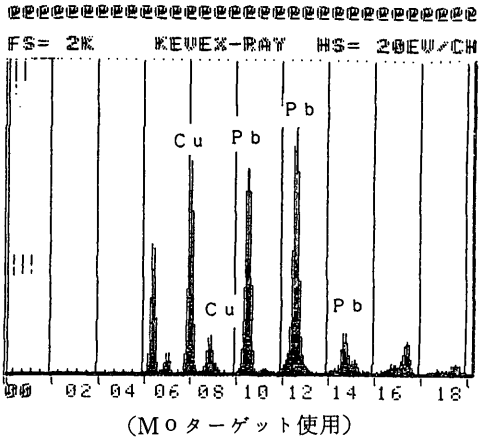


（Moターゲット使用）

図11　寛永通宝（No.8）の蛍光X線スペクトル

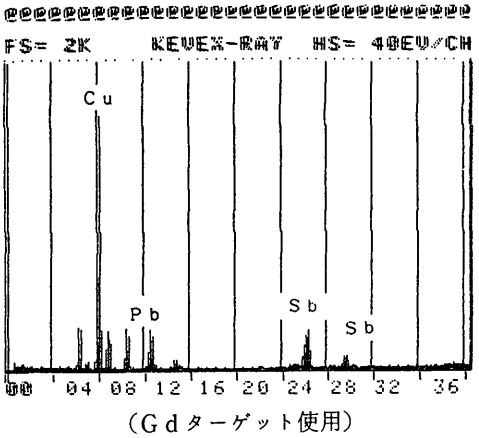


（Gdターゲット使用）

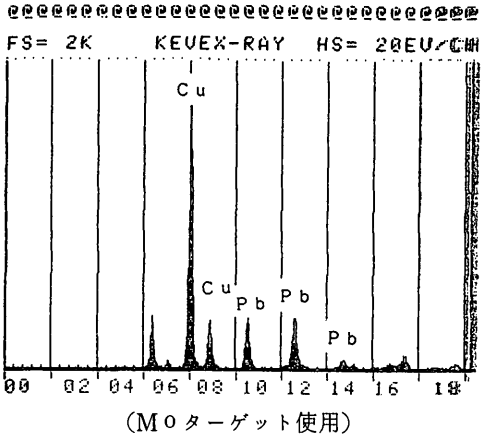


（Moターゲット使用）

図12　寛永通宝（No.9，10）の蛍光X線スペクトル

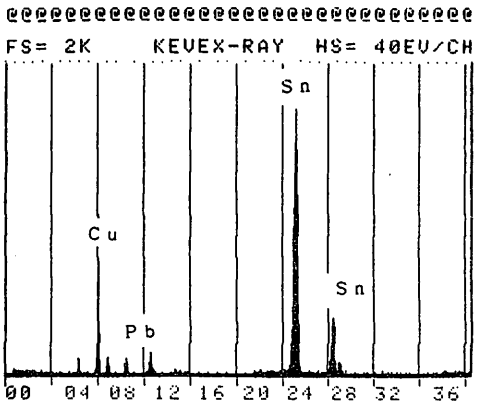


（Gdターゲット使用）

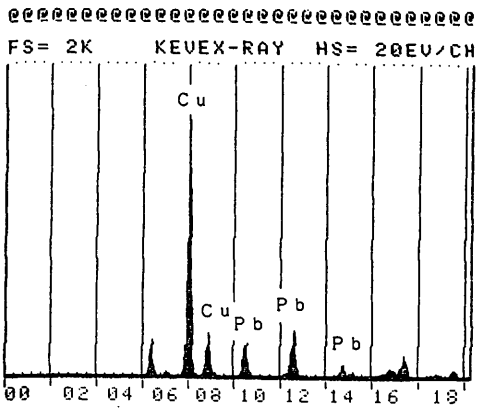


（Moターゲット使用）

図13　寛永通宝（No.11）の蛍光X線スペクトル

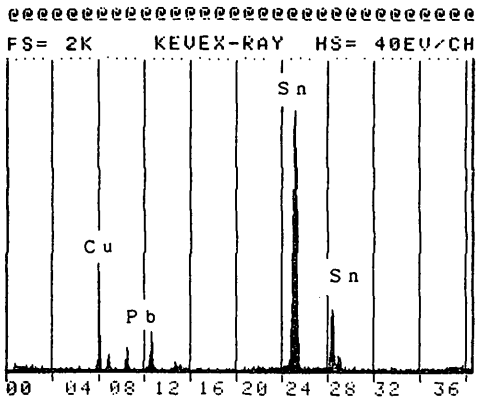


（Ｇｄターゲット使用）

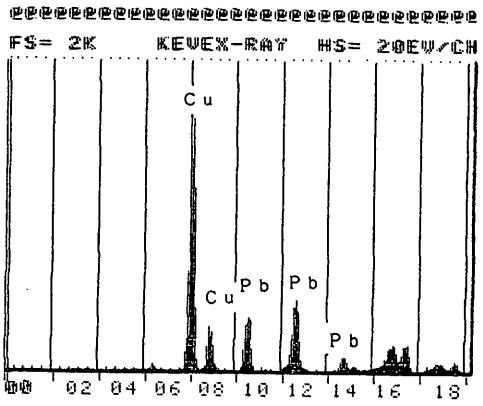


（Ｍｏターゲット使用）

図14　寛永通宝（No.12）の蛍光X線スペクトル

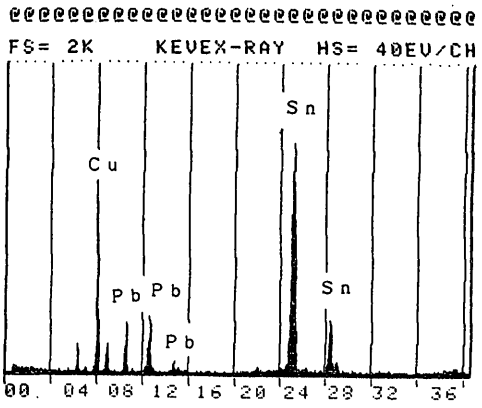


（Ｇｄターゲット使用）

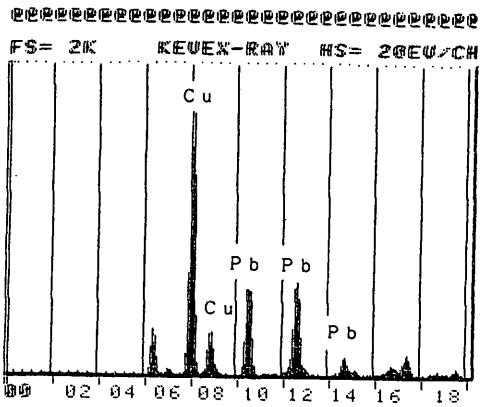


（Ｍｏターゲット使用）

図15　寛永通宝（No.13）の蛍光X線スペクトル

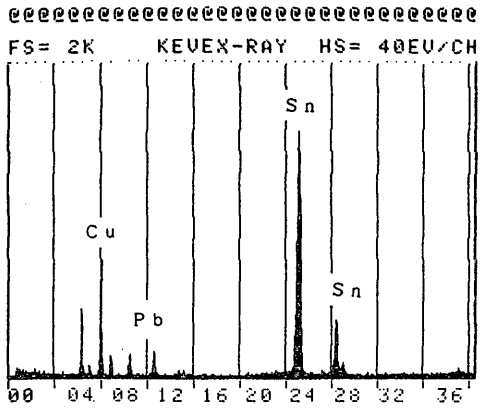


（Ｇｄターゲット使用）

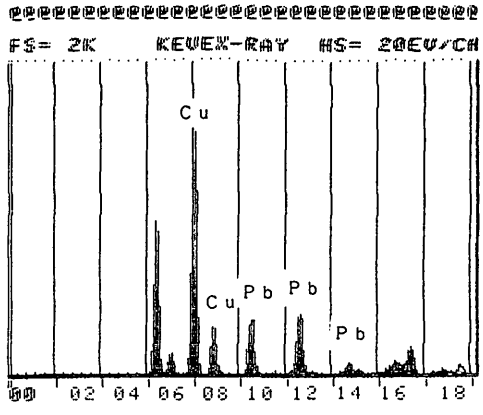


（Ｍｏターゲット使用）

図16　寛永通宝（No.14）の蛍光X線スペクトル

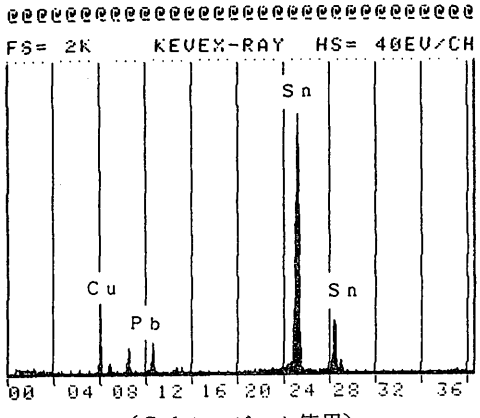


（Gdターゲット使用）

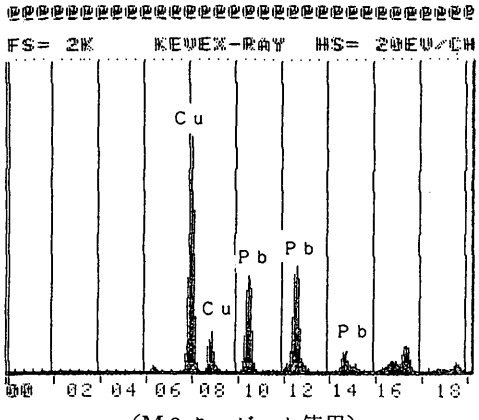


（Moターゲット使用）

図17　寛永通宝（No.15）の蛍光X線スペクトル

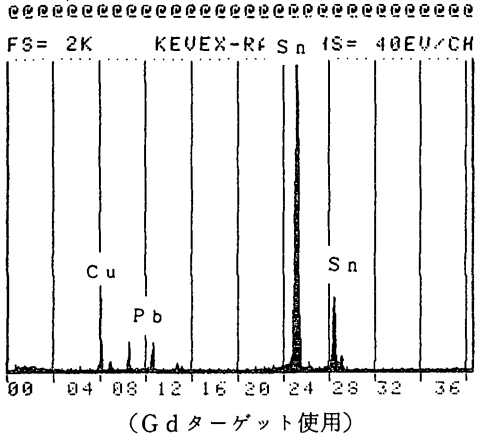


（Gdターゲット使用）

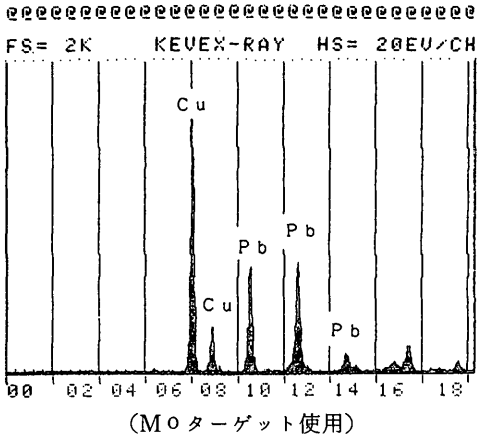


（Moターゲット使用）

図18　寛永通宝（No.16）の蛍光X線スペクトル

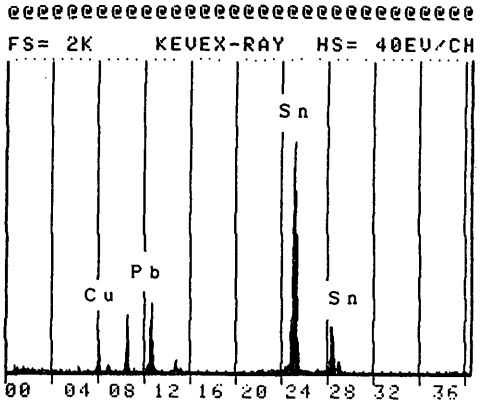


（Gdターゲット使用）

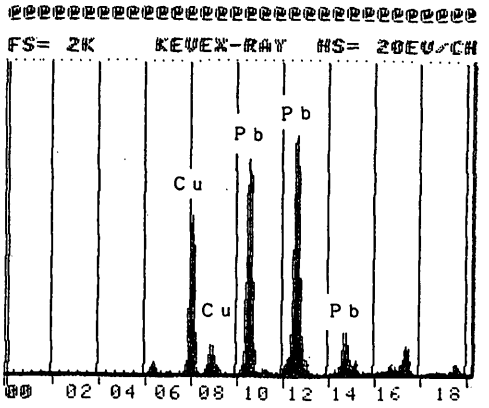


（Moターゲット使用）

図19　寛永通宝（No.17）の蛍光X線スペクトル

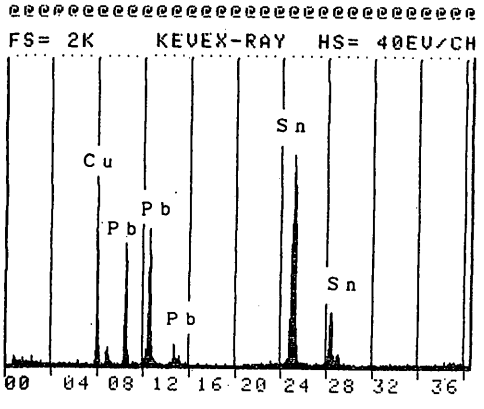


（Ｇｄターゲット使用）

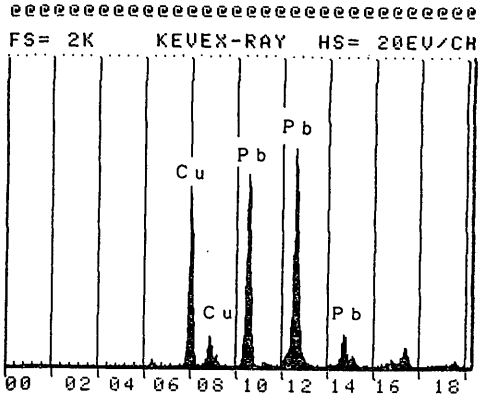


（Ｍｏターゲット使用）

図20　寛永通宝（No.18）の蛍光X線スペクトル

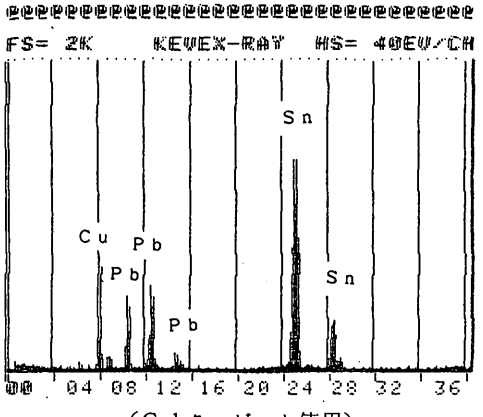


（Ｇｄターゲット使用）

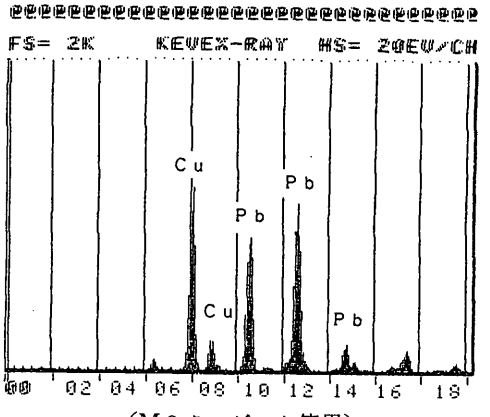


（Ｍｏターゲット使用）

図21　寛永通宝（No.19）の蛍光X線スペクトル

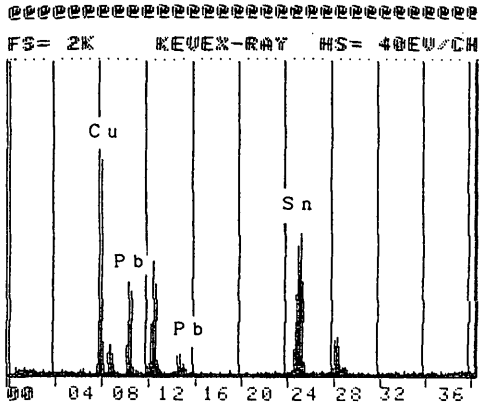


（Ｇｄターゲット使用）

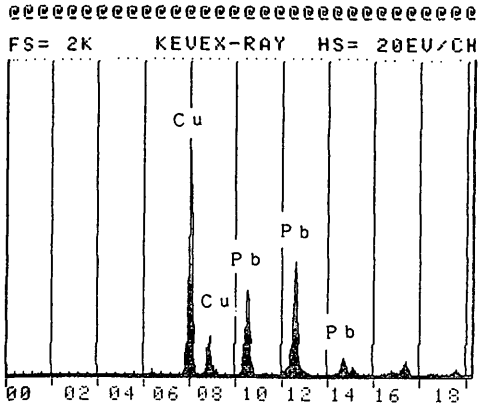


（Ｍｏターゲット使用）

図22　寛永通宝（No.20）の蛍光X線スペクトル

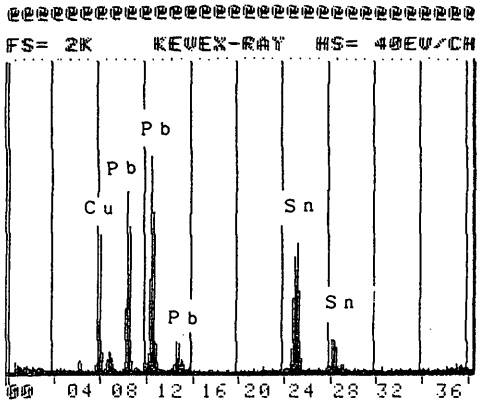


（Ｇｄターゲット使用）

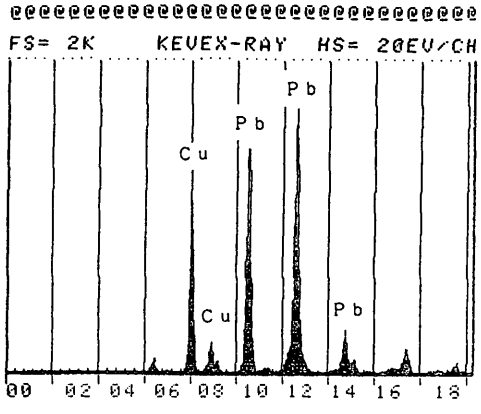


（Ｍｏターゲット使用）

図23　寛永通宝（No.21）の蛍光X線スペクトル

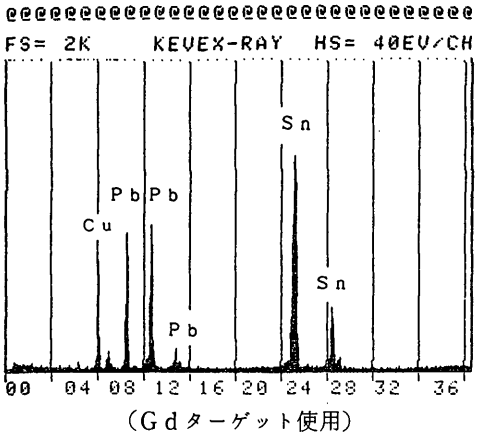


（Ｇｄターゲット使用）

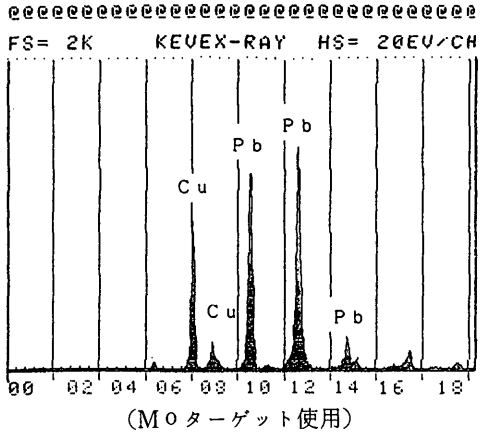


（Ｍｏターゲット使用）

図24　寛永通宝（No.22）の蛍光X線スペクトル

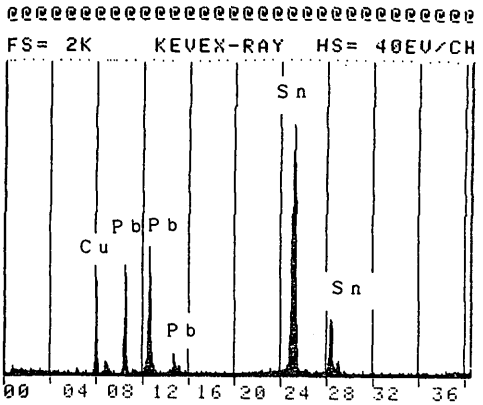


（Ｇｄターゲット使用）

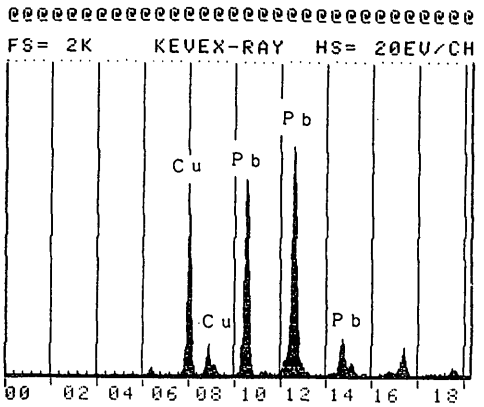


（Ｍｏターゲット使用）

図25　寛永通宝（No.23）の蛍光X線スペクトル

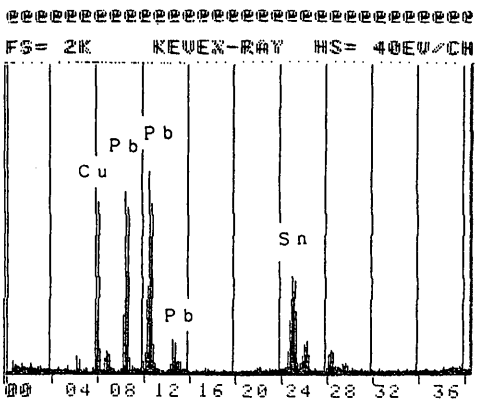


（Ｇｄターゲット使用）

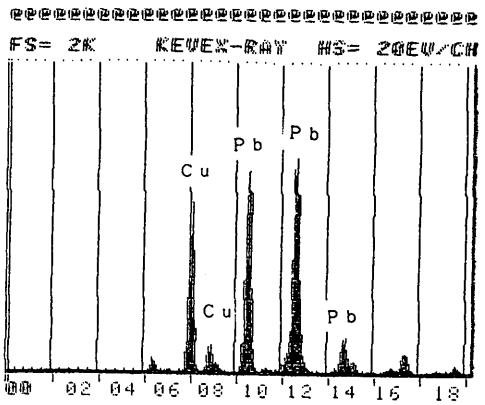


（Ｍｏターゲット使用）

図26　寛永通宝（No.24）の蛍光X線スペクトル

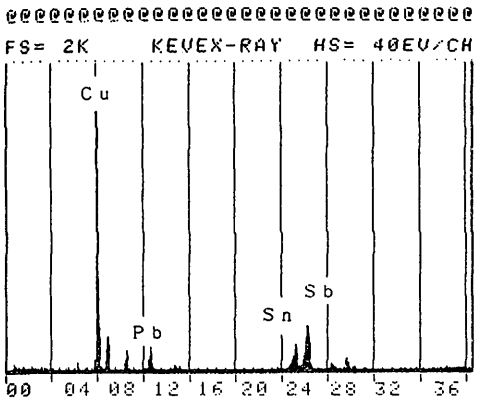


（Ｇｄターゲット使用）

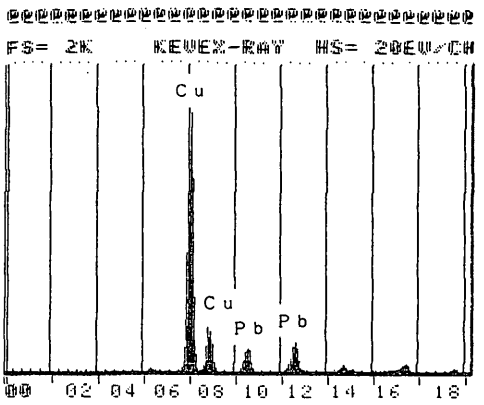


（Ｍｏターゲット使用）

図27　寛永通宝（No.25）の蛍光X線スペクトル

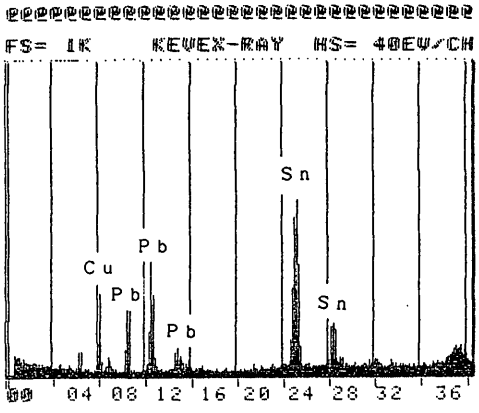


（Ｇｄターゲット使用）

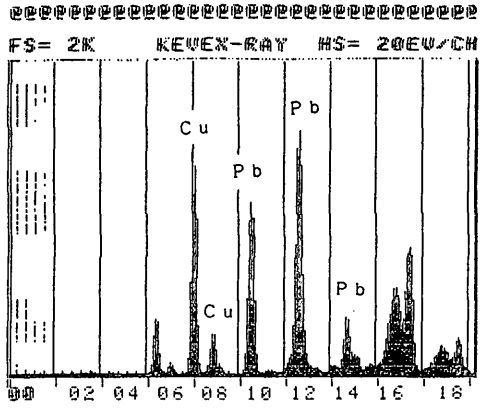


（Ｍｏターゲット使用）

図28　寛永通宝（No.26）の蛍光X線スペクトル

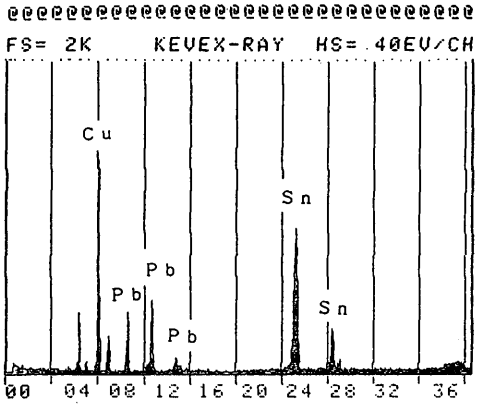


（Ｇｄターゲット使用）

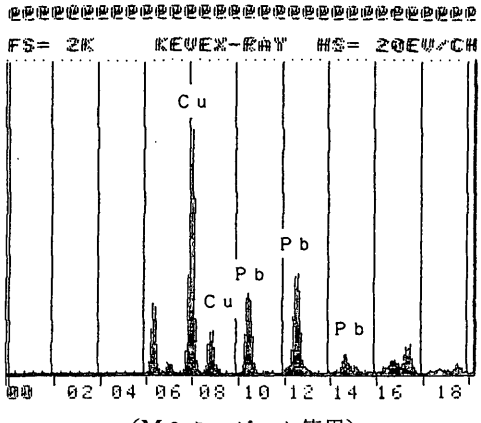


（Ｍｏターゲット使用）

図29　寛永通宝（No.27）の蛍光X線スペクトル

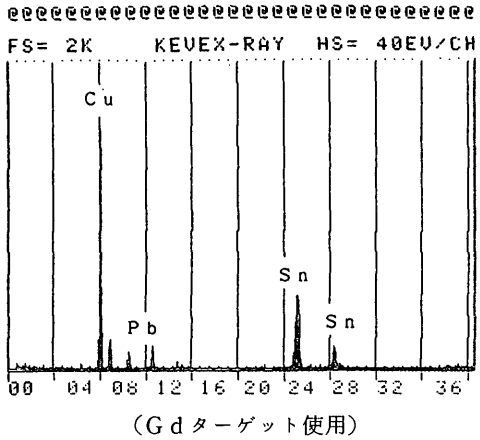


（Ｇｄターゲット使用）

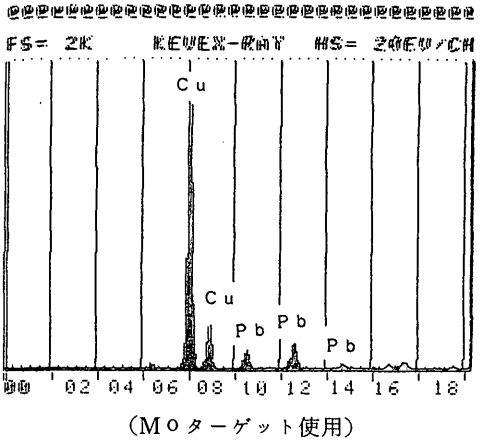


（Ｍｏターゲット使用）

図30　寛永通宝（No.28）の蛍光X線スペクトル

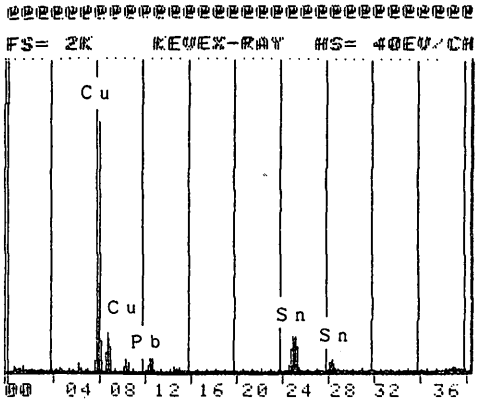


（Ｇｄターゲット使用）

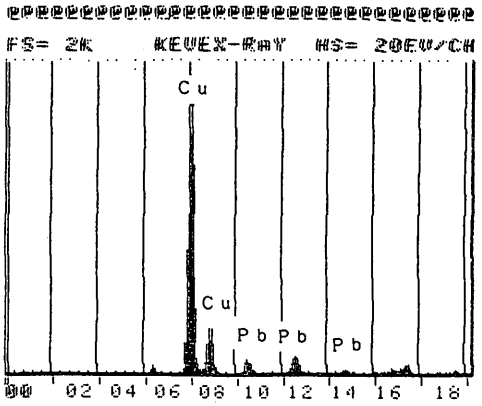


（Ｍｏターゲット使用）

図31　寛永通宝（No.29）の蛍光X線スペクトル

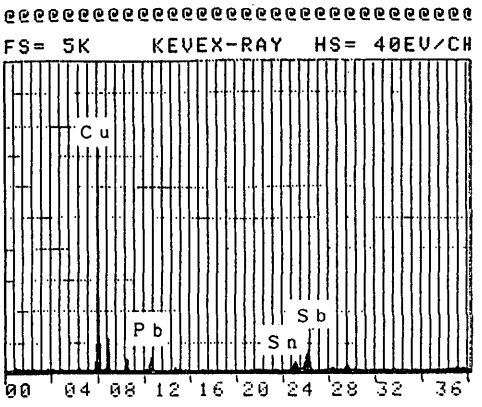


（Ｇｄターゲット使用）

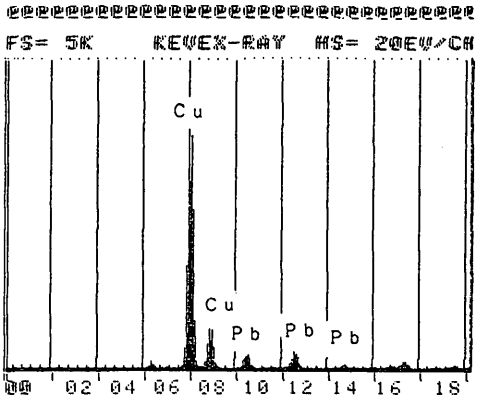


（Ｍｏターゲット使用）

図32　寛永通宝（No.30）の蛍光X線スペクトル

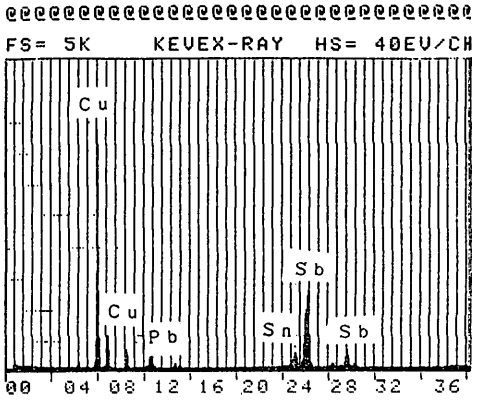


（Ｇｄターゲット使用）

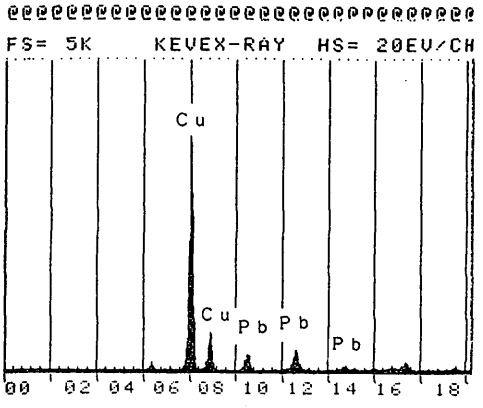


（Ｍｏターゲット使用）

図33　寛永通宝（No.31）の蛍光X線スペクトル

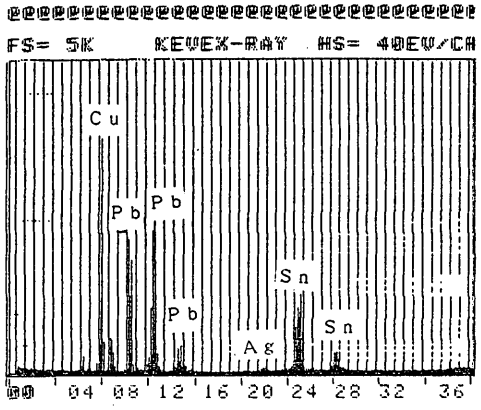


（Ｇｄターゲット使用）

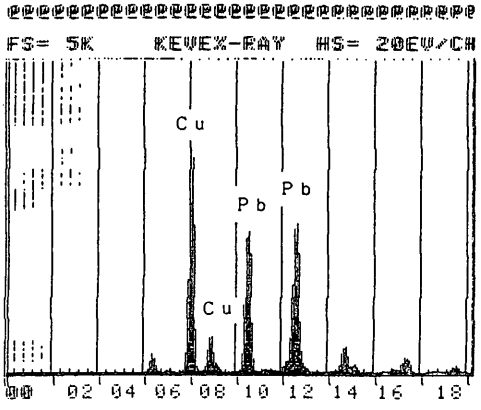


（Ｍｏターゲット使用）

図34　寛永通宝（No.32）の蛍光X線スペクトル

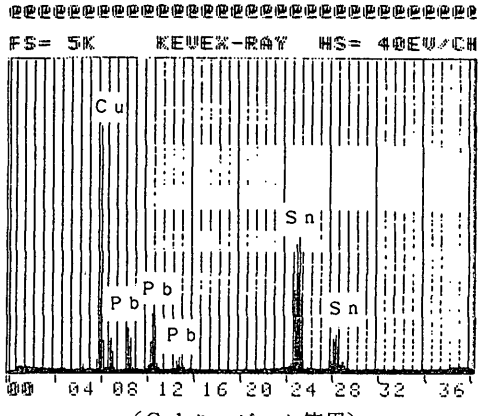


（Ｇｄターゲット使用）

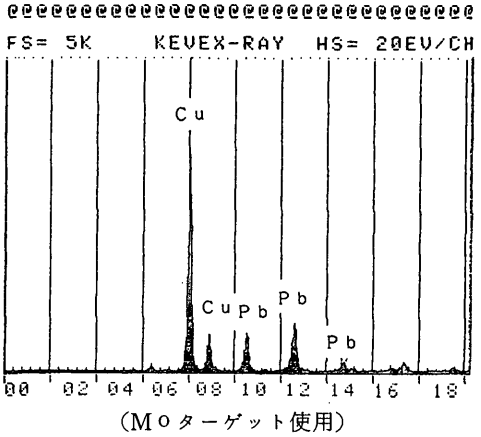


（Ｍｏターゲット使用）

図35　寛永通宝（No.33）の蛍光X線スペクトル

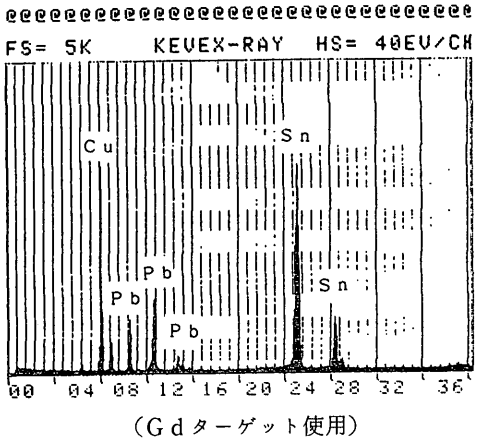


（Ｇｄターゲット使用）

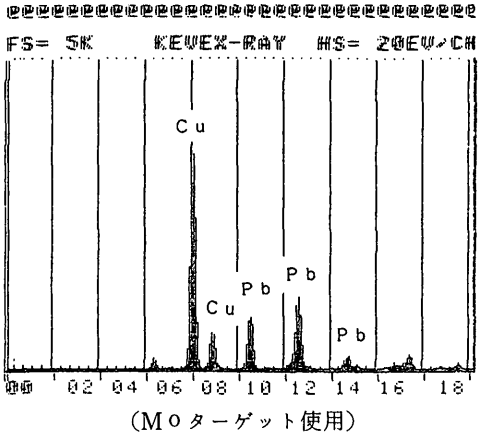


（Ｍｏターゲット使用）

図36　寛永通宝（No.34）の蛍光X線スペクトル

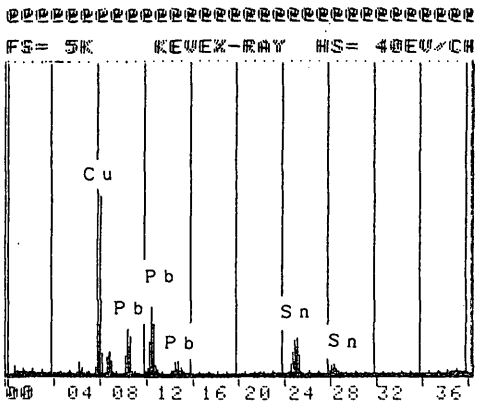


（Ｇｄターゲット使用）

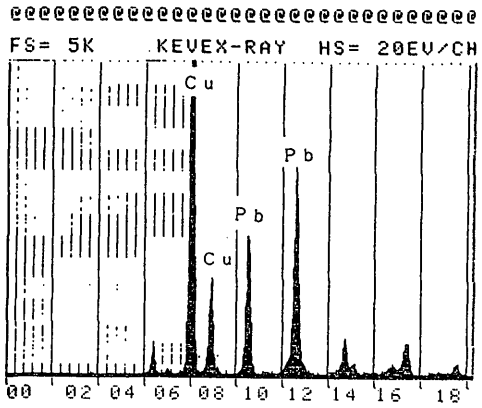


（Ｍｏターゲット使用）

図37　寛永通宝（No.35）の蛍光X線スペクトル

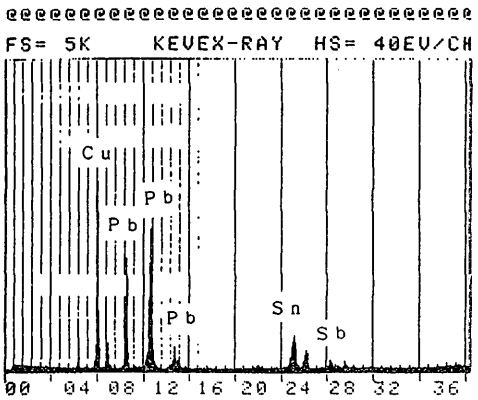


（Gdターゲット使用）

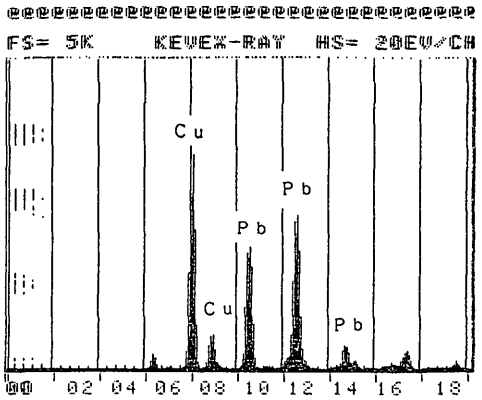


（Moターゲット使用）

図38　寛永通宝（No.36）の蛍光X線スペクトル

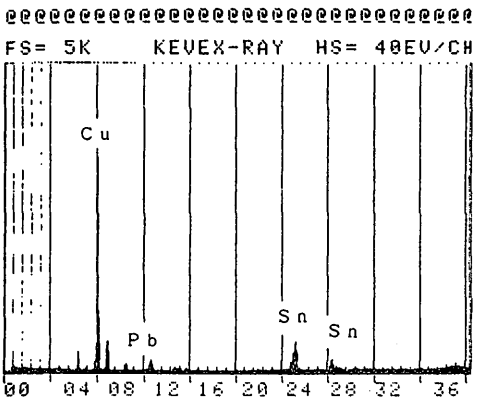


（Gdターゲット使用）

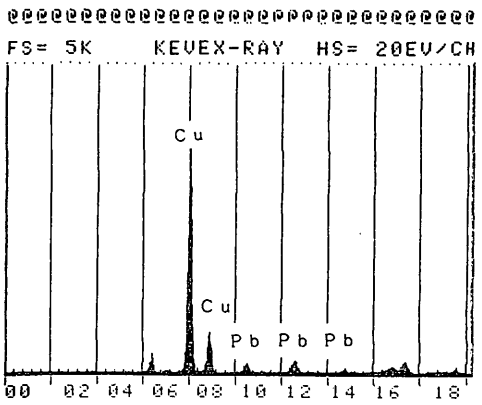


（Moターゲット使用）

図39　寛永通宝（No.37）の蛍光X線スペクトル

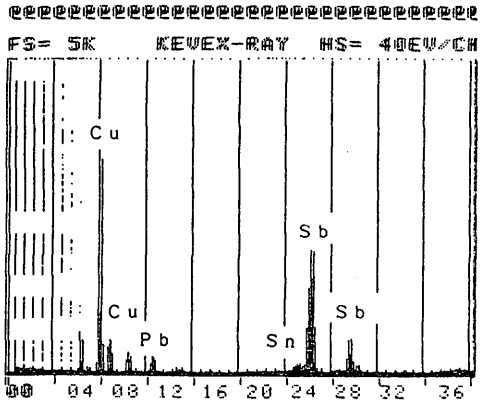


（Gdターゲット使用）

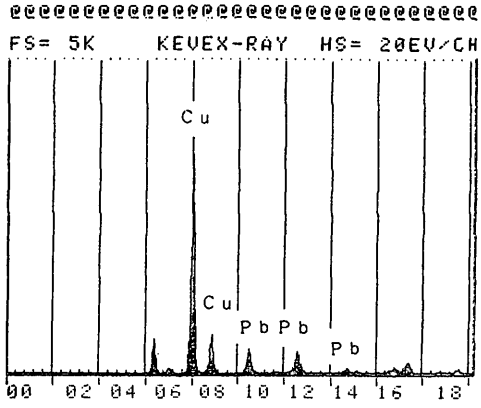


（Moターゲット使用）

図40　寛永通宝（No.38）の蛍光X線スペクトル

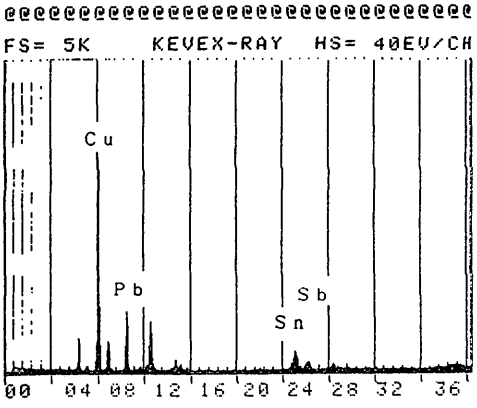


（Ｇｄターゲット使用）

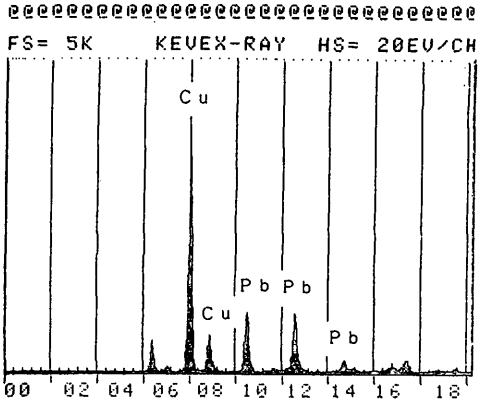


（Ｍｏターゲット使用）

図41　寛永通宝（No.39）の蛍光X線スペクトル

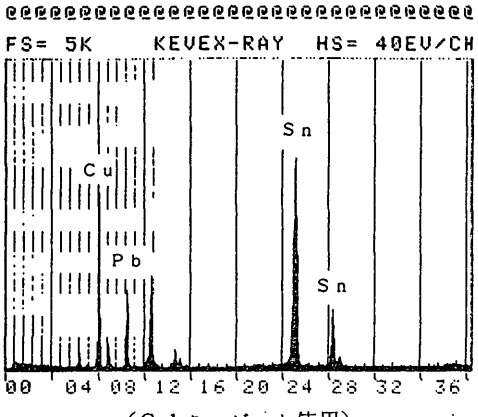


（Ｇｄターゲット使用）

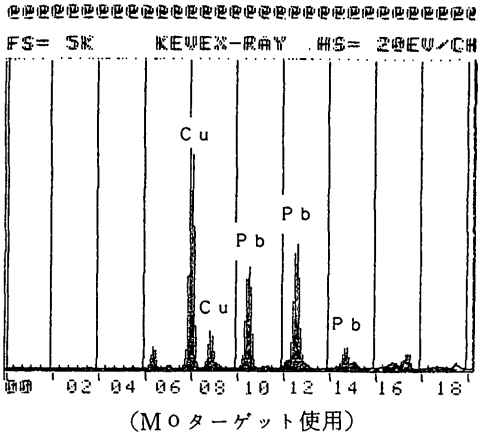


（Ｍｏターゲット使用）

図42　寛永通宝（No.40）の蛍光X線スペクトル

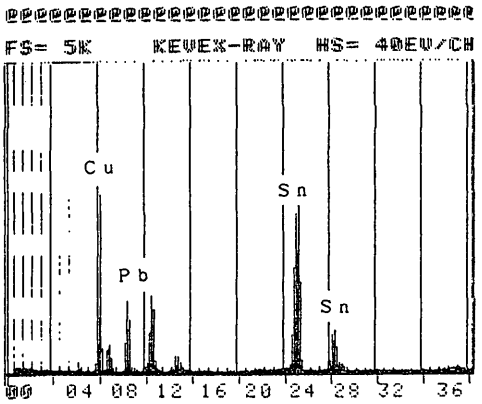


（Ｇｄターゲット使用）

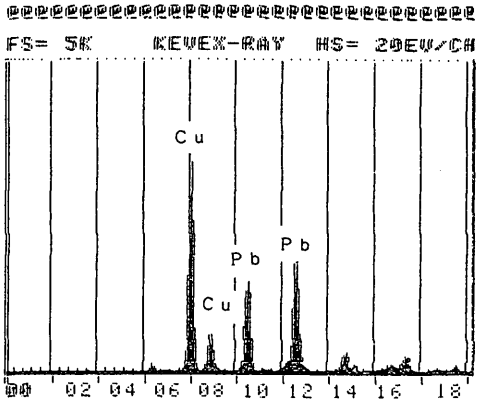


（Ｍｏターゲット使用）

図43　寛永通宝（No.41）の蛍光X線スペクトル

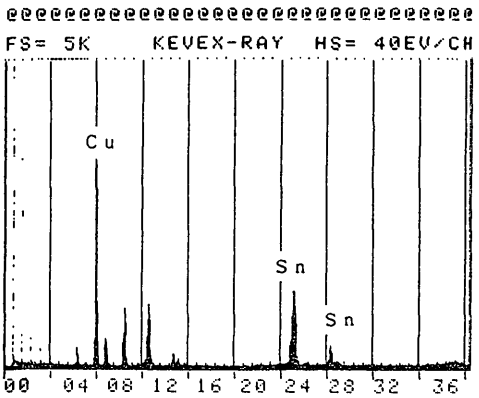


（Ｇｄターゲット使用）

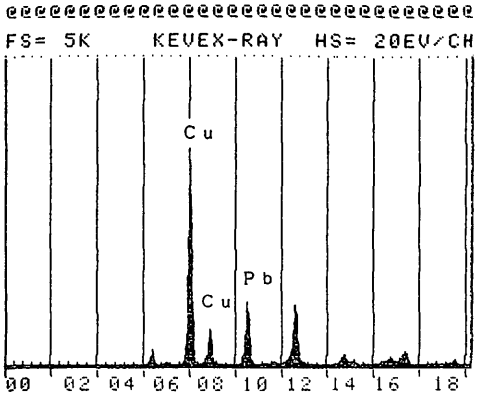


（Ｍｏターゲット使用）

図44　寛永通宝（No.42）の蛍光X線スペクトル

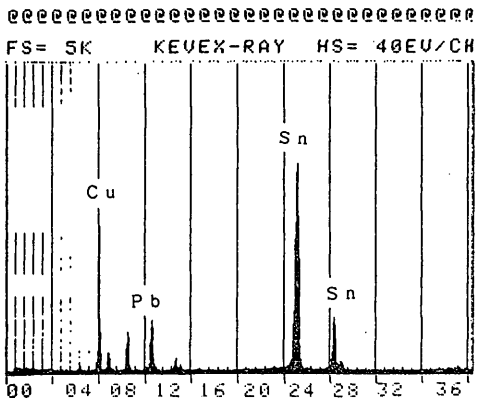


（Ｇｄターゲット使用）

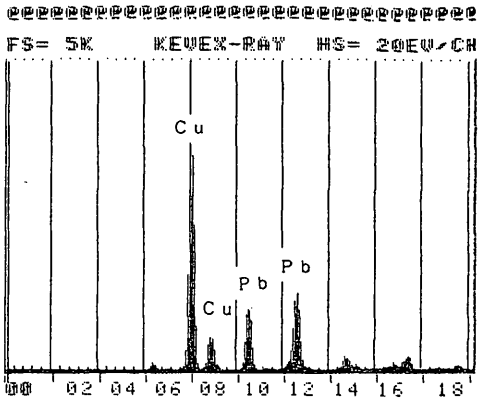


（Ｍｏターゲット使用）

図45　寛永通宝（No.43）の蛍光X線スペクトル

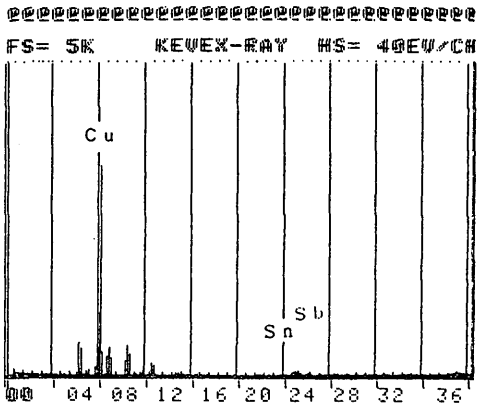


（Ｇｄターゲット使用）

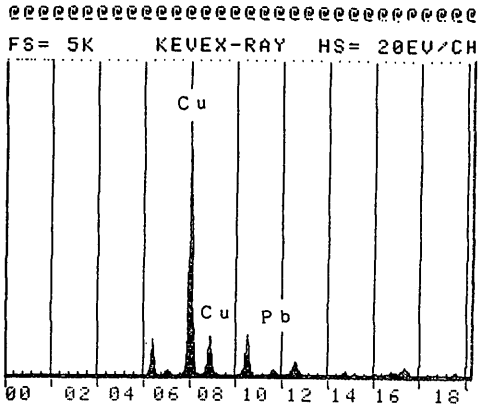


（Ｍｏターゲット使用）

図46　寛永通宝（No.44）の蛍光X線スペクトル

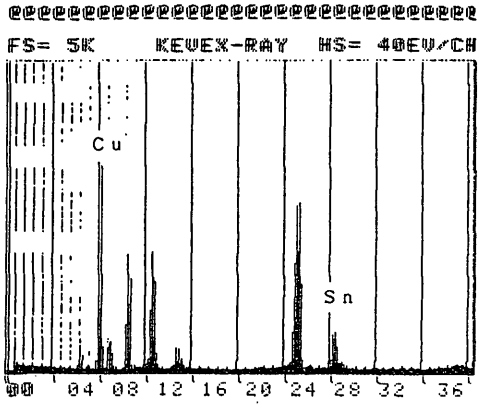


（Ｇｄターゲット使用）

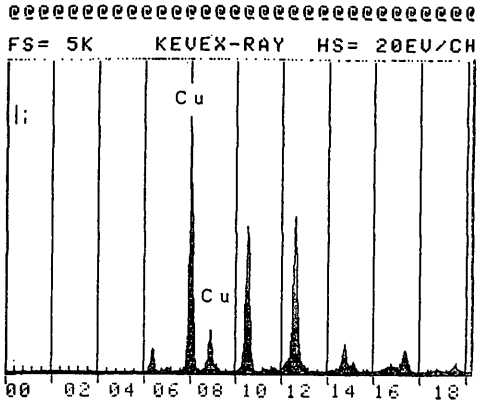


（Ｍｏターゲット使用）

図47　寛永通宝（No.45）の蛍光X線スペクトル



（Ｇｄターゲット使用）



（Ｍｏターゲット使用）

第3章　竹道北地区の調査

第1節　調査の経過と概要

一の谷遺跡群の発掘調査が横断道の工事工程との調整のために，工事用道路の仮設あるいは付替に翻弄されたことと工事用道路部分およびカルバートボックス部分について散発的な先行調査を要求されたことについては再三にわたり述べてきた。

こうした工事工程を優先する調査工程において，本調査区に限り調査員の意図した当初の計画通りに遂行することができたと考えている。調査期間は1985年9月27日～1986年1月31日である。

当該地区は予備調査時に既に現存する方画地割の方向性に平行または直交する溝状遺構の一部が検出できたことから本調査においても条里遺構の検出が期待された。

事実，上記の方向性を有する溝状遺構数条が検出できたが，とりわけ注目されたのが9棟の掘立柱建物跡（ＳＢ08～15）である。しかもＳＢ10～12・14は形態と規模に差異が存在するものの現存する方画地割と同一の方向性が見出せた。

また遺構が密集して検出された地区が黄褐色粘質土を基盤とするのに対して，南・北端部に至っては上記の土壌が深く傾斜した後に消滅し，厚い土砂の堆積を確認した。特にノ・ハ19区の下位において弥生時代前期の河道跡を検出している。

第２節　弥生時代前期の遺構と遺物

河道跡（ＳＸ20）

①遺構について

ノ19区東壁面に平行して北流した後に，ハ19区中央部において直角に屈曲して西流する河道跡である。遺構の規模は総延長2200cm，最大幅544cm，最深部124cmを測り，形態は右岸が緩い傾斜面を呈している。埋土中には弥生土器，土製紡錘車，自然木が包蔵されていたが，とりわけ屈曲部の河底部の調査時に多くの遺物を採取することができた。

なお本遺構の形成要因としては，微高地西部の埋積谷が埋没過程において流路化したことが考えられる。

②伴出遺物について

１．土器（第449，450図９～21，451図）

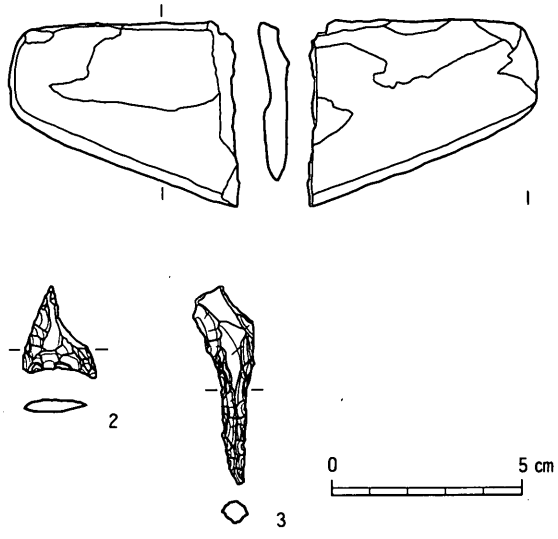
壺形土器

１はラッパ状に開口する長い口縁部を有する器形であり，内面に突帯が貼付される。口縁部の２個の穿孔については蓋形の資料を固定するために用いられたことが考えられよう。２～７は口縁部が短い形態であるが，２は口縁部内面に突帯を貼付することにより注口を造出している。また３の胴部は焼成後に人為的に穿孔されていることから実用性を抹消する意図によることが推測できる。

甕形土器

８，９は大型の器形であり，胴部最大径が口径を凌ぐ。口縁部はわずかに外湾する形態である。10，11の口縁部の造作は８，９に共通するが，口径が胴部最大径を凌駕する器形である。12は上端部を平面化することにより逆Ｌ字形の口縁部を造出する。13の口縁部は内湾する形態であり，上胴部に把手状の突起を造り付ける。

ところで第451図１～４は本遺構において一括出土した資料であるが，１，２が10，11に酷似した器形である。



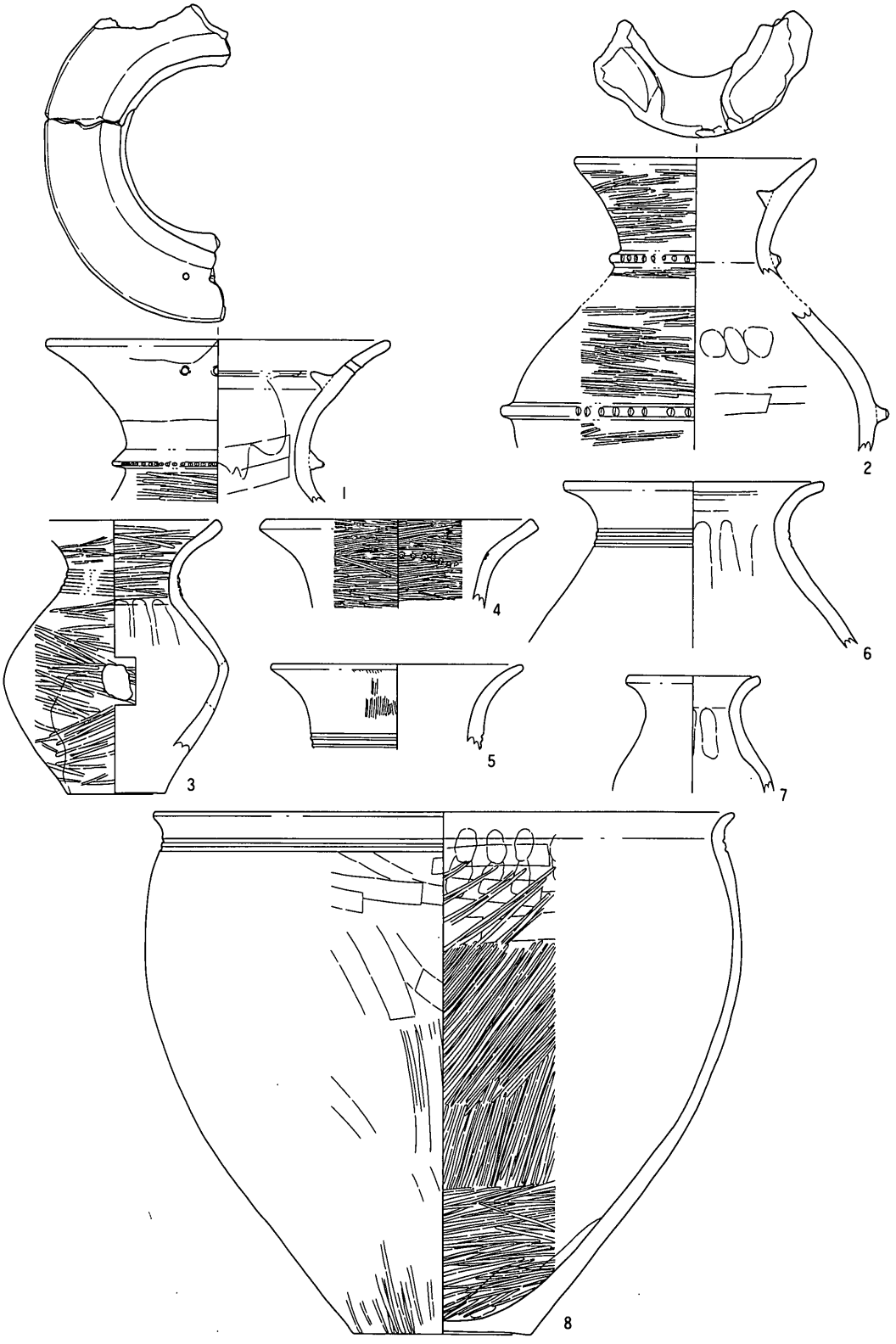
第448図　河道跡（ＳＸ20）伴出石器実測図

鉢形土器

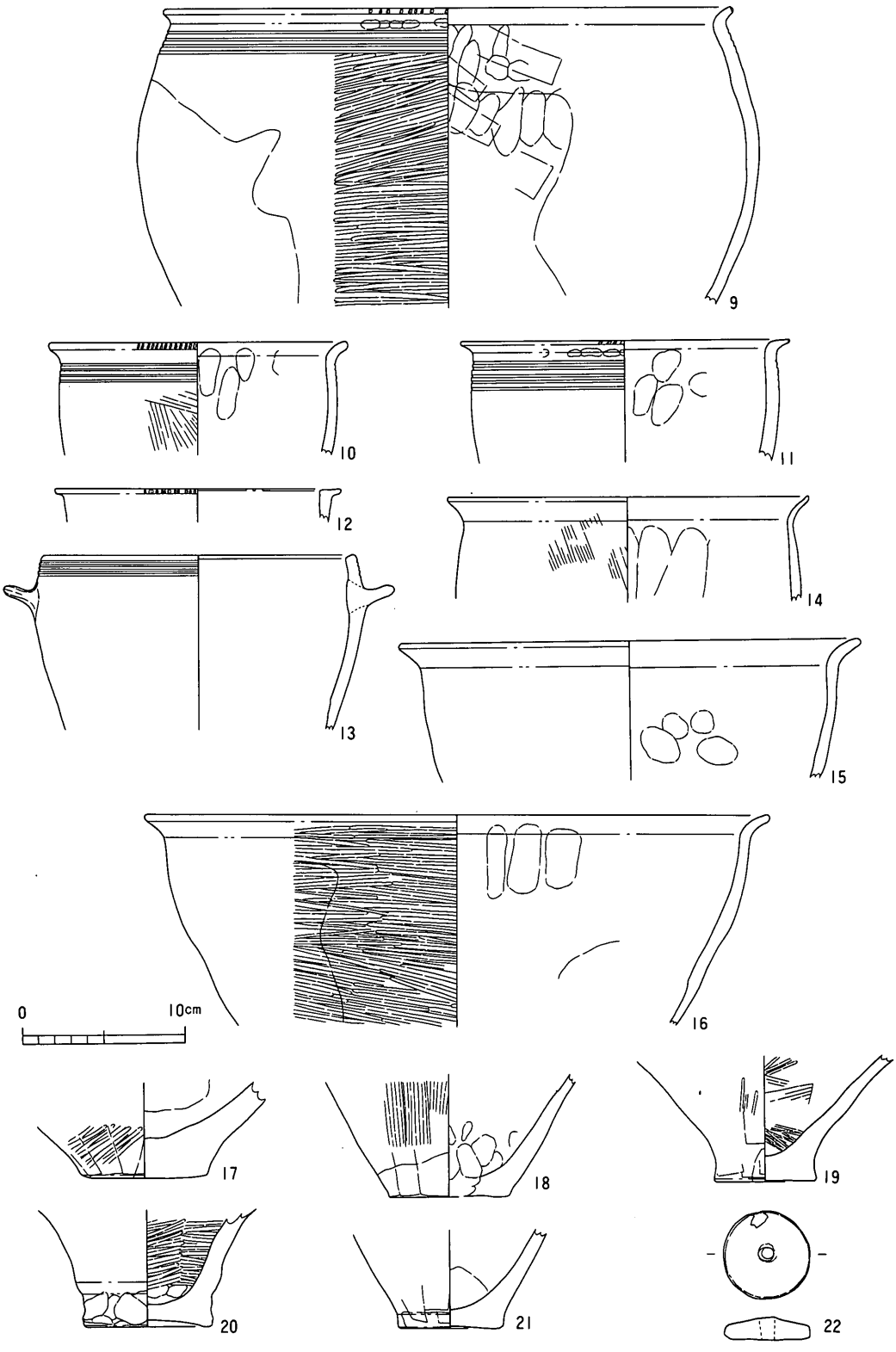
15・16の口縁部は外湾する形態である。

２．土製品（第450図22）

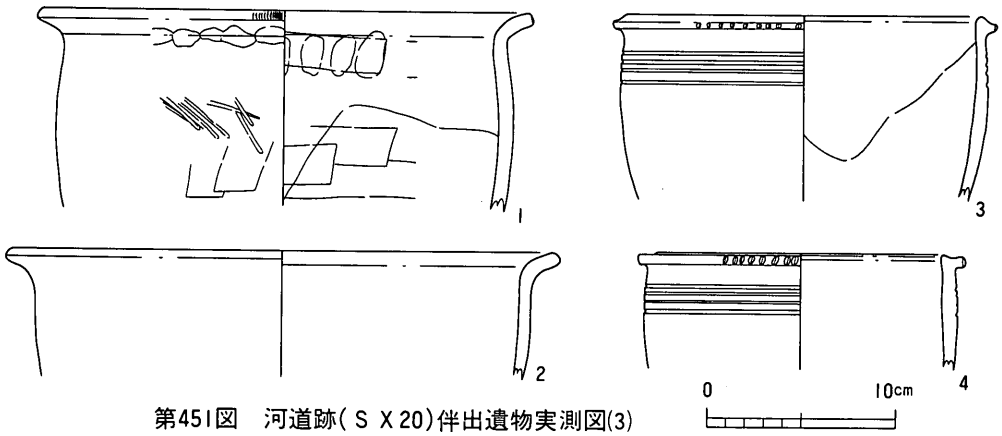
紡錘車が１点出土している。表面は中心部から外方向へ傾斜する形態であり，裏面は平坦に成



第449図　河道跡(ＳＸ20)伴出遺物実測図(1)



第450図　河道跡(ＳＸ20)伴出遺物実測図(2)



第451図　河道跡(ＳＸ20)伴出遺物実測図(3)

形されている。直径5.3cm，最大厚1.4cm，重さ40.5ｇである。

3．石器（第448図）

1は磨製石庖丁である。背部は直線的な形態であり，刃部は外湾して逆三角形を呈する。

石鏃（2）は無茎凹基式の資料である。

3の石錐は長い先端部を有する。

第９表　竹道北地区掘立柱建物跡一覧表

遺構名称	略称	位置	構造		規模		主軸方位	挿図番号
			梁間	桁行	梁間	桁行		
第８号掘立柱建物跡	ＳＢ08	ネ・ノ20	2間	3間	352	670	N-59°30′-W	第452図
第９号掘立柱建物跡	ＳＢ09	ネ20	2間	2間	316	340	N-60°30′-E	第453図
第10号掘立柱建物跡	ＳＢ10	ネ20	1間	4間	443	886	N-61°30′-W	第455図
第11号掘立柱建物跡	ＳＢ11	ヌ20	1間	2間	187	463	N-59°30′-W	第454図
第12号掘立柱建物跡	ＳＢ12	ヌ20	2間	3間	458	730	N-27°30′-E	第456図
第13号掘立柱建物跡	ＳＢ13	ヌ21	2間	3間	495	670	N－36°－E	第457図
第14号掘立柱建物跡	ＳＢ14	ネ21	2間	4間	477	790	N-27°30′-E	第458図
第15号掘立柱建物跡	ＳＢ15	ネ・ノ20	2間	2間	257	293	N-28°30′-E	第459図

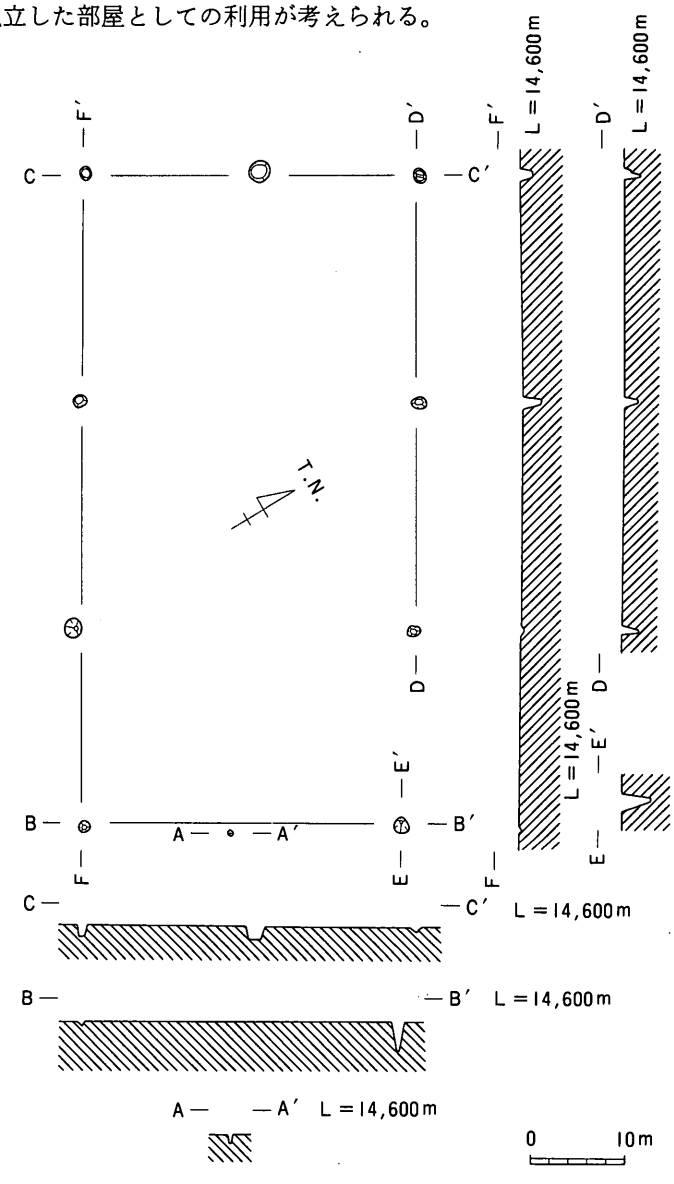
規模：単位cm

第3節　その他の遺構と遺物

1　掘立柱建物跡

（1）第8号掘立柱建物跡（ＳＢ08）（第452図）

ネ・ノ20区において，ＳＤ44の埋没後にその上位に構築されている。梁間2間（352cm），桁行3間（670cm）の規模である。西壁面から桁行1間幅の空間については庇状の施設あるいは間仕切り壁面を有する独立した部屋としての利用が考えられる。



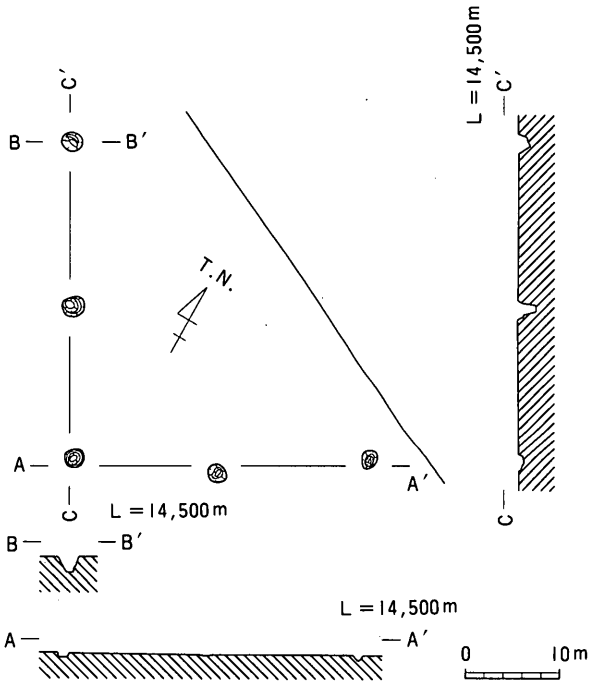
第452図　第8号掘立柱建物跡実測図

（2）第9号掘立柱建物跡（ＳＢ09）（第453図）

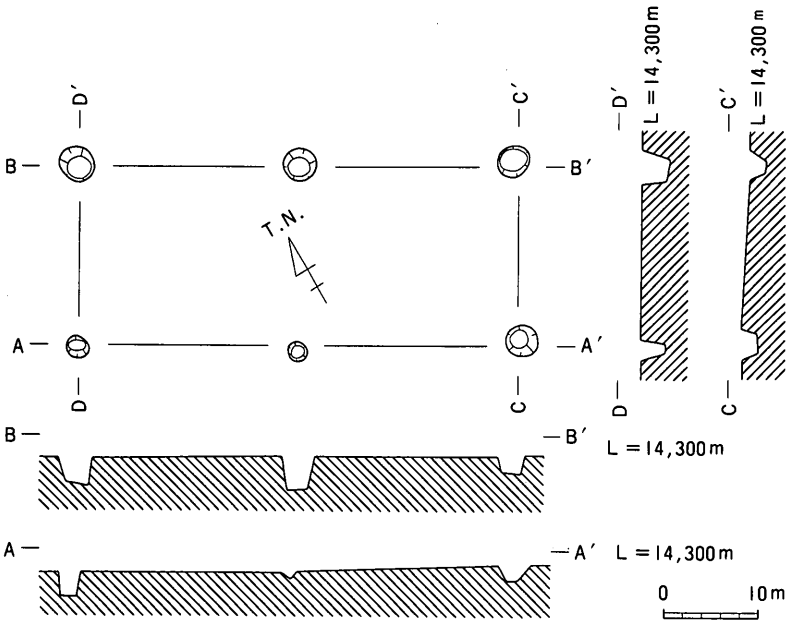
ネ20区のＳＢ08の北西方3ｍに位置する。北・東壁面が現用水路下に埋没しているために原形

は不明であるが，梁間２間（316cm），桁行２間（340cm）の方形気味の平面形態を有していると考えられる。

なお北西隅部の柱穴を除く他の柱穴内部には柱痕が遺されていることから，柱材としては直径７～17cmの丸材が用いられていたことが判る。



第453図　第９号掘立柱建物跡実測図



第454図　第11号掘立柱建物跡実測図

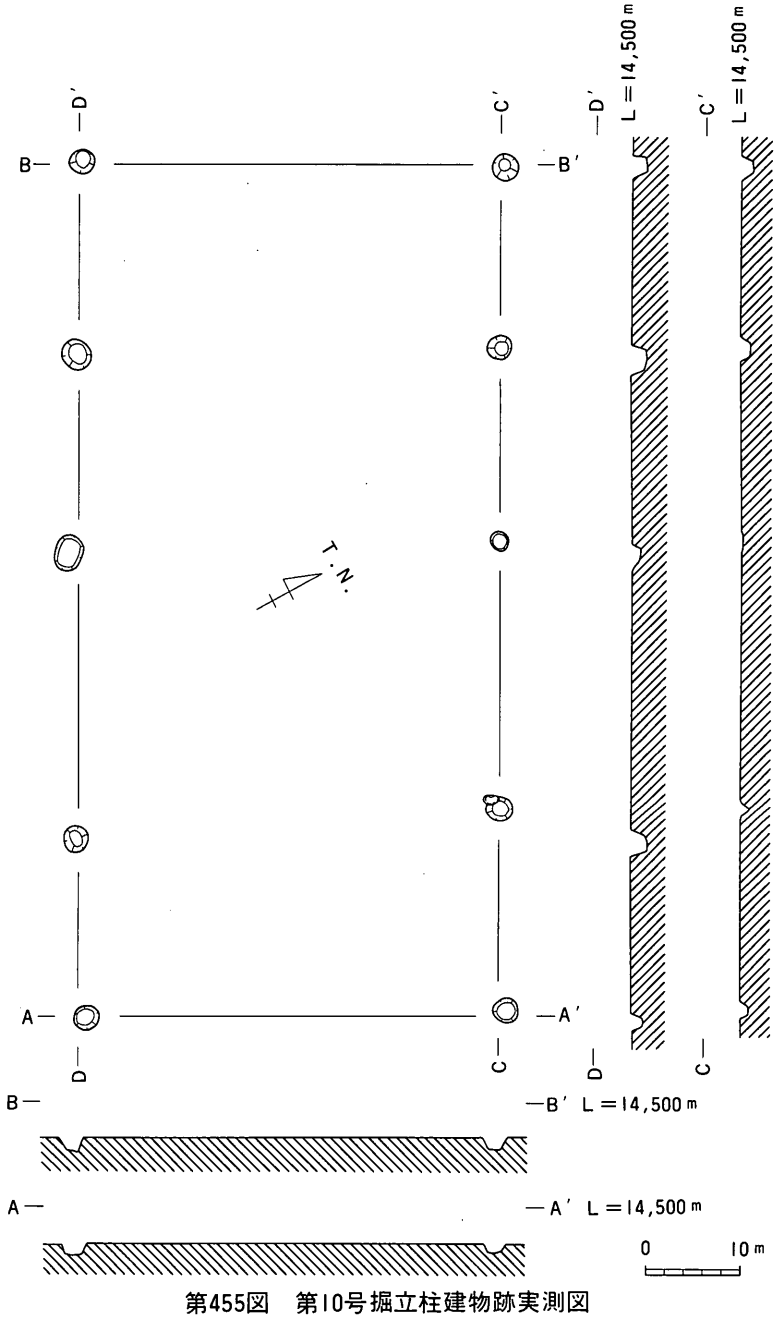
（3）第10号掘立柱建物跡（ＳＢ10）（第455図）

ネ20区北半部において検出した。ＳＢ09との直線距離は4.4mを測る。

構造は梁間１間（443cm），桁行４間（886cm）であるが，特に東・西壁面幅が北・南壁面における２間幅に相当する規模である点が特徴的である。

また，遺存していた柱痕の測定により，柱材の規模が直径9.5～21cmであったことが推測できる。

なお本遺構の柱穴がＳＤ40・45の上位を穿って設けられていることから，構築時期の先後関係



第455図　第10号掘立柱建物跡実測図

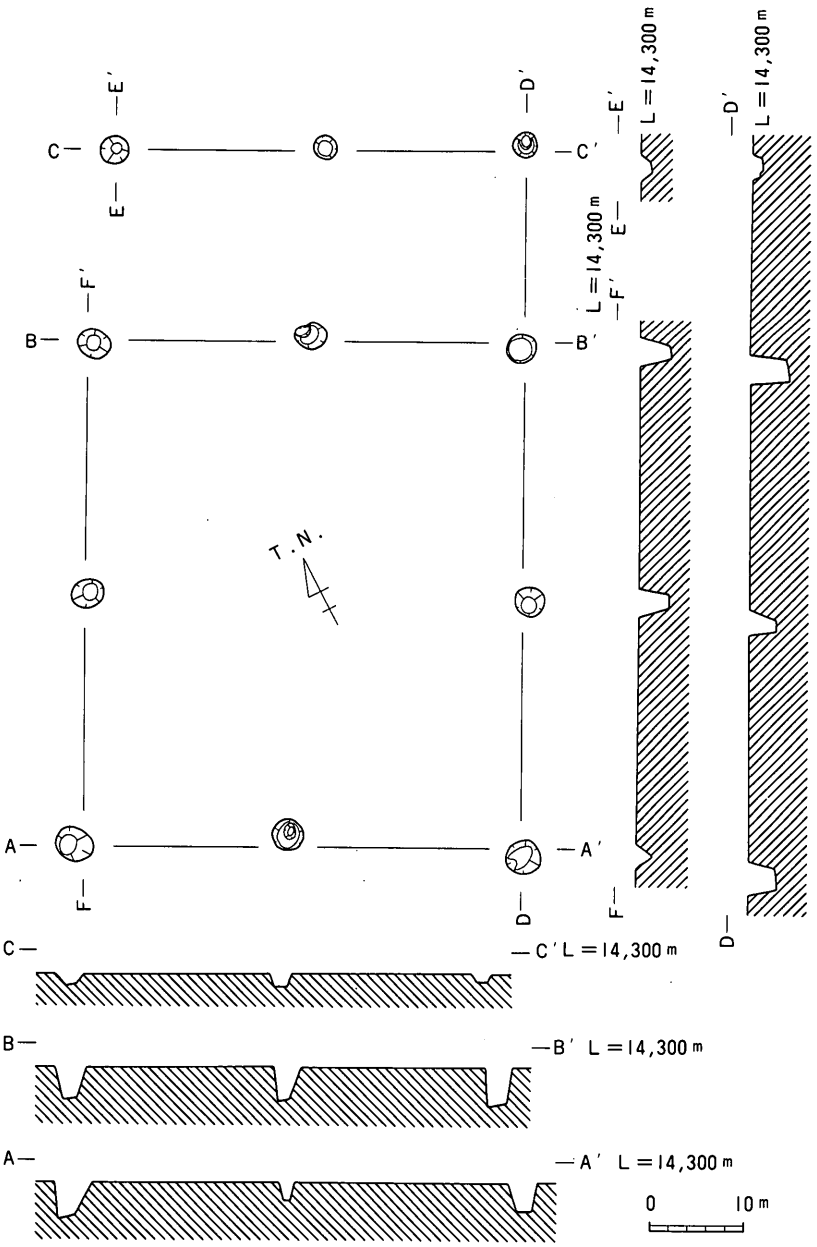
は明白である。

（４）第11号掘立柱建物跡（ＳＢ11）（第454図）

ヌ20区南端中央部に所在しており，梁間１間（187cm），桁行２間（463cm）の構造を有する。床面積が最大8.7㎡と小規模である点から居住遺構の性格を与えることは難しいであろう。

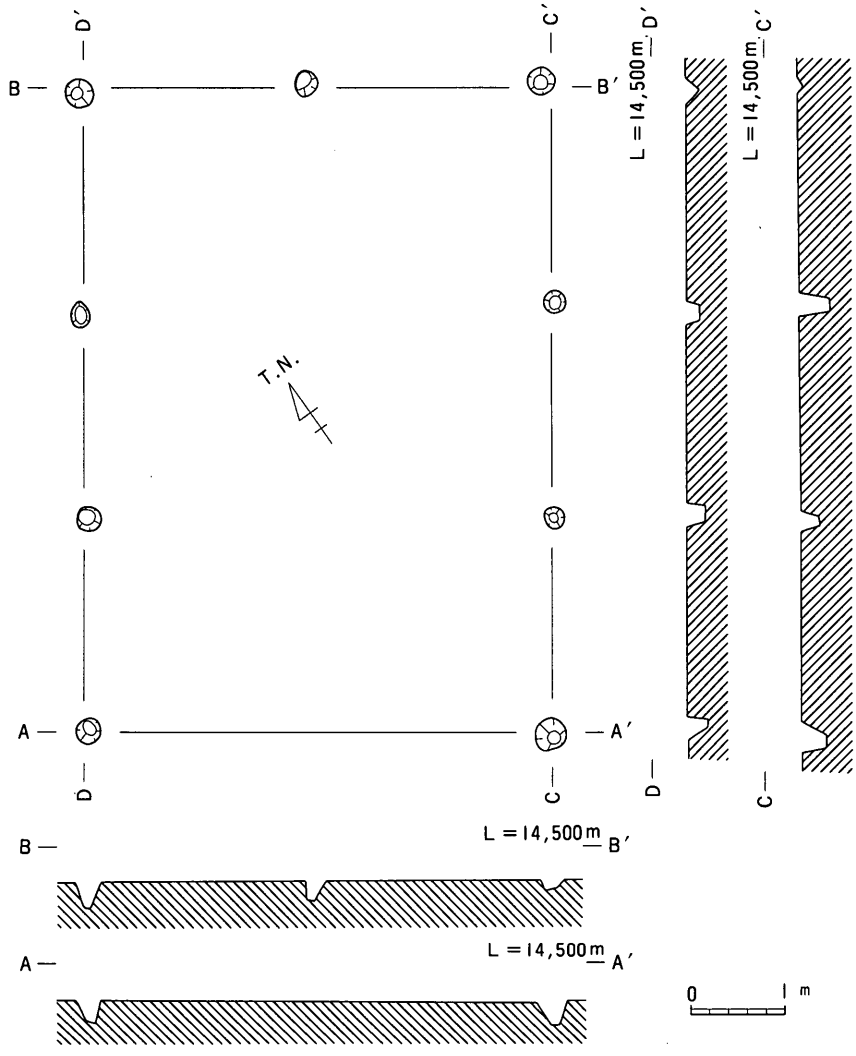
（５）第12号掘立柱建物跡（ＳＢ12）（第456図）

ヌ20区においてＳＢ11の北東方2.6mの位置に所在する。梁間２間（458cm），桁行３間（730cm）



第456図　第12号掘立柱建物跡実測図

の構造を有しており，北壁面から桁行１間幅の位置に間仕切りの壁面が設けられていたことが考えられる。したがって北壁面沿の空間は庇状の施設あるいは独立した部屋として用いられたものであろう。



第457図　第13号掘立柱建物跡実測図

（６）第13号掘立柱建物跡（ＳＢ13）（第457図）

ヌ21区西半部において検出した。梁間２間（495cm），桁行３間（670cm）の構造を有する遺構である。

（７）第14号掘立柱建物跡（ＳＢ14）（第458図）

①遺構について

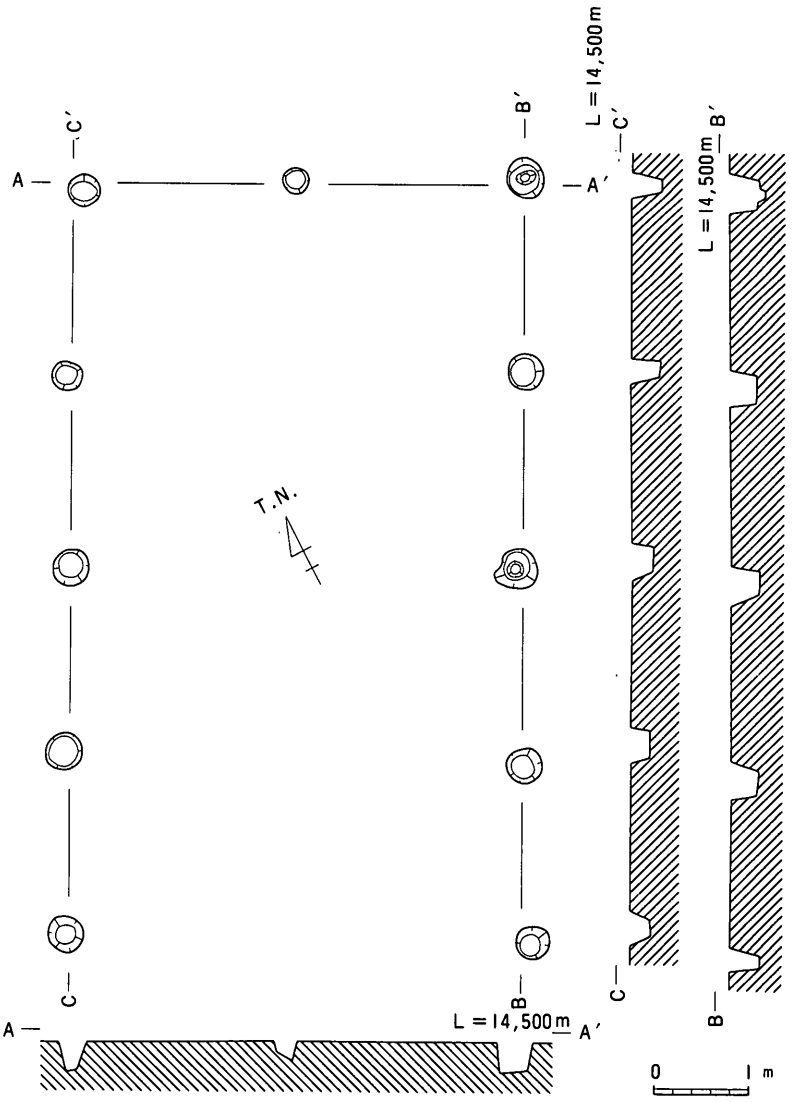
ネ21区南半部に所在しており，遺存する構造と規模は梁間２間（477cm），桁行４間（790cm）である。ただし北壁面幅が２間構造であるのに対して，南壁面は中央部に柱を有しない１間構造で

ある点から，本遺構が南方へ拡大することも十分考えられるであろう。

（８）第15号掘立柱建物跡（ＳＢ15）（第459図）

ネ・ノ20区においてＳＤ38・39が埋没した後，その上位に構築されている。構造は梁間２間(257cm)，桁行２間（293cm）である。北壁面中央部の柱穴の埋土に柱痕を確認しているが，これによると柱材は直径14cm程度の規模の丸材であったことが推測できる。

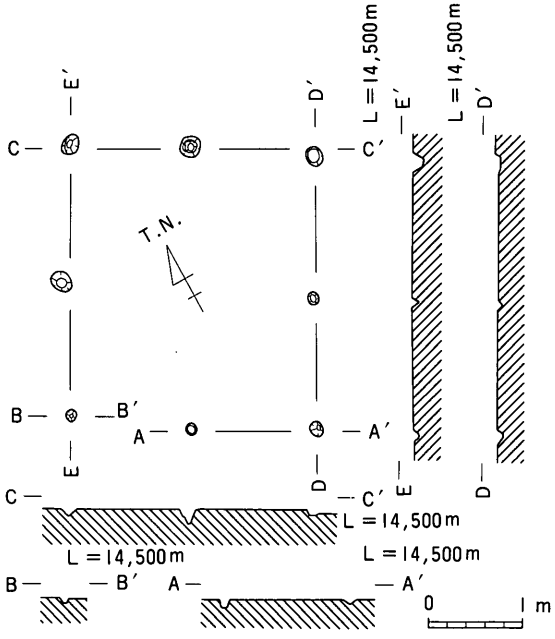
ところで本遺構の東壁面とＳＢ08の西壁面はほぼ同一ライン上に設けられていることから規格的に構築されたことが考えられよう。しかも両者が至近距離（１ｍ）にある点は，本遺構がＳＢ08の付属的な性格を有することを示唆している。



第458図　第14号掘立柱建物跡実測図

（9）掘立柱建物跡伴出遺物について（第460図）

本項において報告する資料は総て各掘立柱建物跡の柱穴の埋土中より出土したものである。したがって遺構の廃絶時期を示唆する遺物が主体であることが考えられる。



第459図　第15号掘立柱建物跡実測図

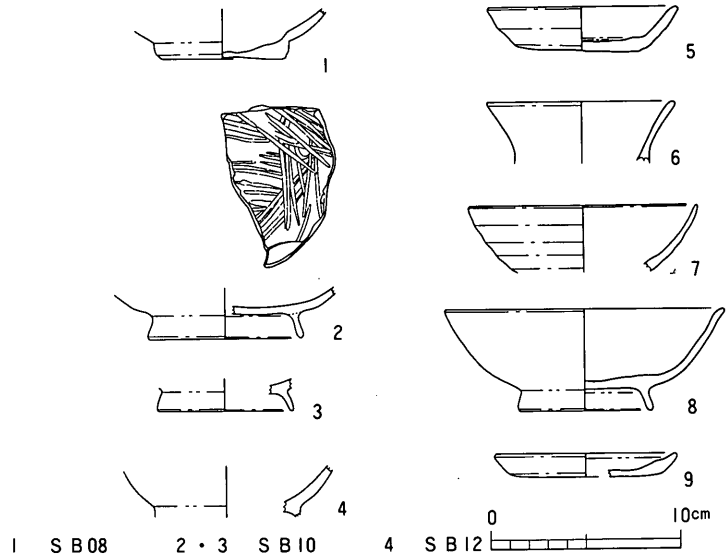
1は円盤状の粘土塊を底部に貼付することにより，高台部が造出されている。また底部内面に強いナデ調整を施すことにより，底部の壁面を薄く仕上げる。黒色に発色した資料である。

2，3は黒色土器の高台部分であるが，2が直線的に開脚するのに対して，3はやや内湾気味に開脚する形態である。なお前者の内面には暗文を観察することができる。

4については遺存する部位が少ないために原形を復元することが難しいが，深い器形が想定できる。

5はいわゆる小皿と呼称される遺物に相当する。

6の器形については判然とするに至らなかった。7，8は土師器の椀形の器形である。とりわけ8の遺存状態が良好であり，直線的に開脚する高台部と外反気味に開口する口縁部が特徴である。9は容量が極めて小さい皿形の資料である。



1　SB08　　2・3　SB10　　4　SB12
5　SB13　　6～9　SB14

第460図　竹道北地区堀立柱建物跡伴出遺物実測図

2　土　坑

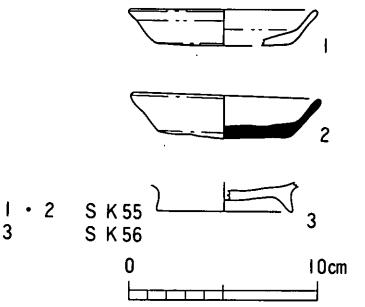
（1）第253号土坑（SK55）

①遺構について

ノ20区西端部において検出した最大径56cm，深さ4cmを計る不整円形の平面形態を呈する遺構である。

②伴出遺物について（第461図1，2）

これらはいわゆる小皿の資料である。両者ともに口縁端部がやや肥厚する形態である。



第461図　竹道北地区土坑伴出遺物実測図

（2）第254号土坑（SK56）

①遺構について

ノ20区の中央部から南寄りの位置において検出した。SK55との直線距離は8mである。不定形な平面形態を呈しており，長径168cm，短径108cm，深さ6.1cmの規模を有している。

②伴出遺物について（第461図3）

椀形の器形の高台部分である。

3　溝状遺構

掘立柱建物跡による集落の東，西，南縁辺部に平行する位置において，居住遺構に付設することが考えられる溝状遺構を10条（SD34，35，50，51，53～57，61）検出した。これらの遺構については，方向性が居住遺構のそれに完全に合致する特徴を有している。

ところで集落の北縁辺部に人為的に穿たれた溝状遺構が検出されなかった要因については，当該地区が凹地状の地形を呈していたためであると考えられる。

その他の不規則な方向性を示す遺構は自然の営力により形成された流路であろう。

（1）第66号溝状遺構伴出遺物について（第462図3～8）

甕形土器

3，4はく字形に外反する口縁部を有する。5は変化点が不明瞭な平底，6がやや突出した平底の形態である。

高杯形土器

7は杯部の屈曲部以上の部位の長さが，屈曲部以下の部位の長さを凌駕する器形である。また，口縁部の湾曲が弱い。8の脚部は端部が水平方向に屈曲するが，屈曲部以上の部位は筒状の形態である。

（2）第74号溝状遺構伴出遺物について

1．土器（第462図9）

9は椀形の器形であり，高台部が水平方向に開く。

2．須恵器（第462図10，11）

10は鉢形の器形である。杯身（11）は遺存状態が著しく悪い。

3．瓦（第462図12）

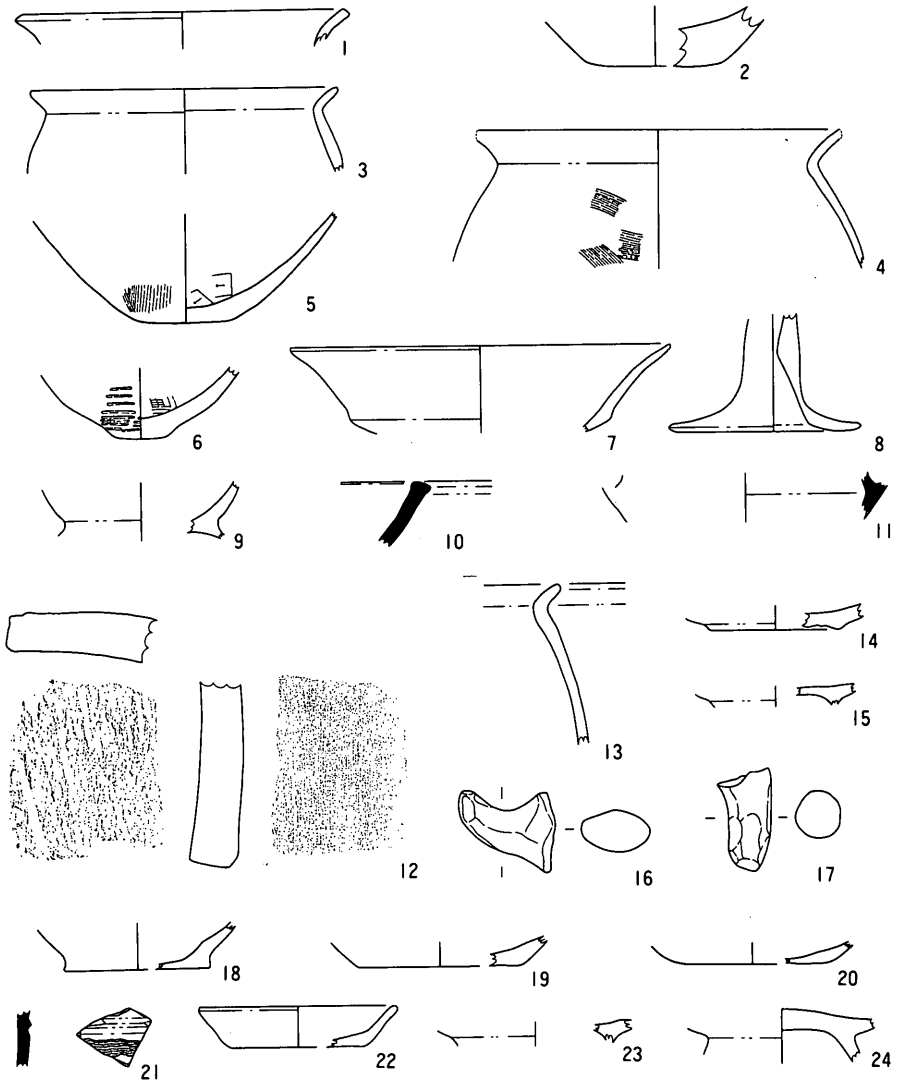
平瓦片が1点出土している。表面には細目の布目痕が認められる。

（3）第75号溝状遺構伴出遺物について

1．土器（第462図13～17）

13は甕形土器であり，胴部最大径が口径を凌駕する器形である。

14，15については椀形の器形であることが考えられる。いずれも断面三角形の低い高台部を有



1・2　SD36　　13～17　SD49　　22・23　SD58
3～8　SD40　　18～20　SD50　　24　SD59
9～12　SD48　　21　SD53

第462図　竹道北地区溝状遺構伴出遺物実測図

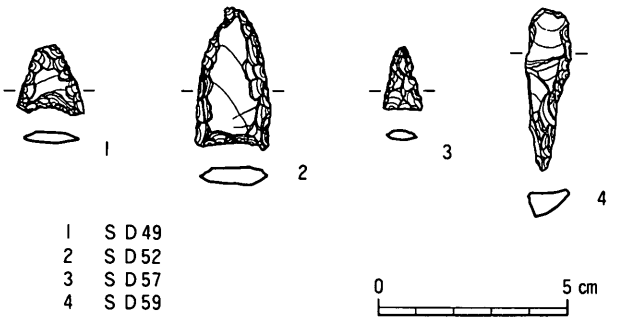
する。

16は煮沸容器の把手状を呈する資料であり，端部を上方へ湾曲する。

17は脚状の資料であるが，上部の形態は全く不明である。

2．石器（第463図1）

無茎凹基式の石鏃が1点出土している。



1　SD49
2　SD52
3　SD57
4　SD59

第463図　竹道北地区溝状遺構伴出石器実測図

（4）第76号溝状遺構伴出遺物について（第462図18～20）

18は椀形の器形であり，底面がやや突出する。19，20については皿形の器形が考えられよう。

（5）第79号溝状遺構伴出遺物について（第462図21）

原形は豊中町宮山窯跡出土の大型高杯の杯部片に類する(註58)器形が考えられる。凸条2条の下位に櫛描波状文を施す。

（6）第84号溝状遺構伴出遺物について（第462図22，23）

22は口径の小さい皿形の器形であり，口縁端部を丸く成形する。23については遺存状態が悪いために原形を復することが難しいが，高台を有する椀形の器形であることが推測できる。

（7）第85号溝状遺構伴出遺物について

1．土器（第462図24）

原形を明らかにすることは難しいが，脚台部を有する椀形の器形である。

2．石器（第463図4）

小型のつまみ部を有する石錐である。

4　不明遺構

（1）柵列状遺構（SX24～29）

ネ21，22区において，SD50にほぼ平行する方向に，小規模なピットが列を7条形成している状態が確認された。これらの構築位置は集落域の東縁辺部に相当することから，建物を包囲していた柵列の一部が遺存していることが考えられる。

しかしながら，構築時期を明らかにする遺物は採取されていない。

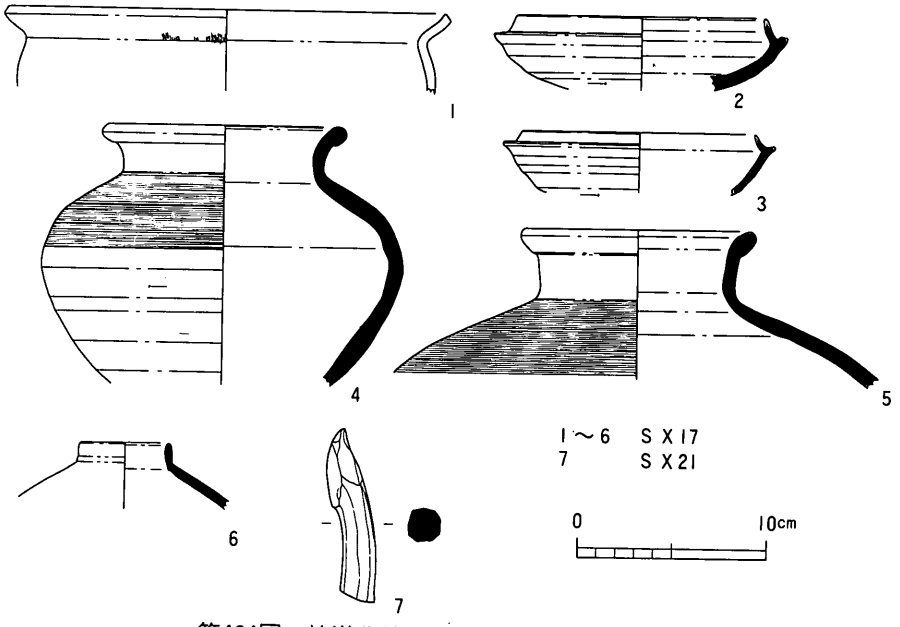
（2）河道跡（SX17，21）

調査区の北，南端部の低地が流路化したことが考えられる。

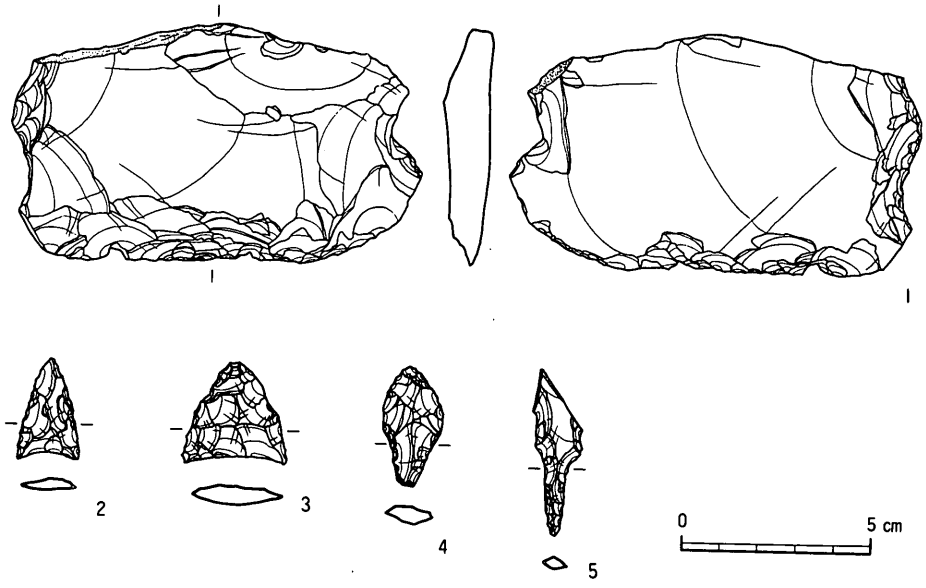
①SX17伴出遺物について

1．土器（第464図1）

鉢形の器形であり，口縁部をく字形に外反する。



第464図　竹道北地区河道跡伴出遺物実測図



第465図　竹道北地区河道跡（S X17）伴出石器実測図

2．須恵器（第464図2～6）

蓋杯

2，3のかえし部は内傾する形態であることから既に形骸化の過程にあることが考えられる。また器高が低いために浅い器形となる。

壺

4，5の口縁部はいわゆる玉縁状を呈し，胴部は肩が張る形態である。6は短頸壺と考えられる資料であり，頸部が直立する。したがって蓋を有しなかったことが想定できる。なお以上の遺

物の特徴は陶色第２型式第４段階の資料において認めることができる。

３．石器（第465図）

１は両端部に抉りを有する形態の打製石庖丁である。背部は剝離調整を施さないために原石の自然面を遺している。

２，３は無茎凹基式の石鏃である。

石錐（３，４）は小型のつまみ部を有する。

（３）ＳＸ21伴出遺物について（第464図７）

脚部と考えられる須恵器であるが，上部の形態は全く判らない。１個の粘土塊を棒状に成形した後，外面を削ることにより10面の縦方向の平面を造出している。

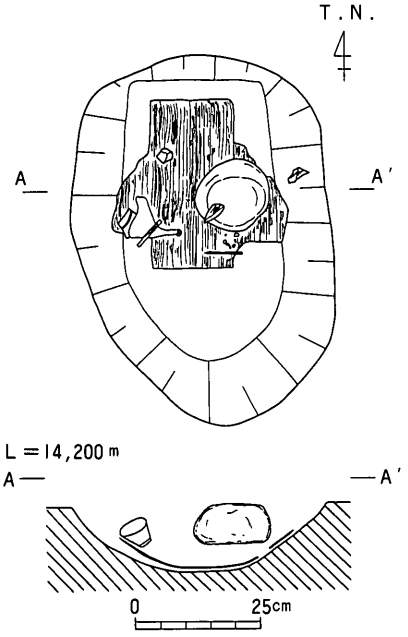
５　土坑墓

ヌ21区南西部において，江戸時代以降に構築されたことが推測される４基の埋葬遺構の調査を行った。ただしこれらの遺構と併存していたことが考えられる遺構は検出されていない。

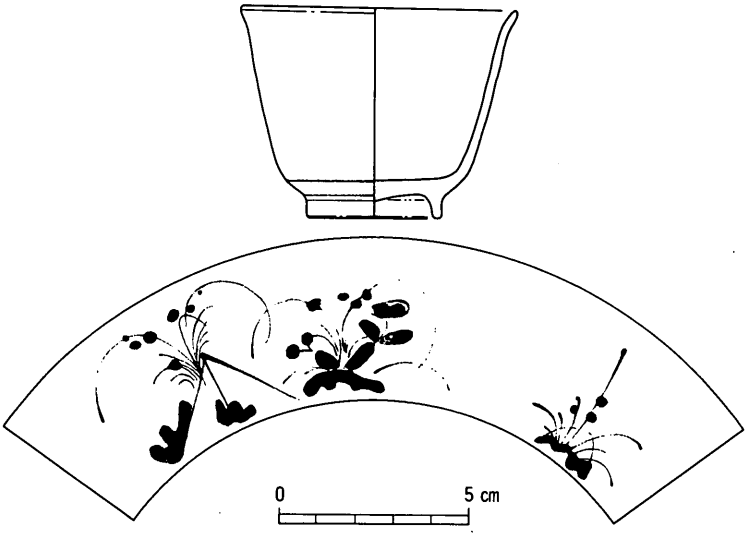
（１）第１号土坑墓（ＳＴ01）（第466図）

土坑の規模は長径74cm，矩径53cm，深さ14cmを測り，不整な長楕円形の平面形態を呈する。また底面に密着した状態の木製の棺材が遺存していた。

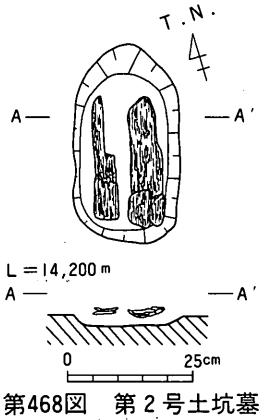
（２）第２号土坑墓（ＳＴ02）（第468図）



第466図　第１号土坑墓実測図

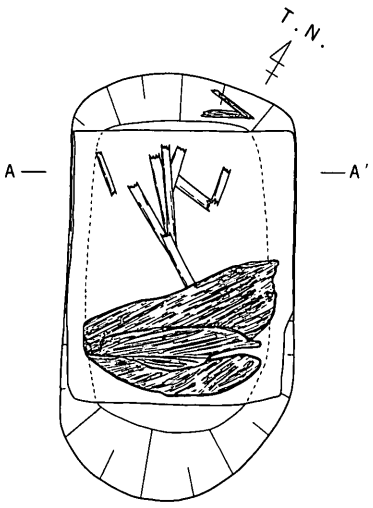


第467図　第４号土坑墓伴出遺物実測図

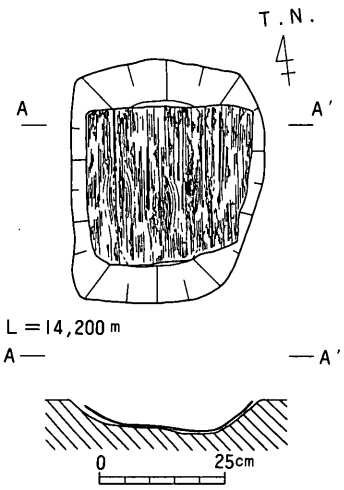


第468図　第２号土坑墓実測図

他の3基の遺構に比すると小規模であることが判る。土坑の規模は長径39cm，短径22cm，深さ3cmである。底面から遊離した位置において棺材の一部が採取できた。



第469図　第3号土坑墓実測図



第470図　第4号土坑墓実測図

（3）第3号土坑墓（ST03）（第469図）

土坑の平面形態は整然とした長楕円形を呈しており，長径84cm，短径47cm，深さ20cmの規模を測る。

（4）第4号土坑墓（ST04）（第467，470図）

土坑の平面形態は不整な長方形であり，長径48cm，短径39cm，深さ6cmの規模を有している。底面に密着した状態の棺材を検出している。

6　包含層出土の遺物

1．土師器（第471図1～10）

2～6は椀形の器種である。7は皿形の器形であるが，胴部に屈曲部を有するために容量が小さくなる。9，10は把手状の形態である。

2．須恵器（第471図11～28）

蓋杯

11のつまみ部は形骸化の過程にあることが判る。13～15は小型の資料である。

杯身（17，18）は高台部が外方向に開脚する形態である。

壺

23の口縁部は端部を屈曲させることにより肥厚する。

鉢

24は容量の小さい鉢形の器形である。25～27は陶邑第1型式の資料に類する遺物である。

皿

21については皿形の器形が考えられる。

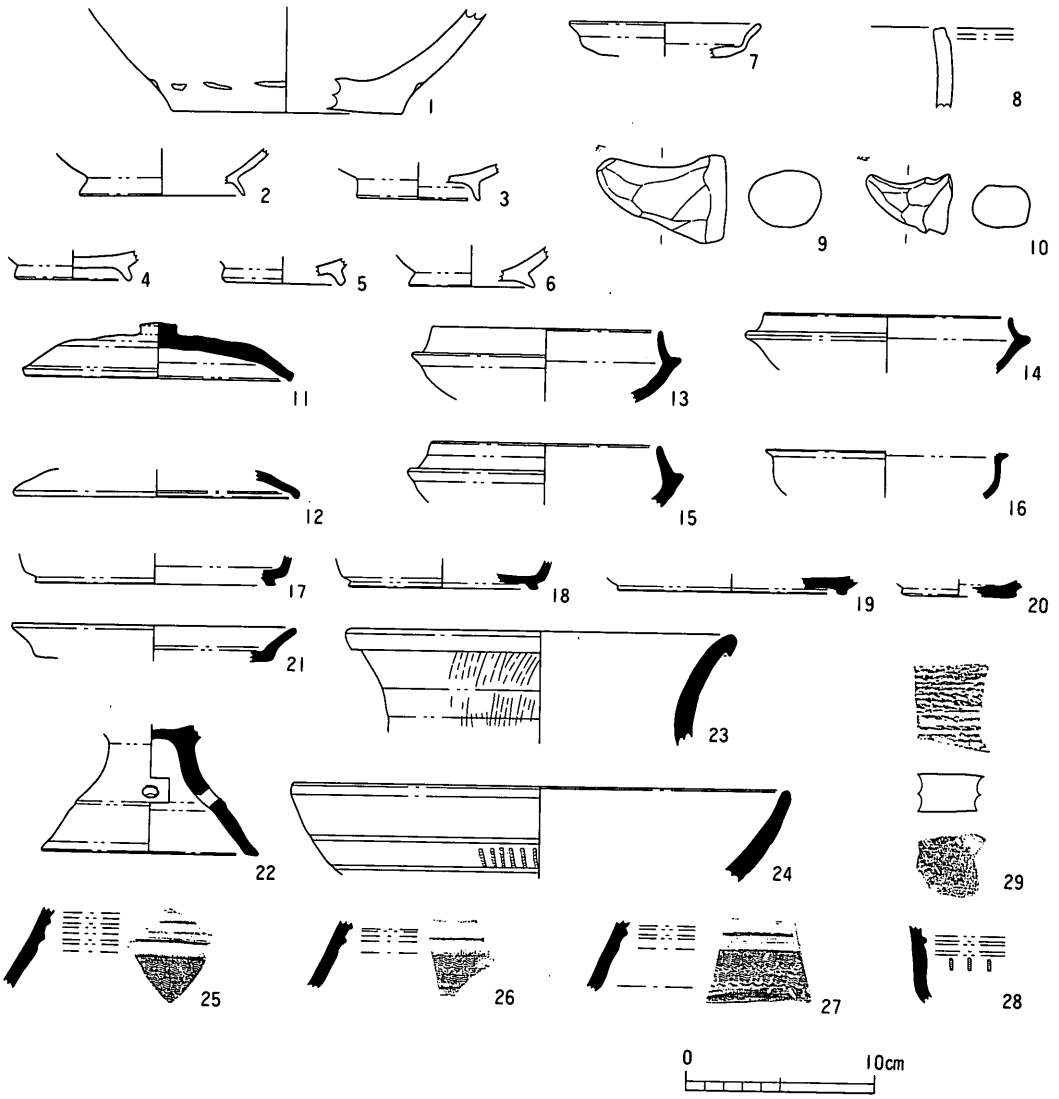
3．瓦（第471図29）

布目瓦の小片が1点出土している。

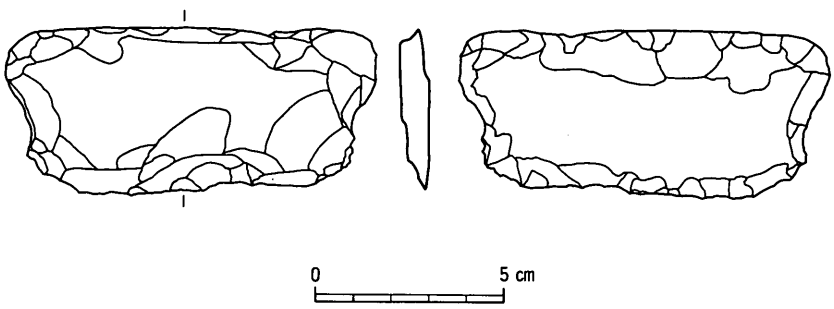
4．石器（第472図）

結晶片岩の剝片を利用した打製石庖丁である。両端部に抉りを施していることが判る。なお原

材料の石材の性格により，鋭利な刃部は造出されていない。



第471図　竹道北地区包含層出土遺物実測図



第472図　打製石庖丁実測図

鑑　定　書

昭和61年１月14日，香川県教育委員会　教育長　吉田　茂氏は四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘の際に４基の土坑墓より出土した骨について，香川医科大学法医学教室において下記事項を鑑定し，書面をもって提出するように本鑑定人に依頼された。

鑑　定　事　項

一の谷遺跡群出土の骨（１号墓［ＳＴ－01］，３号墓［ＳＴ－03］，４号墓［ＳＴ－04］について，

1　人骨，獣骨の別　　2　性別　　3　生活年齢（成人か幼児か）
4　火葬の有無　　5　いつ頃（時代）の骨か
6　死亡原因　　7　その他参考事項

以　上

よって，私は，歯科医師　十川　和彦氏（木田郡三木町，当教室研究生）及び香川医科大学文部技官　大井 敏彦氏の各補助を受けて諸検査を行い，検査結果を総合的に検討して本鑑定書を作成した。

鑑　定　主　文

一の谷遺跡群出土の骨（１号墓［ＳＴ－01］，３号墓［ＳＴ－03］，４号墓［ＳＴ－04］）は，

1　全て人骨であり，歯牙の歯冠部，頭蓋骨片，長管骨々片である。
2　性別は，１号墓［ＳＴ－01］と３号墓［ＳＴ－03］は男性，４号墓［ＳＴ－04］は不明である。
3　生活年齢は何れも成人であり，１号墓［ＳＴ－01］は20歳前後，３号墓［ＳＴ－03］は50～60歳，４号墓［ＳＴ－04］は12～18歳である。
4　何れの骨も火葬は行われていない。
5　骨の時代及び死亡原因は不詳である。

6　鑑定資料の骨は何れも小さい破片であり，鑑定資料としての限界が著しい。今後は発掘現場における専門家の立合検査が望ましい。

以　上

鑑　定　理　由

第１項　人獣骨の鑑別と部位の判定

資料の何れにも，ほゞ完全なヒトの歯冠部が含まれ，１号墓［ＳＴ－01］の資料には鳩卵大内外の頭蓋底骨々片（側頭骨錐体）でヒトの内耳孔部のもの左右側各１個，また，３号墓［ＳＴ－03］の資料には同じく小鶏卵大でヒトの右側の内耳孔部のもの１個を各存するので，

○資料は，全て人骨である。

形態学的な特徴によって資料の各部位を判定した。即ち，

○１号墓［ＳＴ－01］の資料の内，部位の判明したものは，下図歯式による歯冠部29個，鳩卵大内外の頭蓋底骨々片（左右側の側頭骨錐体の内耳孔部）２個，母指頭大内外の頭蓋骨々片10個，長さ約6.5～8.0cmの腓骨々片２個である。

（右上）	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	×	8	（左上）
（右下）	8	7	6	5	4	3	2	×	×	2	3	4	5	6	7	8	（左下）

○　３号墓［ＳＴ－03］の資料の内，部位の判明したものは，下図歯式による歯冠部14個，小鶏卵大の頭蓋底骨々片（右側の側頭骨錐体の内耳孔部）１個，母指頭大内外の頭蓋底骨々片７個，小指頭大～小鶏卵大の頭蓋骨々片19個，長さ約3.0～5.0cmの下顎骨々片（頤孔開口部）２個，小鶏卵大の脊柱の椎体骨々片１個，長さ約3.0～6.0cmの長管骨々片５個である。

（右上）	×	×	6	×	4	3	×	×	×	2	×	4	×	×	×	×	（左上）
（右下）	8	7	6	5	×	×	×	×	×	×	3	×	5	6	7	8	（左下）

○　4号墓［ＳＴ－04］の資料の内，部位の判明したものは，下図歯式による歯冠部12個である。

（右上）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	（左上）
（右下）	×	7	6	5	×	3	2	1	1	2	3	4	×	6	7	×（左下）

第２項　性別と年齢の判定

３号墓［ＳＴ－03］の下顎骨々片（頤孔開口部）を除いて，資料の骨破片から性別や年齢を判定することは不可能である。しかし，ほゞ完全な形態を残す各歯牙の歯冠部が参考となる。

１号墓［ＳＴ－01］の歯冠部は29個あり，上顎の左右側切歯と下顎の左右犬歯が大きく男性である。一方，智歯４本を萠出しているが，歯牙の咬耗はエナメル質に限局して軽度であり，左右上下の犬歯に殆ど咬耗を認めない。なお，個人の咀嚼状態や食習慣によって歯牙の咬耗は著しく左右されるが，「咬耗値による推定年齢算出表」によると歯牙の咬耗度及び推定年齢は次表の通りである。（竹井哲司：歯の咬耗による年齢の推定，日本法医学雑誌，24（１），４－17，1970）

歯牙の咬耗度（括弧内は推定の咬耗度）

A A A A A A A	A A A A A A (A)
7－6－5－4－3－2－1	1－2－3－4－5－6－7
A A A A A A (A)	(A) A A A A A A

左側	第２大臼歯	A	－3.85	右側	第２大臼歯	A	－4.02
	第１大臼歯	A	－0.48		第１大臼歯	A	＋1.63
	第２小臼歯	A	－0.30		第２小臼歯	A	－3.89
	第１小臼歯	A	＋0.85		第１小臼歯	A	－5.69
	犬　　歯	A	－6.33		犬　　歯	A	－0.59
	側 切 歯	A	－2.81		側 切 歯	A	＋1.48
	内 切 歯	A	－3.20		内 切 歯	A	－1.20

咬耗度数値の合計は－28.40であり，基本データーの平均年齢45.82歳に加えると，本例の推定年齢は17.42歳である。

○　以上の諸検査の成績を総合して，１号墓［ＳＴ－01］は，20歳前後の男性と認める。

３号墓［ＳＴ－03］の歯冠部は14個あり，下顎臼歯部の咬耗が極めて著しく，強力な咀嚼が行われたことが推定されるので男性と判定される。一方，下顎の骨片においては，頤孔の開口方向は側方から見ると後上方より後下方に40度，上方から見ると前方より後方に58度である。頤孔の開口方向は加令に伴っていずれの角度も小さくなり（上條　雍彦著：口腔解剖学１　骨学（頭蓋学），アナトーム社，1982，ｐ.331），頤孔の形態から判断すると，いわゆる老人である。また，歯牙においては，智歯が萌出し，しかもその咬耗が象牙質にまで著しく及んでおり，その他の各歯冠尖端部の咬耗も象牙質まで高度に達している。なお，歯牙の咬耗は，各個人の咀嚼状態や食習慣によって著しく左右されるが，「咬耗値による推定年齢算出表」（竹井哲司：歯の咬耗による年齢の推定，日本法医学雑誌，24（１），４－17，1970）によると歯牙の咬耗度及び推定年齢は次の通りである。

歯牙の咬耗度（括弧内は推定の咬耗度）

(D)	D	(D)	D	C	(C)	(C)	(C)	C	(C)	C	(D)	(D)	(D)
7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7
C	C	C	(D)	(C)	(C)	(C)	(C)	(C)	C	(C)	C	D	C

左側	第２大臼歯	D	+3.23	右側	第２大臼歯	D	+6.84
	第１大臼歯	D	+0.49		第１大臼歯	D	+0.50
	第２小臼歯	C	−0.69		第２小臼歯	D	+3.90
	第１小臼歯	C	+0.76		第１小臼歯	D	+2.40
	犬　　歯	C	+0.51		犬　　歯	C	−0.10
	側 切 歯	C	−0.81		側 切 歯	C	−0.57
	内 切 歯	C	−1.72		内 切 歯	C	−0.00

咬耗度数値の合計は＋16.46であり，基本データーの平均年齢45.82歳に加えると，本例の推定年齢は62.28歳である。

○　以上の諸検査の成績を総合して，３号墓［ＳＴ－03］は50～60歳の男性と認める。

４号墓［ＳＴ－04］の歯冠部は下顎のもののみ12個であるが，性別判定に参考となる特徴を認めない。一方，下顎においては永久歯の歯列が完成されているが，各歯冠尖端部に咬耗を全く認めなく，下顎の右第２小臼歯が永久歯としては少し大きく同第１乳臼歯の可能性を否定できない。なお，「咬耗値による推定年齢算出表」（竹井哲司：歯の咬耗による年齢の推定，日本法医学雑誌，24（１），４－17，1970）によると歯牙の咬耗度及び推定年齢は次表の通りである。

歯牙の咬耗度（括弧内は推定の咬耗度）

× × × × × × ×	× × × × × × ×
7－6－5－4－3－2－1	1－2－3－4－5－6－7
A A A (A) A A A	A A A A (A) A A

左側	第２大臼歯	A	－3.85	右側	第２大臼歯	A	－4.02
	第１大臼歯	A	－0.48		第１大臼歯	A	＋1.63
	第２小臼歯	A	－0.30		第２小臼歯	A	－3.89
	第１小臼歯	A	＋0.85		第１小臼歯	A	－5.69
	犬　　歯	A	－6.33		犬　　歯	A	－0.59
	側 切 歯	A	－2.81		側 切 歯	A	＋1.48
	内 切 歯	A	－3.20		内 切 歯	A	－1.20

咬耗度数値の合計は－28.40であり，基本データーの平均年齢45.82歳に加えると，本例の推定年齢は17.42歳である。

○　以上の諸検査の成績を総合して，４号墓［ＳＴ－04］は，年齢は，12～18歳であり，性別は不明である。

第３項　火葬の有無

１号墓［ＳＴ－01］と３号墓［ＳＴ－03］の資料の内には，灰白色であり外観上は火葬骨を示唆するものも少数ある。しかし，各資料を実体顕微鏡で検査したところ，骨の海綿質，緻密質，骨小梁などの微細構造が灰白色の骨の全般に亙って完全に保たれており，それらの微細な間隙に土砂の浸入を認める。また，その他の資料に比べて，灰白色の資料は数倍重く，また，硬度

も硬い。

高温によって火葬することにより，骨は完全に灰化されて灰白色になる。その場合に，骨はもろくなり，骨の微細構造は特に外表部分において破壊される。従って，

○　灰白色の資料に，火葬は行われていない。また，変色の原因としては，埋葬後における泥水の浸透が推察される。

なお，昔の特異な葬送の慣習として，白骨化した特別な骨のみに処理を施すことが民俗学的に考察されるかも知れない。しかし，本件資料の場合，灰白色の骨片の形態から推測して大小さまざまの骨がその処理の対象となっていて不自然である。

第4項　骨の時代及び死亡原因

何れの資料においても，骨の時代と死亡原因との推測に参考となる所見を認めない。

第5項　その他

鑑定資料の骨は，何れも小さい破片であり，鑑定資料としての限界が著しい。また，歯冠の内には，同一の資料に同じ部位のものが2個あるなど発掘後の資料の混在が示唆された。一般に骨片は淡茶褐色に変色して，もろい状態であるが，発掘現場においては，歯牙及び骨の形態がより完全な状態であったことを否定できない。

今後は発掘現場における専門家の立合検査が望ましいことである。また，当研究室としても，古墳等の発掘調査にできるだけ協力する所存です。

以上をもって**鑑定主文の理由**とする。

この鑑定は昭和61年1月14日から同年3月15日までの間に行ったものである。

昭和61年 3 月20日

〒761-07
香川県木田郡三木町大字池戸1239番地の98

鑑定人
香川医科大学教授（法医学）　　恒成　茂行㊞

第4章　竹道南・山の前北地区の調査

第1節　調査の経過と概要

両調査区については，市道流岡・中田井線を境界として異なる地区名で呼称したが，調査結果より一連の遺跡地であると考えられる。そこで本節に包括して報告したい。

まず，公団の工事用道路設置計画により山の前北地区の西端部(幅10m)の調査に着手した(1985年8月1日)。当該地区については予備調査において数条の溝状遺構の所在が判明していたのみであったが，本調査においては複数の掘立柱建物跡を検出し，新たに居住域としての知見を得たのである。さらに市道流岡・中田井線に接する位置に弥生時代前期と考えられる河道跡が埋没していることを確認した。

次に調査の主体は竹道南地区に移り，現場事務所用地を除く総ての対象地の全面発掘を行った。事務所西側部分においては建物跡にみる生活遺構は全く遺存しておらず，既に検出されている弥生時代前期の河道跡の延長部分とこれにほぼ平行する方向に穿たれた数条の溝状遺構を確認した。

ところで，一の谷遺跡群の調査目的にいわゆる条里遺構の調査がある。これは，吉岡町・古川町を中心とする沖積平野面に認められる方画地割を旧刈田郡において施行されたと考えられる条里制に基づく土地区割の遺構と認識する点をよりどころとしている。したがって本調査において現存する地割に平行あるいは直交する遺構が検出できるならば，条里遺構としての必要条件の一つを充たすと考えていた。とりわけ予備調査により当該地区においては多数の溝状遺構が検出されたために条里遺構の存在が期待されたのであるが，本調査では上記の条件を充たす溝状遺構は検出し得なかった。

また，北半部については全く遺構が存在しておらず，しかも後の調査により検出された遺構の性格が全く異質である点から，竹道南・北地区が一連の遺跡地でないことが判明するのである。

この後，調査の主体は竹道北地区および山の前南地区残部におき，山の前北地区残部の調査を再開したのは1986年2月5日である。山の前北地区の基盤層を形成する土壌が黄褐色粘質土である点については既に終了した西端部の調査により明らかであったが，東方へ掘削を継続するにしたがい，基盤層が深く傾斜する事実を把握した。さらに14ライン以東においては基盤層は明らかに異なる土壌に変化した後に消滅し，最下層である礫混じりの砂層を基盤とすることが判明したのである。そして遺構の大部分が黄褐色粘質土を基盤層とする西半部において検出されたことからこの堆積状況の差異は土地利用の点に多大な影響を及ぼしたことを遺構の存否から推測するに至った。

山の前北地区は3月27日をもって完掘し，これにより昭和60年度の総ての調査を終了した。

一方，竹道南地区の現場事務所用地については昭和61年度4月3日～6月18日に調査を行った

が，西半部において検出した溝状遺構，河道跡に連続すると考えられる遺構などを確認したに止った。そして建物跡に代表される生活遺構が皆無である点から，居住域としては不適当な自然条件を有していることを再認識した。

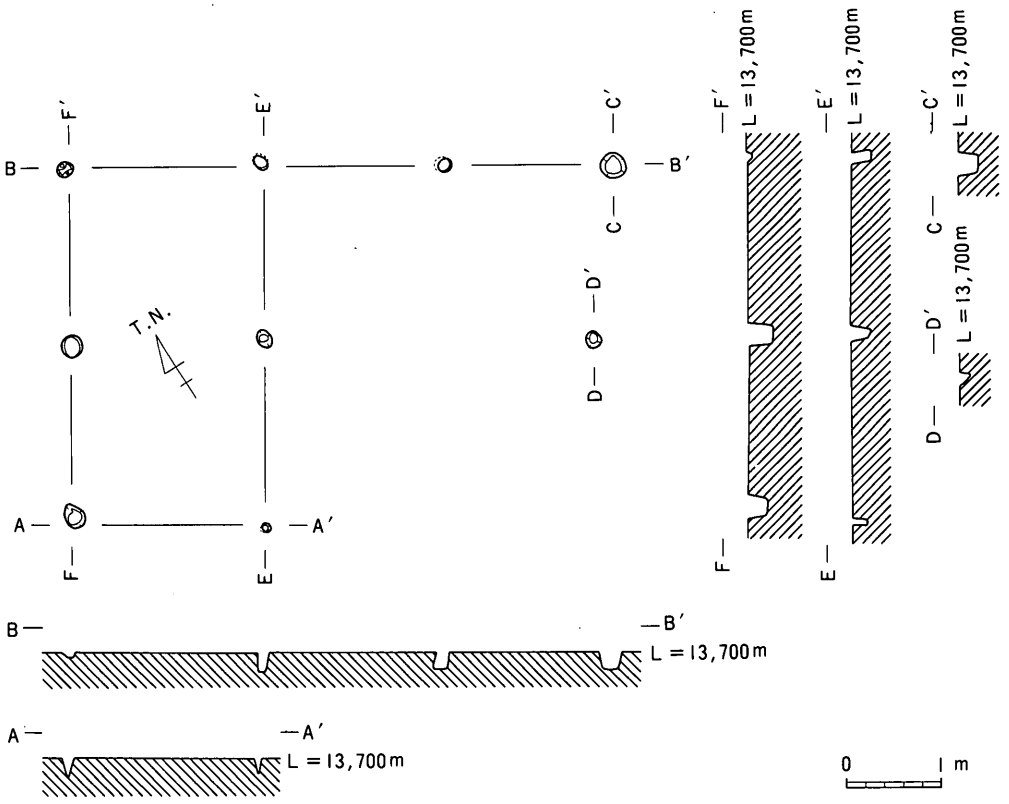
第2節　遺構と遺物

1　掘立柱建物跡

第10表　山の前北地区掘立柱建物跡一覧表

遺構名称	略称	位置	構造		規模		主軸方位	挿図番号
			梁間	桁行	梁間	桁行		
第6号掘立柱建物跡	SB06	ミ11	2間	3間	374	576	N-57°30′-W	第473図
第7号掘立柱建物跡	SB07	マ12	2間	2間	376	420	N-63°30′-W	第474図
第16号掘立柱建物跡	SB16	ム10	2間	3間	464	562	N-60°30′-W	第475図
第17号掘立柱建物跡	SB17	マ12	1間	1間	340	393	N-25°30′-E	第476図
第18号掘立柱建物跡	SB18	マ14	2間	4間	298	598	N-61°-W	第477図
第19号掘立柱建物跡	SB19	マ13	2間	3間	478	622	N-29°-E	第478図

規模：単位cm



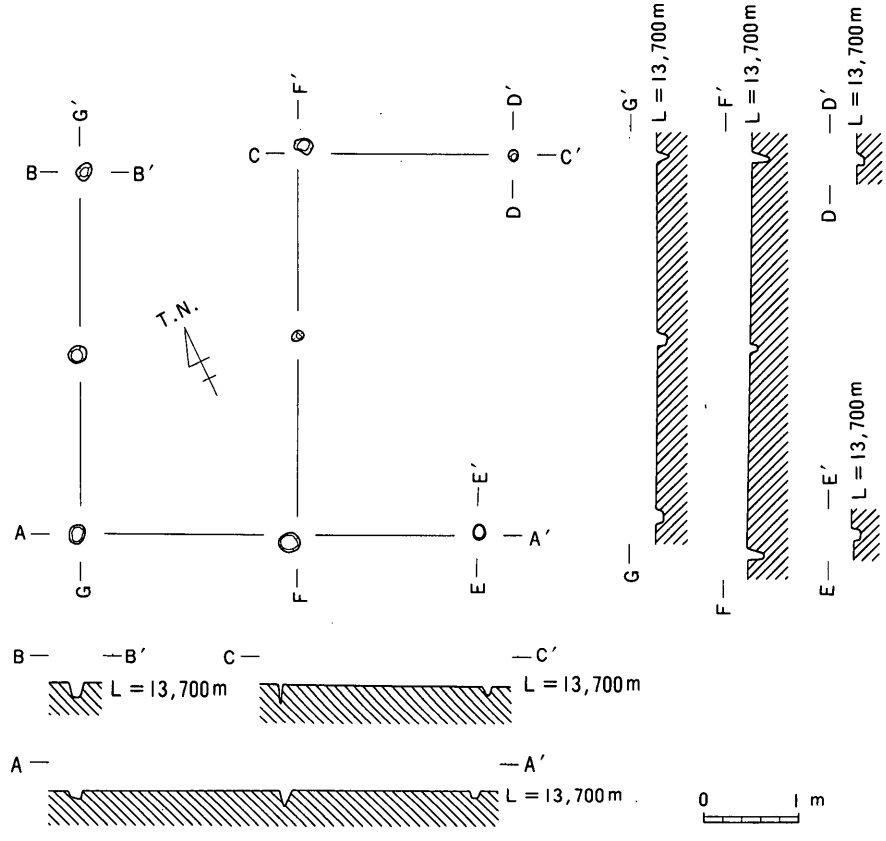
第473図　第6号掘立柱建物跡実測図

（1）第6号掘立柱建物跡（SB06）（第473図）

ミ11区北半部に所在しており，南壁面の2基の柱穴を失っているものの梁間2間（374cm），桁行3間（576cm）の構造であることが判る。また，内部構造については西壁面から桁行1間幅の空間が家屋の本体から独立している。したがって庇状の施設あるいは複数の部屋を有していたことが推測できる。

（2）第7号掘立柱建物跡（SB07）（第474図）

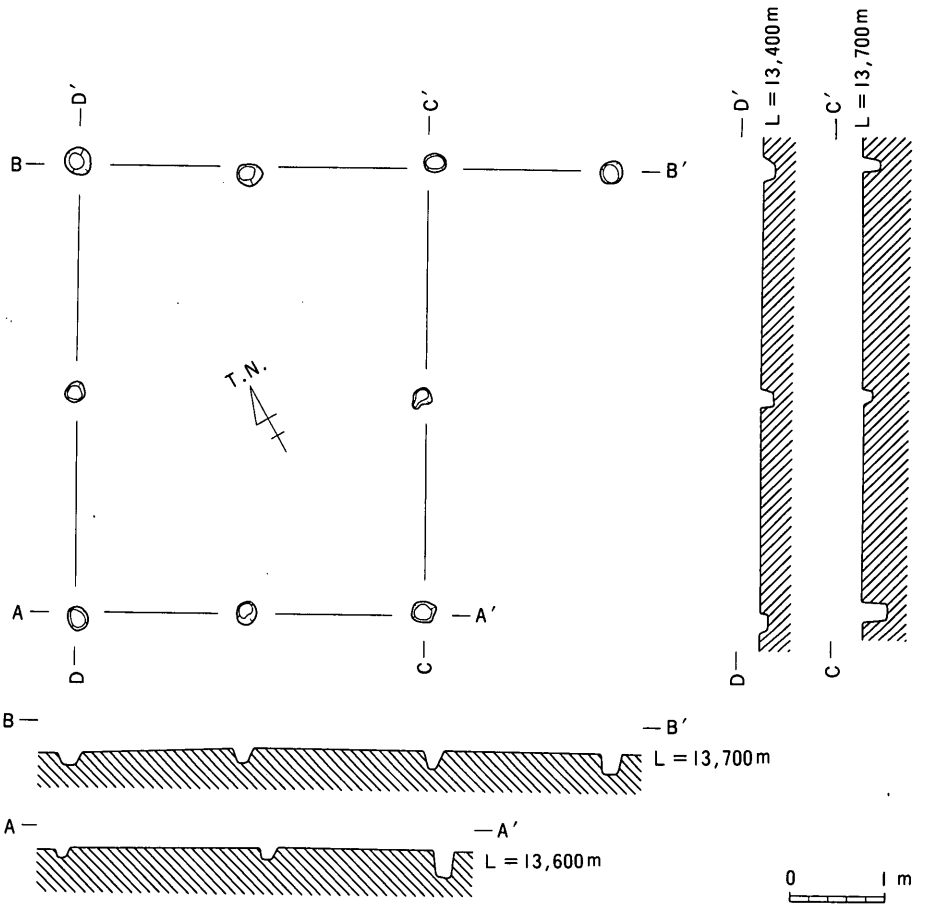
マ12区西半部において検出した。北・東壁面部の柱穴の配置が不規則であるが，梁間2間（376cm），桁行2間（420cm）の規模である。しかも床面中央部に柱穴1基を伴うことから高床の構造を有していたことが考えられる。



第474図　第7号掘立柱建物跡実測図

（3）第16号掘立柱建物跡（SB16）（第475図）

ム10区において検出した。東壁面部については現用水路下および調査対象地区外に埋没しているために判然としないが，現状では梁間2間（464cm），桁行3間（562cm）の構造を有している。ただし，東壁面から桁行1間幅の空間については独立した部屋，あるいは庇状の遺構が設けられていたことが考えられる。



第475図　第16号掘立柱建物跡実測図

（4）第17号掘立柱建物跡（ＳＢ17）（第476図）

マ12区中央部に所在しており，ＳＢ07との直線距離が1.2mである。梁間１間(340cm)，桁行１間（393cm）の構造を有するが，柱数に比して柱間距離が長い点が特徴である。

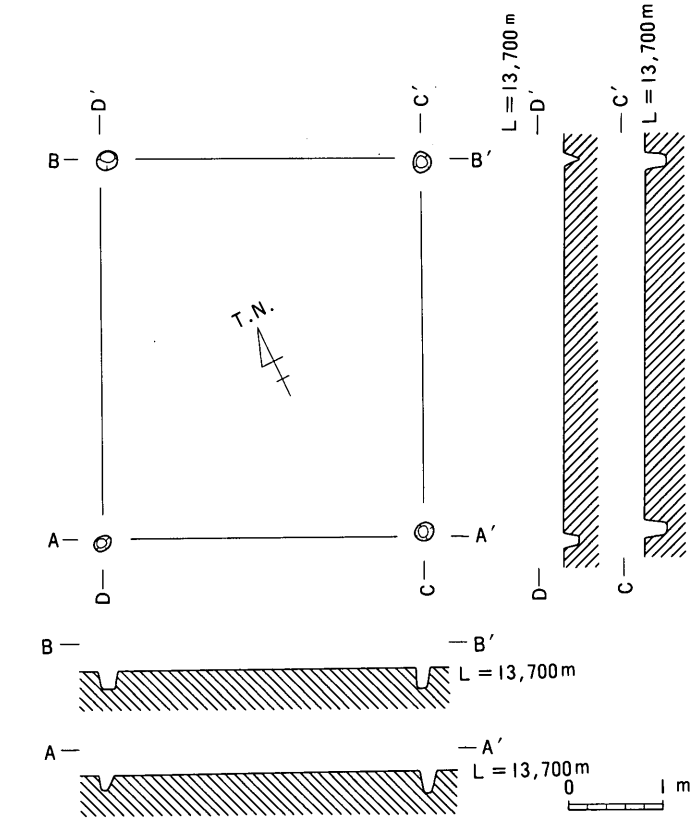
ところで，建物の主軸方位はＳＢ07のそれに合致しており，しかも両者の北壁面の位置が同一ライン上に連続して構築されている事実から並存していたことが考えられる。

（5）第18号掘立柱建物跡（ＳＢ18）（第477図）

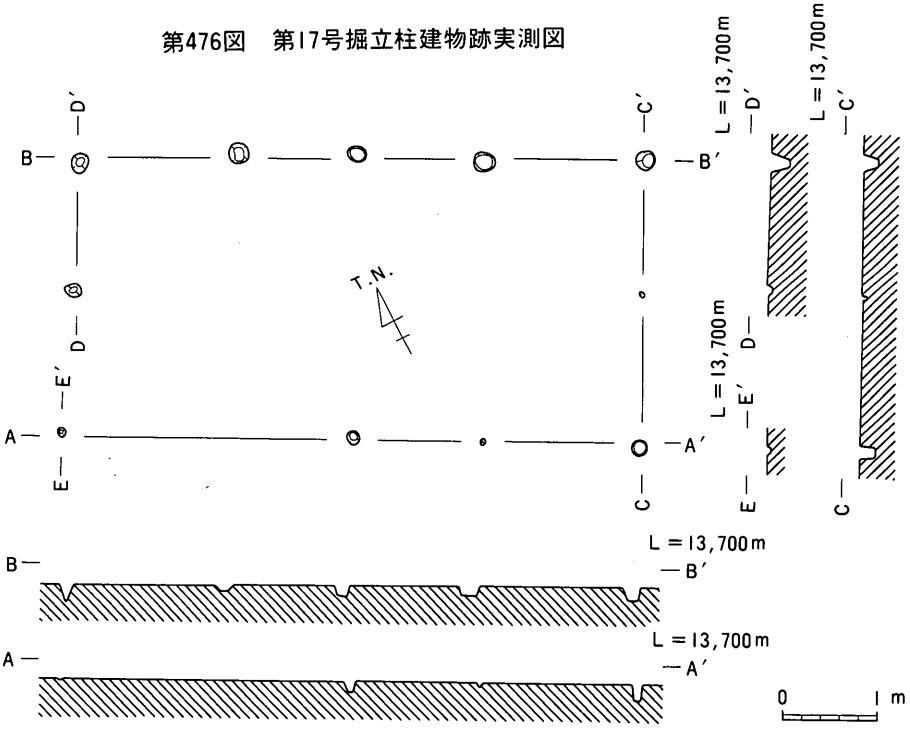
マ14区南半部に所在しており，ＳＢ21・22の東方118 cmに位置する。構造及び規模は梁間２間（298cm），桁行４間（598cm）である。ところで，北・南壁面の柱間距離は両端部に比して中央部が短い規模であることから，出入口の施設の存在，あるいは間仕切りを目的とした壁面の構築による内部空間の使途の分化の様相などが推測できる。

（6）第19号掘立柱建物跡（ＳＢ19）（第478図）

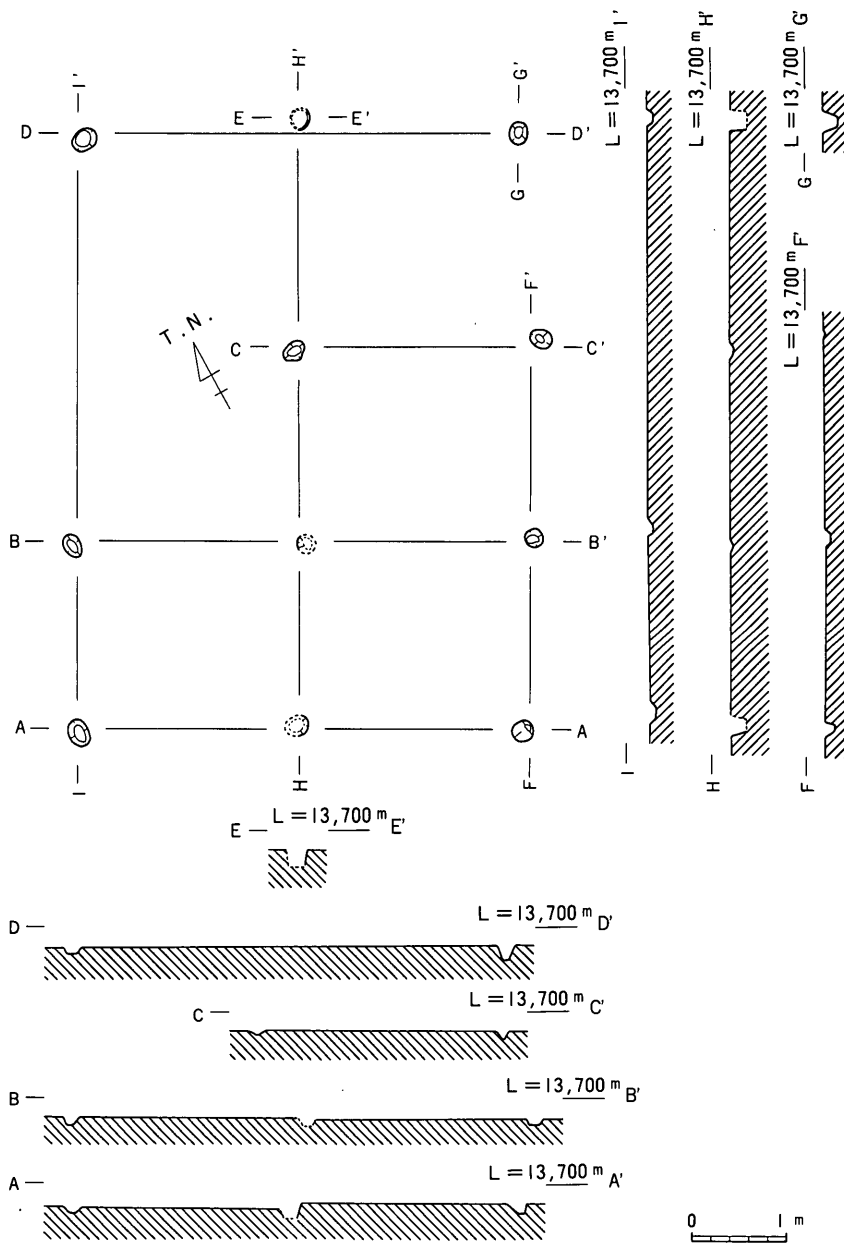
マ13区において検出した梁行２間（478cm），桁行３間（622cm）の規模を有する遺構である。いわゆる総柱の構造であることから高床の形態が考えられよう。



第476図　第17号掘立柱建物跡実測図



第477図　第18号掘立柱建物跡実測図



第478図　第19号掘立柱建物跡実測図

2　土　坑

まず山の前北地区において総数38基の土坑状の遺構（ＳＫ14～41，44～53）を検出した。ここであえて土坑状と呼称したのは，埋没状態の確認時において明確な平面形態を見出すことが困難であるのみならず，埋土と基盤土壌の識別に難渋したことから，人為的な構築遺構としての性格を有しないことが考えられるためである。あるいは自然の営力によって生じた凹地状の地形である可能性を示唆したい。

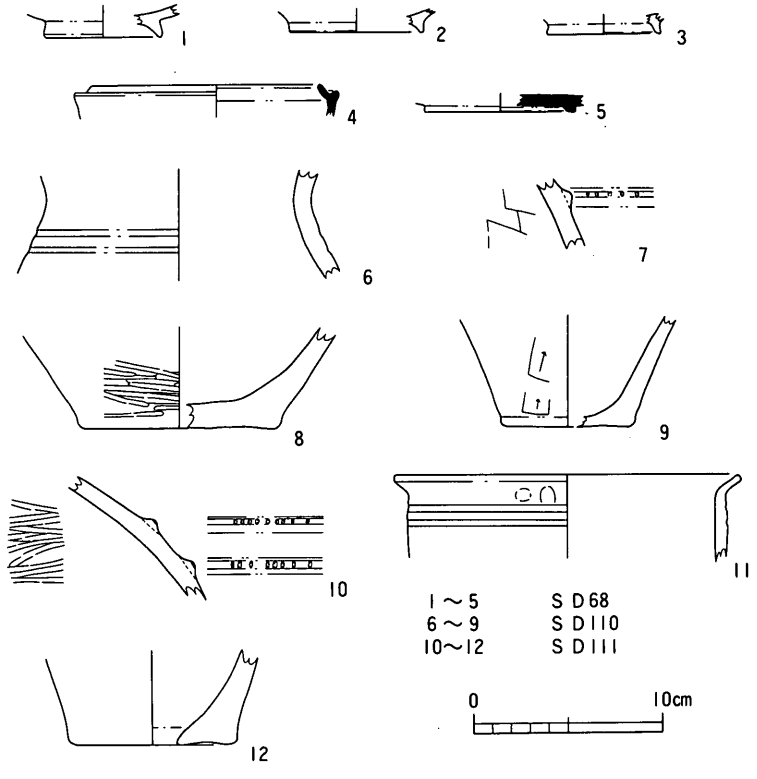
なお本遺構中，第224号土坑（ＳＫ26）が最大規模を有しており，長径440cm，短径312cm，深さ60cmを測ることができる。

また竹道南地区フ14区において隅丸長方形の平面形態を呈する墓様の遺構（ＳＫ66）を調査したが，性格を決定する資料は入手することができなかった。検出した規模は長軸長176cm，最大幅123cm，深さ28cmを測る。

なお山の前北地区マ14区北西隅部において２基の土坑（第240，241号土坑）を検出しているが，これらについては近世以降に構築された可能性が高いことから詳細なデータを残していない。

3　溝状遺構

竹道南地区東半部において検出した北北東から南南西方向の流路を呈する遺構（ＳＤ68，69，73～75）と東西方向の流路（ＳＤ70～72，76～78）については，直線的に穿たれている点から当時の土地区画に合致した生活遺構であることが考えられる。しかしながら，その他の遺構は規則的に掘削されていない事実により自然流路として形成されたと考えることが妥当であろう。しかも大部分の遺構が同一の方向性を呈するうえに複合した状態により埋没していたことから，長期間にわたって当該地域が流路化するに適した形状であったがために埋積が漸次的であったことが推測できる。



第479図　竹道南地区溝状遺構伴出遺物実測図(1)

（1）竹道南地区溝状遺構伴出遺物について

①第94号溝状遺構伴出遺物について

1．土器（第479図1～3）

1～3は短い高台部を有する椀形の資料である。いずれも高台末端部が外方向へ開く形態であるが，3についてのみ端部を平面化する。

2．須恵器（第479図4，5）

杯身（4）のかえし部は短く内傾する形態であることから陶邑第2型式第6段階の遺物に類する。

5は低い高台を有する器形である。

②第136号溝状遺構伴出遺物について（第479図6～9）

壺形土器

6は小片であるが，ラッパ状に広く開口する口縁部形態が考えられる。7は上胴部の一部である。

③第137号溝状遺構伴出遺物について

1．土器（第479図10～12）

壺形土器

10は肩部の資料である。

甕形土器

11の口縁部は外反する形態である。

甑形土器

12は単孔式の器形であるが焼成後に穿孔されたことが判る。

2．石器（第481図5）

小型の柱状片刃石斧が1点出土している。既に基部を失っているために着柄部の形状が判然としない。

④第135号溝状遺構伴出遺物について

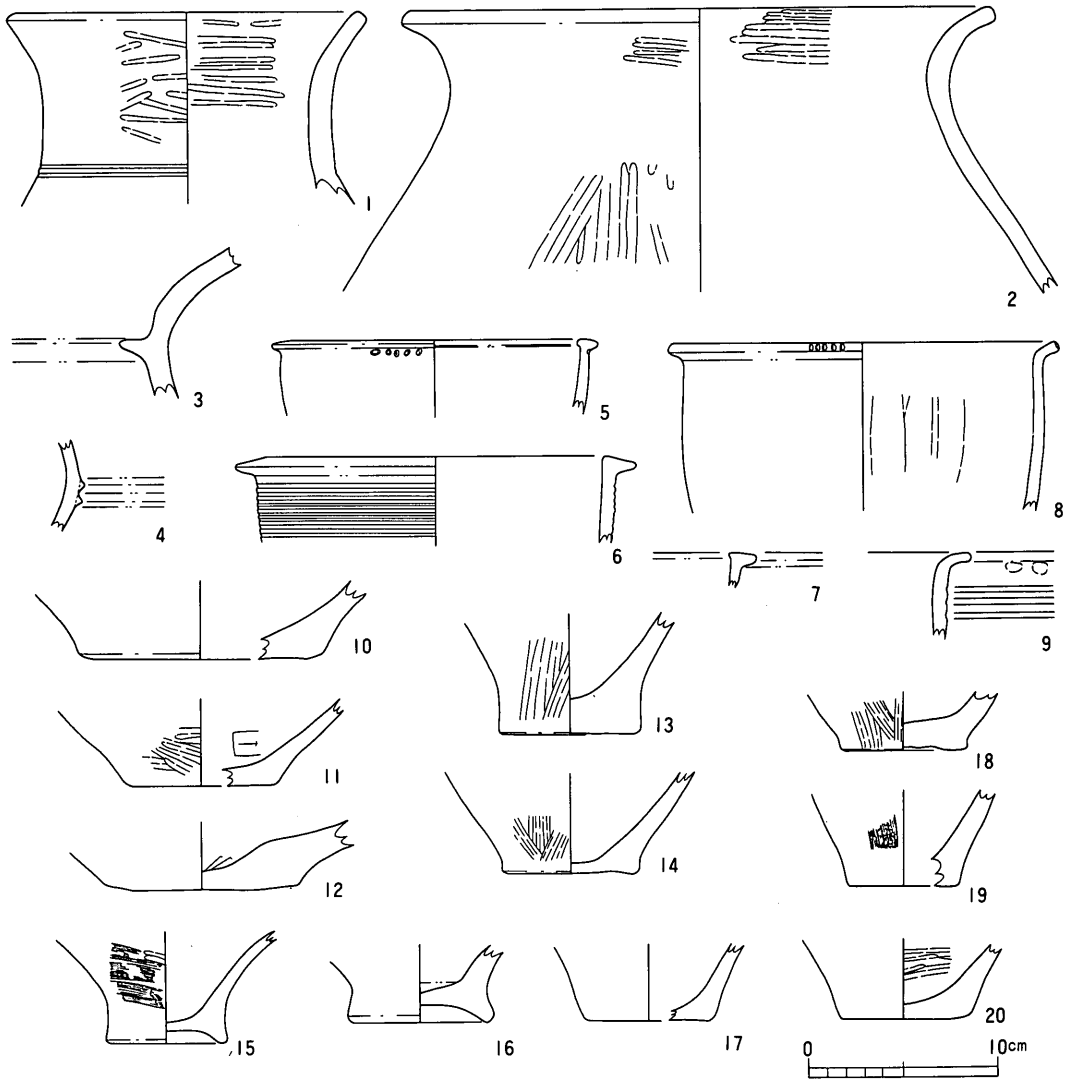
1．土器（第480図）

壺形土器

1は頸部から口縁部にかけて直立気味に外反する器形である。2は大型品であり，口縁部が短かく外湾する。3の口縁部内面には水平方向に突帯が貼付される。底部（15，16）は脚台状を呈する資料である。

甕形土器

5～7は逆L字形に屈曲する口縁部を有しており，特に5については内部方向へも突出した形態を示す。8，9の口縁部は外湾する形態である。



第480図　竹道南地区溝状遺構伴出遺物実測図(2)

2．石器（第481図1，2）

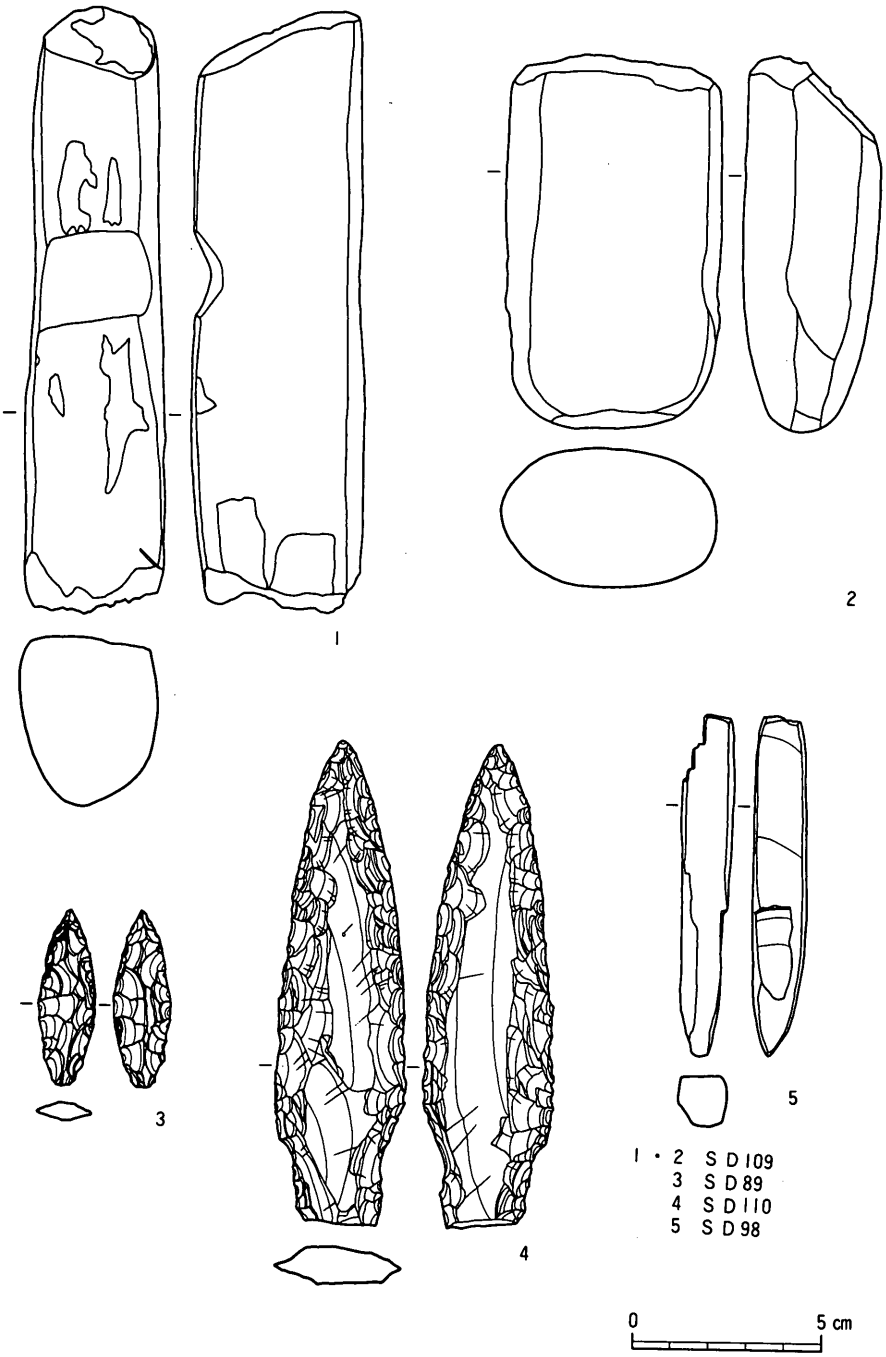
1は大型の抉入柱状石斧の基部である。特に抉部の全周が紐掛けにより，著しく摩耗していることが判る。2については蛤刃の形態の磨製石斧の刃部であることが考えられるが，既に使用による摩耗の状態が著しいために鋭利さを失っている。

⑤第115号溝状遺構伴出遺物について（第481図3）

本資料は小型の石槍に分類することができると考えている。柳葉形の形態を呈しており，両面に細かい調整剝離の痕跡をみることができる。

⑥第136号溝状遺構伴出遺物について（第481図4）

基部を失っているものの，全長12.8cmを測る大型の石槍である。着柄を容易にすることを目的として茎部が造出されている。



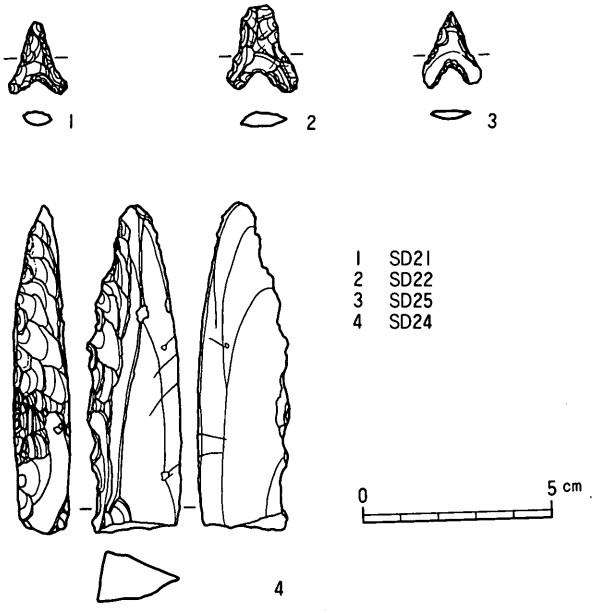
第481図　竹道南地区溝状遺構伴出石器実測図

⑦第50号溝状遺構伴出遺物について（第482図４）

横長剝片を素材としたナイフ形石器が１点出土しているが，土器片を伴うことから後世に混入したことは明らかである。

4　河道跡

①遺構について



第482図　山の前北地区溝状遺構伴出石器実測図

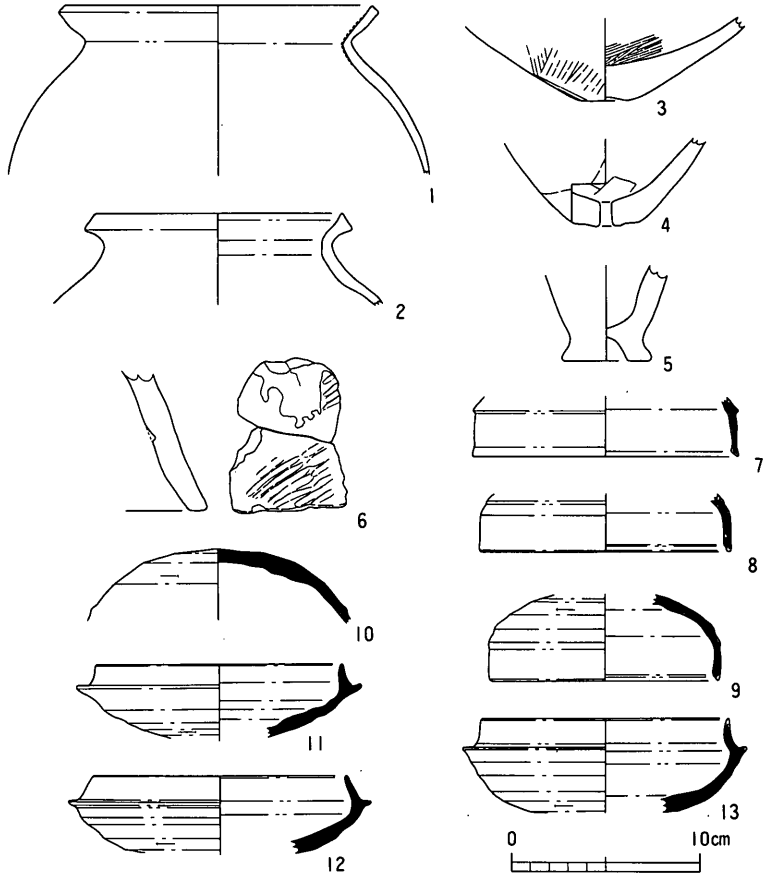
竹道南地区において最大幅488cm，最深部63cmを測る河道跡（ＳＸ16）を検出した。その流路方向は前記の自然流路と考えられる複数の溝状遺構の方向性に完全に合致している。

②伴出遺物について

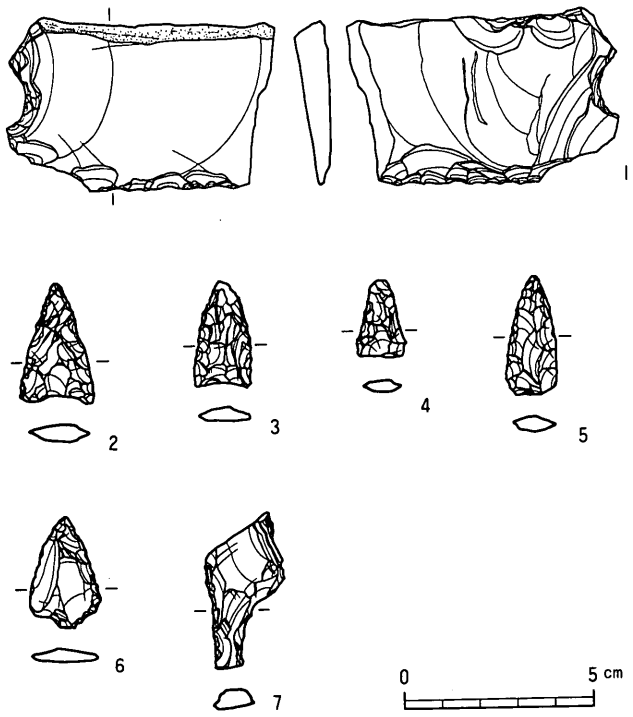
１．土器（第483図１～５）

甕形土器

１はく字形に外反する口縁部を有する器形である。２の口縁部は緩く外反する形態であり，端部を横位にナデることにより上下に肥厚する。５の底部は上げ底の脚台状を呈する。



第483図　竹道南地区河道跡（ＳＸ16）伴出遺物実測図



第484図　竹道南地区河道跡(ＳＸ16)伴出石器実測図

甑形土器

4は不完全な平底を有する単孔式の器形である。

2．土製品（第483図6）

支脚形土製品と考えられる資料が1点あるが，原形は全く不明である。

3．須恵器（第483図7～13）

蓋杯

7は肩部と端部の変化点が外方向へ突出するために鋭い稜線が形成される。また端部はほぼ直立する形態であり，末端部を肥厚して凹面化する。以上の特徴は豊中町宮山窯址出土の杯蓋に酷似すると考えられる。8・9の端部は直立あるいはやや内傾する形態であり，端面を造出する。さらに肩部と端部の変化点は意図的に鈍い稜線を形成する。これらは7に比すると新しい様相であろう。11～13は内傾するかえし部を有するが，前2者については先端部のみを直立させる。いずれも口径に比して器高が低いために浅い器形であり，陶邑第2型式第5段階の遺物に類すると考えている。

4．石器（第484図）

1は端部に抉りを有する形態の石庖丁である。背部については調整が施されていないために自然面が残る。

石鏃（2～5）が茎部を有しない形態であるのに対して，6は有茎式の形態である。また前者のグループについては凹基式（2，3）と平基式（4，5）に大別することができる。

石錐（7）が1点出土している。

5　ピット群

上部構造を伴っていたことが考えられる遺構は検出できなかったが，フ14・15区およびホ14区において集中して穿たれている状態が確認できた。

6　包含層出土の遺物

（1）旧石器時代の遺物（第485図）

基盤層の掘削中に出土したナイフ形石器が1点ある。本資料は横長剝片を素材としており，先端部を欠損している。

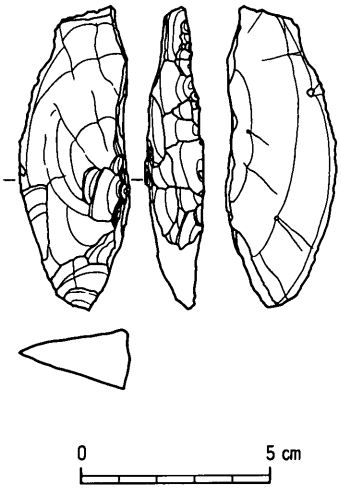
（2）縄文時代の遺物

①土器（第487図1）

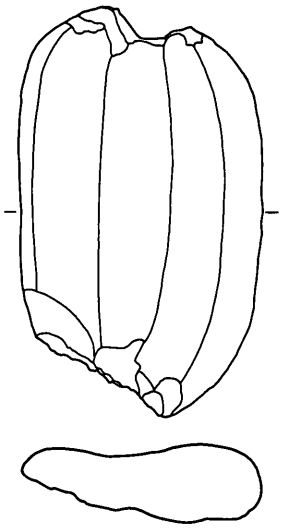
外面に細かい縄目の痕跡を観察することができる。

②石器（第486図）

マ14区において自然流路と考えられる凹地形のトレンチ調査を行った際に，礫石錘が1点出土している。扁平な自然石の長軸方向の両端部を打ち欠くことにより，紐掛りが造出される。



第485図　ナイフ形石器実測図



第486図　礫石錘実測図

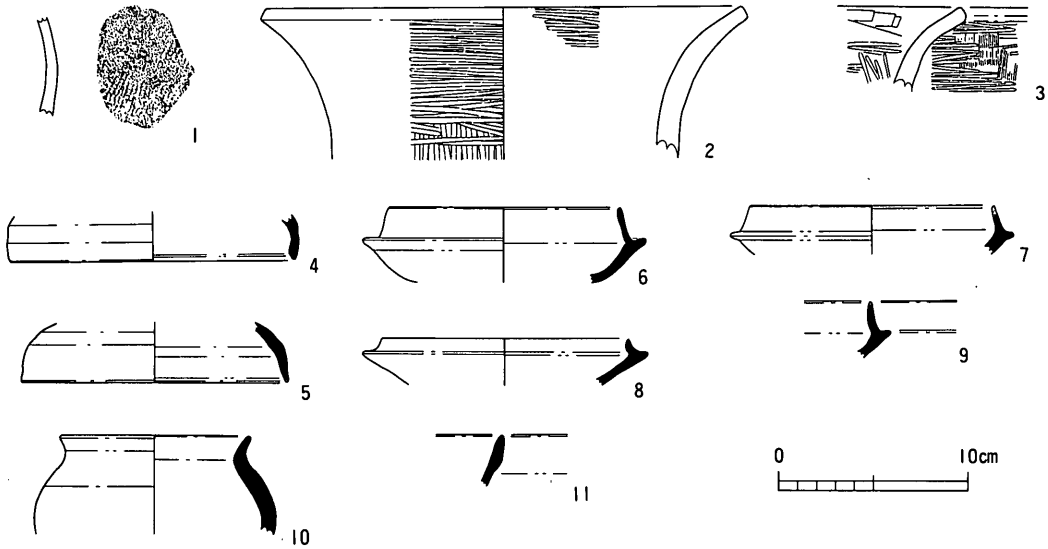
（3）弥生時代の遺物（第487図2，3）

壺形土器の口縁部が2点ある。いずれもラッパ状に開口する形態であり，小規模な端面を有する。また内外面については，ヘラ磨き調整により平滑に仕上げられている。

（4）古墳時代の遺物（第487図4～11，488図）

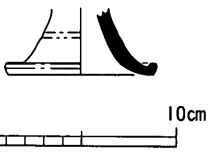
蓋杯

杯蓋（4）は肩部が張る形態であるために，端部がほぼ直立する。したがって原形は半球形の器形が想定できる。5は肩部に稜線が形成される。6，7，9はかえし部が直立気味に立ち上がる形態の杯身である。8についてはかえし部が既に機能を失っており，形骸化していることが判



第487図　竹道南地区包含層出土遺物実測図

る。しかも容量が小さいことから蓋として用いられたことも考えられよう。



第488図　山の前北地区包含層出土遺物実測図

壺

10は短頸壺に分類し得る資料であり，口縁部が緩く外反する。また胴部は球体状を呈する。

鉢

11は鉢形の器形が復元できる。口縁部が肥厚した形態である点が特徴である。

高杯

第488図の脚端部は上方に屈曲する。

第5章　山の前南地区の調査

第1節　調査の経過と概要

調査区西端部において工事用道路の計画部分（幅10m）について先行して調査を開始した（1985年7月12日）。予備調査によって既に遺構が稀少である事実を把握しており，本調査においてもわずかに掘立柱建物跡3棟と溝状遺構5条を検出するに止った。西端部の調査は8月7日に終了するが，残部については調査が一時中断し，主体が他地区に移った。そして1986年1月6日より再度調査を実施した。しかしながら，西端部の調査において検出した溝状遺構の延長部分以外には新たに2条の溝状遺構を確認したのみであり，遺構密度は極めて稀薄であった。

特筆すべき出土遺物としてはヨ8区の基盤層を形成する黄灰色粘質土に包蔵されていたナイフ形石器がある。この遺物の出土により基盤層の形成年代を推測する手掛かりが得られたのみならず，遺跡地内の洪積層の直上面あるいは遺跡地の東南部に展開する洪積台地上に旧石器時代の遺跡が所在する可能性を示唆したのである。

調査終了は2月12日である。

第2節　遺構と遺物

1　掘立柱建物跡

第11表　山の前南地区掘立柱建物跡一覧表

遺構名称	略称	位置	構造		規模		主軸方位	挿図番号
			梁間	桁行	梁間	桁行		
第3号掘立柱建物跡	SB03	ヨ4	2間	2間	164	296	N-62°30′-W	第489図
第4号掘立柱建物跡	SB04	ユ5	1間	3間	394	812	N-64°-W	第490，491図
第5号掘立柱建物跡	SB05	ユ5・6	1間	3間	328	520	N-26°30′-E	第492図

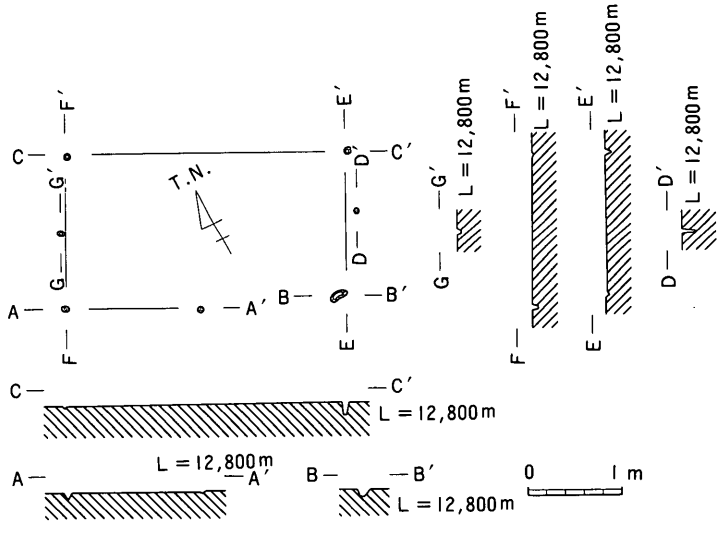
規模：単位cm

（1）第3号掘立柱建物跡（SB03）（第489図）

ヨ4区南端部において検出した。SD06，07が埋没した後，その上位に構築されている。

基本構造は梁間2間（164cm），桁行2間（296cm）であるが，北壁面についてのみ中央部に柱を有しない。また，南・東・西壁面中央部の柱穴の位置が不規則である点については，壁面を構成しない可能性が考えられる。

本遺構は復元される床面積が4.9m²と小規模であることから恒常的な居住遺構とは考えられない。

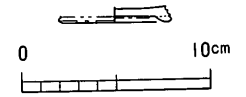


第489図　第3号掘立柱建物跡実測図

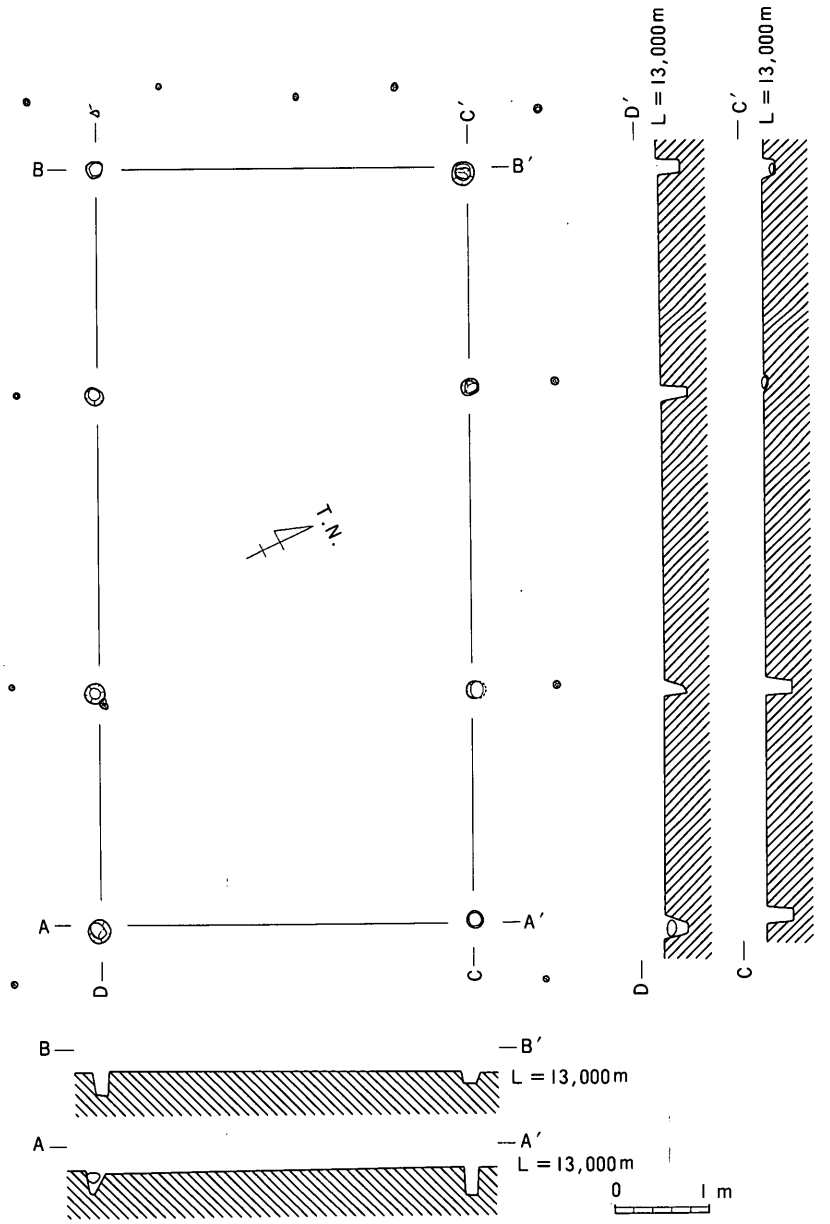
（2）第4号掘立柱建物跡（SB04）（第490，491図）

ユ5区南端部に位置する。梁間1間（394cm），桁行3間（812cm）の構造であり，全壁面に庇状の遺構を伴っている。同遺構の柱穴規模は，総て小型であることから補助的に上部構造を支えていたことが考えられる。

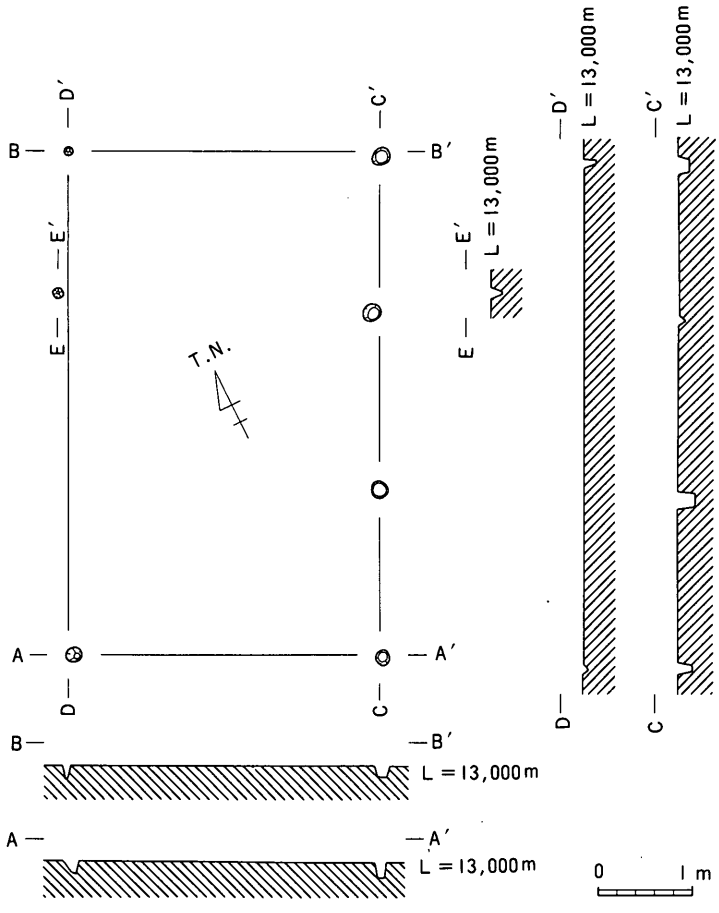
3基の柱穴内部に根石が遺存する。



第491図　第4号掘立柱建物跡伴出遺物実測図



第490図　第4号掘立柱建物跡実測図



第492図　第5号掘立柱建物跡実測図

（3）第5号掘立柱建物跡（SB05）（第492図）

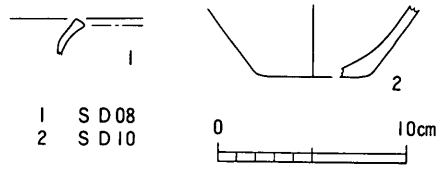
SB04に近接して構築されており，両者の間隔は1.6mを測る。

構造は，梁間1間（328cm），桁行3間（520cm）であるが，西壁面において柱穴1基が未検出である。

ところで，本遺構とSB04については建物の方向性に共通点が認められることと相互の位置関係の点において共存していたことが推測できる。

2　溝状遺構

直線的な方向性を有する第38，40号溝状遺構（SD12，14）除いて，他は総て自然流路と考えられる遺構（SD06～11，13）である。なお，埋土中より遺物を採取することができたのは第34，36号溝状遺構に限定されており，他については遺構の掘削および埋没の時期を示唆する資料を入手するに至らなかった。



第493図　山の前南地区溝状遺構伴出遺物実測図

（1）第34号溝状遺構伴出遺物について（第493図1）

甕形土器の口縁部が1点出土している。口縁端部に横位のナデ調整を施すことにより，端面を形成する。

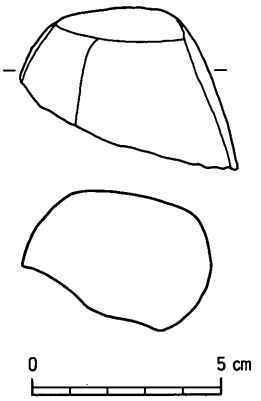
（2）第36号溝状遺構伴出遺物について（第493図2）

甕形土器の底部と考えられる資料であり，平底の形態を呈する。

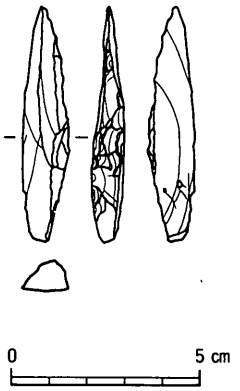
3　ピット群

小規模なピット群を検出したが，これらは規則的に穿たれておらず，散在する状態を示すことから構造物を伴わない遺構であることが推測できる。

このうち1基の内部から第494図の磨製石斧の基部が1点出土しており，蛤刃を有する太型の形態が復元できる。



第494図　磨製石斧実測図



第495図　ナイフ形石器実測図

4　包含層出土の遺物（第495図）

基盤層である黄灰色粘質土層の上位から，縦長剝片を素材としたナイフ形石器が1点出土している。全長6.2cm，主要剝離面の最大幅1.2cmを測る小型の資料であり，石材の表面は既に著しく風化している。

なお本資料の出土により，当該地区の基盤層の形成年代の上限が旧石器時代まで溯ることが判明したが，ユニットの検出には至らなかったことから本遺跡地は生産遺跡ではなく，消費遺跡であると考えるべきであろう。

第6章　おわりに

最後に一の谷遺跡群の歴史的な位置について考察するとともに，集落の変遷を詳にすることによりまとめにかえる。

第1節　一の谷遺跡群の位置

1　弥生時代前期において――特に生業の問題について――

日本における稲作の開始時期の問題については，考古学関係者のみならず多くの一般人が関心を寄せるところであるが，北部九州および畿内の一部を除く日本列島の本州以南の大部分の地域において，弥生時代にその初源をみることができることが定説化して既に長い時間が経過している。すなわち本遺跡平塚地区において採取することができた石庖丁が総て弥生時代に製作，使用されている事実により，当該地域においても同時代に稲作が行われていた点については疑う余地がないと考え得るのである。

ところが，従前より弥生時代すなわち稲作という図式を繰り返し強調したがために，当時の生産活動（生業）についても農耕を唯一無二とする錯覚に陥った人々を多くみることができる。そこで本調査において上記の図式が明らかに誤りであることを指摘する資料を入手することができたことから，以下に紹介することにより，当時の生業の実態をかいまみることを試みてみようと考えている。

さて生業の問題は道具とその使用対象物を欠いては論議することが難しい。そこでこの条件を充たす資料として平塚地区において検出した第8，38号土坑に注目したい。これらは弥生時代前期後半頃に食物残滓を廃棄することを目的として構築されたことが瞭然であり，埋土の水洗選別作業を行うことにより，動物の微細な歯牙と骨を採取することができた。したがって上記の条件のうちの後者が充たされたのである。採取された動物遺体については種の同定作業を経て第2章第8節の結果が得られたが，当時の人々が他動物を捕獲し，食用に供していた事実が一部判明したのである。

一方，道具については遺跡全体より出土した石鏃が総数384点を数えるばかりでなく，石槍の使用をも明らかにされている点から，依然狩猟活動が盛行している状況を想像することが難しくないと考えている。しかしながら本調査においては弥生時代の漁撈用具を見出すには至っていないため，魚類については他所からの搬入という手段を考慮しておかなければならないであろう。

次に磨石と石皿を採取すると同時に，竪穴住居の内部に炭化物と灰を保管していた事実を確認している。すなわちこれらの石器は，堅果物あるいは植物の地下茎の製粉用の道具として用いられていた資料である。また灰については製粉後の食物の加工（アク抜き）段階において不可欠な物質であることが証明されており(註59)，普段に貯えることからその使用頻度の高さを知ることができよう。

さてここに示した生産活動については，総て縄文時代にそれらの初源をみることができることから，弥生時代の食生活の内容が前時代との間において，決して隔絶していないことが判る。しかしながら，磨石，石皿など植物質食料の調理に用いられた道具類が減少の過程にある点については本遺跡においても判然としており，コメを食することを主とし，堅果物などは保存食に代表される非日常食料として，従的存在の位置付けが始まったことが推測できるのである。(註60)

ところが，狩猟，漁撈活動については，依然縄文時代における実態に異なるものではない点を指摘できると考えている。

以上の考察より弥生時代においては，縄文時代から継承した生業形態から外来系の生業形態である稲作への移行は必至ではなく，とりわけ食生活にみる保守的な側面においては前代の技術を継承する事例を多くみることができるのである。したがって私たちは，弥生時代の生業についての検討を行う過程において，当時の人々が縄文時代以来の伝統を一様に棄却するとともに，新たに大陸系の習慣の選択に至ったと考えることは性急であり，事実誤認の危険を伴うことを改めて認識することができるのである。

2　弥生時代終末期から古墳時代初期において——特に生産力の問題について——

本遺跡においては，弥生時代に製作された金属製品は銅鏡以外には全く出土していない。とりわけ鉄製品が皆無であるのに対して，依然生産用具としての石器を相当量使用していた事実により，従前からの弥生時代後期頃が石製利器から鉄製利器への移行期に比定されるとする見解は容易に受容できない可能性を暗示していることが考えられる。

そこで本遺跡に並行する時期において，善通寺平野に営まれた稲木遺跡（C地区）と彼ノ宗遺跡を比較資料として用いることにより，当該時期の一の谷遺跡群の内在的な生産力の評価を行ってみたい。まず稲木遺跡（C地区）は扇状地形の扇端部を占地しており，1984年の四国横断自動車道建設に伴う事前調査により，竪穴住居跡，集石墓，遺物包含層から鉄製品が出土したことが報告されている。(註61)なかでも「打ちグワ」と呼称される鉄製鍬先は香川県下に例を多くみない資料であり，当時の革命的な農耕具であると考えられている。また彼ノ宗遺跡についても扇状地形の扇端部に営まれた集落跡であることが判っており，西辺部を現弘田川が廻流する位置にある。やはり1984年に実施された発掘調査の結果，複数の鉄製品が出土している。(註62)すなわち弥生時代終末期頃に善通寺平野に展開した集落においては鉄製品が普遍的に利用されていたことが推測できよう。もちろん観音寺平野においては一の谷遺跡群周辺の同時期の集落跡の調査事例が少ないために，同一の条件下において比較することは困難であると考えられることから，上記の点については憶測の域を出ないことをあらかじめ断っておく必要があろう。

ところで，以前に筆者は鉄製品の使用と有機的な関連を有する事象として地形と土壌について示唆したことがある。(註63)それは鉄の要求が，耕作の対象を軟質から硬質な土壌へ変化させたことに起因したと考えるべきであるとする見解である。すなわち善通寺平野の遺跡群は扇状地上に展開

する以上，集落の構築と耕地の拡大のためには鉄製利器が絶対不可欠な道具であることが考えられる。ところが，一の谷遺跡群においては集落を沖積平野内の微高地形を占地して営んでおり，堅牢な土壌の掘削を避けていることが判る。したがって本遺跡内における集落の営造と耕地の拡大に際しては，鉄製利器を必要とするに至らなかったと考えることができるであろう。

さて鉄製品を所持しないことは自ずと農耕による生産力の向上を計ることが難しいことを示唆していると考えることはできないであろうか。そこで以下には本項の主眼である遺跡の有する内在的な農耕生産力を評価する。

そこでこの課題を解決するためには，本遺跡が有していた総ての生産手段による個々の出来高を加算することにより，数量化することが常套手段であると考えられるが，具体的な数値を掲げることが不可能であるために，ここでは後出する古墳（特に前期古墳）の営造力を傍証資料として用いることにしたい。無論，古墳の出現時期と本集落の盛行時期が隔絶しているために，直接の因果関係を求めることは難しいのが現実である。しかしながら古墳の営造力の蓄積が既に当該時期に始まっていることはあながち否定できないと考えている。

筆者が記述するまでもなく，古墳は被葬者が有していた権力と支配力のモニュメントであるばかりではなく，その営造に関与した地域の生産力の象徴としての性格を内在していると理解されている。そこで現観音寺市域において確認されている前期古墳を網羅してみたいが，現状において発生期の古墳は存在しておらず，鹿隈鑵子塚古墳を唯一前期古墳としてあげることができるのである。また一の谷遺跡群の近隣においては５世紀中葉頃の青塚古墳をみることができるが，当該地域に、本集落の盛行および廃絶時期に連続して営まれた前期古墳を見出すことができないのみならず，周辺地域に墳丘を有する大型の埋葬遺構が出現するのは集落の廃絶後１世紀余が経過して後のことである。すなわち集落の盛行当時においては大型の埋葬遺構を営むに至る余剰生産力を有していなかったことが推測できるのである。そこでこの要因として，本集落に居住していた人々が鉄製品を求めなかった事実を再度強調しておきたい。

第２節　集落の変遷

以下に各時代別の集落の変遷を検討する。

（１）旧石器時代

平塚，竹道南，山の前南地区において基盤層の掘削時に舟底形石器とナイフ形石器が出土したことから，本遺跡地内の洪積層の表層に同時期の遺跡が営まれていたことを想像することは困難なことではないと考えている。さらに山の前北地区の溝状遺構よりナイフ形石器を採取したことから，周辺地域においても同時期の遺跡が所在する可能性が示唆されている。

（２）縄文時代

本遺跡において無住の期間が継続しているが，竹道北，南地区において各々縄文土器と礫石錘が出土したことから，人間活動が完全に停滞している状態は想定できない。ただし同時代の遺構

を検出することはできなかった。

したがって弥生時代以前の本遺跡地については利用頻度が極めて低いことが判る。

（3）弥生時代

本遺跡の主体を構成する時期に相当しており，前期後半頃の平塚地区において初めて集落の萌芽が認められる。とりわけ竪穴住居跡2基に対して，夥しい数の土坑が穿たれる点が特徴であるが，その性格を判然とすることができたものは少数に留まっている。なお，当時の集落は小規模であり，居住遺構の複合体としての集落が形成されるまでには，同時代終末期を待たなければならない。

ところで，同時期に平塚地区をはじめ竹道北，南地区において小規模な埋積谷の埋没が開始している状態が認められており，遺跡地が平坦地化する過程が判る。その結果，居住することが可能な土地の面積が拡大したことが事実である。

ところが上記の集落の廃絶後は，終末期の集落が営まれるまでの期間に顕著な人間活動の痕跡を残していない。わずかに大型土坑（ＳＸ328）が後期前半頃に構築されたことが判るに留まる。したがって前期の集落の廃絶の契機と継続しない要因を判然とする手掛りは得られていない。

弥生時代終末期の集落は，前期の集落とは隔絶した位置に営まれていたことが判る。しかも前期のそれが微高地形の縁辺部を占地するのに対して，終末期からはより高位置に移動していることが瞭然である。さらに集落規模が圧倒的に拡大するとともに，微高地全体を居住地化するに至っている。

なお，集落を形成する竪穴住居跡は総数29基が検出されているが，これらの先後関係については，第6号竪穴住居跡が最も先行して構築されたことが判り，他は古墳時代初期に至るまで機能を継続したことが推測できるのである。

また居住域と隔絶した位置に壺形土器を転用した土器棺墓2基が構築されている。

（4）古墳時代

竹道北・南地区を中心としていわゆる初期須恵器と呼称される5世紀頃に製作された須恵器が散布している。しかしながら，当時の明確な遺構を見出すには至っておらず，しかもこれらの資料の多くが河道跡および溝状遺構内に埋没していた事実より，高位置から水流により運搬されたことが考えられる。

古墳時代前，中期頃の本遺跡地は再び無住の地と化している。

さて古墳時代後期（6世紀後半頃）の平塚地区において特殊な遺構が営まれている。それは第1，2号溝状遺構である。本文中に記述したとおり，同遺構については堀様の防御施設の性格を与えることが可能であることから，コ字形に区画された内部に特殊な施設が存在していたことが推測できるが，併存していた遺構を検出することはできなかった。

本遺構の廃絶後，奈良時代から平安時代中葉頃に至るまでの期間の土地利用の実態を知ること

は不可能であり，全くの空白時期と言える。

（5）平安時代

竹道北地区に掘立柱建物による集落が出現しており，建物跡についてはその方向性により3時期に大別することが可能であると考えている。さらに香門，山の前北・南地区において検出された掘立柱建物跡についてもほぼ同時期に構築されたことが想定できるのではなかろうか（ただし第18号掘立柱建物跡を除く）。

鎌倉時代から江戸時代前期に至る期間について，考古学的研究方法を用いるならば，やはり空白時期と考えざるを得ない。

（6）江戸時代

18世紀に平塚地区の一部が民家の敷地として利用されている。しかも近代に作成された地籍図にこの建物を認めることができることから，江戸時代中期以降近代に至るまでの期間は民家が存在していたことが判る。したがって本調査区が完全に耕地と化したのは明治時代以降現代に至るまでの約1世紀中のことであったことが追跡できる。

同時代の様相を他の調査区において知ることは極めて難しいが，竹道北地区において土坑墓4基，山の前北地区において掘立柱建物跡1基と土坑2基を検出している。

（7）空白時期の問題

集落の変遷を概観することにより，特に奈良時代以降の本遺跡に資料が遺存していない長い空白時期が存在することが判明する。無論，これは考古資料のみを手掛りにしているために生じる問題点であり，文献資料によれば，この空白を埋めることが可能になることは十分考えられよう。とりわけ本調査が旧刈田郡の条里遺構の調査を第一の目的としていた以上，空白時期として簡単に処理することは怠慢であるとの誹りを被ることを覚悟しなければならないであろう。

註

1．片桐孝浩「樋ノ口遺跡」『香川県埋蔵文化財調査年報　昭和59～62年度』　1988

2．香川県立観音寺第一高等学校地歴部「母神山古墳群と石の経遺跡」『地歴の窓』第4号　1968

3．観音寺市市長公室秘書課「横断道関連事業に伴う埋蔵文化財発掘調査」『公報観音寺』　1986

4．観音寺市市長公室秘書課　1986

5．岩橋孝「観音寺市村黒遺跡採集の土器」『瀬戸内海歴史民俗資料館だより』第15号　1983

6．観音寺市市長公室秘書課　1986

7．石鏃の分類方法については鈴木道之助氏の意見に従った。鈴木道之助「石鏃」『縄文文化の研究』第7巻　1983

8．以前，筆者は弥生時代の甕形土器と鉢形土器の底面に穿孔を有する資料を甑として認定する見解については賛否両論がある事実について報告したことがある（真鍋昌宏・西岡達哉他『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第六冊　稲木遺跡』 1989)。基本的な姿勢は当時と異ならないことから,本稿においても底面に穿孔を有する遺物については単孔式(1個の穿孔）あるいは多孔式（複数の穿孔）の甑形土器と呼称するものとする。

9．渡辺誠氏により精力的な調査，研究が行われている。渡辺誠『縄文時代の植物食』　1975

10．例えば石野博信氏は弥生時代中期の近畿地方にみられる炉跡の両端部に2基の小穴を有する竪穴住居跡について，北部九州地方から移住した人々が居住していたことを示唆している。石野博信「移住した人々の住居」『同志社大学考古学シリーズII　考古学と移住・移動』　1985

11．大山真充他『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報（VII）　下川津遺跡・岡宮古墳・聖通寺城跡』　1986

12．埋葬遺構より出土する不完全な人工遺物については，埋納時において意図的に破壊されたことが考えられる。

13．薦田耕作「乾遺跡」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第一冊』 1987

14．薦田耕作「上一坊遺跡」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第一冊』 1987

15．渡部明夫「永井遺跡」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第九冊』 1990　に掲載される予定である。

16．渡部明夫・真鍋昌宏『高松城東ノ丸跡発掘調査報告書』　1987

17．真鍋昌宏他『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報』昭和63年度　1989

18．観音寺市『観音寺市誌』通史編　1985　p315

19．日野尚志「讃岐国刈田郡における官道（南海道）と条里・郷との関連について」『東北地理』第28巻2号　1976

20．京極家編纂『西讃府志』(『復刻讃岐叢書　増補西讃府志』　1973　藤田書店）p523～525

21. 註19に同じ

22. 藤澤良祐「本業焼の研究(1)」『瀬戸市歴史民俗資料館研究紀要Ⅵ』 1987 p209～211によれば，腰錆の第4型式から第5型式に相当すると考えられ，時期は18世紀末から19世紀初頭頃に比定されている。また，仲野泰裕「浅間山の大噴火（天明三年）に伴う泥流層下の瀬戸美濃陶器」『愛知県陶磁資料館研究紀要5』 1986 p60～62によれば，B－2またはB－3群に相当すると考えられ，時期もほぼ上記藤澤編年と同じ頃と考えられる。

23. 大橋康二『南川原窯ノ辻窯・広瀬向窯—肥前地区古窯跡調査報告書第3集—』 1986 p27～31によれば，青磁染付B類は18世紀第Ⅳ四半期から19世紀初頭頃に比定されている。

24. 大橋康二『南川原窯ノ辻窯・広瀬向窯—肥前地区古窯跡調査報告書第3集—』 1986 p27～31によれば，青磁染付A－3類も18世紀第Ⅳ四半期から19世紀初頭頃に比定されている。

25. 大橋康二『南川原窯ノ辻窯・広瀬向窯—肥前地区古窯跡調査報告書第3集—』 1986 p27～31によれば，青磁染付A－1類も18世紀中葉頃から19世紀初頭頃に比定されている。

26. 註23に同じ

27. 註23に同じ

28. 註22に同じ

29. 註23に同じ

30. 註23に同じ

31. 愛媛県の砥部焼については，現在は磁器を中心に焼成しているものの，その前身は陶器窯であったことが知られている。現在，砥部町において操業している梅山窯付属の資料館において，展示されている陶器の中に，同様の技法を持つものがならべられている。

17世紀後半～18世紀にかけて焼かれた北川毛窯の製品の中に377に酷似した陶器片が紹介されていた。今後，磁器だけでなく陶器についても出土品の産地推定のうえで砥部焼に関心を払っていくことが必要となってこよう。

32. 愛媛県埋蔵文化財調査センター『愛媛県総合運動公園（動物園）整備計画埋蔵文化財調査報告書（II）』 1984 p14・19に見られる第9図大下田1号窯跡ステ場の遺物2の9の遺物は、本遺跡包含層出土の404遺物に酷似している。

33. 広島県埋蔵文化財調査センター『敷名番所跡伝承地発掘調査報告書』 1987 p3・12・15～18によれば，広島県鞆町において幕末から昭和13年にかけて，鞆焼と呼ばれる備前焼系の陶器が焼かれていたことが知られている。

34. 高槻城跡遺跡調査会『高槻城三ノ丸跡発掘調査概要報告』 1987 p13・40によれば，堺環濠都市集落において，備前焼系の陶器が焼かれていたことが記されている。

35. 徳島県の大谷焼については，正式な発掘調査が行われていないものの，地元窯元が所有している遺物の中には，大谷焼初期の磁器片などとともに大谷焼陶器に押されていたと考えられる

“本備前”の刻印もあり，大谷焼陶器を当時のブランドであった備前焼に似せて焼き，販売していたことが知られている。(資料所有者並びに教示者は，大谷焼元山窯の田村功氏である。記して感謝する。)

36. 本報告において，紹介する公正図の使用にあたっては観音寺市教育委員会中野幸四郎氏・小山利幸氏並びに同市矢野道夫氏，同市税務課固定資産係に御教示・御尽力頂いた。記して感謝する。

37. 『地理』Vol.25 No.4 古今書院 1980 においては，地籍図についての特集が組まれ地理学においても高い関心をはらわれるようになってきており，明治初年の地租改正などの近代史の成果とともに，これら明治年間につくられた地籍図の利用についても，近世考古学を対象にしていく場合不可欠の要素となってこよう。

38. 吉田靖編『日本の美術 No.60 民家』 1971 p31～34 によれば，この山田家住宅は18世紀後半以降のものと考えられ，にがりを柱穴内に入れることによって腐食を防いだとされている。

39. 宮澤智士「近世民家の地域的特色」『講座日本技術の社会史 7 建築』 1983 p164～169において，神奈川県伊藤家住宅の他，秋田県鈴木家住宅・岩手県旧後藤家住宅・京都府渡辺家住宅などの近世民家の前身建物について報告がされている。

また，奈良国立文化財研究所『日本における近世民家(農家)の系統的発展』 1985 p111 において，伊藤家住宅の前身建物について取り扱われている。

40. 田中文男「新田村における付合い慣行の形成過程—下総国布鎌新田の場合—」『普請研究』第三号 1983 p28～30

41. 田中文男「新田村における付合い慣行の形成過程—下総国布鎌新田の場合—」『普請研究』第三号 1983 p31～32

なお，近世民家の研究成果や『普請帳研究』の存在・資料の入手にあたっては，財団法人四国民家博物館の桂真幸氏に大変お世話になった。記して感謝する。

42. 森正康氏（松山東雲短期大学）の御教示による。記して感謝する。

43. 近世村落研究会編『近世村落自治史料集第二輯土佐国地方史料』 1956 p579～582

44. 本稿脱稿後，『香川県史 4 近世II』において，川野正雄氏が同書「衣服・住居よりみた農民の生活」において，香川県における近世民家の様子を史料を用いて紹介されている。以下，参考のため抜粋することにする。

p396 「御巡見一見記録」(鎌田共済会郷土資料館)

天保9年(1826)	東讃・長尾西村	掘立て式	242戸／410戸中
	鴨部村	掘立て式	209戸／317戸中
	西讃・宇多津村	掘立て式	44戸／866戸中
	西讃・岡田西村	掘立て式	206戸／261戸中

慶応2年（1866）　鵜足郡下法軍寺村　掘立て式　46戸／175戸中

また，同氏は，同書p397～398においては，江戸時代前期の検地帳から，当時の農山漁村の屋敷地の広さについて，小豆島（天領）の例を示している。興味深い史料である。参考にされたい。

45. 太田博太郎「民家調査の現状」『現代のエスプリNo.221—民家・日本人の住居の知恵—』　1985　p78

46. 註14に同じ　p179・180

47. 石野博信「掘立柱建物の調査」『古代学研究』　92　1980

48. 東京都東大和市『旧宮鍋作造住宅解体調査報告書』　1987

49. 玉井哲雄「近世における住居と社会」『日本の社会史　第8巻—生活感覚と社会—』　1987　p130～133

50. 註27に同じ

51. 註27に同じ

52. 宮澤智士「近世民家の地域的特色」『講座日本技術の社会史7　建築』　1983　p156において，宮澤は「これら（近世民家）は，柱筋が一直線に通ることもまれで，正確な直角もでておらず，平面はひどく歪んでいる」と指摘している。今後，考古学的調査によって検出した柱穴群をどのように認識して掘立柱建物として完結させていくかが大きな課題となってこよう。

また，近世掘立柱建物の集積とその評価についても，伊藤博幸『西光田遺跡』（『岩手県水沢市文化財報告書第5集』　1981　や高橋與右衛門「岩手県に於ける中・近世の掘立柱建物—遺跡紹介を中心として—」などで積極的に行われようとしている。ただ，そこにおいてもかなり歪な掘立柱建物を想定しており，全国的な近世掘立柱建物の集積が期待されるところである。

53. 註20に同じ　p806

54. 中山城山先生原著『標註国譯　全讃史』（『復刻讃岐叢書　国譯全讃史』　1972　藤田書店）　p498

55. 菱屋平七『筑紫紀行』や十返舎一九『金刀比羅参詣膝栗毛』下巻などに記されている。後者は坂出市鎌田共済会郷土資料館に所蔵されており，簡単な風呂甕のイラストが書かれている。

56. 本稿においては，須恵器による時期決定は総て中村浩氏の陶邑古窯跡群出土遺物の編年観に従った。中村浩「第6章和泉陶邑窯出土遺物の時期編年」『陶邑III』　1978

57. 武藤雄六・小林公明他『曽利—第三，四，五次発掘調査報告書—』　1978

58. 松本敏三「香川県出土の古式須恵器—宮山窯址の須恵器—」『瀬戸内海歴史民俗資料館年報』第7号　1982。同「四国地方」『日本陶磁の源流—須恵器出現の謎を探る—』　1984

59. 渡辺誠「採集対象植物の地域性」『季刊考古学』第1号　1982

60. この点については，既に渡辺誠氏により以下の3点にまとめられている。コメの出現により

堅果類は1．主食の座をコメに譲った　2．消滅せず，コメの不足を補う役割を果たすようになった　3．新しい食品形態を形成した。渡辺誠「堅果類」『季刊考古学』第14号　1986

61. 真鍋・西岡他　1989

62. 笹川龍一『彼ノ宗遺跡—弘田川河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告—』　1985

63. 真鍋・西岡他　1989

第12表　竪穴住居跡伴出遺物一覧表(1)

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第190図1	横ナデ。	横ナデ。	鋸歯文。横・斜ナデ。								長石 石英	口縁部1/12存。	SB301
2	摩耗。	横ナデ。	摩耗。								石英	口縁部1/6存。	〃
3	横ナデ。(立上部内面)横ナデ。(立上部外面)横ナデ。一部ヘラ描鋸歯文。	摩耗。	縦ハケ目。								砂粒をほとんど含まない。	口縁部1/16存。	〃
4	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ナデ。				長石 石英	口縁部1/8存。	〃
5	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜指ナデ(指頭痕)。	右上りタタキ目。				石英	口縁部1/3存。	〃
6	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦・横・斜ナデ。	縦・斜ナデ。				長石 石英	口縁部1/10存。	〃
7	摩耗。	摩耗。	摩耗。								少量の長石 石英 雲母	口縁部1/8存。	〃
8								縦・斜ハケ目。	縦・斜ハケ目。		砂粒をほとんど含まない。	底部完存。	〃
9								斜ハケ目。	摩耗。		長石 石英	底部完存。	〃
10								摩耗。	斜ハケ目。		長石 石英	底部完存。	〃
11								斜ヘラ削り。	右上りタタキ目後斜・縦ハケ目。		少量の長石 少量の石英	底部完存。	〃
12								摩耗。	右上りタタキ目。斜板ナデ後横ナデ。		長石 石英	底部完存。	〃
13						斜ナデ。指頭痕。	摩耗。右上りタタキ目後ヲ縦・斜ヘラ削り。	斜ナデ(指頭痕)	摩耗。右上りタタキ目後ヲ縦・斜ヘラ削り。		長石 石英	底部完存。	〃
14								斜ナデ(摩耗)。	斜ナデ(摩耗)。		長石 石英	底部1/2存。	〃
15	横ナデ(摩耗)。	斜ナデ(摩耗)。指頭痕。	右上り・横タタキ目後斜ナデ。			斜ナデ(摩耗)。	右上り・横タタキ目後斜ナデ(摩耗)。	斜ナデ(摩耗)。	右上り・横タタキ目後斜ナデ(摩耗)。		長石 石英	口縁部1/3存。	〃
16	摩耗。	斜ハケ目。	右・左上りタタキ目後斜・横ヘラ削り。			斜ハケ目後斜ヘラ削り。	右・左上りタタキ目後斜・横ヘラ削り。	斜ヘラ削り。	右・左上りタタキ目後斜・横ヘラ削り。		少量の大粒の石英	口縁部1/2存。	〃
17	横ナデ。	斜ハケ目。	縦ハケ目。			斜ハケ目。縦・斜ナデ。	縦・横・斜ハケ目。	縦・斜ナデ。	縦・横・斜ハケ目。		長石細片 石英細片	口縁部1/2存。	〃
18	横ナデ。	横ナデ。	斜ナデ。			横・斜ナデ。	斜ナデ。	横・斜ナデ。	斜ナデ。		長石 石英	口縁部2/3存。	〃
20	横ナデ。	斜ナデ(指頭痕)。	斜ナデ(指頭痕)。					斜ナデ(指頭痕)。	斜ナデ(指頭痕)。		少量の長石 少量の石英	口縁部2/3存。	〃
21	摩耗。	斜ナデ。	横・斜ナデ。					斜ナデ。	横・斜ナデ。		長石 石英	底部1/2存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第190図 22	横ナデ。	横・斜ナデ。	斜板ナデ。					ナデ。	指頭痕。	長石 石英	口縁部1/3存。	SB301
23								横・斜ハケ目。	横タタキ目(摩耗)。	少量の長石 少量の石英	底部1/2存。	〃
第193図 1	摩耗。	摩耗。	斜ハケ目後横ナデ。	摩耗。	右上りタタキ目後斜ハケ目。	斜ヘラ削り。	右上りタタキ目。			少量の石英	口縁部1/6存。	SB302
2								斜・縦ヘラ削り。	斜ヘラ削り。	砂粒をほとんど含まない。	底部完存。	〃
3								摩耗。	摩耗。	砂粒をほとんど含まない。	底部完存。	〃
4								摩耗。	摩耗。	多量の長石 多量の石英	底部1/2存。	〃
5								縦・斜板ナデ。	斜ハケ目。	少量の長石 少量の石英	底部完存。	〃
6	横ナデ。	斜ハケ目後横ナデ。	斜ナデ。			斜ハケ目。	右上りタタキ目。	簾状ハケ目。	右上りタタキ目。	長石 石英	口縁部1/5存。	〃
7	横ナデ。	横・斜ハケ目。	縦・横・斜ナデ。			斜ハケ目。	縦・横・斜ナデ。	斜ハケ目。	縦・横・斜ナデ。	長石 石英	ほぼ完存。	〃
8	横ナデ。	横ナデ。	横タタキ目。			斜ハケ目。	横・右・左上りタタキ目。	斜ハケ目。	横タタキ目。	長石 石英	口縁部3/4存。	〃
9	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	斜指ナデ。	横ナデ。	右上りタタキ目。	砂粒をほとんど含まず精緻。	完存。	〃
10	横ナデ。	縦・横・斜ナデ。	横ナデ。			縦・横・斜ナデ。	縦・横・斜ナデ。	縦・横・斜ナデ。	縦・横・斜ナデ。	長石 石英	口縁部1/2存。	〃
12	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	斜指ナデ。	横ナデ。	右上りタタキ目。	砂粒をほとんど含まず精緻。	完存。	〃
13	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。	左上りタタキ目。斜ハケ目。			石英	口縁部1/4存。	〃
14								摩耗。	摩耗。右・左上りタタキ目後斜ナデ。	長石 石英	底部完存。	〃
15								摩耗。	摩耗。	砂粒をほとんど含まない。	底部完存。	〃
第195図								斜ヘラ削り。	摩耗(縦ハケ目痕跡)。	長石 多量の石英	底部1/2存。	SB303
第201図	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目後縦ヘラミガキ。	左上りタタキ目後斜ナデ。斜ヘラ削り。			長石 石英	口縁部1/2存。	SB305
第205図 1	摩耗。凹線3条。	摩耗。	横ナデ。							砂粒をほとんど含まない。	口縁部1/5存。	SB306
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							大粒の長石 石英	口縁部2/13存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第206図3	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			縦指ナデ。	縦ハケ目後横ナデ。			少量の長石少量の石英	口縁部1/4存。	SB306
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦・斜ハケ目。					石英	口縁部2/7存。	〃
5	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	斜ハケ目。			石英	口縁部1/14存。	〃
6	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石石英	口縁部1/8存。	〃
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。斜ハケ目。	縦・斜ハケ目。	斜板ナデ。斜ハケ目。	縦・斜ハケ目。	砂粒をほとんど含まない。	口縁部1/8存。	〃
8	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石石英	口縁部1/12存。	〃
9						縦板ナデ後横ナデ。	縦ヘラミガキ（摩耗）。	斜ナデ。	縦ヘラミガキ。	長石石英	底部ほぼ完存。	〃
10								摩耗。	縦・斜ハケ目。	長石石英	底部4/5存。	〃
11								斜ナデ。	斜板ナデ。	長石石英	底部1/2存。	〃
12								摩耗。	摩耗。	少量の長石少量の石英	底部完存。	〃
13	摩耗。	摩耗。	縦・横・斜ナデ（摩耗）。			斜板ナデ。	縦・横・斜ナデ（摩耗）。	斜板ナデ。	摩耗。	長石石英	口縁部1/2存。	〃
第208図1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。半裁竹管文。竹管文。							長石石英	口縁部1/8存。	SB307
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ナデ。			長石石英	口縁部1/6存。	〃
3		横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ナデ。			長石石英	口縁部1/10存。	〃
4	横ナデ。	斜ハケ目後横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目後斜ナデ。	斜ハケ目後斜ナデ。	斜ハケ目後斜ナデ。	斜ヘラ削り後斜ナデ。	長石石英	口縁部1/2存。	〃
5		摩耗。	摩耗。					摩耗。	右上りタタキ目。摩耗。	長石石英	底部完存。	〃
6	摩耗。	斜ハケ目。	摩耗。			斜ハケ目。	摩耗。	縦・斜ハケ目。	斜ヘラ削り。	長石石英	口縁部5/8存。	〃
第211図1		横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。					長石大粒の石英	口縁部1/3存。	SB308
2	摩耗。	摩耗。	摩耗。			斜ヘラ削り後斜・縦ナデ（指頭痕）。	右上りタタキ目。			長石石英	口縁部1/4存。	〃
3	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石石英	口縁部1/2存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第211図4						摩耗。斜ハケ目。	右・左上りタタキ目。	斜ハケ目。	横・右・左上りタタキ目。	長石大粒の石英	底部完存。	SB308
5						斜指ナデ(指頭痕。摩耗。)	左上りタタキ目(摩耗)。	摩耗。	摩耗。	長石石英	底部完存。	〃
6								摩耗。	摩耗。斜ヘラ削り。	多量の長石多量の石英	底部完存。	〃
7								縦・横ナデ(指頭痕)。	摩耗。	長石石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
8						斜ハケ目後縦・横・斜ナデ。	右上りタタキ目。	斜ハケ目後縦・横・斜ナデ。	横タタキ目。	長石石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
9	横ナデ。	斜ハケ目後斜ヘラミガキ。	左上りタタキ目後斜ナデ。			斜ハケ目後斜ヘラミガキ。	右上りタタキ目後斜ナデ。			長石石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	〃
10	横ナデ。	横・斜ハケ目後横・斜ナデ。	横・斜ナデ。			横・斜ハケ目後斜ナデ。	斜ナデ。	横・斜ハケ目後斜ナデ。	左上りタタキ目後斜ナデ。	少量の長石	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
11	横ナデ(摩耗)。	斜ナデ。指頭痕。	斜ナデ(摩耗)。			斜ナデ。指頭痕。	斜ナデ(摩耗)。	斜ナデ。指頭痕。	横・右・左タタキ目後斜ナデ(摩耗)。	長石石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
12	摩耗。	斜ナデ。指頭痕。	斜ナデ。					斜ナデ。指頭痕。	斜ナデ。	少量の長石少量の石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
13	横ナデ。	横・斜ナデ。	斜板ナデ。					斜ハケ目後横・斜指ナデ。	斜板ナデ。指頭痕。	砂粒をほとんど含まない。	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
第212図20						斜ナデ。右上りタタキ目後斜ガキヘラミガキ。	指頭痕。斜ハケ目。	右上りタタキ目後縦・斜ハケ目。	縦ナデ後縦・斜ハケ目。	長石石英	胴部以下ほぼ完存。	〃
21	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ハケ目後斜ナデ。	横ナデ。斜ハケ目後斜ナデ。			長石少量の石英	口縁部$\frac{1}{7}$存。	〃
22	横ナデ。	横ナデ。横・斜ハケ目。	横ナデ。			斜ハケ目後横指ナデ(指頭痕)。	横ナデ。斜ヘラ削り後斜ハケ目。	縦指ナデ。	斜ヘラ削り後斜ハケ目。	少量の長石石英	口縁部$\frac{3}{4}$存。	〃
23	横ナデ。	斜ハケ目。	横・斜ナデ。					斜ナデ。	斜ナデ。	長石石英	口縁部$\frac{3}{8}$存。	〃
第216図1								斜ナデ。	右上りタタキ目(摩耗)。	長石石英	底部完存。	SB309
2						指おさえ(指頭痕)。斜ハケ目(摩耗)。	摩耗。	摩耗。	斜ハケ目。	少量の長石少量の石英	底部$\frac{1}{3}$存。	〃
第217図1		横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目後横ナデ。摩耗。	右上りタタキ目。	摩耗。	右上りタタキ目後斜ハケ目。	長石石英	ほぼ完存。	〃
2						縦・横・斜ナデ。	横ナデ。斜ハケ目。	摩耗。	横タタキ目後斜ハケ目。	少量の長石少量の石英	底部ほぼ完存。	〃
3						横ナデ。	横ナデ。斜ハケ目。	横ナデ。	横ナデ。斜ハケ目。	長石石英	底部$\frac{2}{3}$存。	〃
4						摩耗。	縦・斜ナデ。	摩耗。	縦・斜ナデ。	長石石英	底部完存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第219図1	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石 石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	SB310
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ナデ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	〃
3	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。 斜板ナデ。	摩耗。 右上りタタキ目。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
4	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
5	横ナデ。	横・斜ナデ。	横・斜ナデ。			斜ナデ。	斜ハケ目。	斜ナデ。	斜ヘラ削り。	長石 石英	ほぼ完存。	〃
6	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	斜ヘラミガキか斜板ナデ。	摩耗。	斜ヘラミガキか斜板ナデ。	長石 石英	ほぼ完存。	〃
7	横ナデ。 縦指おさえ。	縦指おさえ。 斜ナデ。	斜ナデ。			縦指おさえ。 斜ナデ。	斜ナデ。	縦指おさえ。 斜ナデ。	斜ナデ。	長石 石英	完存。	〃
8	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	胴部以下ほぼ完存。	〃
9	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	〃
第222図1	横ナデ。	斜ナデ。	斜ナデ。					斜ナデ。	斜ナデ。	長石 石英	底部完存。	SB311
2	横ナデ。	斜ハケ目後縦・斜ヘラミガキ。	斜ハケ目後斜板ナデ。			斜ハケ目後縦・斜ヘラミガキ。	斜ハケ目後斜板ナデ。	斜ハケ目後縦・斜ヘラミガキ。	斜ハケ目後斜板ナデ。	砂粒をほとんど含まない。	底部完存。	〃
第224図2	横ナデ(摩耗)。	斜ハケ目後縦・斜ヘラミガキ。	斜ハケ目後斜板ナデ(摩耗)。			斜ハケ目後縦・斜ヘラミガキ。	斜ハケ目後縦,斜板ナデ(摩耗)。	斜ハケ目後縦・斜ヘラミガキ。	斜ハケ目後斜板ナデ。	少量の長石 少量の石英 少量の雲母	口縁部$\frac{1}{2}$存。	SB312
3	摩耗。	斜ナデ(摩耗)。	斜ナデ(摩耗)。			斜ナデ(摩耗)。	斜ナデ(摩耗)。	斜ナデ(摩耗)。	摩耗。	長石 多量の石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	〃
4	横ナデ。	横ナデ。	縦・横・斜ナデ。			斜板ナデ。	縦・横・斜ナデ。	斜板ナデ。	縦・横・斜ナデ。	少量の石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
5	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
第226図1	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。							長石 石英	口縁部ほぼ完存。	SB313
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ナデ。	横ナデ。					長石	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃
3	横ナデ。 凹線3条。	横ナデ。	横ナデ。							長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃
4	横ナデ。	縦・斜ナデ。	横ナデ。			縦・斜ナデ。	左上りタタキ目後縦ナデ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
5	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			多量の長石 多量の石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第226図6	摩耗。	斜・横ナデ。	横タタキ目後横ナデ。			縦・横・斜ナデ。	横・右上りタタキ目。			長石石英	口縁部1/12存。	SB313
7	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石石英	口縁部1/12存。	〃
8	摩耗。	横ナデ。摩耗。	摩耗。			摩耗。	横ナデ。			長石細片	口縁部1/6存。	〃
9								摩耗。	右上りタタキ目。	長石石英	底部完存。	〃
10	横ナデ。	横・斜ヘラミガキ。	縦ハケ目後横ナデ。			縦・斜ヘラミガキ。	縦ハケ目。縦・横ヘラミガキ。沈線9条。	ナデ。	横ナデ。	長石石英	口縁部1/3存。	〃
11								斜ヘラ削り。	斜ナデ。縦・斜ハケ目。	長石石英	底部完存。	〃
12								斜板ナデ。	斜ナデ。	長石石英	底部ほぼ完存。	〃
13	摩耗。	横ナデ。	斜ハケ目後斜ナデ。			縦・斜ナデ。	右・左上りタタキ目(摩耗)。	縦・斜ナデ。	右・左上りタタキ目(摩耗)。	長石石英	口縁部1/4存。	〃
14	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			摩耗。	斜ハケ目。			長石石英	口縁部1/14存。	〃
15	横ナデ。	斜ナデ。	右上りタタキ目後斜ナデ。			斜ナデ。	右上りタタキ目後斜ナデ。	斜ナデ。	横・右・左上りタタキ目後斜ナデ。	長石石英	ほぼ完存。	〃
16	横ナデ。	斜ナデ。	右上りタタキ目後斜ハケ目。			斜ナデ。	右上りタタキ目。	斜ナデ。	右上りタタキ目。	長石石英	口縁部1/3存。	〃
17	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			縦・斜ハケ目。	指おさえ。	ナデ。	縦板ナデ。	長石石英	口縁部2/3存。	〃
18	横ナデ。	斜ハケ目。	横タタキ目後横ナデ。			斜ハケ目。	横・右上りタタキ目。	斜ハケ目。	横・右上りタタキ目。	長石石英	口縁部1/10存。	〃
19	摩耗。	横・斜ハケ目。	摩耗。					摩耗。	摩耗。	長石石英	口縁部1/2存。	〃
20	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦・横ナデ。	縦・斜ハケ目。	縦・横ナデ。	縦・斜ハケ目。	長石石英	口縁部1/5存。	〃
21	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					横・斜ナデ。	斜ナデ(指頭痕)。	長石石英	口縁部1/2存。	〃
23	横ナデ。	横ナデ。	右上りタタキ目後横ナデ。			横ナデ。	右上りタタキ目,縦ハケ目後横ナデ。			砂粒をほとんど含まない。	口縁部1/6存。	〃
24						斜板ナデ。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石石英	底部完存。	〃
第229図1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り。	斜ハケ目後横ナデ。			砂粒をほとんど含まない。	口縁部1/3存。	SB314
2	摩耗。	横ハケ目後横ナデ。	斜ヘラ削り。			縦・斜ハケ目後斜ナデ。	斜ヘラ削り。	縦・斜ハケ目後斜ナデ。	斜ヘラ削り。	長石石英	口縁部1/8存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第229図3	摩耗。	斜ハケ目後斜ナデ。	右上りタタキ目後斜ナデ。			斜ハケ目後斜ナデ。	右上りタタキ目後斜ナデ。	板原体の痕跡。	右上りタタキ目後斜ナデ。		石英 少量の雲母細片	ほぼ完存。	SB314
4	摩耗。	斜ナデ。	斜ナデ(指頭痕)。					斜ナデ。	斜ナデ(指頭痕)。		長石 石英	底部完存。	〃
第232図1	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横タタキ目。				長石 石英	口縁部1/15存。	SB315
2	横ナデ。	縦・斜ナデ。	斜ハケ目。			縦・斜ナデ。	縦・斜ヘラ削り。	縦・斜ナデ。	縦・斜ヘラ削り。		長石 石英	口縁部1/3存。	〃
第235図1	摩耗。	斜・横ナデ。	横タタキ目後横ナデ。			縦・横・斜ナデ。	横・右上りタタキ目。				長石 石英	口縁部1/12存。	SB316
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り。	斜ナデ。				長石 石英	口縁部1/5存。	〃
3						斜ヘラ削り後斜ハケ目。	斜板ナデ(摩耗)。	斜ヘラ削り。	斜板ナデ(摩耗)。		長石 石英	底部完存。	〃
4								縦・斜板ナデ。	縦・斜ナデ。		長石 石英	底部完存。	〃
5	横ナデ(摩耗)。	横指おさえ(指頭痕)。	縦指ナデ(指頭痕)。					横指おさえ(指頭痕)。	縦指ナデ(指頭痕)。		長石 石英	口縁部1/2存。	〃
6	摩耗。	斜板ナデ。	斜板ナデ。					斜板ナデ。	斜板ナデ後横ナデ。		少量の長石 石英	口縁部1/3存。	〃
7	横ナデ。	斜・横ハケ目後斜ナデ。	縦・横・斜ヘラ削り。								少量の長石	口縁部3/4存。	〃
第237図1	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。				長石 石英 少量の雲母	口縁部1/4存。	SB317
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。				長石 石英	口縁部1/4存。	〃
3	摩耗。	斜板ナデ。	右上りタタキ目後横・縦・斜ナデ。			斜板ナデ。	右上りタタキ目後横・縦・斜ナデ。	斜板ナデ。	右上りタタキ目後横・縦・斜ナデ。		長石 石英	ほぼ完存。	〃
4	横ナデ。	斜ハケ目後斜板ナデ。	右上り・横タタキ目後斜ナデ。			斜ハケ目後斜板ナデ。	右上り・横タタキ目後斜ナデ。	斜ハケ目後斜板ナデ。	右上り・横タタキ目後斜ナデ。		長石 石英	口縁部1/4存。	〃
5	摩耗。	指頭痕。	摩耗。			摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。		長石 石英	ほぼ完存。	〃
6	摩耗。	摩耗。	右上りタタキ目後横ナデ。			摩耗。	右上りタタキ目後縦・横ナデ。				長石微細片 石英微細片	口縁部1/12存。	〃
7	横ナデ。	横ナデ。	右上りタタキ目後横ナデ。			横ナデ。	右上りタタキ目。				長石	口縁部1/6存。	〃
8								縦ハケ目。斜板ナデ。	右上り・横タタキ目。		石英	底部完存。	〃
9								斜板ナデ。	右上りタタキ目。		長石微細片 石英微細片	底部完存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第237図10	横ナデ。	縦・斜ハケ目後横・斜ナデ。	横・斜ナデ(摩耗)。			縦・斜ハケ目後斜ナデ(摩耗)。	斜ナデ(摩耗)。	縦・斜ハケ目後斜ナデ(摩耗)。	斜ナデ(摩耗)。		少石 少英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	SB317
11	横ナデ。	縦・横・斜ナデ。	横・斜ナデ。	縦・横・斜ナデ。	横・斜ナデ。	縦・横・斜ナデ。斜ハケ目。	横・斜ナデ。	斜ナデ。	横・斜ナデ。		長石	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
12	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。								長石 石英	口縁部ほぼ完存。	〃
第240図1	横ナデ。	横ナデ。斜ハケ目。	横ナデ。斜ハケ目。	斜ハケ目。	斜ハケ目後横ナデ。	斜ヘラ削り。斜ハケ目。	斜ハケ目。	斜ハケ目(摩耗)。	右上り・横タタキ目後斜ハケ目。		長石	口縁部完存。	SB318
2	横ナデ。	横ハケ目。	縦ハケ目。	横ハケ目(摩耗)。	縦ハケ目後横ナデ。						長石 石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
3		横ナデ。	横ナデ。沈線5条	縦指ナデ。	縦ハケ目後横ナデ。						砂粒をほとんど含まない。	頸部$\frac{1}{4}$存。	〃
4	横ナデ。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。								長石 石英	口縁部小片。	〃
5		横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。横・斜タタキ目。	横・斜ナデ。				長石 石英	口縁部ほぼ完存。	〃
6		横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	摩耗。				長石 石英	口縁部$\frac{2}{3}$存。	〃
7	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り後横ヘラ削り。	摩耗。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	〃
8		摩耗。	摩耗。			斜ヘラ削り。	摩耗。				長石 多孔の石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	〃
9		横ナデ。	摩耗。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{14}$存。	〃
10		横ナデ。	横ナデ。			縦ナデ。	縦・横・斜ハケ目後横ナデ。	縦ナデ。	摩耗。		少石 少英	ほぼ完存。	〃
11								摩耗。	摩耗。斜ヘラ削り。		多石 多英	底部完存。	〃
12								指頭痕。	縦ハケ目。横ナデ。		砂粒をほとんど含まず精緻。	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
15	横ナデ。	横ハケ目。	横ナデ。			斜ハケ目ラ後縦ヘラミガキ。	右・左上り目タタキ目ラ後斜ヘラ削り。	斜ハケ目ラ後縦ヘラミガキ。	右・左上り目タタキ目ラ後斜ヘラ削り。		少石 少英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
16	横ナデ。	斜ハケ目。	横・縦・斜板ナデ。			斜ハケ目。	縦・斜板ナデ。	簾状ハケ目。	縦・斜板ナデ。		少石 細片。	口縁部$\frac{1}{3}$存。	〃
17	摩耗。	斜ハケ目後斜ナデ。	縦・斜ハケ目後斜ナデ。			斜ハケ目後斜ナデ。	縦・斜ハケ目後斜ナデ。	斜ハケ目後斜ナデ。	縦・斜ハケ目後斜ナデ。		砂粒をほとんど含まず精緻。	口縁部$\frac{1}{5}$存。	〃
18	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			簾状ハケ目後斜ナデ。	右上りタタキ目後斜ナデ。	簾状ハケ目後斜ナデ。	右上りタタキ目後斜ナデ。		少石 細片 少英 細片	口縁部$\frac{1}{5}$存。	〃
19	横ナデ。	横ナデ。	横・斜板ナデ。			斜ハケ目後斜板ナデ。	横・斜板ナデ。	簾状ハケ目,斜ハケ目後斜板ナデ。	右上りタタキ目。斜板ナデ。指頭痕。		長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第240図20	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。	斜ナデ。	籠状ハケ目。	斜板ナデ。	長石微細片	口縁部$\frac{1}{2}$存。	SB318
21	横ナデ(摩耗)。	斜ハケ目後横・斜板ナデ。	横ハケ目後斜板ナデ。			斜ハケ目後横・斜板ナデ。	横ハケ目後斜板ナデ。	斜ハケ目後横・斜板ナデ。	横ハケ目後斜板ナデ。	長石石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
第241図22	摩耗。	横・斜板ナデ(摩耗)。斜ハケ目。	縦・斜板ナデ(摩耗)。			横・斜板ナデ(摩耗)。	縦・斜板ナデ(摩耗)。	横・斜板ナデ(摩耗)。	縦・斜板ナデ(摩耗)。	長石石英	ほぼ完存。	〃
23	横ナデ。	斜板ナデ。	斜板ナデ。			斜板ナデ。	斜板ナデ(指頭痕)。	斜板ナデ。	縦板ナデ。	長石石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
24	横ナデ。	斜ハケ目後縦ナデ。	縦ナデ。			斜ハケ目後縦ナデ。	縦ナデ。	摩耗。	縦・斜ナデ。	長石多量の石英	口縁部$\frac{4}{5}$存。	〃
25	横ナデ(摩耗)。	斜ハケ目後斜ナデ。	横ナデ(摩耗)。			斜ハケ目後斜ナデ。指頭痕。	斜板ナデ(摩耗)。指頭痕。	斜ハケ目後斜ナデ。指頭痕。	斜板ナデ(摩耗)。指頭痕。	長石石英	口縁部$\frac{3}{4}$存。	〃
26	横ナデ。	横ナデ。斜ハケ目。	横・斜板ナデ(摩耗)。			横・斜板ナデ。指頭痕。	横・斜板ナデ(摩耗)。指頭痕。	横・斜板ナデ。	板ナデ。	長石石英	口縁部$\frac{1}{16}$存。	〃
27	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ後横へラミガキ。			縦ナデ後縦へラミガキ。	横・斜ハケ目後斜へラミガキ。	縦ナデ後縦へラミガキ。	横・斜ハケ目後斜へラミガキ。	長石石英	口縁部$\frac{2}{3}$存。	〃
28	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	横・左上りタタキ目後横ナデ。	斜板ナデ。	横・左上りタタキ目。	少量の長石	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
29		摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	多量の長石多量の石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
30	摩耗。	斜ナデ(摩耗)。	縦ナデ(摩耗)。					斜ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	長石石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
31	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ハケ目。	縦ハケ目。	斜ハケ目。	縦ハケ目。	長石石英	ほぼ完存。	〃
32	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。	縦・横ナデ。	斜ハケ目。	縦・横ナデ。	砂粒をほとんど含まない。	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
33	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ(指頭痕)。	縦・斜指ナデ(指頭痕)。	縦指ナデ(指頭痕)。	縦・斜指ナデ(指頭痕)。	長石	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
34	横ナデ。	横・斜ハケ目。	横ナデ。			横ナデ。	横・斜ナデ。	横ナデ。	横・斜ナデ。	砂粒をほとんど含まない。	ほぼ完存。	〃
35	横指ナデ。	横指ナデ。	横指ナデ。			横指ナデ。	横指ナデ。	横指ナデ。	横指ナデ。	少量の長石少量の石英	ほぼ完存。	〃
39						横・斜ナデ。	斜ハケ目後横ナデ。	横・斜ナデ。	斜へラ削り。	砂粒をほとんど含まず精緻。	胴部以下完存。	〃
40	横ナデ。	横・斜ナデ。指頭痕。	横・斜ナデ。指頭痕。					ナデ。指頭痕。	横ナデ。指頭痕。	少量の長石少量の石英	口縁部$\frac{3}{4}$存。	〃
41	横ナデ。	横ナデ。指頭痕。	横・斜ナデ。指頭痕。			横ナデ。指頭痕。	横・斜ナデ。指頭痕。			長石石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
42		斜ナデ。指頭痕。	横斜ナデ。					ナデ(摩耗)。指頭痕。	指頭痕。	長石石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第241図 43	横ナデ。	横・斜ナデ。指頭痕。	横，斜ナデ。指頭痕。					横・斜ナデ。指頭痕。	横・斜ナデ。指頭痕。	長石 石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	SB318
44	横ナデ(摩耗)。	斜ナデ(摩耗)。	横,斜ナデ(摩耗)。					斜ナデ(摩耗)。	横,斜ナデ(摩耗)。	長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
第247図 1	横ナデ。摩耗。内面(立上部)横ナデ(摩耗)。外面(立上部)格子状文。摩耗。	横ナデ。摩耗。	横ナデ。摩耗。							長石 大粒の石英	口縁部$\frac{1}{16}$存。	SB320
2	横ナデ。鋸歯文。	横・縦ナデ。	縦・横ナデ。							長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
3	横ナデ。	横・斜ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ。指頭痕。	縦・斜ハケ目後斜ナデ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
4	横ナデ。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
5	摩耗。	横・斜ハケ目。	横ナデ。			斜ヘラ削り後横ナデ。	横・右・左上りタタキ目後縦・斜ハケ目(摩耗)。	斜ヘラ削り。	横・右上りタタキ目(摩耗)。	長石 石英	ほぼ完存。	〃
6	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	左上りタタキ目。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
7		摩耗。	摩耗。			斜ヘラ削り。	横・右上りタタキ目後縦・斜ナデ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
8	横ナデ。	縦・横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。	横ナデ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
9	横ナデ。	横・斜板ナデ。	横・右上りタタキ目後横ナデ。			横・斜板ナデ。	横・右上りタタキ目。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
10								縦・斜ナデ(摩耗)。	右上りタタキ目。	長石 石英	底部完存。	〃
11								横ナデ。斜板ナデ。	指おさえ後横・斜ナデ。	少量の石英	底部完存。	〃
12								斜ナデ(摩耗)。	横・左上りタタキ目後斜ナデ。	長石 石英	底部完存。	〃
13								縦・横ナデ(指頭痕)。	横・斜ナデ(摩耗)。	長石 石英	底部完存。	〃
15	横ナデ。	斜ハケ目。	横・斜板ナデ。			斜ハケ目。	横・斜板ナデ。	斜ハケ目。	横・斜板ナデ。	長石 石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
16	横ナデ。	斜ナデ(摩耗)。指頭痕。	斜ナデ(摩耗)。指頭痕。			斜ナデ(摩耗)。指頭痕。	斜ナデ(摩耗)。指頭痕。	斜ナデ(摩耗)。指頭痕。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	〃
17	摩耗。	斜ハケ目後斜板ナデ(摩耗)。	斜板ナデ(摩耗)。			斜ハケ目後斜板ナデ(摩耗)。	斜板ナデ(摩耗)。	斜ハケ目後斜板ナデ(摩耗)。	斜板ナデ(摩耗)。	少量の長石 少量の石英	底部完存。	〃
18	横ナデ。	斜ハケ目(原体2種)後斜ナデ。	斜ハケ目。			斜ハケ目後斜ナデ。	縦・横ヘラ削り。	斜ハケ目後斜ナデ。	縦ヘラ削り。	長石	ほぼ完存。	〃
19	横ナデ。	斜ナデ(指頭痕)。	縦・横・斜ナデ(指頭痕)。					斜ナデ(指頭痕)。	縦・横・斜ナデ(指頭痕)。	長石 石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第247図20		斜板ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	斜・横板ナデ。	斜板ナデ。	斜・横板ナデ。	長石 石英	底部完存。	SB320
21	横ナデ。	斜板ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ(指頭痕)。	斜ナデ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃
22	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			斜ナデ(摩耗)。	斜ナデ(摩耗)。	斜ナデ(摩耗)。	斜ナデ(摩耗)。	石英細片 雲母細片	底部完存。	〃
23	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目後斜板ナデ。	右・左上りタタキ目後縦・斜ナデ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃
第250図1								斜ヘラ削り。	斜ハケ目。	長石 石英	底部完存。	SB321
2								斜ヘラ削り後斜ナデ。指頭痕。	斜ハケ目後斜ナデ。	長石 石英	底部$\frac{2}{3}$存。	〃
第254図1	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。							長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	SB323
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
3	摩耗。	横ナデ(摩耗)。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部完存。	〃
4	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			多量の長石 少量の石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	〃
9	横ナデ。	斜板ナデ。	斜板ナデ。			斜板ナデ。	斜板ナデ。	斜板ナデ。	斜板ナデ。横ヘラ削り。	長石 石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	〃
第256図1	横ナデ(摩耗)。	縦・斜ナデ(摩耗)。	縦・斜ナデ(摩耗)。			縦・斜ナデ(摩耗)。	縦・斜ナデ(摩耗)。	縦・斜ナデ(摩耗)。	縦・斜ナデ(摩耗)。	長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	SB323上位土坑状遺構
2	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。	斜板ナデ。	摩耗。	長石 石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	〃
第258図1	凹線1条。	斜ハケ目。	左上りタタキ目後斜ハケ目。			斜ヘラ削り。	左上りタタキ目後斜ハケ目。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	SB324
2	横ナデ。	斜ハケ目。	右上りタタキ目後縦ナデ。			斜ハケ目。	右上りタタキ目後縦ナデ。	縦ナデ。	右上りタタキ目後縦ナデ。	長石 石英	口縁部$\frac{3}{5}$存。	〃
3								縦・横・斜ナデ。	縦・横ナデ。	砂粒をほとんど含まない。	底部完存。	〃
4						縦ナデ。	横ナデ。	縦ナデ。	横タタキ目。	長石 石英	底部完存。	〃
第260図1	横ナデ。	斜ハケ目後横ナデ。	横ナデ。			斜・縦ハケ目。斜ヘラ削り。	右上りタタキ目後斜・縦ハケ目。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	SB325
2	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。			横ナデ。	斜ハケ目。			砂粒をほとんど含まない。	口縁部$\frac{1}{7}$存。	〃
3	横ナデ(摩耗)。	斜ハケ目。	斜ハケ目。右上りタタキ目。			斜ハケ目。斜ヘラ削り。	斜ハケ目。右上りタタキ目。摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{3}{13}$存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第260図4								横板ナデ。	摩耗。	多量の大粒の長石多量の大粒の石英	底部完存。	SB325
5								斜ナデ。	斜ナデ(指頭痕)。	長石石英	底部完存。	〃
6								斜板ナデ。	斜板ナデ。	長石石英	底部完存。	〃
7	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	〃
8	横ナデ。	横・斜ナデ。	横・斜ナデ。					ナデ。	摩耗。	長石石英	完存。	〃
9	横ナデ。	斜ナデ。	横・斜ナデ。			斜ナデ。	横・斜ナデ。			少量の長石少量の石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	〃
第261図1	横ナデ。円形浮文。凹線2条。	摩耗。	横ナデ。							大粒の長石大粒の石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	SB326
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	縦・斜ナデ。			少量の長石少量の石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃
3	横ナデ。	横ナデ。	横・斜ハケ目後横ナデ。			横・斜ヘラ削り。	横ナデ。右上りタタキ目。			多量の雲母。	口縁部$\frac{2}{11}$存。	〃
4						摩耗。	右上りタタキ目。	摩耗。	斜ハケ目。	石英。	底部完存。	〃
5								斜ヘラ削り。	横タタキ目後斜ハケ目。	少量の長石少量の石英	底部完存。	〃
第265図1		横ナデ。	摩耗。	横ハケ目後横ナデ。	縦・斜ハケ目後横ナデ。					石英	頸部$\frac{1}{2}$存。	SB327
2	摩耗。	横ナデ。	右上りタタキ目後横ナデ。			斜ナデ。	右上りタタキ目。			長石石英	口縁部$\frac{1}{7}$存。	〃
3	横ナデ。凹線1条。	摩耗。	右上りタタキ目後横ナデ。			斜ヘラ削り(摩耗)。	右上りタタキ目後縦・斜ハケ目。			少量の長石	口縁部$\frac{1}{7}$存。	〃
4								縦・斜ヘラ削り。	縦・斜板ナデ(原体の痕跡)。	長石多量の石英	底部$\frac{1}{5}$存。	〃
5								斜ヘラ削り(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	長石石英	底部$\frac{1}{3}$存。	〃
6								斜ヘラ削り。	斜ヘラ削り。	長石石英	底部完存。	〃
7								斜ヘラ削り。	斜ハケ目後斜ナデ。	大粒の石英	底部完存。	〃
8								斜指ナデ(指頭痕)。	摩耗。縦ハケ目。	長石石英	底部$\frac{1}{3}$存。	〃
9								縦・横・斜ハケ目(原体2種)。	右上りタタキ目。	少量の石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第265図10								斜へラ削り。	左上りタタキ目後斜ナデ。	長石 石英	底部完存。	SB327
11	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目(粗)後横ナデ。			横・斜ナデ。	斜ハケ目(粗)。縦ハケ目(細)。	横・斜ナデ。	縦・斜ハケ目(細)。	長石 石英	口縁部2/3存。	〃
12	横ナデ。	斜ハケ目。	縦・横・斜ナデ。			斜ハケ目後放射状のヘラミガキ。	縦・横・斜ナデ。	叢状ハケ目後放射状のヘラミガキ。	縦・横・斜ナデ。	少量の長石 少量の石英	口縁部2/3存。	〃
13	横ナデ。	横・斜ナデ。	斜ナデ(摩耗)。			横・斜ナデ。	斜ナデ(摩耗)。	斜ハケ目。	斜ナデ(摩耗)。	長石 石英	口縁部1/8存。	〃
14	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横板ナデ後斜ナデ。	右上りタタキ目後横・斜ナデ。	斜板ナデ後斜ナデ。	右上りタタキ目後横・斜ナデ。	少量の長石微細片。	口縁部1/16存。	〃
第268図1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目。					少量の長石 少量の石英	口縁部1/8存。	SB328
2	摩耗。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	斜・縦ハケ目後横ナデ。					長石 石英	口縁部1/8存。	〃
3	摩耗。	横・斜ナデ。	斜へラ削り後斜ナデ。			横・斜ナデ(板原体の痕跡)。	斜へラ削り後斜ナデ。	横・斜ナデ(板原体の痕跡)。	斜へラ削り後斜ナデ。	砂粒をほとんど含まない。	口縁部1/2存。	〃
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ後縦ナデ。	斜ハケ目後横ナデ。			長石 石英	口縁部1/12存。	〃
第270図1	摩耗。刺突文。	摩耗。	摩耗。							石英	口縁部1/5存。	SB329
2	横ナデ。波状文。	摩耗。	指おさえ(摩耗)。							長石 石英	口縁部1/8存。	〃
3		横ナデ。	横ナデ。							砂粒を含まず精緻。	口縁部1/8存。	〃
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。横・斜タタキ目。			斜へラ削り。	横・斜タタキ目。			石英	口縁部1/8存。	〃
5		摩耗。	右上り・横タタキ目(摩耗)。							少量の長石 少量の石英	口縁部1/6存。	〃
6	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			斜へラ削り。	横ナデ。縦へラ削り。			石英	口縁部1/8存。	〃
7	摩耗。	横ナデ。	横タタキ目。			斜板ナデ。斜指ナデ。(指頭痕,摩耗)。	横タタキ目後縦・斜ハケ目。			長石 多量の石英	口縁部1/2存。	〃
8	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。							長石 石英	口縁部1/8存。	〃
9	摩耗。	斜ハケ目。	右上りタタキ目後斜ハケ目。							長石 石英	口縁部1/5存。	〃
10	横ナデ。	斜ハケ目後斜ナデ。	右上り・横タタキ目後斜ナデ。			斜ハケ目後斜ナデ。	右上り・横タタキ目後斜ナデ。	斜ハケ目後斜ナデ。	右上り・横タタキ目後斜ナデ。	長石 少量の石英	ほぼ完存。	〃
11								斜ハケ目後ナデ。	右上りタタキ目後斜へラ削り。	長石 石英	底部完存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第270図12						摩耗。	横・右上りタタキ目。	指ナデ(指頭痕)。	斜ヘラ削り。	長石 石英	底部完存。	SB329
13						摩耗。	摩耗。	板ナデ。	斜ハケ目。 斜ヘラ削り。	長石 石英	底部完存。	〃
第12図1	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	横ナデ。 摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	SB331
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横・斜ナデ。			少量の長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦・横・斜ナデ。	斜・縦ハケ目。 沈線4条。			少量の長石	口縁部$\frac{1}{16}$存。	〃
4	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。							長石細片	口縁部$\frac{1}{14}$存。	〃
5	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	〃
6	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線5条。			長石 石英	口縁部小片。	〃
8						摩耗。	沈線3条。 刺突文。			砂粒をほとんど含まない。	胴部小片。	〃
9								摩耗。	摩耗。	長石 大粒の石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃
10								摩耗。	摩耗。	砂粒をほとんど含まない。	底部$\frac{1}{5}$存。	〃
11								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃
14	摩耗。	摩耗。	縦,斜ハケ目後横ナデ。							長石	口縁部小片。	〃
15	横ナデ(ヘラ状原体)。	横ナデ。 摩耗。	横ナデ(ヘラ状原体)。 摩耗。							長石 大粒の石英	口縁部小片。	〃

(註)

第12～55表には,壺・甕・高杯・鉢形土器及び土師器,須恵器のうち普遍的な器形のみを一覧化している。

第13表　竪穴住居跡伴出遺物一覧表(2)

挿図番号	成形および調整の痕跡								胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		杯部		脚部		脚端部			
		内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第224図 1		斜ナデ。	横ナデ。	横・斜ナデ。	横ナデ。				長石細片 石英細片	口縁部 $\frac{1}{4}$存。	SB312
第240図 13	横ナデ。	横・斜ナデ。	横ナデ。	横・斜ナデ。	横ナデ。	縦・横・斜ナデ。シボリ目。	縦板ナデ。		砂粒をほとんど含まず精緻。	口縁部 $\frac{1}{20}$存。	SB318
14						剝落。	横タタキ目後縦・斜ハケ目。	横ナデ。	砂粒をほとんど含まず精緻。	脚部 $\frac{1}{16}$存。	〃
第254図 5	摩耗。	摩耗。斜ナデ。	横ナデ。	斜ナデ。	横ナデ。				長石細片。石英細片。	口縁部 $\frac{1}{4}$存。	SB323
6				摩耗。	縦・斜ハケ目。	横・斜ハケ目。シボリ目。	縦・斜ハケ目。	摩耗。	長石 石英	脚部 $\frac{5}{6}$存。	〃
7						縦指おさえ。横・斜板ナデ。	剝落。	摩耗。	長石 石英	脚部 $\frac{1}{3}$存。	〃
8				摩耗。	摩耗。	横板ナデ。斜ハケ目。摩耗。	摩耗。		長石 石英	脚部 $\frac{3}{5}$存。	〃
第256図 3	摩耗。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。				長石 石英	口縁部完存。	SB323上位土坑状遺構
4						縦ナデ(指頭痕)。シボリ目。摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	脚部 $\frac{1}{3}$存。	〃
5						摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	脚部 $\frac{2}{3}$存。	〃
6				指頭痕。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		長石 石英	脚部 $\frac{4}{5}$存。	〃
7							横・斜ナデ。	横ナデ。	多量の石英	脚部 $\frac{3}{4}$存。	〃
第263図 6						斜ナデ。	横指おさえ。縦ヘラミガキ。	横ナデ(摩耗)。	長石 石英	脚部 $\frac{1}{3}$存。	SB326

第14表　壺棺墓伴出遺物一覧表

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第275図						摩耗。	右上りタタキ目(摩耗)。	摩耗。	右上りタタキ目後縦ハケ目。(摩耗)。	長石 石英	胴部ほぼ完存。	ST301
第276図						摩耗。	右上りタタキ目後横・斜ナデ。	摩耗。	横ナデ。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	ST302

第15表　掘立柱建物跡伴出遺物一覧表

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第491図								摩耗。		精緻。	底部$\frac{1}{7}$存。	SB04 No.2
第460図 1								摩耗。	摩耗。	精緻。	底部完存。	SB08 No.2
2								暗文。	摩耗。	石英	底部$\frac{1}{5}$存。	SB10 No.6
3								摩耗。	摩耗。	長石	底部$\frac{1}{8}$存。	SB10 No.1
4								摩耗。	横ナデ(摩耗)。	多量の長石 多量の石英	底部$\frac{1}{4}$存。	SB12 No.5
5	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	多量の長石 多量の石英	口縁部$\frac{3}{4}$存。	SB13 No.2
6	摩耗。	摩耗。	摩耗。							精緻。	口縁部$\frac{1}{4}$存。	SB14 No.12
7	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃
8	摩耗。	摩耗。	摩耗。			横ナデ。	摩耗。	摩耗。	横ナデ(摩耗)。	精緻。	完存。	SB14 No.6
9	摩耗。	摩耗。	摩耗。					摩耗。	摩耗。	石英	底部$\frac{1}{4}$存。	SB14 No.3
第396図 1	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部小片。	SB404 No.6
2				摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。			長石 石英	頸部$\frac{1}{4}$存。	〃
3	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	底部完存。	SB404 No.1
4								摩耗。	摩耗。	少量の長石 少量の石英	底部$\frac{1}{2}$存。	SB404 No.6
5								摩耗。	摩耗。 指頭痕。	長石 石英	底部ほぼ完存。	〃
第398図 1								斜ナデ。	摩耗。	長石 石英	底部$\frac{1}{4}$存。	SB406
2								斜ナデ。	斜ナデ。	砂粒をほとんど含まず精緻。	底部完存。	SB406 No.12
第403図								摩耗。	摩耗。	多量の長石 多量の石英	底部$\frac{1}{4}$存。	SB409 No.3

第16表　土坑伴出遺物一覧表(1)

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第60図1	摩耗。	摩耗。	摩耗。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	SK301
2	摩耗。	摩耗。	摩耗。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{16}$存。	〃
3	横ナデ。 刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。 沈線5条。				少量の長石細片 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃
4								摩耗。	横ヘラミガキ後斜ナデ。		多量の長石 多量の石英	底部$\frac{1}{3}$存。	〃
5								摩耗。	横ナデ。		多量の長石 多量の石英	底部$\frac{1}{3}$存。	〃
6								ナデ。	摩耗。		長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
7								縦ナデ。	縦板ナデ後指おさえ。		長石 石英	底部完存。	〃
第69図1		横・斜ヘラミガキ。	斜ハケ目。 横・斜ヘラミガキ。	横・斜ヘラミガキ。	横ヘラミガキ後縦・斜ハケ目。 沈線17条。 竹管文。						長石 石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	SK303
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。	横・斜ナデ。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
3	横ナデ。 刻目。	横ヘラミガキ後横ナデ。	横ヘラミガキ後斜ハケ目。			横・斜ヘラミガキ後横・斜ナデ。	沈線5条。 横・斜ヘラミガキ後斜ナデ。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
4	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	斜ハケ目後横ナデ(摩耗)。			縦・横・斜ヘラミガキ後縦・斜ナデ。	沈線9条。 縦・斜ハケ目後縦・斜ナデ(摩耗)。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃
5								縦・横ナデ。	横・斜ナデ。		長石 石英	底部$\frac{2}{3}$存。	〃
6								横・斜ナデ(摩耗)。	横ヘラミガキ後縦ハケ目。		長石 少量の石英	底部$\frac{1}{3}$存。	〃
第280図1	横ナデ(摩耗)。(立上部内面) 横ナデ(摩耗)。(立上部外面) 横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	SK304
2	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	縦ヘラミガキ。	摩耗。	縦ナデ。		長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
第85図1	横ナデ。	斜ヘラミガキ後斜ナデ。	斜ヘラミガキ後横・斜ナデ。	斜ヘラミガキ後斜ナデ。	沈線1条。 斜ヘラミガキ後斜ナデ。						長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	SK305
2	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			斜ナデ(摩耗)。	斜ナデ(摩耗)。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
第61図1	摩耗。	摩耗。	縦板ナデ。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。				多量の大粒の長石 多量の大粒の石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	SK307
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ(指頭痕)。	横ナデ。	横ナデ(指頭痕)。	横・斜ナデ。	斜ナデ。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
3	摩耗。 刻目。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。 沈線4条。						長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第61図4						横ナデ。	横ヘラミガキ。貼付突帯3条に刻目。				少量の長石微細片石英	胴部$\frac{1}{6}$存。	SK307
5	横ナデ(摩耗)。刻目。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。沈線7条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	〃
6	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。摩耗。	縦板ナデ。摩耗。沈線11条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
7	横ナデ。刻目。	横・斜ナデ。	横ナデ。縦ハケ目。			横，斜ナデ。	縦ハケ目。沈線9条。				長石微細片	口縁部$\frac{1}{14}$存。	〃
8	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。沈線10条。				長石細片	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃
9	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦板ナデ(摩耗)。	沈線9条。縦・斜ハケ目。				多量の長石微細片多量の石英微細片	口縁部$\frac{1}{10}$存。	〃
10	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	横・縦ナデ。				長石大粒の石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横，斜ナデ。	縦板ナデ後横ナデ。				長石細片石英	口縁部$\frac{1}{14}$存。	〃
12	摩耗。	摩耗。	指おさえ。			摩耗。	摩耗。				長石石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃
13	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	横ナデ。			縦ナデ。	横ナデ。沈線6条。摩耗。縦ハケ目。				多量の長石多量の大粒の石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	〃
14	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				長石石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	〃
15								摩耗。斜板ナデ。	摩耗。		大粒の長石石英	底部$\frac{2}{3}$存。	〃
16								摩耗。	摩耗。		多量の長石多量の石英	底部$\frac{2}{5}$存。	〃
17								摩耗。	摩耗。		長石石英	底部$\frac{1}{3}$存。	〃
第94図1	横ナデ。	横ナデ。横ヘラミガキ。	横ナデ。斜ハケ目。	横ヘラミガキ。	斜ハケ目。						少量の長石少量の石英	口縁部$\frac{1}{16}$存。	SK308
2				斜ナデ(摩耗)。	貼付突帯。横ヘラミガキ後横・斜ナデ(摩耗)。						多量の長石多量の石英	頸部ほぼ完存。	〃
3						横・斜ヘラミガキ後斜ナデ(摩耗)。指頭痕。	横・斜ヘラミガキ後横ナデ。貼付突帯。				長石石英	胴部小片。	〃
4	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。斜ヘラミガキ(摩耗)。	横ナデ。斜ハケ目。沈線8条。			斜ヘラミガキ(摩耗)。	ヘラ描鋸歯文。斜ハケ目。沈線8条。				長石石英	胴部$\frac{1}{6}$存。	〃
5	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			横・斜ナデ(摩耗)。	横ナデ。刺突文。貼付円形浮文。縦・斜ハケ目。沈線3条。				多量の長石多量の石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
6	横ナデ。刻目。	横ナデ。	斜ハケ目後横ナデ。			横ナデ。	斜ハケ目。沈線8条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第94図7	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。斜ハケ目。沈線8条。摩耗。	摩耗。	縦ハケ目。		長石 石英	口縁部ほぼ完存。	SK308
8	刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。沈線1条。				長石 石英	口縁部1/10存。	〃
9	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。斜ハケ目。			横ナデ。	横ナデ。縦ハケ目。沈線7条。				少量の長石 少量の石英	口縁部1/8存。	〃
10								斜ナデ。	斜ハケ目後斜ナデ。		多量の長石 多量の石英	底部3/8存。	〃
11	横ナデ。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。			縦・斜ナデ(摩耗)。	斜ハケ目後縦・斜ナデ。				長石 石英	口縁部1/6存。	〃
12	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ(板状原体)。指頭痕。	横ナデ。	沈線2条。摩耗。						長石 石英	口縁部1/8存。	〃
13	横ナデ。	横ナデ。	縦・斜ハケ目後横ナデ。			縦・斜ハケ目後横・斜ヘラミガキ。指頭痕。	斜ハケ目後斜ナデ。沈線7条。				少量の長石 少量の石英	口縁部1/8存。	〃
14	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			横・斜ナデ(摩耗)。指頭痕。	横ナデ(摩耗)。沈線7条。				長石 石英	口縁部1/11存。	〃
第95図15	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦・斜ナデ。摩耗。	縦・斜ハケ目(摩耗)。	縦・斜ナデ。摩耗。	縦・斜ハケ目。横ナデ。		長石 石英	口縁部完存。	〃
16	横ナデ。刻目。	横ヘラミガキ後横ナデ。	横ヘラミガキ後横ナデ。			斜ヘラミガキ後横・斜ナデ。	縦・斜ハケ目。沈線9条。				長石 石英	口縁部1/5存。	〃
17	刻目(摩耗)。	横ナデ。	横ナデ。			横ハケ目。斜板ナデ(摩耗)。	斜板ナデ。摩耗。	縦,指おさえ。	斜板ナデ。摩耗。		長石 石英	口縁部1/2存。	〃
18	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			斜ナデ(摩耗)。	斜ナデ(摩耗)。沈線6条。				長石 石英	口縁部1/10存。	〃
19	横ナデ。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。			斜ナデ(摩耗)。	縦・斜ハケ目後斜ナデ。				長石 石英	口縁部1/8存。	〃
20	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	縦・斜ハケ目後横ナデ。			斜ナデ(摩耗)。	縦・斜ハケ目後斜ナデ。				長石 石英	口縁部1/10存。	〃
21						横・斜ヘラミガキ後斜ナデ(摩耗)。指頭痕。	横・斜ヘラミガキ後横・斜ナデ(摩耗)。貼付突帯。指頭痕。				長石 石英	胴部小片。	〃
22	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ(摩耗)。	横・斜ナデ。沈線4条。				長石 石英	口縁部1/12存。	〃
23	横ナデ。刻目。	横ナデ後斜ヘラミガキ。	横ナデ後斜ヘラミガキ。			斜板ナデ後縦・斜ヘラミガキ。	横ナデ後斜ヘラミガキ。斜板ナデ。				長石 石英	口縁部1/16存。	〃
24								横・斜ナデ(摩耗)。剝落。	横・斜ヘラミガキ後斜ナデ。		長石 石英	底部ほぼ完存。	〃
25								斜ナデ。	斜ナデ。		多量の長石 多量の石英	底部完存。	〃
26						斜ナデ。	縦・斜ヘラミガキ。	横・斜ナデ。	縦・斜ヘラミガキ。		多量の長石 多量の石英	底部完存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第95図27								斜板ナデ。	縦・斜ハケ目。横・斜ナデ。		長石石英	底部完存。	SK308
第96図28	摩耗。	摩耗。	斜ナデ。			摩耗。	斜ナデ。縦・斜ハケ目(2種の原体)。				長石石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
29	横ナデ。	横・斜ナデ。	縦・斜ハケ目後横ナデ。指頭痕。								少量の長石少量の石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	〃
第100図	横ナデ。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。			斜ナデ(摩耗)。	縦・斜ハケ目後横・斜ナデ。				長石石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	SK312
第86図1		横ナデ。	横ナデ。			横ナデ後斜ヘラミガキ。指頭痕。	縦・斜ハケ目後横ナデ。斜ヘラミガキ。				長石石英	口縁部$\frac{1}{15}$存。	SK315
2	横ナデ(摩耗)。刻目。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			斜ナデ(摩耗)。	斜ナデ(摩耗)。				長石石英	口縁部小片。	〃
第88図1	横ナデ。	横・斜ナデ。指頭痕。	横・斜ナデ。指頭痕。								長石石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	SK320
2	横ナデ(摩耗)。	横・斜ナデ(摩耗)。	横ナデ。沈線6条。(摩耗)。								多量の長石多量の石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	〃
3	横ナデ(摩耗)。	横・斜ナデ(摩耗)。	横・斜ナデ(摩耗)。								長石石英	口縁部$\frac{1}{11}$存。	〃
4	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。								長石石英	口縁部$\frac{1}{22}$存。	〃
5	横ヘラミガキ(摩耗)。	縦・横・斜ヘラミガキ(摩耗)。指頭痕。	横ヘラミガキ(摩耗)。			縦・横・斜ヘラミガキ(摩耗)。指頭痕。	縦ヘラミガキ(摩耗)。沈線11条。				長石多量の石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	〃
6		横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			斜ヘラミガキ後斜ナデ。	横・斜ヘラミガキ後斜ナデ。				長石石英	口縁部$\frac{1}{14}$存。	〃
7	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			横・斜ナデ(摩耗)。指頭痕。	横ナデ(摩耗)。沈線6条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{14}$存。	〃
8								横・斜ナデ(摩耗)。	横・斜ナデ(摩耗)。		長石石英	底部完存。	〃
9						縦・斜板ナデ。	斜板ナデ(摩耗)。剝落。	板ナデ。	斜板ナデ(摩耗)。剝落。		長石石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃
10						横・斜ナデ。	斜ハケ目後横・斜ナデ。	横・斜ナデ。	斜ハケ目後横・斜ナデ。		長石石英	底部$\frac{1}{3}$存。	〃
11						横・斜ナデ(摩耗)。	縦・斜ハケ目後横・斜ナデ。	横・斜ナデ(摩耗)。	縦ハケ目。		長石石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
第89図	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。								長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	SK321
第125図1		横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。貼付突帯に刻目。	縦指ナデ。	横ヘラミガキ。横ナデ。突帯。刻目。	縦指ナデ。	横ヘラミガキ。		多量の長石石英	口縁部ほぼ完存。	SK323
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラミガキ後斜ナデ。指頭痕。	縦・横・斜ナデ。指頭痕。				長石石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第125図3	横ナデ(摩耗)。	縦・斜ヘラミガキ後横ナデ(摩耗)。	横ナデ。			縦・斜ヘラミガキ後斜ナデ。	横・斜ナデ。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	SK323
第128図1	横ナデ(摩耗)。	横ヘラミガキ。剝落。	横ヘラミガキ。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	SK324
2	横ナデ(摩耗)。	横・斜ヘラミガキ。	横・斜ヘラミガキ。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
3	横ナデ(摩耗)。	摩耗。	横ヘラミガキ後横ナデ。沈線3条。								長石 石英	口縁部小片。	〃
4						横・斜ナデ(摩耗)。	横・斜ヘラミガキ。	ナデ(摩耗)。	横・斜ヘラミガキ。		長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
第287図	横ナデ。	横板ナデ後横ナデ。	横タタキ目後横・斜ナデ。			縦・斜板ナデ。	横タタキ目後横・斜ナデ。				長石 少量の石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	SK326
第146図						斜ナデ(摩耗)。	横・斜ヘラミガキ後斜ナデ。貼付突帯。沈線17条。	斜ナデ(摩耗)。	縦・斜ヘラミガキ後斜ナデ。		多量の長石 多量の石英	底部$\frac{1}{2}$存。	SK327
第148図1	横ナデ(摩耗)。	横・斜ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	SK330
2						斜板ナデ(摩耗)。	横・斜ヘラミガキ後縦・横・斜板ナデ。	板ナデ(摩耗)。	横・斜ヘラミガキ後縦・横・斜板ナデ。		長石 石英	底部完存。	〃
3								斜ナデ。	摩耗。		長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
第149図1						摩耗。	摩耗。ヘラ描沈線文。				長石 石英 雲母	胴部小片。	SK334
2	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			斜ナデ(摩耗)。	横・斜ナデ(摩耗)。刻目。				多量の長石 多量の石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
3						斜ナデ(摩耗)。	斜ヘラミガキ後斜ナデ。指頭痕。	ナデ(摩耗)。	斜ヘラミガキ後斜ナデ。		多量の長石 多量の石英	底部$\frac{1}{5}$存。	〃
第91図1	横ナデ(摩耗)。	横ヘラミガキ後横ナデ(摩耗)。	横ヘラミガキ後横ナデ(摩耗)。			斜ヘラミガキ後斜ナデ(摩耗)。	斜ヘラミガキ後斜ナデ(摩耗)。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	SK335
2	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。沈線5条。				長石 石英	口縁部小片。	〃
3						縦・斜ナデ(摩耗)。	斜ナデ(摩耗)。	ナデ(摩耗)。	摩耗。		長石 石英	底部$\frac{1}{6}$存。	〃
第103図1	横ナデ。	横ヘラミガキ後横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラミガキ後斜ナデ。	斜ヘラミガキ後斜ハケ目。横・斜ナデ。刻目。沈線10条。	斜ヘラミガキ後斜ナデ。	斜ヘラミガキ後斜ハケ目。斜ナデ(摩耗)。		長石 石英	ほぼ完存。	SK338
2	横ナデ。	縦・斜板ナデ後横ヘラミガキ。指頭痕。	横ヘラミガキ。指頭痕。			縦板ナデ後横・斜ヘラミガキ。	縦・斜板ナデ後縦・横・斜ヘラミガキ。沈線6条。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
3	摩耗。	横ナデ。	横ナデ(摩耗)。			斜ナデ。指頭痕。	縦・斜ナデ(摩耗)。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃
4	摩耗。	横・斜ナデ。指頭痕。	沈線3条。指頭痕。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{16}$存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第103図5	刻目。横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ(摩耗)。	沈線3条。			多量の長石 多量の石英	口縁部1/4存。	SK338
6		横・斜ヘラミガキ。	横ヘラミガキ後縦・横・斜ハケ目(摩耗)。			横・斜ヘラミガキ。	横・斜ヘラミガキ後縦・斜ハケ目。沈線11条。			多量の長石 多量の石英	口縁部1/8存。	〃
7	摩耗。	横・斜ナデ(摩耗)。	斜板ナデ後横ナデ。							長石 石英	口縁部1/8存。	〃
8	摩耗。	横ナデ。	斜板ナデ後横ナデ。			斜板ナデ。	斜板ナデ。沈線5条。			長石 石英	口縁部1/12存。	〃
9	刻目(摩耗)。横ナデ。	横ヘラミガキ後横ナデ。	横ナデ。			横・斜板ナデ。	斜ヘラミガキ後斜板ナデ。沈線6条。			長石 石英	口縁部1/8存。	〃
10	摩耗。	横ヘラミガキ後横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。	縦・斜ハケ目後斜ナデ。			少量の長石 少量の石英	口縁部1/8存。	〃
11		横・斜ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			横・斜ナデ(摩耗)。	縦板ナデ後横ナデ。			長石 石英	口縁部1/9存。	〃
12	横ナデ(摩耗)。	横・斜ヘラミガキ。指頭痕。	横ヘラミガキ後横ナデ。指頭痕。			横・斜ヘラミガキ。	縦・斜ハケ目後横・斜ナデ。			少量の長石 少量の石英	口縁部1/8存。	〃
13								横・斜板ナデ後横・斜ナデ。	縦板ナデ後斜ナデ。	長石 石英	底部2/3存。	〃
14								横・斜ヘラミガキ後斜板ナデ。	斜ヘラミガキ後斜板ナデ。	長石 石英	底部5/8存。	〃
第25図								斜ナデ。	斜ナデ。	長石 石英	底部1/3存。	SK342
第29図1								斜ヘラミガキ後斜板ナデ。	横・斜ヘラミガキ。	少量の長石 少量の石英	底部1/3存。	SK343
2								横・斜ヘラミガキ後斜板ナデ。	斜ヘラミガキ後斜板ナデ。	少量の長石 少量の石英	底部1/3存。	〃
3								横・斜ナデ。	縦・斜ハケナデ後横ナデ。	長石 石英	底部完存。	〃
第30図		横ナデ(摩耗)。	横ヘラミガキ後横ナデ。			斜ナデ(摩耗)。	横ヘラミガキ後横ナデ。縦・斜ハケ目。刻目。沈線9条。			長石 石英	口縁部1/22存。	SK344
第31図1	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ハケ後縦・ナデ・斜ナデ。指頭痕。	縦ハケ目後横ナデ。沈線5条。くうも4条は半截竹管の原体。			少量の長石 少量の石英	口縁部1/6存。	SK345
2	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	横・斜ナデ。			横・斜ヘラミガキ後斜ナデ。	横・斜ナデ。沈線2条。			少量の長石 少量の石英	口縁部1/14存。	〃
3	横ナデ。刻目(摩耗)。	横ナデ。指頭痕。	横ナデ(摩耗)。							長石 石英	口縁部1/8存。	〃
4								横・斜ヘラミガキ。	縦・横・斜後斜ナデ縦板縦・横・斜ヘラミガキ。	少量の長石 少量の石英	底部1/4存。	〃
5								横・斜ナデ。	縦・斜ハケ目後横・斜ガヘラミガキ。	長石 石英	底部完存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第33図	刻目。	縦ハケ目。横ナデ。	斜ハケ目。横ナデ。								長石石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	SK346
第34図1								斜ヘラミガキ後斜ナデ。	縦・斜ハケ目後縦・斜ナデ。		長石石英	底部完存。	SK347
2								斜ナデ。	斜ヘラミガキ後斜ナデ。		長石石英	底部完存。	〃
第35図1	摩耗。	摩耗。	摩耗。			横・斜ヘラミガキ。	摩耗。				長石石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	SK350
2								斜ナデ。	斜ナデ。		少量の長石多量の石英	底部$\frac{1}{3}$存。	〃
第37図	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。摩耗。								長石石英	口縁部小片。	SK355
第38図1	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			斜板ナデ後横ヘラミガキ。摩耗。	斜板ナデ後斜ヘラミガキ。摩耗。	摩耗。	縦ヘラミガキ。		長石石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	SK357
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	斜板ナデ。				長石石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	〃
第40図	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。沈線10条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{20}$存。	SK358
第41図	横ナデ。刻目。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。沈線8条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	SK361
第45図	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。指頭痕。								長石石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	SK362
第44図1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ヘラミガキ後横・斜ナデ。	縦・斜ハケ目後横ナデ(摩耗)。貼付突帯。						長石石英	口縁部ほぼ完存。	SK364
2	横ナデ。	斜板ナデ。	横・斜板ナデ。								長石石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	〃
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
4								横・斜ナデ。	縦・斜ハケ目後横ナデ。		長石石英	底部完存。	〃
5	刻目。	横ヘラミガキ後横ナデ。	横ヘラミガキ後横ナデ。			縦・斜ヘラミガキ後縦・斜ナデ。	横ヘラミガキ後横ナデ。縦ハケ目後横・斜ヘラミガキ。沈線6条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃
6	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ(摩耗)。	横・斜ナデ(摩耗)。				長石石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	〃
7	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	横ナデ(摩耗)。			縦・斜板ナデ後横ナデ(摩耗)。	斜ハケ目後横・斜ナデ(摩耗)。				長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
8								摩耗。	縦・斜ハケ目。		長石石英	底部完存。	〃
9								縦・斜板ナデ。	斜板ナデ。		長石石英	底部$\frac{3}{8}$存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第44図10								ナデ（摩耗）。	横ナデ(摩耗)。	長石 石英	底部$\frac{1}{4}$存。	SK364
第133図1	横ナデ。 刻目。	横ナデ。	横ナデ。			縦・斜ナデ。	斜ナデ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{11}$存。	SK367
2	摩耗。	摩耗。	摩耗。			横ナデ。	沈線3条。 摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃
3								斜へラミガキ。	斜板ナデ。	長石 石英	底部ほぼ完存。	〃
4								摩耗。	横ナデ。 指頭痕。	長石 石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃
第19図1	横ナデ。 刻目。	縦へラミガキ後横ナデ。	横ナデ。			縦へラミガキ。	縦ハケ目。	板ナデ(ハケ状原体)。	縦ハケ目。	長石 石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	SK368
2	横ナデ。 刻目。	横ナデ。	横ナデ。							少量の長石 石英	口縁部$\frac{1}{14}$存。	〃
3						摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃
4	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	胴部$\frac{1}{5}$存。	〃
第135図1	横ナデ。	斜ナデ。	斜ハケ目後横ナデ。			斜ナデ。	斜ハケ目後斜ナデ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{16}$存。	SK371
2								斜ナデ。	横へラミガキ。	長石 石英	底部完存。	〃
第145図1	横ナデ(摩耗)。	斜板ナデ後横・斜へラミガキ。横・斜ナデ。	横・斜板ナデ後横ナデ。指頭痕。							長石 石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	SK372
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦・横ナデ。	摩耗。	縦ナデ。	摩耗。	多量の長石 石英	ほぼ完存。	〃
第150図1	横ナデ。	横ナデ(摩耗)。	斜ハケ目後横ナデ。							長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	SK379
第152図	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	多量の長石 石英	ほぼ完存。	SK383
第153図1	横ナデ。 刻目（摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。			斜ナデ(摩耗)。	横・斜ハケ目後横・斜ナデ。刻目。沈線4条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	SK387
2	摩耗。	横へラミガキ後横ナデ。	横ナデ。			横・斜へラミガキ後斜ナデ。	縦・斜ナデ。			多量の長石 多量の石英	口縁部小片。	〃
第130図1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	縦・斜ナデ。 沈線3条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	SK389
2	横ナデ。 刻目。	横ナデ。	横ナデ。							長石 石英	口縁部$\frac{1}{22}$存。	〃
第132図1	横ナデ。	横ナデ。	横へラミガキ。	横・斜へラミガキ。	縦へラミガキ。	横へラミガキ。	斜へラミガキ。	横へラミガキ。	縦・横・斜へラミガキ。	長石 石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	SK392

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第132図2	横ナデ。	横・斜ヘラミガキ後横ナデ。	横ヘラミガキ後横ナデ。								少量の長石少量の石英	口縁部5/12存。	SK392
3	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。指頭痕。			斜ナデ。	横・斜ナデ。				長石石英	口縁部1/10存。	〃
4	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。指頭痕。			横・斜ナデ。	横・斜ナデ。				長石石英	口縁部1/28存。	〃
5	横ナデ。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。指頭痕。			斜板ナデ(摩耗)。	横ナデ。縦・斜板ナデ。沈線3条。				長石石英	口縁部1/10存。	〃
6								斜板ナデ後横・斜ナデ。	縦板ナデ後横ナデ。		長石石英	底部完存。	〃
8	横ナデ。	横ヘラミガキ後横ナデ。	横ヘラミガキ後横ナデ。指頭痕。			斜ナデ(摩耗)。	横・斜ヘラミガキ。	斜ナデ(摩耗)。	横・斜ヘラミガキ。		長石石英	ほぼ完存。	〃
9	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				長石石英	口縁部1/5存。	〃
第50図1	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				石英	口縁部1/4存。	SK393
2	横ナデ。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。沈線6条。				長石石英	口縁部小片。	〃
第52図1	横ナデ。	横ナデ(摩耗)。	縦ハケ目後横ナデ。								長石石英	口縁部1/8存。	SK394
2	刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。沈線17条。				長石石英	口縁部1/8存。	〃
第55図1	刻目。	斜ヘラミガキ後横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	縦・斜ヘラミガキ後斜ナデ。沈線19条。				長石石英	口縁部1/4存。	SK395
2	横ナデ。	斜ヘラミガキ後横ナデ。	横・斜ハケ目後横ナデ。								長石石英	口縁部1/8存。	〃
3								ナデ(摩耗)。	摩耗。		長石石英	底部1/10存。	〃
第57図1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。指頭痕。								少量の長石少量の石英	口縁部1/6存。	SK397
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								長石石英	口縁部1/4存。	〃
3	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。				長石石英	口縁部1/20存。	〃
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	縦ハケ目後横ナデ。				長石石英	口縁部1/12存。	〃
5	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。縦・斜ハケ目。沈線4条。				長石石英	口縁部1/11存。	〃
6								摩耗。	縦・斜ハケ目。		長石石英	底部1/3存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第57図7	摩耗。	横ナデ。	指おさえ後斜ナデ。			横ナデ。	指おさえ後斜ナデ。	横ナデ。	指おさえ後斜ナデ。		長石石英少量の雲母	完存。	SK397
第59図1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。斜ハケ目。横・斜ヘラミガキ。								長石細片石英雲母細片	口縁部$\frac{1}{2}$存。	SK399
2	摩耗。	縦・斜板ナデ(摩耗)。	横ナデ。摩耗。			縦・斜板ナデ(摩耗)。指頭痕。	縦ハケ目後横ナデ。				長石多量の石英	口縁部$\frac{3}{8}$存。	〃
第81図1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。指頭痕。			横ナデ。	横ナデ。				長石石英	口縁部$\frac{1}{22}$存。	SK402
2	横ナデ。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。摩耗。								長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
3	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ(指頭痕)。横・斜板ナデ。	横ナデ。沈線8条。				長石石英少量の雲母	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
4	刻目。	横ヘラミガキ。	横ナデ。	横・斜ヘラミガキ。	縦ヘラミガキ。沈線2条。						長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
5								ナデ。	縦板ナデ後横ナデ。		少量の長石少量の石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
6								ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。		長石石英	底部$\frac{2}{3}$存。	〃
7								ナデ。	横ナデ。		長石石英	底部完存。	〃
8								板ナデ。	斜ヘラ削り。		長石石英	底部完存。	〃
第83図1				縦ヘラミガキ。	縦ナデ。沈線5条。	斜板ナデ(ハケ状原体)後横・斜ヘラミガキ。	縦・斜ヘラミガキ。	ナデ。	縦・斜ヘラミガキ。		長石石英	底部完存。	SK403
2		横ヘラミガキ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。突帯。刻目。	縦指おさえ。横ヘラミガキ。	横・斜ナデ。横ヘラミガキ。沈線7条。				多量の長石石英細片	口縁部完存。	〃
3	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。貼付突帯。	横ナデ(摩耗)。	縦・斜ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。貼付突帯。	縦・斜ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。				長石石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
4	摩耗。	横ヘラミガキ。	横ヘラミガキ。	斜ヘラミガキ。	沈線8条。摩耗。	摩耗。	横ヘラミガキ後横ナデ。沈線7条。				多量の長石石英	口縁部完存。	〃
5	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。	横・斜ナデ。				長石石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃
6	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。	斜ナデ。				長石石英	口縁部$\frac{1}{20}$存。	〃
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。縦ヘラミガキ。沈線13条。円形浮文。	斜ナデ。	縦ナデ。		長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
8	縦ナデ。	横・斜ナデ(摩耗)。	横・斜ナデ板原体の痕跡。								長石石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃
第84図9								縦・斜ナデ。	摩耗。		長石石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第84図10						横・斜ナデ。指頭痕。	横・斜ヘラミガキ。沈線4条。	横・斜ナデ。	斜ヘラミガキ後横ナデ。		長石石英	底部$\frac{1}{4}$存。	SK403
11								横・斜ヘラミガキ後斜ナデ。	縦・斜ヘラミガキ後横斜ナデ。板原体の痕跡		長石石英	底部完存。	〃
12								縦・横板ナデ。	縦・横板ナデ。		長石石英	底部$\frac{2}{3}$存。	〃
13								縦ナデ(指頭痕)。	縦ハケ目。		長石石英	底部完存。	〃
第73図1	横ナデ。	横ナデ。	横ヘラミガキ。	横・斜ヘラミガキ。	縦ヘラミガキ。	横ヘラミガキ。	斜ヘラミガキ。	横ヘラミガキ。	縦・横・斜ヘラミガキ。		長石石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	SK404
2	横ナデ。刻目。	横・斜ヘラミガキ後横ナデ。	横ナデ。			横・斜ヘラミガキ後横ナデ。	横ナデ。沈線14条。刺突文。				少量の長石石英	口縁部$\frac{1}{39}$存。	〃
3	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	縦ハケ目。沈線8条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
4	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			横ヘラミガキ。摩耗。	沈線11条(摩耗)。				長石石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
5	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	縦・斜ハケ目後横ナデ。沈線5条。				少量の長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
6	横ナデ。刻目。	横ナデ。指頭痕。	横ナデ。			横・斜ナデ(摩耗)。	縦・斜板ナデ後横ナデ。横・斜ヘラミガキ。沈線13条。刺突文。	摩耗。	摩耗。		長石石英細片	口縁部$\frac{2}{3}$存。	〃
7		摩耗。	摩耗。			指頭痕。摩耗。	摩耗。				長石石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	〃
8	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。				長石石英	口縁部$\frac{1}{15}$存。	〃
9								縦板ナデ。	縦板ナデ(ハケ状原体)。		長石石英	底部$\frac{1}{3}$存。	〃
第75図	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。				長石石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	SK405
第77図1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	SK406
2	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。				長石石英	口縁部小片。	〃
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ(摩耗)。	横・斜ナデ。沈線10条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃
4	横ナデ。	横・斜ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	縦・斜ヘラミガキ。沈線11条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
5	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ(摩耗)。								長石石英	口縁部$\frac{1}{16}$存。	〃
6	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ後斜ナデ。	縦・斜ハケ目。沈線7条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存度	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第77図7	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	斜板ナデ後横ナデ。			横・斜ナデ。	横ナデ。沈線8条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	SK406
8	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。沈線1条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃
9	横ナデ。	縦・斜ヘラミガキ後横ナデ。	横ナデ。			縦・斜ヘラミガキ後横ナデ。指頭痕。	縦板ナデ後横ナデ。				長石石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
10								ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。		長石石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
11								ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。		長石石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃
12								ナデ(摩耗)。	横・斜ナデ(摩耗)。		長石石英	底部$\frac{2}{3}$存。	〃
13								斜ナデ。	縦・斜ハケ目後横ナデ。		長石石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
第79図1	横ナデ。	縦板ナデ後横ナデ。	横ヘラミガキ後横ナデ。縦ハケ目。			横・斜ナデ。指頭痕。	縦ハケ目。沈線7条(摩耗)。				長石石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	SK409
2	横ナデ。	横・斜ヘラミガキ。	縦ハケ目後横ナデ。			縦・斜ヘラミガキ。	縦ハケ目。縦・横ヘラミガキ。沈線9条。	ナデ。	横ナデ。		長石石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	〃
第137図1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。	横ナデ。				長石石英	口縁部$\frac{1}{7}$存。	SK410
2	横ナデ。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。沈線1条。								長石石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
4	横ナデ(摩耗)。刻目。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。				長石石英	口縁部$\frac{1}{14}$存。	〃
3	横ナデ。	横・斜ナデ。	横・斜ナデ。指頭痕。	横・斜ナデ。	横・斜ナデ。沈線3条。						長石石英	口縁部$\frac{1}{14}$存。	〃
5	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。				長石石英	口縁部$\frac{1}{17}$存。	〃
6	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			縦・斜ナデ。	横・斜ナデ。沈線3条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	〃
7	横ナデ。	斜ハケ目後横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。	横ナデ。斜ハケ目。沈線2条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{13}$存。	〃
8	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			横ナデ(摩耗)。	横ナデ。沈線3条(摩耗)。				長石石英	口縁部$\frac{1}{13}$存。	〃
9								縦・横・斜ヘラミガキ。	斜ヘラミガキ。横ナデ。		長石石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
10								ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。		長石石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
第141図	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦・横・斜ナデ。	縦・横・斜ナデ。沈線4条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	SK416

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第142図1						縦・斜板ナデ。	縦・斜板ナデ後横・斜ナデ。				少量の長石少量の石英	底部$\frac{1}{2}$存。	SK417
2						斜ナデ。	斜ナデ。				長石石英	底部$\frac{5}{16}$存。	〃
第124図1	摩耗。	斜ヘラミガキ後横ナデ。	横・斜ヘラミガキ。	横・斜ヘラミガキ後斜ナデ。	横・斜ヘラミガキ。沈線3条。						長石石英	頸部$\frac{1}{2}$存。	SK431
2	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜板ナデ。	横ナデ。沈線2条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	〃
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。	横・斜ナデ。沈線3条。				少量の長石少量の石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
第48図1	横ナデ(摩耗)。	横・斜ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。								長石石英	口縁部ほぼ完存。	SK433
2				斜ナデ。	斜ナデ。沈線5条。	斜ナデ。	斜ナデ。				長石石英	胴部$\frac{1}{4}$存。	〃
3	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。								長石石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	〃
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。斜ナデ。	斜ハケ目後横ナデ。				少量の長石少量の石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	〃
5								摩耗。	横・斜ナデ。		長石石英	底部完存。	〃
6						横・斜ナデ(摩耗)。	横・斜ナデ(摩耗)。	ナデ(摩耗)。	横・斜ナデ(摩耗)。		長石石英	底部完存。	〃
7								斜ナデ。	縦・斜ハケ目。		長石石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
第49図1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	SK435
2		横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横・斜ナデ。沈線5条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{18}$存。	〃
3	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。沈線5条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{14}$存。	〃
4								斜ナデ。	斜ナデ。		長石石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
第118図1		横ナデ。	横ナデ。	縦ナデ。	横ナデ。沈線3条。	横・斜ナデ。指頭痕。	横ナデ。沈線3条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	SK444
2	刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。	横ナデ。沈線4条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{38}$存。	〃
3	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。指頭痕。	横ナデ。沈線3条。斜ハケ目後斜ナデ。	斜ナデ。指頭痕。	摩耗。焼成後の穿孔。剝落。		長石石英	ほぼ完存。	〃
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	縦・横ナデ。沈線4条。				長石石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第143図1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石石英	口縁部$\frac{1}{14}$存。	SK445
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。	横・斜ナデ。			長石石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃
3								斜ナデ。	斜ナデ。	長石石英	底部$\frac{1}{7}$存。	〃
4								斜ナデ。	横ナデ。	長石石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃
5								斜板ナデ。	横ナデ。	長石石英	底部完存。	〃
第114図								斜ナデ。	斜板ナデ。	長石石英	底部完存。	SK456
第115図	刻目。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横・斜ナデ。沈線4条。			長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	SK457
第120図1	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。	横・斜ナデ。沈線5条。			長石石英	口縁部$\frac{1}{16}$存。	SK459
2	摩耗。	斜板ナデ。	摩耗。			斜板ナデ。	沈線3条(摩耗)。			長石細片石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃
3	刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。	横ナデ。沈線4条。			長石石英	口縁部$\frac{1}{38}$存。	〃
4								斜ナデ。	横・斜ナデ。	長石石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃
5								横・斜ナデ。	縦・斜板ナデ。	砂粒をほとんど含まず精緻。	底部$\frac{1}{4}$存。	〃
第121図								斜ナデ。	横・斜ナデ。	長石石英	底部$\frac{1}{2}$存。	SK460
第106図	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			斜ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			長石石英	口縁部$\frac{1}{20}$存。	SK473
第23図1						摩耗。	縦ハケ目後横・斜ヘラミガキ。	摩耗。	縦ハケ目後横・斜ヘラミガキ。	長石石英	底部$\frac{1}{3}$存。	SK493
2	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。沈線6条。			長石石英	口縁部小片。	SK495
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				横ナデ。			少量の石英	口縁部小片。	SK496
4								摩耗。	横ナデ。	長石石英	底部$\frac{1}{5}$存。	〃

第17表　土坑伴出遺物一覧表(2)

挿図番号	成形および調整の痕跡										遺存状態	出土位置
	杯蓋		杯身		高杯		壺					
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面		外面			
第407図2							4	回転ナデ。	4	摩耗。回転ナデ。	胴部$\frac{1}{10}$存。	SK483

（註）

須恵器を表化する際に用いたアラビア数字は以下の部位を表わしている。

杯蓋　1 頂部　2 肩部　3 端部　4 かえし部

杯身　1 かえし部　2 口縁部　3 胴部　4 底部　5 高台部

高杯　1 口縁端部　2 口縁部　3 杯部　4 脚部　5 脚端部

壺・甕　1 口縁端部　2 口縁部　3 頸部　4 胴部　5 底部

第18表　土坑伴出遺物一覧表(3)

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第461図1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					ナデ。	横ナデ。		砂粒をほとんど含まない。	$\frac{1}{4}$存。	SK55
2	回転ナデ。	回転ナデ。	回転ナデ。					回転ナデ(摩耗)。	回転ナデ。		長石石英	底部完存。	〃
3								ヘラミガキ後ナデ。	横ナデ。摩耗。		少量の長石少量の石英	高台部$\frac{1}{12}$存。	SK56

第19表　竪穴住居跡状遺構伴出遺物一覧表(1)

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第300図1	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横・斜ヘラミガキ後横・斜ハケ目。	横ナデ(摩耗)。	斜ナデ。指頭痕。	縦・斜ヘラミガキ後横・斜ナデ。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	SX303
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。	横タタキ目。斜・縦ハケ目。				少量の長石 少量の石英	口縁部$\frac{1}{20}$存。	〃
第308図1	摩耗。	摩耗(一部横ハケ目)。	斜ハケ目後横ナデ。			摩耗(指頭痕)。	右上りタタキ目後斜ハケ目。				少量の長石 少量の石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	SX306
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。				少量の長石細片 少量の石英細片 微量の雲母細片	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃
3	横ナデ。(立上部内面)横ナデ。(立上部外面)横ナデ。凹線5条。	斜ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。	横ナデ。				長石細片 石英細片	口縁部$\frac{1}{7}$存。	〃
4	摩耗。(立上部内面)摩耗。(立上部外面)摩耗。	摩耗。	摩耗。								少量の長石細片 少量の石英細片	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
5		斜ナデ。	横タタキ目。摩耗。			斜ナデ。	横タタキ目。摩耗。	斜ナデ。摩耗。	横・左上りタタキ目。指おさえ。		長石 石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	〃
6								ナデ。	横ナデ。		長石 石英	底部$\frac{1}{3}$存。	〃
第310図1	摩耗。	横ナデ。	摩耗。			横ナデ。	摩耗。				砂粒をほとんど含まない。	口縁部$\frac{1}{12}$存。	SX308
2	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。								長石 石英	口縁部小片。	〃
第164図1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	SX311
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。摩耗。沈線7条。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
3	刻目。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ナデ。沈線7条。				長石 石英	口縁部小片。	〃
4								斜ナデ。	斜ナデ。		長石 石英	底部完存。	〃
5								斜ナデ。	斜ナデ。		長石 石英	底部完存。	〃

第20表　竪穴住居跡状遺構伴出遺物一覧表(2)

挿図番号	成形および調整の痕跡								胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		杯部		脚部		脚端部			
		内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第298図1	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。				長石微細片 石英微細片	杯部$\frac{1}{5}$存。	SX301
2						摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石微細片 石英微細片	脚部$\frac{1}{2}$存。	〃

第21表　大型土坑伴出遺物一覧表(1)

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第184図1	横ナデ。凹線2条。	横ハケ目。	横ナデ。	横ハケ目。縦・横指ナデ。	縦ハケ目。	摩耗。	縦ハケ目。縦ヘラミガキ。	縦・斜ヘラ削り。	縦ヘラミガキ。		長石石英	口縁部完存。底部完存。	SX328
2	横ナデ。	斜ハケ目後横・斜ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目後斜ナデ。	斜ハケ目。	斜ヘラ削り。	斜ハケ目。縦・斜ヘラミガキ。沈線1条。	斜ナデ。	縦・斜ヘラミガキ。		長石石英	ほぼ完存。	〃
3	横ナデ。凹線3条。	横ナデ。	横ナデ。	斜ナデ。	斜ハケ目後横ナデ。凹線4条。						長石石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
4	摩耗。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	斜ナデ。	斜ナデ(摩耗)。						長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
5				横ナデ。	斜ハケ目(摩耗)。沈線2条。	横・斜ナデ。指頭痕。爪の痕跡。斜ハケ目。	列点文。斜ヘラミガキ後斜ハケ目。摩耗。				長石石英	頸部$\frac{1}{4}$存。	〃
6	横ナデ。沈線1条。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						少量の長石少量の石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ナデ(摩耗)。	縦・斜ナデ(摩耗)。				長石石英	口縁部$\frac{2}{3}$存。	〃
8	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。				長石石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	〃
9	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り後斜ナデ(指頭痕)。	摩耗。斜ハケ目。				長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
10	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。斜ヘラ削り。	斜ハケ目。摩耗。				長石石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
第185図11	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			縦ナデ(摩耗)。	摩耗。				少量の長石少量の石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
12	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。凹線1条。	横ナデ。摩耗。	横ナデ。	横ヘラ削り。	摩耗。				長石石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
13	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ナデ。				長石石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	〃
14	横ナデ。(立上部内面)横ナデ。(立上部外面)横ナデ。凹線2条。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。摩耗。	横ナデ。				長石石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	〃
15	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	斜ナデ。				長石石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	〃
16	横ナデ。凹線2条。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。				長石大粒の石英	口縁部完存。	〃
17	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ヘラ削り。	摩耗。				長石細片石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃
18	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ナデ。	摩耗。	摩耗。	摩耗。				少量の長石少量の石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	〃
19	横ナデ。凹線1条。	横ナデ。	横ナデ。縦・斜ハケ目後横ナデ。			斜ヘラ削り。	縦・斜ハケ目後斜ナデ。				少量の長石少量の石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	〃
20						斜ヘラ削り。	斜ハケ目。摩耗。	斜ヘラ削り。	横ハケ目。摩耗。		長石細片石英細片	底部ほぼ完存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第185図21						横・斜ナデ(摩耗)。	摩耗。	横・斜ナデ(摩耗)。	摩耗。	長石 石英	底部$\frac{2}{3}$存。	SX328
22								斜ヘラ削り。	斜ハケ目(摩耗)。	長石 石英	底部完存。	〃
23								斜板ナデ。	斜ナデ。	長石 石英	底部完存。	〃
24								縦・斜板ナデ。	縦・斜板ナデ。 縦ハケ目。	長石 石英	底部完存。	〃
25								斜ヘラ削り。	縦・斜ヘラミガキ。 板原体の痕跡。	長石 石英	底部完存。	〃
26								斜ヘラ削り。	斜ハケ目 後横ナデ。	長石 石英	底部完存。	〃
27								摩耗。	縦ヘラミガキ(摩耗)。	長石 石英	底部完存。	〃
第186図34	横ナデ。 凹線3条。	横ナデ。	摩耗。 横ナデ。			縦・斜ヘラミガキ。	斜ハケ目。	縦・斜ヘラミガキ。	摩耗。	長石細片 石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	〃
35	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
38	凹線1条。	横ナデ。	横ナデ。			指頭痕(摩耗)。	摩耗。			少量の長石 少量の石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
36	横ナデ。 凹線2条。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横・斜ナデ(指頭痕)。 摩耗。	斜ハケ目。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
39	横ナデ。(立上部内面)横ナデ(立上部外面)横ナデ。 凹線2条。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					長石 石英	口縁部$\frac{1}{7}$存。	〃
37	横ナデ。 凹線2条。	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目。	縦ハケ目 後横ナデ。					長石 石英	口縁部ほぼ完存。	〃
40	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	縦ヘラミガキ後縦板ナデ。	摩耗。	横ナデ。	長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃

第22表　大型土坑伴出遺物一覧表(2)

挿図番号	成形および調整の痕跡								胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		杯部		脚部		脚端部			
		内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第186図28	摩耗。	横ナデ。横ヘラミガキ後斜ナデ。摩耗。	横ナデ。	縦ヘラミガキ。	縦ハケ目。	指頭痕。シボリ目。	縦ハケ目。		長石 石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	SX328
29	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ヘラミガキ。摩耗。	縦・斜ヘラミガキ。	横ナデ。シボリ目。横ヘラ削り。	縦・斜ヘラミガキ。	横ナデ。凹線2条。	長石 石英	口縁部完ほぼ存。脚部完存。	〃
30	摩耗。	横ナデ。	摩耗。凹線3条。	横ハケ目。	斜ハケ目。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
31	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横・斜ヘラミガキ。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	〃
32		横ナデ。指頭痕。	縦・斜ヘラミガキ。沈線1条。	横ナデ。縦ハケ目。	摩耗。				長石 石英	口縁部(端部除く)$\frac{1}{4}$存。	〃
33						横ヘラ削り。	斜板ナデ。	横ナデ。	長石 石英	脚部$\frac{1}{5}$存。	〃

第23表　集石土坑伴出遺物一覧表

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第315図1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	SX302
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目後横ナデ。	斜ハケ目後横ナデ。				少量の長石少量の石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
3	横ナデ。	斜ハケ目後横ナデ。	右上りタタキ目後横ナデ。			斜ハケ目後横ナデ。	右上りタタキ目後横ナデ。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
5								縦・斜ナデ。	左上りタタキ目後斜ナデ。		少量の長石少量の石英	底部$\frac{3}{4}$存。	〃
6								斜ナデ。	右上りタタキ目後斜ハケ目。		長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	右上りタタキ目後斜ナデ。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃
8	摩耗。	摩耗。	右上りタタキ目(摩耗)。			斜ハケ目(摩耗)。	左上り,縦タタキ目(摩耗)。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃

第24表　土器溜状遺構伴出遺物一覧表

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第168図1	横ナデ。	横ヘラミガキ。	横ヘラミガキ。			斜ヘラミガキ。	横ヘラミガキ。	横ヘラミガキ。	摩耗。		長石 石英 雲母	上胴部ほぼ完存。	SX313
2	横ヘラミガキ（摩耗）。	横ヘラミガキ（摩耗）。	横・斜ヘラミガキ。			斜ナデ。	横ナデ。 木葉文。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
3	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	摩耗。						長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
4	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 貼付突帯。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
5	横ナデ。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。 貼付突帯。						長石 多量の石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃
6	摩耗。	摩耗。	摩耗。			斜ナデ。	摩耗。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。 沈線1条。	摩耗。	横ナデ。				長石 多量の石英細片	口縁部$\frac{1}{3}$存。	〃
8	摩耗。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	縦ナデ。 斜格子文。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
9		摩耗。	斜・横ヘラミガキ後横ナデ。	摩耗。	横ナデ。 貼付突帯。 刻目。 斜ハケ目。						長石 石英	口縁部（端部除く）$\frac{2}{5}$存。	〃
10	（立上り部内面）横ナデ。 （立上り部外面）摩耗。	摩耗。	横ナデ。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
11						横ヘラミガキ。 摩耗。	縦ヘラミガキ。 摩耗。				長石 石英	胴部小片。	〃
12						摩耗。	横ヘラミガキ。				石英	胴部小片。	〃
13						摩耗。	横ヘラミガキ（摩耗）。				長石 石英	胴部小片。	〃
14						横ナデ。	横ヘラミガキ。				長石 石英	胴部小片。	〃
15						横ナデ。	摩耗。				長石 石英	胴部小片。	〃
16						横ナデ。	横ヘラミガキ。				石英	胴部小片。	〃
17						横ヘラミガキ。	縦・横ナデ。				長石 石英	胴部小片。	〃
18						摩耗。 縦ナデ。	横ヘラミガキ。				長石 石英	胴部小片。	〃
19						縦ナデ（指頭痕）。	横ヘラミガキ（摩耗）。				長石細片 石英細片	胴部小片。	〃
20						横ナデ。 斜ハケ目。	横ヘラミガキ。				石英	胴部小片。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第168図21						摩耗。	摩耗。				多孔の長石多孔の石英	胴部小片。	SX313
第168図22	横ナデ。刻目。	摩耗。	横・斜ハケ目。			縦指ナデ。摩耗。	斜ハケ目。	摩耗。	斜ハケ目。		長石石英	ほぼ完存。	〃
23	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。縦・斜ナデ。	摩耗。	ナデ。	横・斜ナデ。		長石多孔の石英	口縁部完存。	〃
24	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。縦指おさえ後横ナデ。	横・斜ヘラミガキ後横・斜ナデ。				長石石英	口縁部1/12存。	〃
25	横ナデ(摩耗)。	摩耗。	横ナデ(摩耗)。			摩耗。縦指ナデ。	縦・斜ハケ目(摩耗)。				長石多孔の石英細片	口縁部1/11存。	〃
26	摩耗。	横ナデ。	摩耗。			横・斜ナデ。	摩耗。				多孔の長石多孔の石英	口縁部1/4存。	〃
27	摩耗。	横ナデ。	摩耗。			斜ナデ。	摩耗。沈線1条。				長石石英	口縁部1/5存。	〃
28	横ナデ。刻目。	摩耗。	横ナデ。								長石石英	口縁部1/8存。	〃
29	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ(指頭痕)。	横ナデ。段。				多孔の長石多孔の石英	口縁部1/6存。	〃
30	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。段。				長石多孔の石英	口縁部1/7存。	〃
第170図31	摩耗。刻目。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	貼付突帯。沈線3条。刻目。沈線1条。横・斜ナデ。				長石多孔の石英	口縁部1/2存。	〃
32	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横・斜ナデ。				長石石英	口縁部3/8存。	〃
33	摩耗。刻目。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。沈線3条。				多孔の長石多孔の石英	口縁部1/16存。	〃
34	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			縦・斜ナデ。	横・斜ナデ。凹線1条。				少孔の長石少孔の石英	口縁部1/12存。	〃
35	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。				長石石英	口縁部1/8存。	〃
36	横ナデ。刻目。	斜ハケ目後横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横・斜ナデ。				長石石英	口縁部1/10存。	〃
37	横ナデ。刻目。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	縦・斜ハケ目。斜ナデ。				長石石英	口縁部1/15存。	〃
38	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。沈線4条。				長石石英	口縁部1/8存。	〃
39	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。沈線3条。				長石石英	口縁部1/8存。	〃
40	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ナデ。				長石石英	口縁部1/4存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第170図 41	摩耗。刻目。	横・斜ナデ。	横ナデ。			摩耗。	縦・斜ナデ。沈線1条。			長石細片 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	SX313
42	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横・斜ナデ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	〃
43	摩耗。	摩耗。	摩耗。横ナデ。			摩耗。	縦板ナデ。縦・横・斜ナデ。刺突文。沈線2条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
44	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
45	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃
第171図 46						横・斜ヘラミガキ後横ナデ。	斜ヘラミガキ後横ナデ。	横・斜ヘラミガキ。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	〃
47								摩耗。	斜ヘラミガキ。横ナデ。	長石 石英	底部完存。	〃
48						摩耗。	横・斜ヘラミガキ。	摩耗。	横・斜ヘラミガキ。	多量の長石 多量の石英	底部完存。	〃
49								摩耗。	横ヘラミガキ。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
50								斜ナデ。	斜ヘラミガキ後斜ナデ。	長石 石英	底部完存。	〃
51						摩耗。	横・斜ヘラミガキ。	摩耗。	横・斜ヘラミガキ後横ナデ。	長石 多量の石英	底部完存。	〃
52								斜・横ナデ。	斜・縦板ナデ(ハケ状原体)。	長石 石英	底部完存。	〃
53								横板ナデ。縦指ナデ(指頭痕)。	摩耗。横ナデ(摩耗)。	長石 石英	底部完存。	〃
54						摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	〃
55								横・斜ヘラミガキ。	縦・斜ヘラミガキ。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
56								ナデ。	横ナデ。	長石 石英	底部完存。	〃
57								斜ナデ。	摩耗。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
58								横ナデ。指おさえ。	横板ナデ。指おさえ。	長石 石英	底部完存。	〃
59						摩耗。指頭痕。	横ナデ(摩耗)。	摩耗。	横ナデ(摩耗)。	長石 石英	底部完存。	〃
60						斜指ナデ。	縦ハケ目。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第171図61								横ナデ。	摩耗。	長石石英	底部ほぼ完存。	SX313
62						斜ナデ。	斜板ナデ。	ナデ。	斜板ナデ。	多量の長石多量の石英	底部完存。	〃
63								摩耗。	摩耗。	多量の長石多量の石英	底部完存。	〃
第172図64	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
65	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。沈線1条。			多量の長石多量の石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
66	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。			長石多量の石英	口縁部$\frac{1}{7}$存。	〃
67	摩耗。	横ヘラミガキ。	摩耗。			横ヘラミガキ。	摩耗。横ヘラミガキ。	ヘラミガキ。	横ヘラミガキ。	砂粒をほとんど含まない。	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃

第25表　井戸状遺構伴出遺物一覧表

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第316図1	横ナデ。	斜ナデ(摩耗)。	横ナデ。			横ナデ(摩耗)。	横・斜タタキ目(摩耗)。			長石石英	口縁部$\frac{1}{19}$存。	SX310
2	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			斜ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
3								ナデ。	横ナデ。	長石石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃

第26表　自然凹地形伴出遺物一覧表

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第176図1	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部$\frac{1}{14}$存。	SX314
2	摩耗。	摩耗。	摩耗。 指頭痕。	摩耗。	横ナデ(摩耗)。 沈線2条。					長石 石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	〃
6	摩耗。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。 沈線2条。 縦ハケ目。					長石 石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	〃
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃
5	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。 沈線4条。					長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
4	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。 沈線5条。					長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
7	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横・斜ナデ。	摩耗。 貼付突帯に沈線4条。					長石 多孔の石英	口縁部$\frac{3}{5}$存。	〃
8				摩耗。	横ナデ(摩耗)。 貼付突帯1条。					長石 石英	頸部$\frac{1}{3}$存。	〃
9	不規則な刻目。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。			摩耗。	沈線7条。 縦板ナデ。			長石 多孔の石英	口縁部$\frac{1}{16}$存。	〃
10	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線5条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	〃
11	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	沈線9条(摩耗)。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
12	摩耗。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。 摩耗。			横ナデ(摩耗)。	摩耗。 沈線5条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
13	刻目。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。 沈線5条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
14	横ナデ。 刻目。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。 縦ヘラミガキ。 縦ナデ。	縦板ナデ。 横ヘラミガキ。 縦ナデ。			長石 石英	口縁部ほぼ完存。	〃
15	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	縦ナデ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{16}$存。	〃
16	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	〃
17	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。 縦・斜ナデ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	〃
18	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			多孔の長石 多孔の石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
19	横ナデ。 刻目。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。 沈線5条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
第177図20				摩耗。	横ナデ(摩耗)。 貼付突帯。	摩耗。	摩耗。			長石 多孔の石英	頸部$\frac{1}{3}$存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第177図21						斜ナデ。	横ナデ(摩耗)。	ナデ。	横ナデ。	長石 石英	底部完存。	SX314
22								摩耗。	摩耗。	長石 大粒の石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
23								斜ヘラミガキ。	斜ナデ。 縦ハケ目。	長石 石英	底部$\frac{3}{4}$存。	〃
24								摩耗。	摩耗。	多量の長石 多量の石英	底部完存。	〃
25								縦ナデ。	摩耗。	長石 大粒の石英	底部$\frac{4}{5}$存。	〃
26								斜ナデ。	斜ナデ。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
27								縦板ナデ。	縦ヘラミガキ。 摩耗。	長石微細片 少量の石英	底部完存。	〃
28								横・斜ヘラミガキ。 斜板ナデ。	縦ハケ目。	長石 石英	底部完存。	〃
29						横・斜ナデ。	斜ヘラミガキ。	ナデ。	斜ヘラミガキ。	少量の長石 少量の石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
30								摩耗。	摩耗。	多量の長石 多量の石英	底部完存。	〃
31								摩耗。	摩耗。	大粒の長石	底部ほぼ完存。	〃
32								指おさえ(摩耗)。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	〃
33								摩耗。	縦ハケ目 後横ナデ。	長石 石英	底部完存。	〃
34								摩耗。	摩耗。	長石	底部ほぼ完存。	〃
第180図1	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。							多量の長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	SX315
2						斜ナデ。	横ナデ。 木葉文。			長石細片 石英細片	体部小片。	〃
3	横ナデ(摩耗)。 刻目。	斜板ナデ(摩耗)。	縦板ナデ後横ナデ(摩耗)。			斜板ナデ(摩耗)。	縦板ナデ後横ナデ(摩耗)。 沈線8条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{13}$存。	〃
4	横ナデ(摩耗)。 刻目。	摩耗。	横ナデ(摩耗)。			摩耗。	横ナデ(摩耗)。 沈線10条。			多量の長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
5								横・斜ナデ。	縦板ナデ。	長石 多量の石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃
6								摩耗。	縦板ナデ。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第180図7						摩耗。	縦板ナデ後横ナデ。	摩耗。	縦板ナデ後横ナデ。	長石石英	底部$\frac{3}{4}$存。	SX315
8								斜ナデ。	斜ハケ目。	長石石英	底部$\frac{4}{5}$存。	〃
9								摩耗。	摩耗。	長石石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
第179図1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			少量の長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	SX316
2	刻目。	横ナデ。	摩耗。							長石石英	口縁部小片。	〃
3	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。摩耗。							長石石英	口縁部小片。	〃
4								指頭痕。	摩耗。	多量の長石多量の石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃
第182図1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	SX327
2						摩耗。	横ナデ。貼付突帯に刻目。			長石石英	胴部$\frac{1}{16}$存。	〃
3	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	横ナデ。			縦板ナデ。	沈線11条。横ナデ。			長石少量の石英	口縁部$\frac{1}{16}$存。	〃
4	摩耗(刻目)。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。沈線10条。			長石石英	口縁部$\frac{1}{7}$存。	〃
5	摩耗。刻目。	横ナデ。	摩耗。			横ナデ。	摩耗。沈線10条。刺突文。			長石石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃
6	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			長石石英	口縁部$\frac{1}{14}$存。	〃
7	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			長石石英細片	口縁部小片。	〃
8	刻目(摩耗)。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。			長石石英	口縁部小片。	〃
9	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	縦板ナデ。			長石石英	口縁部小片。	〃
10	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			長石	口縁部小片。	〃
11	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。			長石	口縁部小片。	〃
12	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			少量の長石石英	口縁部小片。	〃
13								摩耗。	縦・斜ナデ。	長石石英	底部完存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第102図14								摩耗。	摩耗。	多量の長石 多量の石英	底部$\frac{3}{8}$存。	SX327	
15								摩耗。	横ナデ。	大粒の長石 大粒の石英	底部完存。	〃	
16								摩耗。	摩耗。	長石 多量の石英	底部完存。	〃	
17								摩耗。	横・斜ヘラミガキ後横・斜ナデ。	長石 石英	底部完存。	〃	
18								斜ナデ。	横ナデ。	長石 石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃	
19								摩耗。	摩耗。	多量の長石 石英	底部完存。	〃	

第27表　自然流路伴出遺物一覧表(1)

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第30図1	(立上部内面)横ナデ。(立上部外面)横ナデ。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部1/8存。	SX307
2	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。			少量の長石 石英	口縁部1/2存。	〃
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦・斜ナデ。	横タタキ目後斜ハケ目(摩耗)。			長石 石英	口縁部1/2存。	〃
4	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					砂粒をほとんど含まず精緻。	口縁部1/11存。	〃
5	摩耗。 斜行文。	横ナデ。	摩耗。							長石 石英	口縁部1/10存。	〃
6	鋸歯文。	横ナデ。	横ナデ。							長石 石英	口縁部小片。	〃
7	摩耗。	横ナデ。 摩耗。	横ナデ。 縦ハケ目。							少量の長石 少量の石英	口縁部1/8存。	〃
8	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石 石英	口縁部1/16存。	〃
9	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。					長石 石英	口縁部1/5存。	〃
10	横ナデ。	横ナデ。	横タタキ目。			縦ヘラ削り。 指頭痕。	横・右上りタタキ目。	斜ヘラ削り。	摩耗。	少量の長石 少量の石英	口縁部2/3存。	〃
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。 縦・斜ハケ目後横ナデ。			長石 石英	口縁部1/10存。	〃
12	摩耗。	摩耗。	摩耗。 板原体の痕跡。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部1/6存。	〃
13	横ナデ。 沈線1条。	横ナデ。	横ナデ。			縦指おさえ。	斜ハケ目。			少量の長石細片 少量の石英細片	口縁部1/3存。	〃
14	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	摩耗。			少量の長石 少量の石英	口縁部1/10存。	〃
15	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。 縦指ナデ(摩耗)。	摩耗。 横ハケ目。			長石 石英	口縁部1/4存。	〃
16						縦ナデ。	縦・斜ハケ目。	ナデ。	縦・斜ハケ目。	少量の長石 少量の石英	底部1/2存。	〃
17						縦指ナデ後横ナデ。	横タタキ目。 縦ハケ目。	ナデ。	縦ハケ目。	長石	底部完存。	〃
18								縦ナデ。	摩耗。	砂粒をほとんど含まず精緻。	底部1/2存。	〃
20	横ナデ。	斜ハケ目後縦・横ナデ。	横タタキ目後横ナデ。			斜ハケ目後縦・斜ナデ。	横・左上りタタキ目。	斜板ナデ後縦ナデ。	横・左上りタタキ目。	長石 石英	口縁部1/2存。	〃
21	摩耗。	横ナデ。	縦ハケ目後横ナデ。			斜ハケ目後斜ナデ。	横・右上りタタキ目。			長石 石英	口縁部1/8存。	〃

第28表　自然流路伴出遺物一覧表(2)

挿図番号	成形および調整の痕跡								胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		杯部		脚部		脚端部			
		内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第320図 19						縦・横ナデ。シボリ目。	摩耗。	横ナデ。	長石 石英	脚部 $\frac{1}{4}$ 存。	SX307

第29表　自然流路伴出遺物一覧表(3)

挿図番号	成形および調整の痕跡								遺存状態	出土位置
	杯蓋		杯身		高杯		壺			
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面		
第321図 32			1/3 回転ナデ。回転ナデ。	1/3 回転ナデ。回転ナデ。					口縁部 $\frac{1}{20}$ 存。	SX307
33			1/3 回転ナデ。回転ナデ。	1/3 回転ナデ。回転ナデ。					口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	〃

第30表　河道跡伴出遺物一覧表(1)

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第174図1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	SX312
2	刻目。	横ナデ。	横ナデ。			縦指おさえ後横ナデ。	横・斜ナデ。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
3	刻目。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	斜ヘラミガキ。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラミガキ。	横・斜ヘラミガキ。				長石 石英	口縁部小片。	〃
5								摩耗。	横ナデ。 指頭痕。		少量の長石 少量の石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
第419図1								摩耗。	摩耗。		長石 石英	底部$\frac{1}{4}$存。	SX320
2								斜ナデ。	斜ナデ。		長石 多量の石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃
3								摩耗。	横ナデ。 摩耗。		長石 石英	底部ほぼ完存。	〃
4								ナデ。	横ナデ。 指頭痕。		長石 石英	底部完存。	〃

第31表　河道跡伴出遺物一覧表(2)

挿図番号	成形および調整の痕跡								遺存状態	出土位置
	杯蓋		杯身		高杯		壺			
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面		
第419図5			1/3 回転ナデ。 回転ナデ。	1/3 回転ナデ。 回転ナデ。					口縁部$\frac{1}{5}$存。	SX320
6			1/3 回転ナデ。 回転ナデ。	1/3 回転ナデ。 回転ナデ。					口縁部$\frac{1}{5}$存。	〃
7			1/3 回転ナデ。 回転ナデ。	1/3 回転ナデ。 回転ナデ。					口縁部$\frac{1}{15}$存。	〃

第32表　河道跡伴出遺物一覧表(3)

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第463図1	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	SX16
2	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。 摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃
3								斜ハケ目。	斜ハケ目。	長石 石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。					長石 石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	〃
5								摩耗。	摩耗。	石英	底部$\frac{1}{3}$存。	〃
第464図1	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目後横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			長石	口縁部$\frac{1}{8}$存。	SX17
第448図1	横ナデ。	横ナデ。	横ヘラミガキ後横ナデ。	横板ナデ。	横ナデ。横ヘラミガキ。貼付突帯に刻目。					少量の長石少量の石英	口縁部$\frac{2}{5}$存。	SX20
2	摩耗。	摩耗。一部横ナデ。貼付突帯。	横ヘラミガキ後横ナデ。	摩耗。一部横ナデ。	横ヘラミガキ。横ナデ。貼付突帯に刻目。	摩耗。剝落。一部横板ナデ。	横ヘラミガキ後横ナデ。			長石 石英	口縁部$\frac{2}{5}$存。	〃
3	横ナデ。	横ヘラミガキ。	横ヘラミガキ。	横ヘラミガキ。縦ナデ。	横ヘラミガキ。削り出し突帯。沈線3条。	不明。	横・斜ヘラミガキ。			長石 石英	完存。	〃
4	横ヘラミガキ。	横ヘラミガキ。	横ヘラミガキ。	横ヘラミガキ。	横ヘラミガキ。					長石 石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	〃
5	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目後横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目後横ナデ。沈線3条。					長石 石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	〃
6	横ナデ。	横ナデ。一部横ハケ目。	横ナデ。	縦ナデ。	沈線3条。	縦ナデ。	横ナデ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	〃
7	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。一部縦ナデ。	摩耗。	摩耗。一部縦ナデ。	摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
8	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。沈線3条。	斜・縦ヘラミガキ。斜板ナデ。	横・斜板ナデ。一部縦ハケ目。	横ヘラミガキ。	縦ヘラミガキ。	長石 石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
第450図9	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ナデ。後斜板ナデ。	横・斜ヘラミガキ。沈線4条。			少量の長石少量の石英	口縁部$\frac{1}{7}$存。	〃
10	刻目。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ナデ後横ナデ。	横・斜ハケ目(摩耗)。沈線4条。			石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
11	刻目。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	指頭痕。横ナデ。	縦ナデ。	横ナデ。沈線5条。			少量の長石少量の石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	〃
12	刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			長石	口縁部$\frac{1}{9}$存。	〃
13	摩耗。	摩耗。	摩耗。沈線4条。			摩耗。	摩耗。把手有。			多量の石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
14	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目後横ナデ。	縦ナデ後横ナデ。	斜ハケ目後横ナデ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{11}$存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第450図15	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	SX20
16	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	一部縦ナデ後横ヘラミガキ。横ナデ。	横ヘラミガキ。	横ヘラミガキ後横ナデ。	横ヘラミガキ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	〃
17								摩耗。	斜ヘラミガキ後縦板ナデ。	少量の長石 少量の石英	底部完存。	〃
18								縦ナデ(指頭痕)。	縦板ナデ。縦ハケ目。	長石 石英	底部ほぼ完存。	〃
19								斜ヘラミガキ後横板ナデ。	縦ヘラミガキ後縦・横ナデ。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
20								横ヘラミガキ。ナデ(指頭痕)。	縦ハケ目後横ナデ。	多量の石英 長石	底部完存。	〃
21								摩耗。	縦板ナデ。	少量の長石 少量の石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
第451図1	一部刻目。	横ナデ。	横ナデ。	縦ナデ後横板ナデ。	指頭痕後横ナデ。	横板ナデ。	縦板ナデ。斜ヘラミガキ。			少量の長石 多量の石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	〃
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ナデ。	摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{11}$存。	〃
3	横ナデ。刻目。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。沈線4条。	摩耗。	横ナデ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	〃
4	刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	斜ヘラミガキ後横ナデ。沈線4条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	〃

第33表　河道跡伴出遺物一覧表(4)

挿図番号	成形および調整の痕跡												遺存状態	出土位置
	杯蓋				杯身				高杯				壺					
	内面		外面		内面		外面		内面		外面		内面		外面			
第483図7	2 回転ナデ。 3 回転ナデ。		2 回転ナデ。 3 回転ナデ。														端部$\frac{1}{10}$存。	SX16
8	2 回転ナデ。 3 回転ナデ。		2 回転ナデ。 3 回転ナデ。														端部$\frac{1}{6}$存。	〃
9	1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。		1 回転ヘラ削り。 2 回転ヘラ削り。 3 回転ナデ。														端部$\frac{1}{8}$存。	〃
10	1 回転ナデ。仕上げナデ。 2 回転ナデ。		1 回転ヘラ削り。 2 回転ヘラ削り回転ナデ。														頂部$\frac{1}{2}$存。	〃
11					1 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。		1 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ヘラ削り。										口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃
12					1 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。		1 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ヘラ削り。										口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
13					1 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。		1 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ヘラ削り。										口縁部$\frac{1}{9}$存。	〃
第464図2					1 回転ナデ。 3 回転ナデ。		1 回転ナデ。 3 回転ナデ。										口縁部$\frac{1}{4}$存。	SX17
3					1 回転ナデ。 3 回転ナデ。		1 回転ナデ。 3 回転ナデ。										口縁部$\frac{1}{7}$存。	〃
4													2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。 5 回転ナデ。		1 回転ナデ。回転ナデ。回転ナデ。回転ナデ。回転ヘラ削り。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。 5 回転ナデ。		口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
5													2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 青海波後回転ナデ。		1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 格子状タタキ後回転ナデ。		口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃
6													2 回転ナデ。 4 回転ナデ。		1 回転ナデ(自然軸)。 2 回転ナデ(自然軸)。 3 回転ナデ(自然軸)。		口縁部$\frac{1}{3}$存。	〃

第34表　溝状遺構伴出遺物一覧表(1)

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第408図1	横ナデ。	横ナデ。	横・斜ナデ。								少量の長石少量の石英	口縁部1/8存。	SD301
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								長石石英	口縁部1/8存。	〃
3	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	横ナデ。				少量の長石少量の石英	口縁部1/4存。	〃
5								摩耗。	摩耗。		長石石英	底部完存。	〃
第410図1	摩耗。刺突文。鋸歯文。斜格子文。	摩耗。	摩耗。								長石石英	口縁部1/8存。	SD303
2	摩耗。	摩耗。	摩耗。								砂粒をほとんど含まない。	口縁部1/8存。	〃
3	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			斜ヘラ削り(摩耗)。	摩耗。				長石細片少量の石英	口縁部1/12存。	〃
4								摩耗。	右上りタタキ目。摩耗。		長石石英	底部1/2存。	〃
5								摩耗。	横タタキ目。		長石石英	底部1/3存。	〃
第294図1	横ハケ目後横ナデ。	横・斜ハケ目。	縦ハケ目後横ナデ。			横ハケ目。	縦・斜ハケ目後横ナデ。縦・斜ヘラミガキ。				長石大粒の石英	口縁部ほぼ完存。	SD307
2	摩耗。	摩耗。	摩耗。横ナデ。	横・斜ハケ目。	縦ハケ目。	摩耗。	縦ハケ目。				長石	口縁部1/4存。	〃
3	横ナデ。	横ナデ。横ハケ目。	横ナデ。	横ハケ目。	縦・斜ハケ目。						砂粒をほとんど含まない。	口縁部1/2存。	〃
4	摩耗。	横ナデ。	横・斜ハケ目後横・斜ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目後横ナデ。	縦指おさえ後横ナデ。	縦ハケ目後縦ヘラミガキ横ナデ。				多量の長石多量の石英	口縁部1/5存。	〃
5	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	縦・斜ハケ目。						石英	口縁部1/8存。	〃
6	横ナデ。凹線3条。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目。	斜板ナデ。	縦ハケ目。				長石石英	口縁部1/2存。	〃
7	凹線1条。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						長石石英	口縁部1/4存。	〃
8	摩耗。	摩耗。	摩耗。								長石	口縁部1/16存。	〃
9	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								少量の長石少量の石英	口縁部1/2存。	〃
10	摩耗。貼付突帯。	摩耗。	摩耗。								長石石英	口縁部1/6存。	〃
11	摩耗。	横ナデ。	縦ハケ目後横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目後横ナデ。	摩耗。	横タタキ目。				長石石英	頸部1/4存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第294図12	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。	縦・板ナデ。				長石 石英	口縁部1/5存。	SD307
13	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦・斜ヘラ削り後縦・斜ハケ目・横・斜ナデ。	縦・斜ハケ目後横・斜ナデ。				砂粒をほとんど含まない。	口縁部1/24存。	〃
14	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	斜ハケ目。				長石 石英	口縁部1/8存。	〃
15	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。			横ナデ。斜ヘラ削り。	縦,斜ハケ目(摩耗)。左上りタタキ目。				長石細片 石英細片	口縁部1/8存。	〃
16	摩耗。	横ハケ目。	縦ハケ目後横ナデ。			摩耗。	横・斜タタキ目。				長石 石英	口縁部1/5存。	〃
第295図17	摩耗。	摩耗。	摩耗。右上りタタキ目。			摩耗。	右上りタタキ目。				長石 石英	口縁部1/5存。	〃
18	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指頭痕。摩耗。	横タタキ目(摩耗)。				大粒の長石 大粒の石英	口縁部1/4存。	〃
19	横ナデ。	横板ナデ。	横ナデ。			横・斜板ナデ。	縦・斜板ナデ。				長石細片 石英細片	口縁部1/6存。	〃
20	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ(指頭痕)。	縦板ナデ(摩耗)。				砂粒をほとんど含まない。	口縁部1/6存。	〃
21	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。斜ハケ目。	摩耗。				砂粒をほとんど含まない。	口縁部1/8存。	〃
22	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目後横ナデ。			摩耗。	縦ハケ目後横ナデ。				長石 大粒の石英	口縁部1/7存。	〃
23	横ナデ。凹線3条。	横ナデ。	横ナデ。								長石 石英	口縁部1/5存。	〃
24	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	縦ハケ目。				砂粒をほとんど含まない。	口縁部1/8存。	〃
25						摩耗。斜ハケ目後横ナデ。	横ナデ。縦・斜ハケ目。	縦・斜ハケ目。	縦・斜ハケ目。		長石微細片	胴部1/3存。底部完存。	〃
26								横・斜ハケ目。	縦・斜ハケ目。		少量の長石 少量の石英	底部完存。	〃
27						摩耗。	横タタキ目後縦ハケ目(摩耗)。	摩耗。	横・右上りタタキ目(摩耗)。		長石 少量の石英	底部1/2存。	〃
28								斜ハケ目。ナデ。	斜ハケ目。		少量の長石 少量の石英	底部ほぼ完存。	〃
29								縦ヘラ削り。指おさえ。	斜ヘラミガキ。		砂粒をほとんど含まない。	底部ほぼ完存。	〃
30								縦・斜ハケ目後縦・斜ヘラミガキ。	縦ヘラ削り後縦ハケ目。		少量の長石 石英	底部完存。	〃
31						摩耗。	横タタキ目後縦・斜ハケ目縦・斜ヘラミガキ。	摩耗。斜板ナデ。	横タタキ目後縦・斜ハケ目。		長石 石英	底部1/2存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第295図32								摩耗。	摩耗。	少量の長石石英	底部完存。	SD307
33								摩耗(一部斜ハケ目)。	斜ハケ目後斜ナデ。	長石石英	底部完存。	〃
34						斜ヘラ削り。	縦・斜ハケ目。	ヘラ削り。	縦・斜ハケ目。	長石細片。	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
35						摩耗。	縦・斜ハケ目。	摩耗。	摩耗。	少量の長石石英	底部完存。	〃
36								摩耗。	摩耗。斜ハケ目後横ナデ。	長石細片石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
37								摩耗。	摩耗。	長石石英	底部$\frac{1}{3}$存。	〃
第296図39	摩耗。	斜ハケ目。	斜ナデ。			斜ハケ目。	斜ナデ。	摩耗。	左上りタタキ目。	少量の長石石英	底部完存。	〃
40	摩耗。	横ハケ目(摩耗)。	縦ハケ目後横ナデ。			縦・横・斜ハケ目(摩耗)。	縦・横・斜ハケ目(摩耗)。			長石細片少量の石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
41	凹線1条。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	縦ハケ目。			少量の長石石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
42	横ナデ。	斜ハケ目後斜ナデ。	横ナデ。			縦・斜ハケ目。	縦・斜ヘラ削り後横・左上りタタキ目。	縦・斜ハケ目。	縦・斜ヘラ削り後横・左上りタタキ目。	長石石英細片	口縁部ほぼ完存。	〃
43	横ナデ。	横ナデ。	横・斜ナデ。			斜板ナデ。	横・斜ナデ。	斜・板ナデ。	横・斜ナデ。	長石	口縁部$\frac{1}{5}$存。	〃
44	摩耗。	斜板ナデ。	横・斜ナデ。			斜板ナデ。	横・斜ナデ。	板ナデ。	横・斜ナデ。	長石微細片	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
45	摩耗。	摩耗。	摩耗。沈線1条。			摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
46	横ナデ。	縦・斜ハケ目。	縦ヘラ削り後横ナデ。			縦・斜ハケ目。	縦ヘラ削リ後横ナデ。	簾状ハケ目。	縦ヘラ削り後横ナデ。	少量の長石細片石英	ほぼ完存。	〃
47	摩耗。	摩耗。斜ハケ目。	横タタキ目。			縦・斜ハケ目。	縦・斜ハケ目。	摩耗。	縦・斜ハケ目。	砂粒をほとんど含まない。	口縁部$\frac{1}{3}$存。	〃
48	摩耗。	斜ヘラミガキ後横ナデ。	斜ハケ目後斜ナデ。			斜ハケ目後縦ヘラミガキ。	斜ハケ目後斜ナデ。	斜ハケ目後斜ヘラミガキ。	斜ハケ目後斜ナデ。	長石細片石英細片金雲母	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
第297図1	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	SD308
2	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り。	斜ナデ。			長石石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃
第415図1	摩耗。	摩耗。	横タタキ目。			摩耗。	右上リタタキ目。			長石石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	SD311
第159図1	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	SD312

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第159図2	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。貼付突帯。	横ナデ。							長石石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	SD312
3	横ナデ。	横・斜ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。	横ナデ。			長石石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	〃
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			長石石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	〃
5	摩耗。	摩耗。	横ナデ。							多量の長石細片石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
6	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。沈線1条。					長石石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃
7	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	〃
8	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。					長石多量の石英	口縁部小片。	〃
9	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目。縦板ナデ。	横ナデ。	縦板ナデ。					微量の長石石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃
10	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。					多量の長石石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。貼付突帯に沈線2条。	横ナデ。	横ナデ。			長石多量の石英	胴部$\frac{1}{4}$存。	〃
12	摩耗。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。					長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
13	横ナデ。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。沈線2条。					長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
14	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。沈線2条。			長石石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	〃
15						横・斜板ナデ。	横・斜ナデ沈線2条。竹管文。			長石石英	胴部$\frac{1}{10}$存。	〃
16	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指おさえ後横・斜ナデ。	指おさえ後斜ナデ。	指おさえ後横・斜ナデ。	指おさえ後斜ナデ。	長石細片石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
第160図17	摩耗。	摩耗。	摩耗。			斜ナデ。	摩耗。沈線7条。			長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
18	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ	横・斜ナデ。	横ナデ。					長石多量の石英	口縁部$\frac{1}{14}$存。	〃
19	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	摩耗。沈線3条。			長石石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	〃
20	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。沈線12条。			長石石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃
21	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	摩耗。沈線1条。			長石石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第180図 22	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横・斜ナデ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{7}$存。	SD312
23	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	横，斜ナデ(摩耗)。			多量の長石 大粒の石英	口縁部$\frac{1}{11}$存。	〃
24	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線3条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	〃
25	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	胴部$\frac{1}{7}$存。	〃
26	摩耗。 刻目。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	胴部$\frac{1}{11}$存。	〃
27	摩耗。 刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ(摩耗)。	横ナデ。 沈線7条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃
28	摩耗。 刻目。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。 沈線5条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃
29	刻目(摩耗)。	横ナデ。	横ナデ。			斜指おさえ(摩耗)。	横ナデ。 沈線3条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃
30	刻目。	横ナデ。	横ナデ。							長石 多量の石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	〃
31	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。 沈線1条。			縦・横・斜ナデ。	縦・斜ナデ。	ナデ。	縦ヘラ削り後横ナデ。	長石 多量の石英	口縁部$\frac{3}{4}$存。	〃
32								斜ナデ(指頭痕)。	斜ヘラミガキ指おさえ後横ナデ。	長石細片 石英	底部$\frac{1}{8}$存。	〃
33								縦板ナデ。	横ナデ。	長石 石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃
34								縦・斜ナデ。 指頭痕。	縦・斜板ナデ(摩耗)。 横ナデ。	長石	底部完存。	〃
35						摩耗。	横ナデ。	摩耗。 指頭痕。	横ナデ。	長石 多量の石英	底部完存。	〃
36								斜指おさえ。 摩耗。	摩耗。	長石 石英細片	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
37								指頭痕。	横ナデ。	長石	底部$\frac{2}{3}$存。	〃

第35表　溝状遺構伴出遺物一覧表(2)

挿図番号	成形および調整の痕跡								胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		杯部		脚部		脚端部			
		内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第408図 4						摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	脚部$\frac{1}{5}$存。	SD301
第296図 38				摩耗。	摩耗。	シボリ目(摩耗)。	摩耗。	摩耗。	少量の長石 少量の石英	脚部ほぼ完存。	SD307

第36表　溝状遺構伴出遺物一覧表(3)

挿図番号	成形および調整の痕跡												遺存状態	出土位置
	杯蓋				杯身				高杯				壺					
	内面		外面		内面		外面		内面		外面		内面		外面			
第408図 6	1 仕上げナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。		1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。														ほぼ完存。	SD301
7					1 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。		1 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ヘラ削り。										口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
第410図 8					1 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。		1 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ヘラ削り。										口縁部$\frac{1}{2}$存。	SD303
9					1 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 仕上げナデ。		1 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ヘラ削り。										口縁部$\frac{1}{2}$存。	〃
10					2 回転ナデ。 3 回転ナデ。		2 回転ナデ。 3 回転ナデ。										口縁部小片。	〃
第415図 2					3 回転ナデ。 4 回転ナデ。		3 回転ナデ。 4 回転ヘラ削り。										底部$\frac{1}{4}$存。	SD311

第37表　溝状遺構伴出遺物一覧表(4)

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第29図1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目。					長石	口縁部1/8存。	SD04
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					石英	口縁部1/4存。	〃
3	凹線1条。	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。	斜ハケ目。					長石 石英	口縁部1/8存。	〃
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。	斜ハケ目。					長石	口縁部1/6存。	〃
5	斜格子文。	横ナデ。	横ナデ。							精緻。	口縁部1/10存。	〃
6	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。							長石 石英	口縁部1/8存。	〃
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石 石英	口縁部1/6存。	〃
8	横ナデ。(立上部内面)横ナデ。(立上部外面)横ナデ。凹線1条。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			長石 石英	口縁部1/8存。	〃
9	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			少量の長石	口縁部1/4存。	〃
10	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			精緻。	口縁部1/6存。	〃
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ(摩耗)。	横ナデ。			長石	口縁部1/8存。	〃
12	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜・縦ハケ目。	斜・縦ハケ目。			長石含むが精緻。	口縁部1/4存。	〃
13	凹線1条。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			長石 石英	口縁部1/12存。	〃
14	横ナデ。	摩耗。	左上りタタキ目。			摩耗。	左上りタタキ目			少量の長石	口縁部1/8存。	〃
15	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。右上りタタキ目。			横ナデ。	右上りタタキ目。			長石 石英	口縁部1/4存。	〃
16	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。			長石	口縁部1/8存。	〃
17	横ナデ。	横ナデ。	右上りタタキ目。			横ナデ。	右上りタタキ目。			石英	口縁部1/5存。	〃
18	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	右上りタタキ目。			長石 石英	口縁部1/8存。	〃
19	摩耗。(立上部内面)摩耗。(立上部外面)摩耗。凹線5条。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	横ナデ。			長石	口縁部1/6存。	〃
20	摩耗。(立上部内面)摩耗。(立上部外面)摩耗。凹線5条。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部1/8存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第290図21	横ナデ。(立上部内面)横ナデ。(立上部外面)横ナデ。沈線5条。	横ナデ。	横ナデ。							長石	口縁部$\frac{1}{12}$存。	SD04
22	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
23						摩耗。	左上りタタキ目後斜ハケ目。	摩耗。	左上りタタキ目。	長石石英	底部$\frac{2}{3}$存。	〃
24						横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	長石石英	底部完存。	〃
25						横ナデ。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石石英	底部完存。	〃
26						縦ヘラ削り。	横ナデ。	縦ヘラ削り。	摩耗。	長石石英	底部完存。	〃
28	横ナデ。	簾状ハケ目。	横タタキ目(摩耗)。			簾状ハケ目。	横タタキ目。	簾状ハケ目。	横タタキ目。	石英	底部完存。	〃
29	横ナデ。	横ナデ後斜ハケ目。	横ナデ。			横ナデ後斜ハケ目(摩耗)。	横ナデ後右上リタタキ目。			長石	口縁部$\frac{1}{5}$存。	〃
30								ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	長石石英	底部完存。	〃
31	摩耗。	横ナデ(摩耗)。	摩耗。			横ナデ(摩耗)。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
第291図1	摩耗。	摩耗。	横タタキ目。	横ナデ。	横ナデ。					長石石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	SD05
2	横ナデ。	横ナデ。丹塗の痕跡。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。					長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
3	鋸歯文。	横ナデ。	横ナデ。							多孔の長石多孔の石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	〃
4	摩耗。	摩耗。	摩耗。							精緻。	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
5	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。					精緻。	口縁部$\frac{1}{3}$存。	〃
6	摩耗。	摩耗。	横ナデ。							長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
7	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石石英	口縁部$\frac{1}{16}$存。	〃
8	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
9	摩耗。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃
10	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第29図 11	摩耗。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。			横ナデ(摩耗)。	横ナデ。				長石	口縁部1/8存。	SD05
12	横ナデ。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。			横ナデ(摩耗)。	横ナデ。				精緻。	口縁部1/8存。	〃
13	摩耗	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				長石 石英	口縁部1/8存。	〃
14	凹線2条。	横ナデ。	横ナデ。丹塗の痕跡。			横ナデ。	横ナデ。				長石	口縁部1/8存。	〃
15	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	右上リタタキ目。				長石	口縁部1/4存。	〃
16						摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。		長石 雲母	底部完存。	〃
17						斜ヘラ削リ後縦ハケ目(粗)。	縦・斜ハケ目。	斜ヘラ削リ後縦ハケ目(粗)。	摩耗。		長石	底部完存。	〃
18						斜ハケ目(摩耗)。	右上リタタキ目(摩耗)。	斜ハケ目(摩耗)。	右上リタタキ目(摩耗)。		長石 石英	底部完存。	〃
19	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	剝落。				石英	口縁部1/8存。	〃
20	摩耗。	横ナデ(摩耗)。	摩耗。			横ナデ(摩耗)。	摩耗。	摩耗。	摩耗。		長石 石英	底部完存。	〃
21								摩耗。	摩耗。		少量の石英	底部1/3存。	〃
第40図 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								長石 石英	口縁部1/8存。	SD36
2								横ナデ。	摩耗。		長石	底部1/4存。	〃
3	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				多量の長石 多量の石英	口縁部1/10存。	SD40
4		横ナデ。	横ナデ。			剝落。	横ナデ後斜ハケ目。				長石 石英	頸部1/6存。	〃
5						横・斜板ナデ(摩耗)。	斜ハケ目(摩耗)。	板ナデ(摩耗)。	斜ハケ目(摩耗)。		長石 石英	底部完存。	〃
6								斜ハケ目。	横タタキ目。		長石	底部完存。	〃
9								摩耗。	摩耗。		微量の石英細片	底部1/3存。	SD48
13	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。				長石 石英	口縁部小片。	SD49
14								摩耗。	横ナデ。		長石微細片	底部1/4存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第462図15								摩耗。	横ナデ。	砂粒をほとんど含まず精緻。	底部$\frac{1}{2}$存。	SD49
18								摩耗。	横ナデ。	微量の長石	底部$\frac{1}{2}$存。	SD50
19	摩耗。	摩耗。	摩耗。					摩耗。	摩耗。	微量の長石 微量の雲母細片	底部$\frac{1}{3}$存。	〃
20								摩耗。	摩耗。	雲母細片	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
22	摩耗。	摩耗。	摩耗。					摩耗。	摩耗。	雲母微細片	口縁部$\frac{1}{8}$存。	SD58
23								摩耗。	摩耗。	砂粒をほとんど含まない。	底部$\frac{1}{4}$存。	〃
第479図1								摩耗。	摩耗	砂粒をほとんど含まない。	底部$\frac{1}{4}$存。	SD68
2								摩耗。	摩耗。	砂粒をほとんど含まず精緻。	底部$\frac{1}{8}$存。	〃
3								摩耗。	摩耗。	砂粒をほとんど含まない。	底部$\frac{1}{4}$存。	〃
6				摩耗。	沈線2条(摩耗)。					長石 多量の石英	頸部$\frac{1}{4}$存。	SD110
7						横板ナデ。	貼付突帯に刻目(摩耗)。			長石 石英 雲母	胴部$\frac{1}{8}$存。	〃
8								ナデ(摩耗)。	斜ヘラミガキ。	長石 石英	底部$\frac{2}{3}$存。	〃
9								横ナデ。	縦板ナデ。	長石 石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃
10						斜ヘラミガキ。	横ヘラミガキ(摩耗)。貼付突帯に刻目2条。			長石 石英	胴部$\frac{1}{8}$存。	SD111
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。指頭痕。			摩耗。	横ナデ 沈線2条。			長石 多量の石英	口縁部$\frac{1}{16}$存。	〃
12								ナデ。	横ナデ。	長石 多量の石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
第480図1	横ナデ。	横ナデ後横ヘラミガキ。	横ナデ後斜ヘラミガキ。	横ナデ後横ヘラミガキ。	横ナデ後斜ヘラミガキ。					石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	SD109
2	横ナデ。	横ナデ後横ヘラミガキ。	横ナデ後斜ヘラミガキ。			横ナデ後縦・斜ヘラミガキ(摩耗)。	横ナデ後斜ヘラミガキ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃
3		横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			多量の長石	口縁部$\frac{1}{4}$存。	〃
4						横ナデ。	横ナデ。突帯。			石英	胴部$\frac{1}{6}$存。	〃

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第480図5	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。刺突文。			横ナデ。	横ナデ。			長石	口縁部$\frac{1}{10}$存。	SD109
6	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ後沈線8条。			長石石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	〃
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。剝落。			石英	口縁部小片。	〃
8	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			縦ナデ。	横ナデ。			石英	口縁部$\frac{1}{20}$存。	〃
9	摩耗。	摩耗。	指頭痕。			摩耗。	沈線3条。摩耗。			石英	口縁部小片。	〃
10								横ナデ。	横ナデ。	多量の長石多量の石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃
11								横板ナデ(摩耗)。	横ナデ後斜ヘラミガキ。	多量の石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃
12								板ナデ(摩耗)。	横ナデ。	長石多量の石英	底部完存。	〃
13						摩耗。	縦ヘラミガキ後横ナデ。	摩耗。	縦ヘラミガキ。	長石石英	底部$\frac{1}{3}$存。	〃
14						横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	横ナデ後斜ハケ目。	長石石英	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
15						摩耗。	斜ヘラミガキ後横ハケ目。	横ナデ。	摩耗。	多量の長石多量の石英	底部完存。	〃
16								ヘラミガキ(摩耗)。	斜ヘラミガキ(摩耗)。	石英	底部完存。	〃
17						摩耗。	剝落。	摩耗。	剝落。	長石石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃
18								横ナデ。	横ナデ後斜ハケ目。	長石	底部$\frac{1}{2}$存。	〃
19								剝落。	斜ハケ目(摩耗)。	長石多量の石英	底部$\frac{1}{4}$存。	〃
20								斜ヘラミガキ。	摩耗。	長石石英	底部完存。	〃

第38表　溝状遺構伴出遺物一覧表(5)

挿図番号	成形および調整の痕跡								胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		杯部		脚部		脚端部			
		内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第290図 27						摩耗。シボリ目。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	脚端部 $\frac{1}{4}$存。	SD04
第291図 22				摩耗。	摩耗。				長石 石英	杯部ほぼ完存。	SD05
23						摩耗。	摩耗。		長石 石英	脚部ほぼ完存。	〃
第462図 7	摩耗。	摩耗。	横ナデ。						多量の長石 多量の石英	口縁部 $\frac{1}{8}$存。	SD40
8						横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	摩耗。	長石	脚部ほぼ完存。	〃

第39表　溝状遺構伴出遺物一覧表(6)

挿図番号	成形および調整の痕跡								遺存状態	出土位置
	杯蓋		杯身		高杯		壺			
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面		
第462図 10			2 回転ナデ。 3 回転ナデ。	2 回転ナデ。 3 回転ナデ。					口縁部小片。	SD48
11			1 回転ナデ。 3 回転ナデ。	1 回転ナデ。 3 回転ナデ。					底部$\frac{1}{4}$存。	〃
第479図 4			1 回転ナデ。 3 回転ナデ。	1 回転ナデ。 3 回転ナデ。					口縁部$\frac{1}{6}$存。	SD68
5			4 回転ナデ。 5 回転ナデ。	4 回転ナデ。 5 回転ナデ。					底部$\frac{1}{5}$存。	〃

第40表　土器列伴出遺物一覧表(1)

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第32図1	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。	摩耗。	斜ハケ目。貼付突帯に刻目。	摩耗。	縦・斜ハケ目(摩耗)。	摩耗。	縦・斜ハケ目(摩耗)。	長石 石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	—
2	横ナデ。	斜ナデ。	横ナデ。	摩耗。	縦ハケ目。					長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	—
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ナデ。	縦ハケ目。					長石 石英	口縁部$\frac{2}{3}$存。	—
4	横ナデ。	横・斜ヘラミガキ(摩耗)。	横ナデ。縦・斜ハケ目(摩耗)。							長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	—
5	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	斜ヘラ削り(摩耗)。	摩耗。			長石 石英	口縁部ほぼ完存。	—
6	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	縦ハケ目。			摩耗。	斜ハケ目。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	—
7	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。斜ヘラ削り。	斜ハケ目。	斜ヘラ削り後斜ハケ目。	斜ハケ目(摩耗)。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	—
8	摩耗。	摩耗。	摩耗。			縦・斜ヘラ削り(摩耗)。	縦ハケ目(摩耗)。			長石 石英	口縁部(端部除く)$\frac{1}{4}$存。	—
9	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			斜ヘラ削後縦・斜板ナデ。	横タタキ目。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	—
10	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			斜ヘラ削り。	斜ハケ目(摩耗)後横ナデ。			長石 石英	口縁部小片。	—
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ(摩耗)。	摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{11}$存。	—
第32図12	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。	横ナデ。摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	—
13	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。	横ナデ。			少量の長石少量の石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	—
14	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			斜ヘラ削り。	摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	—
15	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	左上りタタキ目(摩耗)。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	—
16	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{2}{3}$存。	—
17	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。							長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	—
19	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	縦・斜ハケ目。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	—
20	摩耗。	摩耗。	右上りタタキ目。			縦・斜ハケ目。	摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{15}$存。	—
21	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			摩耗。	横タタキ目(摩耗)。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{16}$存。	—

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第323図 22	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	−
23								縦指ナデ。 摩耗。	指頭痕。 摩耗。	長石 石英	既部完存。	−
24								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	−
25						斜ハケ目 後斜ナデ。	摩耗。	斜ナデ。 指頭痕。	摩耗。	少量の長石 石英	底部完存。	−

第41表　土器列伴出遺物一覧表(2)

挿図番号	成形および調整の痕跡								胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		杯部		脚部		脚端部			
		内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第323図 18						摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	脚部$\frac{1}{4}$存。	−

第42表　土器群（第３層）伴出遺物一覧表(1)

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第324図1	横ナデ。竹管文。鋸歯文。	横ナデ。	横ナデ。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	−
2	鋸歯文(摩耗)。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。						少量の長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	−
3	横ナデ。斜行文。	横ナデ。	横ナデ。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	−
4	摩耗。	摩耗。	摩耗。								少量の長石 少量の石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	−
5	摩耗。	摩耗。	摩耗。								砂粒をほとんど含まない。	口縁部$\frac{1}{10}$存。	−
6	摩耗。	摩耗。	摩耗。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	−
7		横ナデ。	横ナデ。								石英	口縁部$\frac{1}{7}$存。	−
8	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ(摩耗)。横・斜へラ削り（摩耗)。	左・右タタキ目後斜ハケ目。				少量の長石	口縁部完存。	−
9	(立上部内面）摩耗。(立上部外面）摩耗。	摩耗。	摩耗。								長石細片 石英細片	口縁部$\frac{1}{9}$存。	−
10	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦・横ナデ。	横ナデ。	縦・横ナデ。	摩耗。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	−
11	摩耗。	摩耗。	摩耗。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	−
12	横ナデ(摩耗)。	摩耗。	横ナデ(摩耗)。								長石 多量の石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	−
13	摩耗。	摩耗。	摩耗。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	−
14	摩耗。	摩耗。	摩耗。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	−
15	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	−
16	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。縦ハケ目。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	−
17	横ナデ。凹線２条。	摩耗。	横ナデ。								砂粒をほとんど含まない。	口縁部$\frac{1}{12}$存。	−
18	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	−
19	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	−
20	摩耗。	摩耗。	摩耗。			斜ナデ。	斜ナデ。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	−

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第324図21	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	横タタキ目(摩耗)。				砂粒をほとんど含まない。	口縁部1/13存。	—
22	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ(摩耗)。				長石 石英	口縁部1/9存。	—
23	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	右上りタタキ目。				長石	口縁部1/8存。	—
24	摩耗。	摩耗。	横タタキ目(摩耗)。			摩耗。	摩耗。				長石 石英	口縁部1/8存。	—
25	摩耗。	横ナデ。	斜ハケ目後横ナデ。			斜ナデ。	斜ハケ目。				長石 石英	口縁部1/6存。	—
第325図26	摩耗。	摩耗。	摩耗。 縦ハケ目。								砂粒をほとんど含まない。	口縁部1/9存。	—
27	摩耗。	摩耗。	横タタキ目(摩耗)。 斜ハケ目(摩耗)。			摩耗。	摩耗。				長石 石英	口縁部1/10存。	—
28	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。				少量の長石 少量の石英	口縁部1/6存。	—
29	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				少量の長石	口縁部1/9存。	—
30	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 縦ハケ目。			斜ハケ目。 指頭痕。 縦・斜ヘラ削り。	横タタキ目。				少量の長石 少量の石英	口縁部1/5存。	—
31	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			斜ハケ目。 縦ヘラ削り(摩耗)。	斜ハケ目(摩耗)。				長石細片 石英	口縁部1/6存。	—
32	摩耗。	横ナデ(摩耗)。	横・右上りタタキ目(摩耗)。			斜ヘラ削り。	横,右上りタタキ目(摩耗)。				石英	口縁部(端部除く)1/9存。	—
33	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				多量の長石 石英細片	口縁部1/4存。	—
34	摩耗。	摩耗。	摩耗。								長石 石英	口縁部1/12存。	—
35								摩耗。	右上りタタキ目(摩耗)。		長石 石英	底部完存。	—
36								摩耗。	摩耗。		長石 石英	底部完存。	—
37								摩耗。	摩耗。		少量の長石 少量の石英	底部ほぼ完存。	—
38	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			斜ヘラ削り後斜ナデ(摩耗)。	左上りタタキ目後斜ナデ。				長石	口縁部1/8存。	—
39	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。		長石 石英	ほぼ完存(口縁部を除く)。	—
44	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。				多量の長石 多量の石英細片	口縁部1/8存。	—

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第325図45	横ナデ。	横・斜ナデ。	右上りタタキ目後横ナデ。								石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	—
46	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗(縦ヘラ削り)。	摩耗。				長石石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	—
47								斜ヘラ削ナ後斜デ。	斜ヘラ削ナ後斜りデ。摩耗。		長石石英	底部完存。	—
48								縦・横ナデ。指頭痕。	右上りタタキ目後縦ナデ。		長石石英	底部$\frac{1}{2}$存。	—
49						縦・斜ハケ目。	左・右上りタタキ目後斜ナデ。	縦・横・斜ハケ目。	横タタキナ後横目デ。		長石石英	底部完存。	—

第43表　土器群（第3層）伴出遺物一覧表(2)

挿図番号	成形および調整の痕跡								胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		杯部		脚部		脚端部			
		内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第325図40						摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石石英	脚部$\frac{1}{2}$存。	—
41						摩耗。	摩耗。		長石石英	脚部$\frac{1}{5}$存。	—
42						摩耗。	縦ハケ目後縦ヘラミガキ。	横ナデ（摩耗）。	長石細片石英細片雲母	脚部$\frac{1}{4}$存。	—

第44表　土器群（第4層）伴出遺物一覧表(1)

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第32図1				縦・斜ナデ。	縦ハケ目後横ナデ。貼付突帯に刻目。	横ナデ。	横ナデ。			長石	頸部$\frac{1}{6}$存。	—
2				横ナデ。	摩耗。縦ハケ目。突帯。刻目。	摩耗。斜ハケ目。	横ナデ。			長石 石英	頸部$\frac{8}{10}$存。	—
3	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	—
4	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	—
5	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。			大粒の長石 大粒の石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	—
6	摩耗。	斜ナデ。斜ハケ目。	横ナデ(摩耗)。			横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{7}$存。	—
7	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石細片 石英細片	口縁部$\frac{1}{9}$存。	—
8	摩耗。	摩耗。	摩耗。							多量の長石細片 多量の石英細片	口縁部$\frac{5}{8}$存。	—
9	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。							長石細片 石英細片 雲母細片	口縁部$\frac{1}{8}$存。	—
10	摩耗。	摩耗。	横ナデ。							少量の石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	—
11	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部$\frac{1}{7}$存。	—
12	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗(一部斜ハケ目)。			長石細片 石英細片	口縁部$\frac{1}{4}$存。	—
13	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。							長石 石英 雲母	口縁部$\frac{1}{10}$存。	—
14	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					少量の長石 少量の石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	—
15	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	—
16	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石 石英	口縁部$\frac{1}{7}$存。	—
17	横ナデ。	横・斜ナデ。	斜ハケ目後横ナデ。							砂粒をほとんど含まず精緻。	口縁部$\frac{1}{6}$存。	—
18	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	—
19	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	—
20	摩耗。鋸歯文。	摩耗。	摩耗。							長石 石英 雲母	口縁部$\frac{1}{7}$存。	—

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第327図 21	横ナデ。	横・斜ナデ。	横・斜ナデ。								砂粒をほとんど含まない。	口縁部小片。	−
22	摩耗。 鋸歯文。	摩耗。	摩耗。								石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	−
23	摩耗。	摩耗。	摩耗。								多孔の長石細片 多孔の石英細片	口縁部$\frac{1}{11}$存。	−
24	摩耗。 沈線。 鋸歯文。										長石 石英	口縁端部$\frac{1}{10}$存。	−
第328図 25	摩耗。 (立上部内面)摩耗。 (立上部外面)摩耗。	摩耗。	斜ハケ目(摩耗)。			横指ナデ。	縦ハケ目(摩耗)。				長石細片 石英細片	頸部$\frac{1}{2}$存。	−
26	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。						長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	−
27	摩耗。	摩耗。	摩耗。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{7}$存。	−
28	(立上部内面)摩耗。 (立上部外面)摩耗。縦ハケ目。	摩耗。	摩耗。								長石 石英	口縁部(端部除く)$\frac{1}{4}$存。	−
29	摩耗。 (立上部内面)摩耗。 (立上部外面)摩耗。	摩耗。	摩耗。								長石細片	口縁部$\frac{1}{5}$存。	−
30	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	−
31	摩耗。	摩耗。	縦・斜ハケ目(摩耗)。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	−
32	(立上部内面)横ナデ(摩耗)。 (立上部外面)横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。						少孔の長石細片 少孔の石英細片	口縁部$\frac{1}{2}$存。	−
33	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。				長石細片	口縁部$\frac{1}{6}$存。	−
34	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			縦・斜ハケ目縦ヘラ削り。	右上りタタキ目。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{20}$存。	−
35	摩耗。	摩耗。	摩耗。 横・右上りタタキ目。			縦・斜ハケ目。	横・右上りタタキ目。	斜ナデ。	斜ナデ。		長石細片 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	−
36	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	右上りタタキ目後横ナデ。			斜ナデ。	右上りタタキ目後横ナデ。				長石	口縁部$\frac{1}{8}$存。	−
37	摩耗。	横ナデ(摩耗)。	横タタキ目(摩耗)。			斜ヘラ削り。	横タタキ目(摩耗)。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	−
38	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。 斜ヘラ削り。					長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	−
39	横ナデ。	横ナデ(指頭痕)。	横タタキ目。			横ナデ(指頭痕)。 斜ハケ目。	横タタキ目。				砂粒をほとんど含まない。	口縁部$\frac{1}{4}$存。	−
40	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	横・斜タタキ目。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	−

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第328図 41	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	—
42	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	—
43	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	摩耗。 横タタキ目。				少量の長石細片 少量の石英細片	口縁部$\frac{1}{8}$存。	—
44	摩耗。	摩耗。	摩耗。横タタキ目後縦ハケ目。			摩耗。	横タタキ目(摩耗)。				長石細片 石英細片	口縁部(端部除く)$\frac{1}{4}$存。	—
45	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	—
46	摩耗。	摩耗。	横ナデ(摩耗)。			摩耗。	横タタキ目(摩耗)。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{7}$存。	—
第329図 47	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り(摩耗)。	横タタキ目。 摩耗。				少量の長石	口縁部$\frac{1}{8}$存。	—
48	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。 指頭痕。	摩耗。				長石細片 雲母	口縁部$\frac{1}{6}$存。	—
49	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				少量の長石 少量の石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	—
50	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	—
51	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。				長石 石英 金雲母	口縁部$\frac{1}{12}$存。	—
52	摩耗。	摩耗。	横ナデ 摩耗。								長石細片 石英細片	口縁部$\frac{1}{12}$存。	—
53	摩耗。(立上部内面)横ナデ。(立上部外面)横ナデ。凹線9条。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り。 摩耗。	横ナデ。 横・斜ハケ目。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	—
54	摩耗。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			摩耗。	摩耗(一部斜ハケ目)。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	—
55	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	—
56	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。	横ナデ。				長石細片 石英細片	口縁部$\frac{1}{5}$存。	—
57	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	—
58						斜板ナデ(ハケ状原体)。	縦・斜ハケ目。	板ナデ(ハケ状原体)。	簾状ハケ目。		少量の長石細片 少量の石英細片	底部完存。	—
59								斜ナデ。	横・左上りタタキ目。		長石 石英	底部$\frac{2}{5}$存。	—
60								横ナデ。	斜ナデ。		長石微細片 石英微細片	底部完存。	—

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第329図 61								摩耗。	右上りタタキ目。摩耗。	長石 石英	底部完存。	−
62						摩耗。	横・斜タタキ目後縦・斜ハケ目(摩耗)。	摩耗。	摩耗。	ほとんど砂粒を含まない。	底部$\frac{2}{3}$存。	−
63								摩耗。	左・右上りタタキ目後斜ナデ。	長石 石英	底部完存。	−
64								横ナデ。	右上りタタキ目後斜ナデ。	長石細片 石英細片	底部$\frac{1}{2}$存。	−
65								摩耗。	横タタキ目後縦・斜ハケ目(摩耗)。	少量の長石細片 少量の石英細片	底部完存。	−
66								斜ヘラ削り。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	−
67								斜ヘラ削り。横・斜ハケ目。	右上りタタキ目後縦・斜ハケ目。	少量の長石 少量の石英	底部完存。	−
68		摩耗。	横ナデ。横ハケ目。							長石	口縁部小片。	−
69								摩耗。	右上りタタキ目。	少量の長石 少量の石英	底部完存。	−
70								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	−
71								摩耗。	横ナデ。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	−
72								摩耗。	摩耗。	砂粒をほとんど含まない。	底部$\frac{3}{4}$存。	−
73								指頭痕。	横タタキ目。摩耗。	砂粒をほとんど含まない。	底部完存。	−
74								摩耗。	摩耗。	石英	底部完存。	−
75								摩耗(斜ヘラ削り)。	右上りタタキ目(摩耗)。	長石 石英	底部完存。	−
76								摩耗。	左・右上りタタキ目。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	−
77								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部ほぼ完存。	−
78								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	−
第330図 84	摩耗。	摩耗。	横・右上りタタキ目。			縦・斜ヘラ削り。	横・右上りタタキ目後斜ハケ目。			大粒の長石 大粒の石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	−
85	横ナデ。	斜ナデ。	斜ナデ。指頭痕。			斜ナデ。	縦タタキ目後縦ナデ(摩耗)。	斜ナデ。	縦ナデ(摩耗)。	長石,石英を微細片が精含むが緻。	口縁部$\frac{1}{12}$存。	−

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第330図86	摩耗。	横・斜ナデ。	摩耗。					斜板ナデ。	摩耗。		長石 石英	口縁部$\frac{3}{8}$存。	—
87	摩耗。	斜板ナデ。	斜板ナデ。					斜板ナデ。	斜板ナデ。		長石 石英	底部完存。	—

第45表　土器群（第4層）伴出遺物一覧表(2)

挿図番号	成形および調整の痕跡								胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		杯部		脚部		脚端部			
		内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第330図79	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。	横ナデ。	縦・斜ハケ目。 横ナデ。		長石 石英	口縁部$\frac{1}{7}$存。	—
80				摩耗。	摩耗。				長石 石英 金雲母	杯部$\frac{1}{7}$存。	—
81						摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	脚部$\frac{1}{5}$存。	—
82						摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	脚部$\frac{1}{4}$存。	—
83						摩耗。	摩耗。		長石 石英	脚部$\frac{1}{5}$存。	—

第46表　平塚地区包含層出土遺物一覧表(1)

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第42図1	横ナデ。	貼付突帯(摩耗)。	摩耗。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	サ35区 II層
2	摩耗。	摩耗。 貼付突帯の痕跡。	摩耗。								長石 石英	口縁部ほぼ完存。	コ37区 IV層
3	横ナデ。	横ナデ。 貼付突帯。	横ヘラミガキ。	横ナデ。	横ヘラミガキ。 沈線2条。						長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	ス33区 III層
4	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。 貼付突帯。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	摩耗。						長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	サ36区 V層
5	摩耗。	摩耗。 貼付突帯。	摩耗。								砂粒をほとんど含まない。	口縁部$\frac{1}{8}$存。	シ36区 III層
6	横ナデ。	横ナデ。 貼付突帯(摩耗)。	横ナデ。	摩耗。	縦・斜ハケ目。 沈線9条。						長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	サ37区 V層
7	摩耗。	横ナデ(摩耗)。	摩耗。 貼付突帯。	横ナデ。	摩耗。 貼付突帯に刻目。						長石 石英	口縁部(端部除く)完存。	サ37区 V層
8	横ナデ。 沈線1条。 刻目。	横ナデ。 貼付突帯。	横ナデ。								長石 石英	口縁部小片。	サ38区 IV層
9				横ナデ。 貼付突帯。	縦ナデ。						少量の長石 少量の石英	口縁部小片。	ス33区 III層
10	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	横ナデ。	横・斜ナデ。	斜ハケ目。 沈線4条。						長石	口縁部$\frac{1}{12}$存。	サ37区 III層
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 貼付突帯に刻目。						長石 石英	口縁部完存。	シ36区 V層
12	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	縦ハケ目後横ヘラミガキ。 摩耗。 沈線6条。						長石 石英	頸部$\frac{1}{4}$存。	コ36区 V層
13	摩耗。 沈線1条。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。 貼付突帯に刻目。						長石 石英 金雲母	口縁部$\frac{1}{5}$存。	コ36区 V層
14	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。 沈線2条。						多量の長石 多量の石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	ス34区 III層
15	摩耗。	摩耗。	摩耗。								長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	ス33区 III層
第43図16	横ナデ。	縦・斜ヘラミガキ。 摩耗。	縦板ナデ後横ナデ。	縦・斜ヘラミガキ。	縦板ナデ後横ナデ。						長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	サ38区 III層
17	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。 貼付突帯。						長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	サ37区 V層
18	摩耗。	横ヘラミガキ。	横ヘラミガキ。	横ヘラミガキ。	斜ハケ目。 沈線4条。						長石 石英	口縁部ほぼ完存。	ス33区 II層
19	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	横・斜ナデ。						大粒の長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	シ37区 II層
20	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。						長石 石英	頸部$\frac{1}{4}$存。	セ33区 II層

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第423図21	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。指おさえ。	摩耗。	横ナデ。横指おさえ。					長石石英	口縁部1/6存。	サ37区V層
22	摩耗。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	斜ナデ。沈線2条。					長石多孔質の石英	口縁部1/4存。	ク39区IX層
23	摩耗。	摩耗。	摩耗。							少孔質の長石少孔質の石英	口縁部1/8存。	コ37区V層
24	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石石英	口縁部1/8存。	コ37区V層
25	横ナデ。	横ナデ。	横・斜ヘラミガキ。							少孔質の長石少孔質の石英	口縁部1/12存。	コ36区V層
26	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。			長石石英	口縁部1/10存。	サ37区V層
27	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ヘラミガキ。	横ナデ。					長石細片石英細片	口縁部1/10存。	サ37区V層
28	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ナデ。	横ナデ。沈線2条。					長石石英	口縁部1/12存。	セ32区III層
29	摩耗。	摩耗。	横ナデ。							長石石英	口縁部1/4存。	サ36区V層
30	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石石英	口縁部1/6存。	コ36区V層
31	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。							長石細片石英細片	口縁部1/5存。	サ36区V層
32	摩耗。	摩耗。	摩耗。							多孔質の長石多孔質の石英	口縁部1/12存。	キ39区VII層
33	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。			摩耗。	指おさえ後横ナデ。			長石石英	口縁部1/10存。	サ37区IV層
34	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	横ナデ。			長石細片石英	口縁部1/8存。	サ37区IV層
第424図35	横ナデ(摩耗)。	摩耗。	横ナデ(摩耗)。							長石石英	口縁部1/6存。	コ38区V層
36	摩耗。	摩耗。	摩耗。横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					多孔質の長石多孔質の石英	口縁部1/3存。	サ37区IV層
37	横ナデ刻目。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。貼付突帯。					長石石英	口縁部1/8存。	サ37区III層
38	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					少孔質の長石少孔質の石英	口縁部1/5存。	コ36区III層
39				摩耗。	摩耗。貼付突帯。					少孔質の長石少孔質の石英	頸部1/7存。	サ37区IV層
40						斜ナデ。	摩耗。			長石石英	胴部小片。	コ37区V層

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第424図41	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	ケ40区 層序不明
42	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線11条。			多量の長石 多量の石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	ケ42区 層序不明
43	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。 沈線11条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	サ37区 V層
44	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線8条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{11}$存。	サ37区 V層
45	摩耗。	横ナデ。	摩耗。 横ナデ。			横ナデ。 摩耗。	横ナデ。 沈線11条。 摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	サ37区 IV層
46	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横，斜ナデ。	横ナデ。 沈線5条。 刺突文。 摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	サ37区 IV層
47	横ナデ。	横ナデ。	縦指おさえ後横ナデ。			横ナデ。	横・斜ナデ。 沈線4条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	サ37区 IV層
48	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。 沈線10条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{24}$存。	サ37区 IV層
49	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線7条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{11}$存。	サ37区 IV層
50	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。 沈線2条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{16}$存。	コ37区 III層
51	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。 沈線8条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{24}$存。	コ36区 V層
52	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線6条。 刺突文。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	サ37区 IV層
53	摩耗。	横ヘラミガキ後横ナデ。	横ナデ。			横ヘラミガキ後横ナデ。	横ナデ。 沈線12条。			砂粒をほとんど含まない。	口縁部$\frac{1}{8}$存。	サ36区 V層
54	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。 沈線8条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	サ36区 V層
第425図55	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	横ナデ。			縦ナデ。	縦・斜ハケ目。 沈線11条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{11}$存。	コ36区 V層
56	摩耗。	摩耗。 指頭痕。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。 沈線15条。 刺突文。			少量の長石 少量の石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	サ37区 IV層
57	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線9条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	シ36区 IV層
58	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線5条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	サ37区 V層
59	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。 沈線6条			長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	サ36区 V層
60	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	縦ハケ目(摩耗)。 沈線6条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	サ37区 V層

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第425図 61	横ナデ。	摩耗。	横ヘラミガキ。横ナデ。			摩耗。	摩耗。沈線3条。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{11}$存。	ケ42区 IV層
62	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横,斜ナデ(指頭痕)。	斜ハケ目。沈線5条。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{5}$存。	シ35区 III層
63	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			横ナデ。	縦・横ナデ。沈線4条。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	ク42区 層序不明
64	摩耗。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ(摩耗)。	摩耗。沈線8条。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	シ37区 III層
65	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。斜ヘラミガキ。				少量の長石 少量の石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	サ37区 V層
66	横ナデ(摩耗)。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	縦ハケ目。沈線9条。刺突文。				石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	サ36区 V層
67	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横・斜ハケ目後横ナデ。				石英	口縁部$\frac{1}{28}$存。	ケ40区 層序不明
68	摩耗。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。	摩耗。沈線11条。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	サ37区 V層
69	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	摩耗。沈線14条。				長石 石英	胴部$\frac{1}{4}$存。	サ37区 V層
第426図 70	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦・横・斜ナデ。	縦・斜ハケ目後横ナデ。横・斜ヘラミガキ。				長石細片 石英	頸部$\frac{1}{4}$存。	サ37区 V層
71	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。沈線14条。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{14}$存。	サ37区 V層
72	横ヘラミガキ後横ナデ。	横ヘラミガキ後横ナデ。	横ヘラミガキ後横ナデ。			横・斜ハケ目後横ヘラミガキ。摩耗。	指頭痕。横ヘラミガキ後横ナデ。斜ハケ目後横ヘラミガキ。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	サ37区 V層
73	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。沈線10条。				長石 石英	胴部$\frac{1}{5}$存。	サ35区 IV層
74	刻目。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	ス33区 III層
75	摩耗。刻目。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	沈線5条(摩耗)。				大粒の長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	サ37区 V層
76	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。指頭痕。			摩耗。	横ナデ。沈線2条。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{13}$存。	サ36区 V層
77	刻目。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。沈線2条。				多量の長石 多量の石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	セ32区 III層
78	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。指頭痕。	横ナデ。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	コ36区 V層
79	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。沈線8条。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	サ37区 V層
80	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	沈線7条。刺突文。斜ハケ目(摩耗)。				大粒の長石 大粒の石英	口縁部$\frac{1}{16}$存。	ソ33区 III層

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第426図 81	摩耗。	摩耗。	指おさえ後横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。沈線10条。				長石細片 石英細片	口縁部1/9存。	サ37区 V層
82	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				多孔の長石 石英	口縁部1/10存。	サ36区 V層
83	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。沈線3条。				多孔の長石 多孔の石英	口縁部1/16存。	ス34区 III層
84	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。沈線3条。				長石 石英	口縁部1/12存。	ス33区 III層
第427図 85	摩耗。	摩耗。横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横・斜ナデ。沈線3条。				多孔の長石 多孔の石英	口縁部1/12存。	コ40区 VIII層
86	横ナデ。刻目。	横・斜ヘラミガキ。	横ナデ。			斜ヘラミガキ。	横ナデ。沈線14条。刺突文。				長石 石英	口縁部1/8存。	シ35区 III層
87	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。沈線1条。				少孔の長石 少孔の石英	胴部1/14存。	サ37区 IV層
88	横ナデ(摩耗)。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ(摩耗)。沈線5条。				長石 石英	口縁部1/8存。	シ38区 II層
89	摩耗。刻目。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。沈線14条。刺突文。				長石 石英	口縁部1/10存。	サ37区 IV層
90	横ナデ。刻目。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。沈線2条。				長石 石英	口縁部1/12存。	セ33区 II層
91	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。	横ナデ。沈線11条				長石 多孔の石英	口縁部1/8存。	サ36区 V層
92	摩耗。刻目。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。沈線4条。				長石 石英	口縁部1/12存。	コ36区 III層
93	横ナデ。刻目。	横ナデ。摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。摩耗。				長石 石英	口縁部1/24存。	サ40区 VIII層
94	刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。沈線4条。				長石 石英	口縁部1/6存。	シ38区 II層
95	摩耗。刻目。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。沈線4条。				長石 石英	口縁部1/16存。	ス33区 III層
96	摩耗。刻目。	指おさえ。	横ナデ。			指おさえ。	縦ハケ目。沈線14条。刺突文。				長石 石英	口縁部1/8存。	コ39区 III層
97	刻目。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。沈線13条。刺突文。				長石 石英	口縁部1/10存。	コ37区 V層
98	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。沈線2条。				長石 石英	口縁部1/12存。	シ36区 V層
99	摩耗。刻目。	横・斜ナデ。指頭痕。	横ナデ。			横・斜ナデ。	縦・斜ハケ目。沈線6条。				長石 石英	胴部1/9存。	サ37区 V層
100	刻目。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。沈線7条。				長石 石英	口縁部1/20存。	コ36区 V層

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第427図 101	摩耗。刻目。	横ナデ。	摩耗。			斜ナデ。	摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{13}$存。	サ36区 V層
102	摩耗。刻目。	摩耗。	摩耗。			摩耗。指頭痕。	摩耗。沈線11条。			石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	サ36区 IV層
103	摩耗。刻目。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	縦ハケ目(摩耗)。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	コ37区 V層
104	摩耗。刻目。	摩耗。	横ナデ(摩耗)。			摩耗。	摩耗。沈線10条。縦ハケ目。			長石 石英	胴部$\frac{1}{3}$存。	ケ38区 IX層
第428図 105	摩耗。刻目。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	サ37区 V層
106	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	縦・横・斜ナデ。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	サ37区 V層
107	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。沈線10条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{16}$存。	コ37区 V層
108	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ。	横ナデ。沈線5条。			石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	コ37区 V層
109	横ナデ(摩耗)。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	摩耗。沈線4条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	サ37区 IV層
110	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。横指おさえ。			斜ナデ。	摩耗。沈線3条。			長石	口縁部$\frac{1}{16}$存。	サ37区 V層
111	摩耗。刻目。	摩耗。	摩耗。縦板ナデ(摩耗)。			摩耗。	摩耗。沈線7条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{13}$存。	サ37区 V層
112	摩耗。刻目。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。沈線5条。			長石細片 石英細片	口縁部$\frac{1}{15}$存。	シ36区 III層
113	摩耗。刻目。	横ナデ(摩耗)。	摩耗。			横ナデ(摩耗)。	摩耗。沈線8条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	ス33区 III層
114	摩耗。刻目。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。沈線5条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{7}$存。	サ37区 V層
115	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ 摩耗。	横ナデ。沈線10条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	サ37区 IV層。
116	横ナデ。刻目。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	縦ハケ目。沈線6条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	サ37区 V層
117	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。			横ナデ。	摩耗。沈線6条。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	サ37区 IV層
118	ナデ(摩耗)。	ナデ。	ナデ(摩耗)。							長石 石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	ケ42区 VI層
119	摩耗。	摩耗。	摩耗。			斜ナデ。	摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	シ36区 V層
120	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	縦ハケ目後横ナデ(摩耗)。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	サ37区 V層

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第429図 121	摩耗。刻目。	横ナデ。	横ナデ。指頭痕。			斜板ナデ後横ナデ。	斜板ナデ後横ナデ。				長石細片 石英細片	口縁部$\frac{1}{6}$存。	サ36区 V層
122	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	摩耗。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{20}$存。	サ37区 V層
123	横ナデ(指頭痕)。	摩耗。	横ナデ(指頭痕)。			摩耗。	摩耗。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{16}$存。	サ37区 V層
124	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				多孔の長石 多孔の石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	サ37区 V層
125	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	横ヘラミガキ(摩耗)。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	サ39区 VIII層
126	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{13}$存。	サ37区 IV層
127	横ナデ。	横ナデ。	横タタキ目。			斜ナデ。	横ナデ。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{14}$存。	サ37区 IV層
128	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				大粒の長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	サ36区 V層
129	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	縦横ナデ。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	サ37区 V層
130	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	サ37区 IV層
第430図 131	摩耗。	摩耗。	摩耗。			斜ナデ(摩耗)。	縦・斜板ナデ(摩耗)。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{20}$存。	サ36区 V層
132	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	摩耗。				多孔の長石 多孔の石英	口縁部$\frac{1}{14}$存。	サ37区 IV層
133	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	摩耗。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	サ37区 IV層
134	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			斜ナデ(摩耗)。	斜ナデ(摩耗)。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	ケ38区 V層
135	摩耗。	横ヘラミガキ後横ナデ。	横ハケ目後横ナデ。			横ヘラミガキ後横ナデ。	縦ハケ目。				少孔の長石 少孔の石英	口縁部$\frac{1}{14}$存。	サ37区 V層
136						摩耗。	摩耗。沈線31条。ヘラ描波状文2条。				長石 石英	胴部小片。	コ39区 VI層
137	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。指頭痕。	摩耗。指頭痕。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	サ37区 V層
138	摩耗。	摩耗。	横ナデ。竹管文。貼付突帯。			摩耗。	横ナデ。沈線2条。				長石 石英	口縁部$\frac{1}{14}$存。	コ37区 V層
139	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。斜ナデ。指頭痕。	横斜ナデ。沈線5条。				長石細片 石英細片	口縁部$\frac{1}{18}$存。	サ36区 V層
140								ナデ。	横ナデ。		長石 石英	底部ほぼ完存。	コ36区 V層

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第430図 141								斜板ナデ。	摩耗。斜ハケ目。指頭痕。横ナデ。	長石 石英	底部完存。	サ37区 V層
142								縦板ナデ(摩耗)。	指頭痕(摩耗)。	長石 石英	底部$\frac{1}{3}$存。	サ37区 V層
143								摩耗。	摩耗。	多量の長石 多量の石英	底部完存。	コ36区 IV層
144								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部$\frac{1}{4}$存。	サ37区 IV層
145								斜板ナデ。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	サ37区 IV層
146								摩耗。	縦ハケ目(摩耗)。	長石 石英	底部完存。	コ36区 V層
147								摩耗。	縦板ナデ後横ナデ(摩耗)。	長石 石英	底部$\frac{2}{3}$存。	コ37区 V層
148								斜ナデ。	横・斜ナデ。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	コ37区 IV層
149								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	サ36区 V層
150								斜ナデ。	斜ナデ。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	サ36区 V層
151								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	サ37区 IV層
第431図 152								摩耗。	摩耗。	多量の長石 大粒の石英	底部完存。	サ37区 V層
153								摩耗。	縦ハケ目(摩耗)。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	サ37区 V層
154								摩耗。	斜ハケ目(摩耗)。	長石 石英	底部完存。	サ37区 V層
155								摩耗。	摩耗。	多量の長石	底部ほぼ完存。	サ37区 V層
156								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部ほぼ完存。	サ37区 V層
157								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部$\frac{1}{3}$存。	ス34区 III層
158								摩耗。	斜ナデ。指頭痕。	長石 石英	底部ほぼ完存。	ケ37区 IX層
159								摩耗。斜ハケ目。	摩耗。	多量の長石 多量の石英	底部完存。	サ36区 V層
160								摩耗。指おさえ(指頭痕)。	摩耗。	長石細片	底部完存。	ス34区 III層

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第431図 161								縦・斜ヘラミガキ後ナデ。	横・右・左上りタタキ目後斜ハケ目。	長石 石英	底部完存。	シ36区 V層
162								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	サ38区 III層
163								縦・横・斜ナデ。	横ナデ。	長石細片 石英細片	底部$\frac{1}{3}$存。	サ37区 III層
164								斜ナデ。	斜ヘラミガキ後斜ナデ。	長石細片 石英細片	底部$\frac{1}{4}$存。	サ36区 V層
165								指頭痕。摩耗。	横・斜ナデ。	長石 石英	底部完存。	シ34区 II層
166								縦・横板ナデ(摩耗)。	縦ハケ目後横・斜ヘラミガキ。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	サ37区 III層
167								摩耗。	横ナデ。	長石 石英	底部$\frac{1}{4}$存。	ス34区 III層
168								摩耗。	横ナデ。	多孔の長石 多孔の石英	底部$\frac{1}{2}$存。	サ36区 V層
169								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部$\frac{1}{3}$存。	サ37区 IV層
170								摩耗。	摩耗。横ヘラミガキ。	長石 石英	底部完存。	コ38区 V層
171								斜ナデ。	横ナデ。	多孔の長石細片 多孔の石英細片	底部$\frac{1}{4}$存。	サ36区 V層
172								横ナデ。	縦・横ナデ。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	ス33区 III層
第432図 173								斜ナデ。	横ナデ。	長石 石英	底部$\frac{1}{4}$存。	サ36区 V層
174								摩耗。	横ナデ(摩耗)。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	コ37区 V層
175								斜板ナデ。	横ヘラミガキ。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	ス33区 III層
176								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部$\frac{3}{8}$存。	ス34区 III層
177								摩耗。指おさえ(指頭痕)。	横ナデ。	長石 石英	底部完存。	サ37区 V層
178								横ナデ。横板ナデ。	斜ヘラミガキ。横ナデ。	少孔の長石 少孔の石英	底部$\frac{1}{2}$存。	サ37区 V層
179								斜ナデ。	摩耗。横ナデ。	多孔の長石 多孔の石英	底部完存。	サ36区 V層
180						摩耗。	摩耗。	摩耗。	縦ナデ。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	ケ42区 VI層

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第42図 181								摩耗。	横ナデ。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	サ35区 IV層
182								摩耗。	摩耗。 指おさえ。	長石 多量の石英	底部完存。	コ38区 V層
183								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	サ37区 V層
184								摩耗。	横ナデ(摩耗)。 指頭痕。	長石 石英	底部完存。	サ36区 V層
185								摩耗。	斜ナデ。	長石 石英	底部ほぼ完存。	シ36区 V層
186								ナデ。	縦ヘラミガキ後横ナデ。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	サ37区 V層
187								摩耗。	摩耗。	多量の大粒の長石 多量の大粒の石英	底部完存。	サ38区 IV層
188								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	サ36区 V層
189								摩耗。	縦ハケ目(摩耗)。	長石 大粒の石英	底部$\frac{1}{4}$存。	サ36区 V層
190								斜ナデ。	摩耗。	長石 石英	底部ほぼ完存。	コ37区 V層
191								板ナデ(摩耗)。	摩耗。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	サ36区 V層
192								横ナデ。	横ナデ。	長石 石英	底部完存。	サ35区 III層
193								斜ナデ。	縦・斜ハケ目。 横ナデ。 摩耗。	長石 石英	底部完存。	サ38区 IV層
194								横・斜ナデ。	横・斜ナデ。	長石 石英	底部完存。	ケ38区 V層
195								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部ほぼ完存。	サ37区 V層
196								斜ナデ。	斜ナデ。 摩耗。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	サ37区 IV層
197								横・斜ナデ。	摩耗。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	サ37区 V層
198								板ナデ(摩耗)。	縦ハケ目(摩耗)。	長石 石英	底部完存。	サ37区 V層
199								指頭痕(摩耗)。	横ナデ。	長石 石英	底部完存。	サ37区 IV層
第43図 1	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石細片 石英細片	口縁部$\frac{1}{10}$存。	ク42区 層序不明

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第435図2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石 石英	口縁部$\frac{1}{10}$存。	ク42区 層序不明
3	摩耗。	横ナデ(摩耗)。	縦ハケ目(摩耗。)							長石 石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	コ37区 III層
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							少量の長石 少量の石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	コ38区 V層
5	横ナデ。	横ハケ目後横ナデ。	縦ハケ目後横ナデ。			縦,斜ハケ目。	横タタキ後斜ハケ目。斜ヘラミガキ。			長石 石英	口縁部ほぼ完存。	サ39区 VIII層
6	横ナデ(摩耗)。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					少量の長石	口縁部$\frac{1}{10}$存。	コ36区 III層
7	摩耗。	摩耗。	縦ハケ目後横ナデ。							長石 石英	口縁部$\frac{1}{2}$存。	コ37区 IV層
8	摩耗。	摩耗。	横ナデ(摩耗)。							長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	サ36区 III層
9	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石 石英	頸部$\frac{1}{4}$存。	コ38区 III層
10	横ナデ。 沈線1条。	横ハケ目後横ナデ。	横ナデ。 縦・斜ハケ目。	横ナデ。	縦・斜ハケ目。					長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	サ37区 IV層
11	横ナデ。 凹線3条。	横ナデ。	横ナデ。							長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	サ38区 III層
12	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							砂粒をほとんど含まない。	口縁部小片。	サ36区 IV層
13	横ナデ。 鋸歯文。	横ナデ。	横ナデ。							石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	ス37区 II層
14	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	ス34区 III層
15	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	斜ナデ。	摩耗。					長石 石英	口縁部$\frac{1}{7}$存。	サ36区 IV層
16		摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石 石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	サ37区 III層
17	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石細片	口縁部$\frac{1}{8}$存。	サ36区 IV層
18	横ナデ。 凹線2条。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	シ35区 III層
19	摩耗。(立上部内面) 摩耗。(立上部外面) 摩耗。 凹線2条。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石	口縁部$\frac{1}{8}$存。	シ35区 III層
20	摩耗。	摩耗。	摩耗。							少量の長石 少量の石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	コ37区 III層
21	摩耗。	摩耗。	右上りタタキ目。			摩耗。	右上りタタキ目。			長石 石英	口縁部(端部除く)$\frac{1}{8}$存。	コ37区 IV層

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第435図22	摩耗。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			斜ヘラ削り。	縦ハケ目(摩耗)。				少量の長石少量の石英	胴部$\frac{1}{4}$存。	コ36区III層
第436図23	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	縦ハケ目。			摩耗。	斜ハケ目。				長石石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	コ38区III層
24	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。				少量の長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	コ38区III層
25	摩耗。	摩耗。	右上りタタキ目後斜ハケ目。横ナデ。			斜ヘラ削り(摩耗)。	左・右上りタタキ目(摩耗)。				少量の長石石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	コ38区III層
26	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			指おさえ。	摩耗。				長石石英金雲母	口縁部$\frac{1}{6}$存。	コ38区III層
27	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り。	摩耗。				長石石英	胴部$\frac{3}{4}$存。	コ38区III層
28	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦ヘラ削り。	右上りタタキ目(摩耗)。				長石石英	口縁部$\frac{1}{7}$存。	コ38区III層
29	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦ヘラ削り。指頭痕。横ナデ。	摩耗。				長石細片石英細片	口縁部$\frac{1}{6}$存。	サ37区III層
30	横ナデ。	摩耗。	横ナデ後横タタキ目。			摩耗。	横タタキ目。				長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	コ38区III層
31	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				長石石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	コ38区III層
32	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				長石石英	口縁部$\frac{1}{11}$存。	サ36区IV層
33	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。				長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	サ36区IV層
34	横ナデ。	摩耗。	横ナデ後斜ハケ目。			摩耗。	斜ハケ目(摩耗)。				長石石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	サ38区III層
35	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。				砂粒をほとんど含まない。	口縁部$\frac{1}{2}$存。	ス33区II層
36	摩耗。	摩耗。	右上りタタキ目後斜ハケ目。			斜板ナデ。	右上りタタキ目後斜ハケ目。				少量の長石石英	口縁部$\frac{1}{6}$存。	コ37区III層
37	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	サ36区III層
38	摩耗。	摩耗。	摩耗。			斜ヘラ削り。	摩耗。				長石石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	コ38区III層
39								縦・斜ヘラ削り。	斜ハケ目後縦・斜ヘラミガキ。		長石石英	底部$\frac{1}{4}$存。	サ38区III層
40								縦・斜ヘラ削り。	縦ヘラミガキ。		多量の雲母	底部$\frac{1}{2}$存。	サ38区III層
41								斜ハケ目後縦・斜ナデ。	斜ハケ目後縦・斜板ナデ。		長石石英	底部完存。	サ39区III層

挿図番号	成形および調整の痕跡									胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第436図 42								摩耗。	右上りタタキ目後斜ハケ目(摩耗)。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	コ38区 III層
第437図 43								摩耗。	右上りタタキ目(摩耗)。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	コ37区 V層
44								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	サ37区 III層
45								摩耗。	左・右上りタタキ目(摩耗)。	長石 石英	底部完存。	コ38区 III層
46								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	ソ34区 IV層
48								摩耗。	縦・横指おさえ。	長石 石英	底部ほぼ完存。	コ37区 III層
49								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	サ37区 IV層
50								縦・斜ナデ。	左・右上りタタキ目(摩耗)。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	サ37区 III層
51								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	シ35区 III層
52								摩耗。	右上りタタキ目。	少量の長石 少量の石英	底部完存。	コ37区 III層
53						摩耗。	右上りタタキ目。	摩耗。	右上りタタキ目。	長石 石英	胴部$\frac{1}{6}$存。	サ37区 V層
54						摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部$\frac{1}{2}$存。	シ35区 III層
55								摩耗。	斜ハケ目。	砂粒をほとんど含まない。	底部$\frac{1}{2}$存。	コ38区 III層
56								摩耗。	横タタキ目。	石英	底部$\frac{2}{3}$存。	サ36区 IV層
57								摩耗。	左・右上りタタキ目(摩耗)。	砂粒をほとんど含まない。	底部$\frac{1}{2}$存。	サ37区 III層
58								指頭痕。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	ソ34区 IV層
61	横ナデ。	斜ハケ目後横ナデ。	横タタキ目後横ナデ。			縦・斜ハケ目。	横タタキ目。			砂粒をほとんど含まない。	口縁部$\frac{1}{12}$存。	シ35区 IV層
62	横ナデ。	横ナデ。	縦板ナデ。後横ナデ。							長石 石英	口縁部$\frac{1}{12}$存。	サ39区 VII層
63	横ナデ。	斜ハケ目。	斜ハケ目(摩耗)。			斜ハケ目。	斜ハケ目。	斜ハケ目。	斜ハケ目。	砂粒をほとんど含まない。	口縁部$\frac{1}{5}$存。	コ38区 III層
64	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。			斜ハケ目。	横ナデ。	簾状ハケ目。	横ナデ。	長石 石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	ス34区 I層

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第437図65	摩耗。	横・斜ハケ目。	摩耗。			横・斜ハケ目。	摩耗。	簾状ハケ目。	摩耗。		少量の長石少量の石英	胴部以下完存。	ス34区I層
66	摩耗。	摩耗。	摩耗。					摩耗。	右上りタタキ目(摩耗)。		長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	ス33区II層
67	摩耗。	斜ハケ目。	斜・板ナデ。					斜ハケ目。	斜板ナデ。		少量の長石少量の石英	底部完存。	ス34区I層
68	摩耗。	摩耗。	右上りタタキ目(摩耗)。					摩耗。	右上りタタキ目(摩耗)。		長石石英	口縁部$\frac{1}{3}$存。	コ38区III層
69	摩耗。	摩耗。	指頭痕。摩耗。					摩耗。	指頭痕。摩耗。		長石石英	底部完存。	コ37区III層

第47表　平塚地区包含層出土遺物一覧表(2)

挿図番号	成形および調整の痕跡								胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		杯部		脚部		脚端部			
		内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第437図59	摩耗。	摩耗。	摩耗。						長石石英	口縁部$\frac{1}{8}$存。	コ37区III層
60	摩耗。	摩耗。	摩耗。						長石石英	口縁端部$\frac{1}{11}$存。	ス34区II層

第48表　平塚地区包含層出土遺物一覧表(3)

挿図番号	成形および調整の痕跡												遺存状態	出土位置
	杯蓋				杯身				高杯				壺					
	内面		外面		内面		外面		内面		外面		内面		外面			
第445図 1	2	回転ナデ。	2	回転ナデ。													端部$\frac{1}{4}$存。	シ35区 III層
	3	回転ナデ。	3	回転ナデ。														
2	2	回転ナデ。	2	回転ヘラ削り。													端部$\frac{1}{7}$存。	サ37区 V層
	3	回転ナデ。	3	回転ナデ。														
3	1	仕上げナデ。	1	回転ヘラ削り。													端部$\frac{1}{2}$存。	サ37区 III層
	2	回転ナデ。	2	回転ヘラ削り。														
	3	回転ナデ。	3	回転ナデ。														
4	2	回転ナデ。	2	回転ナデ。													端部$\frac{1}{8}$存。	サ37区 III層
	3	回転ナデ。	3	回転ナデ。														
5	2	回転ナデ。	2	回転ナデ。													端部$\frac{1}{8}$存。	サ37区 III層
	3	回転ナデ。	3	回転ナデ。														
6	2	回転ナデ。	2	回転ヘラ削り。													端部$\frac{1}{10}$存。	サ37区 III層
	3	回転ナデ。	3	回転ナデ。														
7	2	回転ナデ。	2	回転ナデ。													端部$\frac{1}{14}$存。	サ37区 III層
	3	回転ナデ。	3	回転ナデ。														
8	1	回転ナデ。	1	回転ヘラ削り。													頂部$\frac{1}{8}$存。	コ37区 III層
	2	回転ナデ。	2	回転ナデ。														
	3	回転ナデ。	3	回転ナデ。														
9	1	ナデ。	1	回転ヘラ削り。													端部$\frac{1}{4}$存。	シ36区 III層
	2	回転ナデ。	2	回転ヘラ削り。														
	3	回転ナデ。	3	回転ナデ。														
10	1	仕上げナデ。	1	回転ヘラ削り。													端部$\frac{1}{3}$存。	サ37区 III層
	2	回転ナデ。	2	回転ナデ。														
	3	回転ナデ。	3	回転ナデ。														
11	1	仕上げナデ。	1	回転ヘラ削り。													頂部$\frac{1}{2}$存。	サ37区 III層
	2	回転ナデ。	2	回転ナデ。														
	3	回転ナデ。	3	回転ナデ。														
12	2	回転ナデ。	2	回転ナデ。													端部$\frac{1}{10}$存。	サ37区 III層
	3	回転ナデ。	3	回転ナデ。														
13					1	回転ナデ。	1	回転ナデ。									口縁部$\frac{1}{4}$存。	コ38区 III層
					3	回転ナデ。	3	回転ナデ。										
						回転ナデ。		回転ヘラ削り。										
							4	回転ヘラ削り。										
14					1	回転ナデ。	1	回転ナデ。									口縁部$\frac{1}{10}$存。	コ37区 III層
					3	回転ナデ。	3	回転ヘラ削り。										
15					1	回転ナデ。	1	回転ナデ。									口縁部$\frac{1}{2}$存。	コ40区 VII層
					3	回転ナデ。	3	回転ナデ。										
					4	回転ナデ。	4	回転ヘラ削り。										
16					1	回転ナデ。	1	回転ナデ。									口縁部$\frac{1}{8}$存。	サ37区 III層
					3	回転ナデ。	3	回転ナデ。										
17					1	回転ナデ。	1	回転ナデ。									口縁部$\frac{1}{16}$存。	サ36区 III層
					3	回転ナデ。	3	回転ナデ。										
18					1	回転ナデ。	1	回転ナデ。									口縁部$\frac{1}{39}$存。	サ36区 III層
					3	回転ナデ。	3	回転ナデ。										
19					1	回転ナデ。	1	回転ナデ。									口縁部$\frac{1}{8}$存。	サ36区 II層
					3	回転ナデ。	3	回転ナデ。										
20					1	回転ナデ。	1	回転ナデ。									口縁部$\frac{1}{5}$存。	サ36区 IV層
					3	回転ナデ。	3	回転ヘラ削り。										

挿図番号	成形および調整の痕跡										遺存状態	出土位置
	杯蓋		杯身		高杯		壺					
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第445図 21			1 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。	1 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ヘラ削り。							かえし部$\frac{1}{4}$存。	コ37区 III層
22			1 回転ナデ。 3 回転ナデ。	1 回転ナデ。 3 回転ナデ。							口縁部$\frac{1}{12}$存。	サ40区 VII層
23			1 回転ナデ。 3 回転ナデ。	1 回転ナデ。 3 回転ナデ。							口縁部$\frac{1}{12}$存。	コ37区 III層
24			1 回転ナデ。 3 回転ナデ。	1 回転ナデ。 3 回転ナデ。							口縁部$\frac{1}{4}$存。	コ37区 III層
25			1 回転ナデ。 3 回転ナデ。	1 回転ナデ。 3 回転ナデ。							口縁部$\frac{1}{13}$存。	サ36区 III層
26			4 摩耗。 5 回転ナデ。	4 回転ナデ。 5 回転ナデ。							底部$\frac{1}{4}$存。	コ37区 III層
27					2 回転ナデ。 3 回転ナデ。	1 回転ナデ。 2 回転ナデ。櫛描波状文。 3 回転ナデ。					口縁部$\frac{1}{8}$存。	ク42区 層序不明
28					4 摩耗。	4 回転ナデ。 5 回転ナデ(自然釉)。					脚端部$\frac{1}{13}$存。	コ37区 III層
29					4 回転ナデ。	4 回転ナデ。 5 回転ナデ。					脚端部$\frac{1}{15}$存。	サ37区 III層

第49表　香門地区包含層出土遺物一覧表(1)

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第447図1	剝落。	剝落。	剝落。	剝落。	剝落。	剝落。	剝落。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{9}$存。	テ29区 III層
2	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石	口縁部$\frac{1}{7}$存。	テ30区 III層
3	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部$\frac{1}{4}$存。	ツ31区 III層
4		摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。 横タタキ目。	摩耗。	横タタキ目後縦ハケ目。			長石 石英	胴部$\frac{1}{3}$存。	テ29区 III層
5						斜ハケ目。	摩耗。	斜ハケ目(摩耗)。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	テ29区 III層
6								摩耗。	摩耗。	多量の長石 多量の石英	底部$\frac{1}{4}$存。	チ30区 II層

第50表　香門地区包含層出土遺物一覧表(2)

挿図番号	成形および調整の痕跡										遺存状態	出土位置
	杯蓋			杯身				高杯		壺			
	内面		外面	内面		外面		内面	外面	内面	外面		
第447図7	1	回転ナデ。	1 回転ヘラ削り後ナデ。									頂部完存。	ツ29区 II層
8				1 3	回転ナデ。 回転ナデ。	1 3	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ヘラ削り。					口縁部$\frac{1}{8}$存。	ツ30区 III層
9				1 3 4	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	1 3 4	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ヘラ削り。					口縁部$\frac{1}{3}$存。	テ29区 III層

第51表　竹道北地区包含層出土遺物一覧表(1)

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第471図 1								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部$\frac{1}{4}$存。	ニ21区 III層
2								摩耗。	横ナデ(摩耗)。	精緻。	底部$\frac{1}{9}$存。	ノ21区 III層
3								摩耗。	横ナデ。 摩耗。	精緻。	底部$\frac{1}{4}$存。	ヌ21区 II層
4								摩耗。	横ナデ(摩耗)。	長石 石英	底部$\frac{1}{4}$存。	ネ21区 II層
5								摩耗。	横ナデ(摩耗)。	精緻。	底部$\frac{1}{8}$存。	ヌ21区 II層
6								摩耗。	横ナデ(摩耗)。	精緻。	底部$\frac{1}{8}$存。	ノ20区 II層
7	摩耗。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。					摩耗。	摩耗。	精緻。	口縁部$\frac{1}{8}$存。	ノ20区 II層
8	摩耗。	摩耗。	摩耗。							多量の石英	口縁部小片。	ヌ22区 III層

第52表　竹道北地区包含層出土遺物一覧表(2)

挿図番号	成形および調整の痕跡										遺存状態	出土位置
	杯蓋				杯身				高杯							
	内面		外面		内面		外面		内面		外面		内面		外面			
第471図 11	1 2 3	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 3	回転ヘラ削り。 回転ナデ。 回転ナデ。													端部$\frac{1}{4}$存。	ノ21区 III層
12	3	回転ナデ。	3	回転ナデ。													端部$\frac{1}{12}$存。	ヌ22区 II層
13					1 3	回転ナデ。 回転ナデ。	1 3	回転ナデ。 回転ナデ。									口縁部$\frac{1}{6}$存。	ノ18区 II層
14					1 3	回転ナデ。 回転ナデ。	1 3	回転ナデ。 回転ナデ。									口縁部$\frac{1}{10}$存。	ノ21区 III層
15					1 3	回転ナデ。 回転ナデ。	1 3	回転ナデ。 回転ナデ。									口縁部$\frac{1}{8}$存。	ノ21区 III層
16					3	回転ナデ。	3	回転ナデ。									口縁部$\frac{1}{12}$存。	ハ19区 III層
17					4	回転ナデ。	4	回転ナデ。 回転ナデ。									高台部$\frac{1}{16}$存。	ヌ23区 II層
18					4	回転ナデ。	4 5	回転ナデ。 回転ナデ。									高台部$\frac{1}{6}$存。	ヌ22区 I層
19					4	回転ナデ。	4 5	回転ナデ。 回転ナデ。									高台部$\frac{1}{8}$存。	ヌ23区 II層

挿図番号	成形および調整の痕跡												遺存状態	出土位置
	杯蓋				杯身				高杯				壺					
	内面		外面		内面		外面		内面		外面		内面		外面			
第471図 20					4	回転ナデ。	4	回転ナデ。									底部$\frac{1}{4}$存。	ヌ22区 I層
21									2 3	回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 3	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。					口縁部$\frac{1}{12}$存。	ノ21区 III層
22									4	回転ナデ。	4 5	回転ナデ。 回転ナデ。					脚端部$\frac{1}{4}$存。	ヌ22区 II層
23													2	回転ナデ。	1 2	回転ナデ。 回転ナデ 後斜ハケ目。	口縁部$\frac{1}{8}$存。	ヌ23区 II層

第53表　竹道南地区包含層出土遺物一覧表(1)

挿図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第487図2	横ナデ。	横ヘラミガキ。	横ヘラミガキ。	摩耗。	縦・横ヘラミガキ。						石英	口縁部$\frac{1}{7}$存。	ヘ16区III層
3	横ナデ。	横板ナデ。縦・横ヘラミガキ。	縦ハケ目。横ヘラミガキ。								石英少量の長石	口縁部$\frac{1}{6}$存。	フ17区III層

第54表　竹道南地区包含層出土遺物一覧表(2)

挿図番号	成形および調整の痕跡														遺存状態	出土位置
	杯蓋				杯身				高杯				甕			
	内面		外面		内面		外面		内面		外面		内面	外面		
第487図4	2 3	回転ナデ。 回転ナデ。	2 3	回転ナデ。 回転ナデ。											端部$\frac{1}{12}$存。	フ17区III層
5	2 3	回転ナデ。 回転ナデ。	2 3	回転ヘラ削り。回転ナデ。回転ナデ。											端部$\frac{1}{8}$存。	フ18区III層
6					1 3	回転ナデ。 回転ナデ。	1 3	回転ナデ。 回転ナデ。							口縁部$\frac{1}{9}$存。	ヘ17区III層
7					1 3	回転ナデ。 回転ナデ。	1 3	回転ナデ。 回転ナデ。							口縁部$\frac{1}{8}$存。	フ17区III層
8					1 3	回転ナデ。 回転ナデ。	1 3	回転ナデ。 回転ナデ。							口縁部$\frac{1}{12}$存。	ヘ16区III層
9					1 3	回転ナデ。 回転ナデ。	1 3	回転ナデ。 回転ナデ。							口縁部小片。	ヘ17区III層
10													2 4	回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 4	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	口縁部$\frac{1}{8}$存。	ヒ15区III層

第55表　山の前北地区包含層出土遺物一覧表

挿図番号	成形および調整の痕跡								遺存状態	出土位置
	杯蓋				杯身		高杯			
	内面		外面		内面	外面	内面	外面		
第488図							4 回転ナデ。	4 5 回転ナデ。 回転ナデ。	脚端部$\frac{1}{4}$存。	マ13区II層

第56表　磨製石庖丁一覧表

単位：cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
SK404	一部欠	緑色片岩	(8.2)	(5.6)	(0.7)	(45.6)
SK406	〃	緑色片岩	(4.9)	(4.0)	(0.5)	(16.8)
SK459	〃	緑色片岩	(9.5)	(5.9)	(0.6)	(62.5)
SD308	〃	緑色片岩	(4.5)	(2.7)	(0.4)	(5.6)
SD312	〃	安山岩	(6.6)	(5.3)	(1.0)	(48.0)
〃	〃	結晶片岩	(10.0)	(4.2)	(0.8)	(45.0)
〃	〃	緑色片岩	(8.2)	(5.2)	(1.3)	(82.1)
SX20	〃	緑色片岩	(6.1)	(4.9)	(0.8)	(32.4)
SX314	〃	緑色片岩	(5.9)	(3.4)	(0.8)	(31.2)
コ37区　第5層	〃	安山岩	(6.5)	(5.8)	(1.0)	(41.0)
サ35区　第4層	〃	緑色片岩	(4.9)	(3.2)	(0.6)	(13.9)
サ36区　第5層上位	〃	安山岩	(6.9)	(5.0)	(1.0)	(40.8)
サ37区　第5層	〃	安山岩	(6.3)	(5.7)	(0.9)	(37.0)
サ40区　第7層	〃	緑色片岩	(6.0)	(3.2)	(0.7)	(24.0)
シ35区　第3層	〃	頁岩	(7.0)	(3.6)	(0.7)	(19.5)
〃　〃	〃	安山岩	(4.9)	(4.8)	(0.8)	(21.5)
ス33区　第2層	〃	安山岩	(4.4)	(4.7)	(0.6)	(16.1)

第57表　磨製石斧一覧表

単位：cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
SB301	刃部欠	緑色片岩	(6.3)	(5.2)	(1.4)	(75.5)
SK338	基部欠	緑色片岩	(5.6)	(1.5)	(1.5)	(23.0)
SK394	〃	緑色片岩	(10.5)	(4.5)	(1.2)	(67.8)
SK397	刃・基部欠	砂岩	(10.5)	(6.5)	(4.5)	(521)
〃	〃	緑色片岩	(12.9)	(5.6)	(3.7)	(422)
SK485	完存	緑色片岩	25.9	5.0	5.0	789
SD325	刃・基部欠	緑色片岩	(5.9)	(1.4)	(1.3)	(12.8)
SD109	〃	緑色片岩	(15.8)	(4.6)	(4.5)	(489)
〃	基部欠	緑色片岩	(9.8)	(5.8)	(3.6)	(354)
SD98	完存	緑色片岩	9.0	1.4	1.4	28.6
SD312	刃・基部欠	緑色片岩	(12.1)	(2.6)	(1.9)	(101.5)
ピット	刃部欠	安山岩	(4.3)	(5.1)	(3.7)	(102.1)
サ36区　第5層上位	刃・基部欠	緑色片岩	(5.0)	(2.8)	(0.7)	(11.9)
〃　〃	〃	緑色片岩	(2.8)	(1.1)	(0.7)	(3.6)
〃　第5層中位	〃	緑色片岩	(6.0)	(5.8)	(1.4)	(61.9)
サ37区　第5層	〃	緑色片岩	(4.4)	(1.1)	(0.7)	(3.8)
〃　〃	〃	緑色片岩	(7.9)	(4.9)	(2.0)	(95.4)
ス33区　第3層	刃部欠	結晶片岩	(14.5)	(4.8)	(2.0)	(232.7)
不明	〃	緑色片岩	(6.6)	(4.5)	(1.0)	(32.2)
〃	〃	緑色片岩	(8.8)	(4.6)	(0.8)	(47.5)
〃	〃	緑色片岩	(5.8)	(4.1)	(1.1)	(38.6)

（註）

石器および石製品の表中の（　）を付した数値は現存値を示している。

第58表　磨石一覧表

単位：cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
SB307	完存	砂岩	9.4	7.6	5.7	601
SK403	〃	砂岩	6.1	5.6	4.9	249
ヨ40区　第7層	一部欠	砂岩	6.8	7.3	6.5	(413)

第59表　石皿一覧表

単位：cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
SB305	一部欠	砂岩	(12.7)	(8.7)	(3.4)	572
SB323	〃	砂岩	(17.1)	(14.2)	(7.0)	(2490)
SB327	完存	砂岩	10.8	7.1	2.6	223
SK431	一部欠	砂岩	(19.5)	(11.7)	(9.4)	(3300)

第60表　凹石一覧表

単位：cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
SB307	完存	砂岩	11.3	10.7	6.0	1010
SD312	一部欠	凝灰石	10.1	9.0	3.9	367.7

第61表　砥石一覧表

単位：cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
SB316	一部欠	安山岩	(7.0)	(5.8)	(6.3)	(436)
SB323	〃	粘板岩	(11.9)	8.6	(4.3)	(590)
SB323　上位土坑状遺構	〃	粘板岩	(16.4)	8.1	(2.6)	(558)
SB325	〃	砂岩？	(10.9)	(6.8)	(3.7)	(328)
SK397	〃	緑色片岩	(5.0)	(4.9)	(2.9)	(136.2)
SK443	〃	砂岩	(5.0)	(3.8)	(2.6)	(71.4)
SD312	〃	泥岩	(10.9)	(4.0)	(3.7)	(243.8)
シ34区　第2層	〃	泥岩	(19.6)	(6.2)	(4.5)	(990)
シ35区　第4層	〃	砂岩	(6.4)	(6.7)	(4.7)	(294)
〃　〃	〃	砂岩	(6.6)	(5.0)	(4.7)	(239.0)
シ38区　第6層	〃	白雲母片岩	(11.7)	(4.7)	(2.3)	(134.0)
不明	〃	砂岩	(13.9)	(5.0)	(4.0)	(622)
〃	〃	砂岩	(16.7)	(11.0)	(6.9)	(1700)

第62表　打製石庖丁一覧表

単位：cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
SB306	一部欠	結晶片岩	(7.6)	(4.1)	(0.6)	(22.8)
SB317	〃	サヌカイト	(3.8)	(3.9)	(0.5)	(8.3)
SB320	〃	サヌカイト	(4.5)	(3.1)	(0.7)	(8.7)
SB331	〃	サヌカイト	(11.0)	(4.9)	(1.4)	(76.1)
SK323	〃	サヌカイト	(3.7)	(4.7)	(1.0)	(16.9)
SK338	〃	サヌカイト	(7.7)	(4.7)	(0.8)	(34.3)
〃	〃	サヌカイト	(8.5)	(4.6)	(1.1)	(59.1)
SK357	〃	サヌカイト	(8.6)	(5.2)	(0.7)	(35.4)
SK364	〃	サヌカイト	(4.4)	(4.6)	(1.0)	(29.9)
SK381	〃	サヌカイト	(6.8)	(4.2)	(1.0)	(26.5)
SK397	〃	サヌカイト	(5.7)	(4.9)	(1.1)	(32.4)
SK415	〃	サヌカイト	(2.6)	(3.1)	(0.7)	(6.0)
SK445	〃	サヌカイト	(2.9)	(4.1)	(0.4)	(7.0)
竹道南地区溝状遺構	〃	結晶片岩	(8.5)	(4.7)	(0.7)	(41.4)
SD301	〃	サヌカイト	(8.0)	(3.7)	(0.8)	(36.5)
〃	〃	サヌカイト	(3.4)	(2.9)	(0.8)	(7.7)
SD308	完存	サヌカイト	12.2	5.0	0.9	74.9
SD312	〃	サヌカイト	(4.7)	(5.2)	(0.8)	(26.9)
SX16	〃	サヌカイト	(7.2)	(4.6)	(0.9)	(36.9)
〃	〃	結晶片岩	(7.8)	(4.0)	(0.7)	(34.3)
SX17	〃	サヌカイト	(10.9)	(6.3)	(1.3)	(105.2)
SX20	〃	サヌカイト	(6.0)	(4.3)	(1.0)	(25.4)
SX328	〃	サヌカイト	(5.4)	(4.2)	(0.7)	(23.3)
ケ38区　第3・4層	〃	サヌカイト	(3.8)	(3.4)	(1.1)	(14.5)
ケ39区　第3層	〃	サヌカイト	13.8	5.4	1.5	156.2
コ36区　第4層	〃	サヌカイト	11.1	5.6	0.8	81.8
コ37区　第3層	一部欠	結晶片岩	(5.5)	(5.1)	(0.6)	(30.1)
コ39区　第2層	〃	サヌカイト	(5.1)	(3.5)	(0.7)	(20.0)
サ35区　〃	〃	サヌカイト	(6.6)	(4.5)	(0.8)	(30.5)
サ36区　第3層	〃	サヌカイト	(3.4)	(2.7)	(0.4)	(5.6)
〃　第4層	〃	サヌカイト	(7.5)	(5.3)	(0.9)	(41.5)
〃　第5層	〃	サヌカイト	(4.5)	(5.0)	(1.0)	(25.2)
〃　第5層中位	〃	結晶片岩	(12.7)	(5.0)	(1.1)	(100.0)
〃　第5層下位	〃	サヌカイト	(9.3)	(4.9)	(1.4)	(81.7)
サ37区　〃	完存	サヌカイト	9.3	5.5	1.2	72.0
サ39区　第6層	一部欠	サヌカイト	(12.2)	(6.4)	(1.0)	(85.6)
サ40区　第4層	〃	サヌカイト	(1.8)	(3.0)	(0.4)	(2.8)
シ35区　第3層	〃	サヌカイト	(3.5)	(4.3)	(0.7)	(13.1)
シ36区　〃	〃	サヌカイト	(4.3)	(4.1)	(0.6)	(13.5)
ス33区　第2層	〃	結晶片岩	(7.6)	(4.3)	(0.7)	(28.6)
〃　第3層	〃	結晶片岩	(9.7)	(4.0)	(1.0)	(51.1)
ノ21区　〃	〃	結晶片岩	(9.8)	(4.6)	(0.8)	(60.6)
ハ21区　〃	〃	サヌカイト	(5.1)	(5.5)	(0.8)	(31.8)
フ18区　〃	〃	サヌカイト	(5.0)	(3.8)	(0.6)	(15.2)
〃　〃	〃	サヌカイト	(5.3)	(3.7)	(0.7)	(14.6)
不明	〃	サヌカイト	(3.9)	(4.5)	(0.7)	(10.6)

第63表　打製石斧一覧表

単位：cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
SB317	基部欠	サヌカイト	(3.8)	2.5	(0.7)	(9.9)

第64表　打製石鏃一覧表

単位：cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
ヨ39区　第5層	完存	泥岩	20.6	10.1	2.5	764
シ36区　第3層	〃	安山岩	18.9	8.8	1.8	408

第65表　石鏃一覧表

単位：cm・g

出土位置・層序		遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
SB301		脚部欠	サヌカイト	(2.5)	(1.9)	(0.5)	(1.3)
〃		完存	サヌカイト	2.0	1.8	0.5	0.8
〃		先端・脚部欠	サヌカイト	(2.1)	(1.3)	(0.4)	(1.5)
〃		〃	サヌカイト	(1.1)	(1.2)	(0.4)	(0.6)
SB305		〃	サヌカイト	(2.2)	(1.9)	(0.5)	(1.2)
SB306		脚部欠	サヌカイト	(3.4)	(1.7)	(0.4)	(2.4)
〃		完存	サヌカイト	2.6	1.4	0.3	1.1
〃		先端・脚部欠	サヌカイト	(1.7)	(1.6)	(0.3)	(0.6)
SB308		先端部欠	サヌカイト	(1.2)	1.5	(0.3)	(0.4)
〃		先端・脚部欠	サヌカイト	(2.6)	(1.9)	(0.3)	(1.3)
〃		脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.6)	0.4	(0.7)
〃		先端部欠	サヌカイト	(1.2)	1.6	(0.2)	(0.4)
SB314		完存	サヌカイト	1.5	1.3	0.2	0.3
〃		先端・脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.8)	(0.4)	(1.5)
SB316		〃	サヌカイト	(2.1)	(1.3)	(0.3)	(1.0)
SB318		〃	サヌカイト	(1.5)	(2.2)	(0.3)	(0.9)
〃		〃	サヌカイト	(1.8)	(1.2)	(0.3)	(0.6)
SB320		〃	サヌカイト	(1.8)	(2.4)	(0.4)	(1.3)
〃		〃	サヌカイト	(2.0)	(1.9)	(0.3)	(1.0)
〃		〃	サヌカイト	(1.6)	(1.4)	(0.4)	(0.9)
SB327		脚部欠	サヌカイト	(2.7)	(1.6)	(0.3)	(1.0)
SB331	No.1	先端部欠	サヌカイト	(1.9)	2.0	0.5	(1.1)
〃	No.3	脚部欠	サヌカイト	(2.8)	(2.1)	0.6	(2.1)
〃	No.6	完存	サヌカイト	2.5	1.8	0.4	1.2
〃	No.11	脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.7)	0.3	(0.6)
〃	No.12	〃	サヌカイト	(3.1)	(2.0)	0.4	(1.7)
〃	No.22	完存	サヌカイト	1.9	1.6	0.3	0.7
〃	No.26	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(2.3)	0.3	(1.1)
〃	No.28	完存	サヌカイト	2.3	2.0	0.3	1.0
〃	No.29	〃	サヌカイト	2.1	1.5	0.3	0.6
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(2.5)	(1.6)	0.3	(1.1)
〃	〃	先端部欠	サヌカイト	(1.7)	1.8	0.4	(1.1)
〃	No.30	脚部欠	サヌカイト	(3.3)	(2.2)	0.4	(1.8)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.3)	(1.6)	0.3	(1.0)
〃	〃	〃	サヌカイト	(3.4)	(2.7)	(0.6)	(2.9)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(1.7)	(2.0)	(0.5)	(1.3)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.4)	(1.9)	(0.4)	(1.6)
〃	No.32	脚部欠	サヌカイト	(2.6)	(1.8)	0.4	(1.2)
〃	No.35	先端部欠	サヌカイト	(2.8)	1.3	0.4	(1.4)
〃	No.38	先端・脚部欠	サヌカイト	(4.0)	(1.6)	0.4	(1.6)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.5)	(1.9)	0.5	(2.2)
〃	No.42	脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.7)	0.3	(0.9)
〃	No.46	〃	サヌカイト	(1.5)	(1.3)	0.2	(0.5)
〃	No.47	完存	サヌカイト	2.2	2.0	0.3	1.3
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.3)	(1.1)	(0.3)	(0.3)
〃	No.53	〃	サヌカイト	(1.6)	(1.4)	0.3	(0.6)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.7)	(0.3)	(0.9)
〃	No.61	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.7)	(0.3)	(1.0)
〃	No.62	〃	サヌカイト	(4.4)	(2.6)	0.6	(0.8)
〃	〃	〃	サヌカイト	(3.5)	(2.3)	0.6	(3.1)

出土位置・層序		遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
SB331	No.63	脚部欠	サヌカイト	(3.6)	(1.9)	0.5	(2.4)
〃	No.64	〃	サヌカイト	(2.6)	(1.7)	0.4	(1.2)
〃	No.65	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.9)	0.3	(1.1)
〃		〃	サヌカイト	(2.7)	(2.1)	(0.4)	(3.3)
〃		〃	サヌカイト	(2.3)	(2.8)	(0.5)	(2.8)
〃		〃	サヌカイト	(4.1)	(2.4)	(0.3)	(2.2)
〃		脚部欠	サヌカイト	(2.4)	(1.7)	0.4	(1.3)
〃		先端・脚部欠	サヌカイト	(2.5)	(1.0)	(0.4)	(1.0)
〃		〃	サヌカイト	(3.0)	(2.2)	(0.3)	(1.9)
〃		〃	サヌカイト	(1.8)	(2.0)	(0.4)	(1.5)
〃		〃	サヌカイト	(2.1)	(1.7)	(0.5)	(1.0)
〃		〃	サヌカイト	(1.9)	(1.6)	(0.4)	(1.3)
〃		〃	サヌカイト	(2.5)	(2.4)	(0.3)	(1.5)
〃		〃	サヌカイト	(2.6)	(2.1)	(0.4)	(1.4)
〃		〃	サヌカイト	(2.9)	(2.0)	(0.3)	(1.5)
〃		完存	サヌカイト	2.4	2.0	0.3	0.9
SK21		〃	サヌカイト	1.8	1.5	0.4	0.5
SK66		先端部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.4)	(0.4)	(1.2)
〃		完存	サヌカイト	3.0	2.0	0.4	1.9
SK303		〃	サヌカイト	3.3	1.2	0.5	1.6
〃		〃	サヌカイト	1.9	2.0	0.4	1.1
SK304		先端部欠	サヌカイト	(1.7)	1.8	(0.4)	(1.0)
SK306		脚部欠	サヌカイト	(2.4)	(1.5)	(0.2)	(0.7)
SK307		〃	サヌカイト	(2.5)	(1.9)	(0.3)	(1.1)
〃		完存	サヌカイト	1.8	1.5	0.3	0.8
SK308		〃	サヌカイト	5.3	1.0	0.6	2.8
〃		脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.7)	(0.4)	(1.1)
〃		〃	サヌカイト	(2.5)	(1.6)	(0.4)	(1.0)
〃		先端部欠	サヌカイト	(1.8)	1.7	(0.3)	(0.6)
SK321		脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.8)	(0.3)	(0.8)
〃		〃	サヌカイト	(2.4)	(2.0)	(0.5)	(1.1)
〃		先端・脚部欠	サヌカイト	(2.8)	(1.5)	(0.5)	(1.4)
〃		脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.7)	(0.3)	(0.7)
〃		先端・脚部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.5)	(0.2)	(0.5)
〃		脚部欠	サヌカイト	(2.4)	(1.6)	0.3	(0.8)
〃		〃	サヌカイト	(2.0)	(1.6)	0.4	(0.8)
〃		〃	サヌカイト	(1.9)	(1.1)	0.4	(0.5)
〃		〃	サヌカイト	(2.2)	(1.6)	0.3	(0.6)
SK322		完存	サヌカイト	2.6	1.6	0.4	0.6
SK338		先端・脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.8)	(0.2)	(0.5)
SK345		〃	サヌカイト	(2.9)	(1.9)	(0.3)	(2.2)
SK352		〃	サヌカイト	(2.4)	(1.4)	(0.3)	(1.0)
SK354		脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(2.0)	(0.5)	(1.5)
〃		完存	サヌカイト	1.5	1.1	0.3	0.3
SK368		脚部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.3)	0.2	0.4
〃		先端部欠	サヌカイト	(0.9)	(1.2)	(0.2)	(0.3)
SK369		脚部欠	サヌカイト	(2.7)	(1.9)	(0.4)	(1.8)
SK397		先端・脚部欠	サヌカイト	(2.6)	(1.5)	(0.4)	(0.9)
SK404		〃	サヌカイト	(1.5)	(1.6)	(0.3)	(0.7)
SK407		〃	サヌカイト	(2.2)	(1.4)	(0.4)	(1.0)

出土位置・層序	遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
SK414	先端部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.7)	(0.2)	(0.6)
SK420	脚部欠	サヌカイト	(2.6)	(1.5)	(0.4)	(1.6)
SK421	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.9)	(1.8)	(0.3)	(0.9)
SK427	脚部欠	サヌカイト	(2.9)	(1.9)	(0.5)	(1.9)
SK428	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.3)	(1.8)	(0.3)	(1.0)
SK429	脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.6)	(0.3)	(0.7)
SK431	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.6)	(0.3)	(0.6)
SK459	〃	サヌカイト	(2.5)	(1.3)	(0.5)	(2.2)
SK466	脚部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.1)	(0.3)	(0.3)
〃	〃	サヌカイト	(1.8)	(1.6)	(0.3)	(0.4)
〃	先端部欠	サヌカイト	(1.9)	(1.7)	(0.3)	(0.8)
〃	脚部欠	サヌカイト	(2.3)	(1.7)	(0.4)	(0.9)
〃	〃	サヌカイト	(1.7)	(1.4)	(0.3)	(0.5)
SD22	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.8)	(0.4)	(0.9)
SD25	完存	サヌカイト	2.0	1.5	0.2	0.4
〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.4)	(0.3)	(0.7)
SD49	〃	サヌカイト	(1.8)	(1.8)	(0.3)	(0.8)
SD52	〃	サヌカイト	(3.6)	(2.0)	(0.5)	(3.8)
SD57	〃	サヌカイト	(1.6)	(1.0)	(0.3)	(0.4)
SD301	先端部欠	サヌカイト	(1.5)	(1.8)	(0.3)	(1.2)
〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.6)	(1.6)	(0.3)	(1.4)
SD307	脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.4)	(0.3)	(0.6)
〃	完存	サヌカイト	1.7	1.1	0.3	0.4
〃	先端部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.7)	(0.2)	(0.6)
SD310	脚部欠	サヌカイト	(2.3)	(1.6)	(0.4)	(1.0)
SD312	先端部欠	サヌカイト	(1.9)	1.8	0.3	(1.0)
〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.4)	(0.4)	(1.1)
〃	脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.5)	(0.4)	(0.9)
〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.9)	(0.3)	(1.0)
SD325	〃	サヌカイト	(1.8)	(1.4)	(0.4)	(0.7)
〃	先端部欠	サヌカイト	(1.7)	1.5	0.4	(0.5)
ピット	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.3)	(0.3)	(0.4)
〃	先端部欠	サヌカイト	(1.8)	1.7	0.4	(0.8)
〃	〃	サヌカイト	(2.0)	2.2	(0.3)	(1.2)
〃	完存	サヌカイト	1.9	1.7	0.3	0.5
〃	脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.2)	(0.3)	(0.7)
〃	先端部欠	サヌカイト	(1.9)	(2.0)	(0.3)	(1.0)
SX16	完存	サヌカイト	3.0	1.9	0.4	1.8
〃	〃	サヌカイト	3.2	2.0	0.5	2.2
〃	先端部欠	サヌカイト	(2.8)	1.6	0.4	(1.7)
〃	脚部欠	サヌカイト	(3.1)	(1.4)	(0.4)	(1.9)
〃	先端部欠	サヌカイト	(2.0)	1.3	0.3	(0.7)
〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.7)	(1.6)	0.4	(1.5)
〃	〃	サヌカイト	(2.2)	(1.2)	0.3	(0.8)
SX17	完存	サヌカイト	2.7	2.8	0.5	2.6
〃	〃	サヌカイト	3.2	1.6	0.5	2.0
〃	〃	サヌカイト	2.7	1.6	0.3	1.1
SX20	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.4)	(2.0)	(0.4)	(0.9)
〃	脚部欠	サヌカイト	(1.5)	(1.2)	(0.3)	(0.3)
竹道北地区河道跡	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.7)	(2.0)	(0.4)	(1.5)

出土位置・層序	遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
SX303	脚部欠	サヌカイト	(2.3)	(1.6)	(0.3)	(0.9)
〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.9)	(0.3)	(1.1)
〃	脚部欠	サヌカイト	(2.1)	(1.5)	(0.3)	(0.7)
SX311	先端・脚部欠	サヌカイト	(3.7)	(1.6)	(0.4)	(2.4)
SX313	脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.5)	(0.3)	(0.6)
〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.7)	(2.3)	(0.4)	(2.0)
SX328	先端部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.4)	(0.3)	(0.6)
〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.5)	(1.5)	(0.4)	(1.1)
キ39区　第7・8層	完存	サヌカイト	3.3	1.5	0.5	2.0
〃　〃	〃	サヌカイト	2.2	0.9	0.3	0.7
キ・ク39,ク・ケ38区　〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.6)	(1.4)	(0.5)	(2.0)
キ39区　第8層	完存	サヌカイト	1.4	1.3	0.3	0.5
ク42区　第4層	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.5)	(1.0)	(0.2)	(0.9)
ケ38区　第3・4層	〃	サヌカイト	(1.9)	(1.5)	(0.3)	(1.3)
〃　第5層	脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.7)	(0.5)	(1.3)
〃　〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.7)	(0.4)	(1.6)
ケ38・ケ39区　第7・8層	脚部欠	サヌカイト	(2.9)	1.3	0.5	(1.5)
ケ39区　第3層	〃	サヌカイト	(2.1)	(1.4)	0.3	(0.7)
〃　第4層	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.7)	(2.1)	0.4	(1.8)
ケ40区　第6・7層	〃	サヌカイト	(1.8)	(1.8)	(0.3)	(0.8)
〃　〃	〃	サヌカイト	(1.4)	(1.5)	(0.3)	(0.5)
〃　第7層	脚部欠	サヌカイト	(2.6)	(1.7)	0.3	(1.1)
〃　〃	〃	サヌカイト	(1.8)	(1.5)	(0.3)	(0.5)
コ35区　第5層上位	〃	サヌカイト	(2.3)	(1.8)	(0.4)	(1.2)
コ36区　第3・4層	先端部欠	サヌカイト	(1.2)	(1.8)	(0.3)	(0.7)
〃　第4層	脚部欠	サヌカイト	(2.1)	(1.5)	0.3	(0.7)
〃　〃	先端部欠	サヌカイト	(3.3)	2.3	0.4	(3.0)
〃　第5層	脚部欠	サヌカイト	(2.4)	(1.8)	0.3	(0.8)
〃　〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.3)	(2.1)	0.4	(2.1)
〃　第5層中位	〃	サヌカイト	(1.5)	(1.2)	(0.3)	(0.4)
〃　〃	〃	サヌカイト	(1.5)	(1.6)	(0.3)	(0.5)
〃　〃	先端部欠	サヌカイト	(1.3)	(1.7)	(0.3)	(0.4)
コ37区　第3層	脚部欠	サヌカイト	(2.4)	(1.5)	(0.2)	(0.6)
〃　〃	完存	サヌカイト	1.5	1.5	0.3	0.4
〃　〃	脚部欠	サヌカイト	(3.0)	(1.8)	(0.2)	(1.6)
〃　〃	〃	サヌカイト	(2.3)	(1.4)	(0.3)	(1.1)
〃　〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.1)	(1.8)	(0.5)	(1.8)
〃　第3・4層	〃	サヌカイト	(2.6)	(1.5)	(0.4)	(1.4)
〃　〃	脚部欠	サヌカイト	(4.5)	(2.4)	(0.5)	(5.8)
〃　〃	〃	サヌカイト	(2.7)	(1.2)	0.3	(0.9)
〃　〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.6)	(1.9)	(0.4)	(1.8)
〃　〃	脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.4)	0.2	(0.5)
〃　〃	〃	サヌカイト	(1.6)	(1.4)	0.3	(0.5)
〃　〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.1)	(0.3)	(0.7)
〃　第5層	脚部欠	サヌカイト	(2.7)	(2.0)	0.4	(1.7)
〃　〃	先端部欠	サヌカイト	(1.3)	(1.4)	0.3	(0.6)
〃　〃	〃	サヌカイト	(1.4)	(1.7)	0.3	(0.7)
〃　〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.8)	(2.1)	0.4	(1.9)
〃　〃	完存	サヌカイト	1.5	1.5	0.4	0.7
コ38区　第3層	脚部欠	サヌカイト	(1.7)	(1.7)	0.3	(0.7)

出土位置・層序		遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
コ38区	第3層	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.7)	(1.7)	(0.3)	(0.7)
〃	第3・4層	〃	サヌカイト	(2.7)	(2.4)	0.5	(3.2)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(1.5)	(1.2)	(0.2)	(0.3)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.7)	(1.3)	0.3	(0.5)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.1)	(1.4)	0.5	(1.3)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.7)	(1.5)	(0.3)	(0.7)
〃	第4層	〃	サヌカイト	(1.7)	(1.2)	(0.2)	(0.4)
〃	〃	先端部欠	サヌカイト	(1.4)	(1.7)	0.3	(0.5)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.5)	(1.3)	0.3	(0.5)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.0)	(1.7)	0.3	(0.8)
コ39区	第3層	〃	サヌカイト	(1.9)	(1.2)	0.4	(0.7)
〃	第6層	脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.7)	0.4	(0.9)
コ40区	〃	先端部欠	サヌカイト	(1.7)	1.4	0.3	(0.5)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.5)	(0.3)	(1.0)
〃	第7層	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.8)	0.4	(0.9)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.3)	(1.6)	(0.3)	(0.5)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.2)	(1.5)	(0.3)	(0.6)
サ35区	第2層	完存	サヌカイト	2.2	1.7	0.3	0.8
〃	〃	先端部欠	サヌカイト	(1.3)	1.3	0.3	(0.4)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(1.9)	(1.3)	0.3	(0.7)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.7)	(1.4)	0.3	(0.6)
〃	第4層	〃	サヌカイト	(1.7)	(2.0)	(0.2)	(0.7)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.7)	0.3	(0.6)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.9)	(1.9)	(0.3)	(1.4)
〃	〃	先端部欠	サヌカイト	(3.2)	1.4	0.5	(1.5)
サ36区	第2層	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.5)	(1.5)	0.4	(1.0)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(1.4)	(1.5)	0.2	(0.4)
〃	第3層	先端部欠	サヌカイト	(1.6)	1.4	0.4	(0.7)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.7)	(1.4)	0.3	(0.8)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.9)	(1.4)	0.2	(0.5)
〃	〃	先端部欠	サヌカイト	(1.6)	1.7	0.3	(0.6)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(1.9)	(1.3)	0.5	(0.8)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.7)	(0.9)	0.2	(0.3)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(1.9)	(1.5)	0.4	(0.9)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.5)	(1.5)	0.3	(0.5)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.7)	(1.3)	0.3	(0.5)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.5)	(1.5)	0.3	(0.7)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.0)	(1.6)	0.4	(1.3)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.3)	(1.6)	0.2	(0.5)
〃	第3・4層	〃	サヌカイト	(1.4)	(1.9)	(0.2)	(0.4)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.6)	0.3	(0.6)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.1)	(1.7)	0.3	(0.9)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.4)	(1.5)	0.3	(1.0)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.3)	(1.8)	0.3	(0.9)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.0)	(1.9)	0.3	(1.0)
〃	第4層	〃	サヌカイト	(2.1)	(1.8)	0.4	(1.1)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(2.3)	(1.5)	0.4	(0.7)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.1)	(1.9)	(0.5)	(1.6)
〃	〃	〃	サヌカイト	(3.6)	(2.0)	(0.5)	(2.9)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(2.6)	(1.9)	0.5	(2.1)

出土位置・層序		遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
サ36区	第4層	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.3)	(1.2)	(0.2)	(0.4)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(2.5)	(1.9)	(0.5)	(2.0)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.4)	(1.2)	0.3	(0.5)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.6)	(1.4)	0.3	(0.6)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.7)	(1.4)	0.3	(0.7)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.2)	(1.5)	0.3	(0.7)
〃	第5層上位	脚部欠	サヌカイト	(1.9)	(1.4)	0.3	(0.6)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.1)	(1.4)	0.2	(0.5)
〃	第5層下位	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.4)	0.2	(0.7)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.9)	(1.6)	0.3	(0.6)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.0)	(1.3)	0.2	(0.5)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.0)	(1.4)	0.3	(0.9)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.9)	(1.2)	0.3	(0.4)
サ37区	第2・3層	〃	サヌカイト	(2.4)	(2.2)	0.4	(1.6)
〃	第3層	〃	サヌカイト	(2.4)	(1.6)	0.3	(0.7)
〃	〃	〃	サヌカイト	(3.2)	(1.8)	0.7	(3.6)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.9)	(2.0)	0.2	(0.6)
〃	第4層	〃	サヌカイト	(1.7)	(1.4)	0.3	(0.4)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.1)	(1.4)	(0.3)	(0.4)
〃	第4・5層	〃	サヌカイト	(2.3)	(1.8)	(0.3)	(1.1)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.2)	(1.9)	0.3	(1.4)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.4)	0.4	(0.7)
〃	〃	先端部欠	サヌカイト	(2.1)	(1.5)	0.5	(1.1)
〃	第5層	脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.6)	0.4	(0.7)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(3.6)	(2.2)	(0.5)	(3.5)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.7)	0.3	(0.9)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.6)	(0.4)	(0.9)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.6)	(1.2)	(0.4)	(0.5)
サ39区	第6層	完存	サヌカイト	1.9	1.5	0.3	0.6
サ40区	第4層	〃	サヌカイト	2.0	1.5	0.4	0.9
〃	第6層	先端部欠	サヌカイト	(2.1)	1.7	0.3	(1.0)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(2.4)	(1.6)	0.3	(1.0)
シ34区	第2層	先端部欠	サヌカイト	(1.5)	2.1	(0.3)	(0.7)
シ35区	第3層	〃	サヌカイト	(1.7)	1.6	0.4	(0.7)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.5)	0.3	(0.5)
〃	〃	〃	サヌカイト	(3.3)	(1.5)	0.6	(2.7)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.8)	(1.6)	(0.3)	(0.8)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.5)	(1.5)	(0.2)	(0.6)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.0)	(1.9)	(0.5)	(1.7)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.6)	(1.1)	0.3	(0.5)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.8)	(1.7)	0.4	(1.2)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(2.4)	(1.9)	0.3	(1.5)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.3)	(1.6)	0.5	(1.9)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.6)	(1.3)	0.3	(0.4)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.1)	(1.8)	0.5	(1.7)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.3)	(1.5)	0.3	(0.4)
〃	第3・4層	脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.2)	0.3	(0.8)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.7)	(1.7)	0.4	(0.6)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.2)	(2.1)	0.3	(1.2)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.8)	0.4	(1.1)

出土位置・層序		遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
シ35区	第3・4層	脚部欠	サヌカイト	(1.9)	(1.6)	0.3	(0.7)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.5)	0.3	(0.6)
〃	〃	先端部欠	サヌカイト	(1.9)	(1.7)	0.3	(0.8)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(3.5)	(1.3)	0.5	(2.6)
〃	第4・5層	〃	サヌカイト	(2.6)	(1.7)	(0.4)	(1.8)
〃	第5層	脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.6)	0.3	(0.6)
シ36区	第3層	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.7)	(2.1)	0.3	(1.2)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(1.9)	(1.6)	0.3	(0.9)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.0)	(1.5)	0.2	(0.5)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.7)	0.3	(0.7)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.7)	(1.8)	(0.4)	(0.9)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.8)	(1.7)	(0.3)	(0.8)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.2)	(1.3)	(0.2)	(0.3)
〃	〃	先端部欠	サヌカイト	(1.7)	1.9	0.3	(0.7)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.8)	0.3	(0.7)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.7)	(2.0)	0.3	(0.8)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(1.4)	(1.4)	0.3	(0.5)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.7)	0.4	(1.1)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.6)	0.2	(0.4)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.1)	(1.3)	0.3	(0.7)
〃	第3・4層	先端部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.4)	0.4	(0.6)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.7)	0.4	(1.1)
〃	第4層	完存	サヌカイト	2.5	1.6	0.5	1.5
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(2.5)	(1.6)	0.2	(0.7)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.5)	(2.0)	0.4	(1.9)
〃	〃	脚部欠	サヌカイト	(1.4)	(1.3)	0.3	(0.4)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.6)	0.3	(0.5)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.3)	(1.7)	(0.3)	(1.1)
シ37区	第2層	〃	サヌカイト	(2.2)	(1.5)	0.6	(1.5)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.4)	(2.0)	0.5	(1.6)
シ38区	第6層	〃	サヌカイト	(3.1)	1.2	0.4	(1.4)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.5)	(1.3)	(0.2)	(0.4)
ス33区	第1・2層	〃	サヌカイト	(1.7)	(1.4)	(0.3)	(0.6)
ス35区	第3層	〃	サヌカイト	(1.7)	(2.0)	0.4	(0.8)
ス36区	〃	脚部欠	サヌカイト	(2.9)	(1.2)	0.4	(0.8)
ス37区	〃	〃	サヌカイト	(2.4)	(1.3)	0.3	(0.6)
セ32区	第3・4層	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.9)	(1.6)	0.3	(0.7)
セ33区	第2層	〃	サヌカイト	(2.1)	(1.9)	(0.3)	(1.0)
チ30区	第2・3層	〃	サヌカイト	(2.0)	(1.7)	0.3	(0.8)
〃	第3層	脚部欠	サヌカイト	(3.2)	(1.0)	0.3	(1.6)
ツ28区	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.2)	(1.5)	(0.2)	(0.6)
〃	〃	先端部欠	サヌカイト	(1.3)	(1.6)	(0.2)	(0.5)
ツ29区	第2・3層	〃	サヌカイト	(3.1)	(1.3)	(0.4)	(1.6)
ツ31区	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.2)	(1.4)	(0.2)	(0.4)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.3)	(1.7)	(0.5)	(2.0)
ヌ21区	〃	脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.5)	(0.2)	(0.6)
ヌ22区	第1・2・3層	完存	サヌカイト	2.4	0.9	0.4	1.6
〃	第3層	〃	サヌカイト	1.0	1.6	0.2	0.4
〃	〃	〃	サヌカイト	1.9	1.4	0.3	0.6
ノ18区	第2・3層	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.9)	(1.6)	(0.4)	(1.4)

出土位置・層序		遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
ノ22区	第2・3層	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.6)	(1.2)	0.3	(0.8)
〃	第3層	脚部欠	サヌカイト	(2.6)	(1.2)	0.3	(1.0)
ハ19区	〃	完存	サヌカイト	3.0	1.4	0.4	1.2
フ15区	〃	脚部欠	サヌカイト	(2.5)	(1.7)	0.3	(0.8)
〃	〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.7)	(0.3)	(0.7)
ヘ14区	第1・2層	脚部欠	サヌカイト	(5.0)	(1.0)	(0.6)	(3.7)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.4)	(1.4)	(0.2)	(0.5)
ヘ15区	第2層	〃	サヌカイト	(3.2)	(1.9)	0.3	(1.4)
ヘ16区	第3層	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.8)	(1.7)	0.3	(1.5)
〃	第4層	〃	サヌカイト	(2.4)	(1.8)	(0.3)	(1.2)
ホ13区	第1・2層	脚部欠	サヌカイト	(3.6)	(1.8)	0.5	(3.2)
ホ16区	第4層	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.7)	(1.5)	(0.3)	(0.7)
マ13区	第3層	〃	サヌカイト	(2.8)	(2.0)	0.5	(2.5)
マ14区	〃	〃	サヌカイト	(2.1)	(1.5)	(0.4)	(1.0)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.6)	(1.2)	(0.2)	(0.4)
ミ13区	第1・2層	〃	サヌカイト	(1.8)	(1.2)	(0.3)	(0.5)
ム10区	第2層	〃	サヌカイト	(2.5)	(1.4)	0.3	(0.9)
〃	第2・3層	脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.1)	0.3	(0.6)
ヨ5区	第3層	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.5)	(1.9)	0.2	(0.8)
ヨ7区	第1層	〃	サヌカイト	(1.3)	(1.3)	(0.3)	(0.5)
ラ5区	〃	脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.3)	(0.4)	(0.9)
不明		先端部欠	サヌカイト	(1.9)	1.3	0.3	(0.5)
〃		先端・脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(2.0)	(0.6)	(2.4)
〃		脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.9)	0.3	(0.9)
〃		先端部欠	サヌカイト	(2.4)	2.1	0.5	(2.2)
〃		脚部欠	サヌカイト	(3.2)	1.5	0.6	(2.6)
〃		先端・脚部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.3)	0.3	(0.4)
〃		〃	サヌカイト	(2.6)	(1.8)	0.5	(1.4)
〃		脚部欠	サヌカイト	(2.7)	(1.7)	0.4	(1.6)
〃		先端・脚部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.5)	0.3	(0.7)
〃		〃	サヌカイト	(2.2)	(1.8)	0.4	(1.7)
〃		〃	サヌカイト	(2.5)	(1.3)	0.4	(1.1)
〃		〃	サヌカイト	(1.9)	(1.9)	0.5	(1.0)
〃		脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.5)	0.2	(0.6)

第66表　石錐一覧表

単位：cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石質	長さ	先端部		つまみ部	
				巾	厚さ	巾	厚さ
SB310	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(2.7)	(1.1)	(0.3)	(2.2)	(0.4)
〃	〃	サヌカイト	(2.7)	(1.4)	(0.3)	(0.7)	(0.4)
〃	〃	サヌカイト	(2.4)	(0.6)	(0.3)	(4.2)	(1.1)
SB305	〃	サヌカイト	(2.5)	(0.6)	(0.4)	(1.5)	(0.5)
SB306	先端部欠	サヌカイト	(3.2)	(0.7)	(0.4)	(3.4)	(0.7)
〃	つまみ部欠	サヌカイト	(3.5)	0.9	0.6	(2.2)	(0.8)
SB310	〃	サヌカイト	(3.6)	0.9	0.6	(2.1)	(0.4)
SB314	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(2.6)	(0.7)	(0.3)	(1.2)	(0.2)
SB315	〃	サヌカイト	(2.3)	(0.6)	(0.5)	(2.1)	(0.4)
SB318	〃	サヌカイト	(2.3)	(0.6)	(0.4)	(1.6)	(0.6)
SB331	〃	サヌカイト	(4.1)	(0.8)	(0.4)	(2.1)	(0.5)
〃	つまみ部欠	サヌカイト	2.4	1.0	0.5	−	−
〃	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(4.5)	(0.5)	(0.4)	(1.2)	(0.6)
〃	〃	サヌカイト	(3.9)	(0.7)	(0.4)	(2.9)	(0.6)
〃 No.29	〃	サヌカイト	(2.4)	(0.7)	(0.5)	(2.0)	(0.5)
〃 No.30	〃	サヌカイト	(3.4)	(1.0)	(0.5)	(3.3)	(1.0)
〃 No.32	〃	サヌカイト	(4.8)	(0.6)	(0.4)	(2.7)	(0.6)
SK310	〃	サヌカイト	(3.2)	(0.8)	(0.6)	(1.5)	(0.4)
SK321	〃	サヌカイト	(3.1)	(0.7)	(0.4)	(1.9)	(0.5)
〃	〃	サヌカイト	(3.3)	(1.1)	(0.3)	(1.3)	(0.4)
SK387	〃	サヌカイト	(2.7)	(0.8)	(0.3)	(2.4)	(0.3)
SK410	つまみ部欠	サヌカイト	(4.1)	1.3	0.4	(1.9)	(0.5)
SK429	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(2.5)	(0.7)	(0.3)	(1.0)	(0.4)
SK368	つまみ部欠	サヌカイト	(3.8)	0.6	0.4	(1.5)	(0.4)
SD59	〃	サヌカイト	(4.2)	1.1	0.7	−	−
竹道南地区溝状遺構	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(3.2)	(0.7)	(0.4)	−	−
SD68	つまみ部欠	サヌカイト	(2.8)	1.1	0.4	−	−
SD301	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(2.2)	(0.9)	(0.3)	(2.1)	(0.4)
〃	〃	サヌカイト	(3.5)	0.8	(0.4)	(1.5)	(0.5)
SD303	〃	サヌカイト	(1.8)	(0.8)	(0.3)	(1.7)	(0.3)
〃	〃	サヌカイト	(1.9)	(0.7)	(0.3)	(1.8)	(0.5)
SD307	〃	サヌカイト	(2.1)	(0.6)	(0.4)	(2.2)	(0.4)
〃	〃	サヌカイト	(4.3)	(0.7)	(0.3)	(2.3)	(0.5)
SD312	つまみ部欠	サヌカイト	(3.0)	0.7	0.5	(1.7)	(0.6)
〃	〃	サヌカイト	(4.3)	0.7	0.4	(1.6)	(0.5)
〃	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(2.5)	(0.8)	(0.2)	(1.4)	(0.2)
SD324	〃	サヌカイト	(4.4)	(1.0)	(0.6)	−	−
SD325	つまみ部欠	サヌカイト	(3.2)	(0.8)	(0.3)	(1.3)	(0.3)
コ41区 ピット	〃	サヌカイト	(3.4)	0.9	0.6	(1.4)	(0.8)
SX16	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(4.1)	(1.1)	(0.5)	(2.1)	(0.6)
SX17	つまみ部欠	サヌカイト	(4.5)	(0.7)	(0.4)	(1.4)	(0.4)
〃	〃	サヌカイト	(4.0)	0.7	0.5	(1.5)	(0.5)
SX20	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(5.1)	(0.7)	(0.6)	(1.6)	(0.6)
〃	〃	サヌカイト	(3.3)	0.6	0.3	(1.4)	(0.5)
SX305	〃	サヌカイト	(2.7)	(0.6)	(0.4)	(2.6)	(0.4)
SX309	つまみ部欠	サヌカイト	(5.2)	(1.0)	(0.5)	−	−
SX312	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(2.1)	(0.6)	(0.2)	(2.2)	(0.4)
SX313	つまみ部欠	サヌカイト	(5.5)	(1.5)	(0.7)	−	−
SX328	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(3.1)	(2.0)	(0.4)	(2.0)	(0.5)

出土位置・層序		遺存状態	石質	厚さ	先端部		つまみ部	
					巾	厚さ	巾	厚さ
キ40区	第8・9層	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(3.8)	(0.8)	(0.5)	(3.5)	(0.6)
ケ38区	第7・8層	〃	サヌカイト	(3.2)	(0.7)	(0.6)	(1.5)	(0.5)
ケ40区	第6・7層	〃	サヌカイト	(3.0)	(1.1)	(0.4)	(2.2)	(0.4)
〃	〃	つまみ部欠	サヌカイト	(2.6)	0.8	0.6	(1.5)	(0.6)
〃	〃	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(3.7)	0.6	(0.3)	(3.5)	(0.6)
〃	第7層	〃	サヌカイト	(2.6)	(0.8)	(0.2)	(1.8)	(0.3)
コ37区	第3層	〃	サヌカイト	(2.2)	(0.6)	(0.4)	(1.6)	(0.3)
コ38区	〃	〃	サヌカイト	(1.8)	(0.4)	(0.3)	(1.7)	(0.4)
〃	第3・4層	つまみ部欠	サヌカイト	(3.6)	(1.3)	(0.7)	(2.4)	(0.7)
〃	〃	〃	サヌカイト	(3.9)	(0.9)	(0.3)	(2.1)	(0.4)
〃	第4層	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(3.2)	(0.6)	(0.3)	(1.6)	(0.5)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.7)	(0.7)	(0.5)	(1.8)	(0.4)
コ39区	第7層	〃	サヌカイト	(1.7)	(0.5)	(0.2)	(1.3)	(0.4)
コ40区	第6層	〃	サヌカイト	(2.9)	(1.0)	(0.4)	−	−
〃	第7層	〃	サヌカイト	(5.3)	(0.5)	(0.6)	(3.0)	(1.2)
サ35区	第2層	つまみ部欠	サヌカイト	(3.3)	0.6	0.3	(2.1)	(0.4)
サ36区	〃	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(3.6)	(1.0)	(0.5)	−	−
〃	第3・4層	つまみ部欠	サヌカイト	(2.6)	0.5	0.3	(1.4)	(0.4)
〃	第4層	〃	サヌカイト	(2.6)	0.8	0.5	(1.4)	(0.3)
〃	〃	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(4.0)	(1.1)	(0.6)	(2.1)	(0.6)
〃	〃	つまみ部欠	サヌカイト	(2.6)	0.6	0.3	(1.5)	(0.3)
〃	第5層上位	〃	サヌカイト	(5.0)	1.1	0.6	(1.6)	(0.8)
〃	〃	〃	サヌカイト	(3.2)	0.9	0.4	(1.5)	(0.4)
サ37区	第3層	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(2.5)	(0.8)	(0.3)	(1.5)	(0.6)
サ39区	第2層	〃	サヌカイト	(3.7)	(1.0)	(0.5)	−	−
シ34区	〃	〃	サヌカイト	(3.0)	(0.6)	(0.4)	(1.8)	(0.5)
シ35区	第3層	つまみ部欠	サヌカイト	(3.1)	0.7	0.3	(1.4)	(0.3)
〃	〃	〃	サヌカイト	(3.2)	0.7	0.4	(1.4)	(0.3)
〃	〃	〃	サヌカイト	(3.2)	0.6	0.4	−	−
〃	〃	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(3.9)	(0.8)	(0.5)	(1.5)	(0.6)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.2)	(0.5)	(0.4)	(1.3)	(0.4)
〃	第4層	〃	サヌカイト	(2.8)	(0.8)	(0.3)	(2.3)	(0.4)
シ36区	第3層	〃	サヌカイト	(3.5)	(0.6)	0.5	(2.3)	(0.7)
〃	〃	つまみ部欠	サヌカイト	(3.4)	0.6	0.4	(1.4)	(0.3)
〃	〃	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(3.7)	(0.9)	(0.5)	(3.1)	(1.0)
〃	〃	〃	サヌカイト	(3.7)	(0.9)	(0.6)	(2.6)	(0.9)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.1)	(0.7)	(0.2)	(1.5)	(0.3)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.2)	(0.6)	(0.3)	(1.2)	(0.3)
〃	第4層	〃	サヌカイト	(3.4)	(0.9)	(0.5)	(1.2)	(0.5)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.9)	(0.8)	(0.5)	−	−
シ37区	第2層	つまみ部欠	サヌカイト	(1.7)	0.5	0.3	(1.1)	(0.3)
〃	〃	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(2.5)	(0.7)	(0.4)	−	−
ス34区	〃	〃	サヌカイト	(3.7)	(0.9)	(0.7)	(3.8)	(0.8)
〃	〃	〃	サヌカイト	(3.5)	(0.9)	(0.7)	(2.9)	(0.7)
〃	第3層	つまみ部欠	サヌカイト	(3.2)	0.8	0.3	(1.7)	(0.7)
セ33区	第2層	〃	サヌカイト	(3.9)	0.7	0.4	(1.2)	(0.5)
ミ14区	第2・3層	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(2.1)	(0.7)	(0.3)	(1.7)	(0.3)
不明		〃	サヌカイト	(3.5)	0.8	0.5	(2.0)	(0.6)
〃		つまみ部欠	サヌカイト	(2.6)	0.5	0.2	(1.3)	(0.3)

出土位置・層序	遺存状態	石　質	厚　さ	先端部		つまみ部	
				巾	厚さ	巾	厚さ
不明	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(4.9)	1.5	0.6	(3.4)	(0.8)
〃	つまみ部欠	サヌカイト	(3.6)	0.9	0.5	(2.1)	(0.6)
〃	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(3.2)	1.1	0.4	(1.5)	(0.5)
〃	〃	サヌカイト	(2.5)	0.8	0.3	(1.6)	(0.4)
〃	つまみ部欠	サヌカイト	(3.7)	1.0	0.5	(0.9)	(0.6)

第67表　礫石錘一覧表

単位：cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石質	a	b	c	d	L1	L2	W(W1)	W2	厚さ	重さ
SK387	一部欠	凝灰岩	(2.3)	(2.6)	(2.5)	(0.8)	(10.7)	(9.7)	(6.9)	(6.3)	(1.9)	(167.9)
SD312	〃	結晶片岩	(1.3)	(1.6)	(2.8)	(1.2)	(8.6)	7.6	(6.9)	(5.8)	(2.3)	(162)
〃	〃	結晶片岩	−	−	(1.3)	(1.1)	(9.7)	−	(4.0)	(2.8)	(1.0)	(59.7)
SD320	〃	安山岩	(1.9)	(2.0)	−	−	(7.7)	(6.9)	(5.6)	−	(1.5)	(89.5)
〃	〃	結晶片岩	(1.5)	−	−	−	(7.0)	−	(5.8)	−	(1.2)	(76.1)
SX313	〃	結晶片岩	(0.4)	(1.0)	−	−	(8.2)	(7.9)	(8.5)	−	(1.2)	(120.3)
〃	〃	緑色片岩	(1.5)	(0.7)	(1.1)	(1.3)	(11.2)	(10.3)	(5.3)	(4.7)	(0.9)	(83.9)
〃	〃	結晶片岩	(2.6)	(1.7)	−	−	(7.4)	(6.0)	(7.1)	−	(1.7)	(111.1)
〃	〃	結晶片岩	(1.2)	−	(1.3)	(1.6)	(11.4)	−	(7.1)	(6.1)	(1.4)	(152.6)
〃	完存	結晶片岩	−	−	0.9	1.1	13.9	−	13.9	3.4	1.5	154.4
SX314	一部欠	結晶片岩	−	−	2.9	3.2	(16.3)	−	(5.8)	4.4	(3.1)	(465.5)
SX327	〃	結晶片岩	−	(0.9)	(0.9)	(1.1)	(11.6)	−	6.4	(4.8)	(1.5)	(173.6)
サ35区　第1層	〃	結晶片岩	−	−	1.3	0.8	10.4	−	4.1	3.5	(0.9)	(59.7)
サ35区　第5層下位	〃	結晶片岩	1.4	−	−	−	(5.1)	−	6.2	−	(0.7)	(31.7)
〃　〃	〃	結晶片岩	−	−	(1.1)	(2.1)	8.4	−	4.6	4.0	1.5	(81.7)
シ34区　第5層	〃	結晶片岩	1.8	−	−	−	(6.2)	−	(6.1)	−	(1.1)	(62.1)
ス33区　第3層	〃	結晶片岩	−	−	(1.7)	−	(10.0)	−	(4.6)	−	(0.9)	(56.2)
ス35区　第2層	〃	結晶片岩	(1.2)	(1.1)	(1.2)	−	(8.9)	(7.8)	(6.5)	−	(0.9)	(76.0)
マ14区　第4層	〃	結晶片岩	(2.0)	−	−	−	(10.6)	−	(6.5)	−	(2.1)	(180.4)

（註）

礫石錘を表化する際に用いたアルファベットは以下の部位の計測値を表している。

a・b　長軸方向の打欠き部の幅

c・d　短軸方向の打欠き部の幅

L1　長さ

L2　長軸方向の打欠き部間の最短距離

W(W1)　幅

W2　短軸方向の打欠き部間の最短距離

第68表　不定形刃器一覧表

単位：cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
SB301	一部欠	サヌカイト	(3.4)	(2.4)	(0.6)	(4.4)
〃	〃	サヌカイト	(2.7)	(5.7)	(0.8)	(11.2)
〃	〃	サヌカイト	(2.9)	(3.8)	(0.9)	(11.2)
SB306	〃	サヌカイト	(7.7)	(4.1)	(0.9)	(22.5)
SB308	〃	サヌカイト	(2.6)	(2.9)	(0.9)	(7.9)
〃	〃	サヌカイト	(2.8)	(2.7)	(0.5)	(3.3)
SB313	〃	サヌカイト	(4.6)	(1.6)	(0.6)	(4.7)
SB314	〃	サヌカイト	(4.7)	(2.8)	(0.7)	(12.4)
SB315	〃	サヌカイト	(3.3)	(2.9)	(0.6)	(6.9)
〃	〃	サヌカイト	(3.0)	(2.8)	(0.7)	(8.3)
SB318	〃	サヌカイト	(5.2)	(4.6)	(0.9)	(24.4)
SB319	〃	サヌカイト	(6.8)	(4.3)	(0.8)	(21.0)
SB331　No.49	〃	サヌカイト	(3.9)	(0.4)	(0.9)	(18.9)
〃	〃	サヌカイト	(4.9)	(2.7)	(1.1)	(17.5)
〃	〃	サヌカイト	(4.9)	(3.1)	(0.6)	(9.5)
SB406	〃	サヌカイト	(5.0)	(2.2)	(0.5)	(6.8)
SK302	〃	サヌカイト	(11.7)	(6.2)	(1.8)	(93.5)
SK303	〃	サヌカイト	(8.3)	(5.0)	(1.5)	(73.4)
SK308	〃	サヌカイト	(6.4)	(4.7)	(0.8)	(18.5)
〃	〃	サヌカイト	(7.0)	(4.7)	(0.9)	(22.4)
〃	〃	サヌカイト	(6.6)	(3.5)	(0.8)	(20.2)
〃	〃	サヌカイト	(3.2)	(2.6)	(0.6)	(4.3)
〃	〃	サヌカイト	(3.9)	(3.7)	(0.9)	(8.8)
SK327	〃	サヌカイト	(4.6)	(3.0)	(0.7)	(13.4)
SK392	〃	サヌカイト	(5.8)	(5.7)	(1.0)	(28.8)
SK403	〃	サヌカイト	(4.3)	(3.1)	(1.0)	(13.5)
SK406	〃	サヌカイト	(7.6)	(6.5)	(1.3)	(71.1)
SK418	〃	サヌカイト	(3.6)	(2.9)	(0.6)	(5.3)
〃	〃	サヌカイト	(3.7)	(2.4)	(0.5)	(4.8)
〃	〃	サヌカイト	(5.3)	(5.4)	(0.8)	(22.6)
SK434	〃	サヌカイト	(4.9)	(4.1)	(0.7)	(11.7)
SK439	〃	サヌカイト	(3.8)	(2.8)	(0.8)	(10.7)
SK445	〃	サヌカイト	(6.2)	(4.5)	(1.3)	(29.3)
SK484	〃	サヌカイト	(4.4)	(2.8)	(0.9)	(12.1)
SD16	〃	サヌカイト	(4.9)	(3.8)	(0.5)	(11.1)
SD301	〃	サヌカイト	(5.4)	(3.7)	(0.7)	(17.3)
〃	〃	サヌカイト	(3.0)	(2.7)	(0.9)	(10.3)
SD302	〃	サヌカイト	(8.2)	(4.5)	(1.5)	(56.8)
SD312	〃	サヌカイト	(7.6)	(5.0)	(0.8)	(26.7)
〃	〃	サヌカイト	(5.0)	(1.9)	(0.6)	(4.4)
〃	〃	サヌカイト	(3.4)	(3.0)	(0.9)	(8.3)
〃	〃	サヌカイト	(5.8)	(5.1)	(0.5)	(19.3)
〃	〃	サヌカイト	(7.6)	(6.2)	(1.7)	(80.0)
〃	〃	サヌカイト	(6.4)	(4.9)	(1.1)	(32.9)
〃	〃	サヌカイト	(4.6)	(2.9)	(0.6)	(8.8)
〃	〃	サヌカイト	(4.8)	(2.8)	(0.7)	(9.8)
SX20	〃	サヌカイト	(9.0)	(4.8)	(1.3)	(77.6)
SX306	〃	サヌカイト	(3.6)	(2.8)	(0.6)	(7.5)
SX309	〃	サヌカイト	(3.0)	(2.5)	(0.6)	(4.8)
SX313	〃	サヌカイト	(6.6)	(4.1)	(0.8)	(26.5)

出土位置・層序	遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
SX313	一部欠	サヌカイト	(5.2)	(3.6)	(0.6)	(14.2)
SX314	〃	サヌカイト	(4.9)	(4.1)	(0.7)	(13.1)
SX315	〃	サヌカイト	(6.7)	(3.7)	(0.7)	(24.1)
SX328	〃	サヌカイト	(3.2)	(2.7)	(0.9)	(8.8)
コ41区　ピット	〃	サヌカイト	(4.3)	(2.7)	(0.7)	(7.3)
〃　〃	〃	サヌカイト	(4.0)	(3.4)	(1.1)	(13.9)
ケ38区　第3・4層	〃	サヌカイト	(2.3)	(2.7)	(0.4)	(2.2)
ケ39区　第4層	〃	サヌカイト	(3.5)	(3.2)	(0.7)	(8.8)
コ36区　〃	〃	サヌカイト	(6.3)	(3.7)	(1.1)	(26.0)
〃　第5層	〃	サヌカイト	(4.1)	(1.8)	(0.5)	(4.3)
コ37区	〃	サヌカイト	(5.1)	(6.0)	(1.1)	(37.8)
コ38区　第3層	〃	サヌカイト	(4.4)	(4.2)	(1.1)	(22.9)
〃　第3・4層	〃	サヌカイト	(7.8)	(7.4)	(1.3)	(79.8)
コ39区　第8層	〃	サヌカイト	(4.6)	(2.8)	(0.7)	(10.0)
サ35区　第2層	〃	サヌカイト	(4.2)	(4.9)	(1.0)	(19.8)
サ36区　第5層中位	〃	サヌカイト	(7.1)	(7.0)	(0.8)	(50.9)
サ37区　第2層	〃	サヌカイト	(7.2)	(4.4)	(1.0)	(33.9)
〃　第3層	〃	サヌカイト	(6.5)	(5.0)	(0.8)	(23.4)
〃　第3・4層	〃	サヌカイト	(8.0)	(4.2)	(1.5)	(46.9)
〃　第5層	〃	サヌカイト	(6.9)	(4.3)	(1.2)	(34.1)
サ39区　第6層	〃	サヌカイト	(7.5)	(3.6)	(0.8)	(24.3)
〃　〃	〃	サヌカイト	(4.3)	(4.9)	(0.8)	(20.5)
〃　〃	〃	サヌカイト	(10.5)	(5.8)	(1.8)	(107.7)
サ40区　第7層	〃	サヌカイト	(3.1)	(1.8)	(0.3)	(2.3)
シ35区　第3層	〃	サヌカイト	(3.1)	(2.5)	(0.9)	(6.4)
〃　〃	〃	サヌカイト	(2.8)	(2.0)	(0.4)	(2.0)
〃　〃	〃	サヌカイト	(2.9)	(2.4)	(0.7)	(4.7)
〃　第4層	〃	サヌカイト	(4.3)	(4.0)	(0.5)	(10.0)
シ36区　第3層	〃	サヌカイト	(3.6)	(3.0)	(0.8)	(11.1)
〃　〃	〃	サヌカイト	(4.9)	(3.4)	(0.9)	(18.6)
〃　第4層	〃	サヌカイト	(5.4)	(4.9)	(1.4)	(36.9)
シ37区　第2層	〃	サヌカイト	(4.3)	(3.7)	(0.5)	(9.8)
ス33区　第1・2層	〃	サヌカイト	(3.4)	(3.8)	(1.0)	(15.5)
〃　第3層	〃	サヌカイト	(9.4)	(6.5)	(1.2)	(84.2)
ス34区　第2層	〃	サヌカイト	(4.1)	(3.1)	(0.7)	(12.2)
〃　〃	〃	サヌカイト	(2.9)	(4.9)	(0.8)	(7.6)
セ33区　第2・3層	〃	サヌカイト	(4.8)	(3.6)	(0.6)	(8.8)
〃　〃	〃	サヌカイト	(4.9)	(3.8)	(0.5)	(10.1)
〃　第3・4層	〃	サヌカイト	(4.5)	(4.4)	(0.5)	(12.8)
ネ22区　第3層	〃	サヌカイト	(4.0)	(1.5)	(0.9)	(5.5)
ハ21区　第2・3層	〃	サヌカイト	(6.8)	(2.8)	(0.5)	(9.3)
マ14区　第3層	〃	サヌカイト	(5.5)	(2.2)	(0.8)	(9.0)
不明	〃	サヌカイト	(3.8)	(3.8)	(1.0)	(11.6)
〃	〃	サヌカイト	(7.6)	(4.5)	(1.4)	(61.9)
〃	〃	サヌカイト	(7.9)	(4.0)	(1.4)	(47.9)
〃	〃	サヌカイト	(3.9)	(2.6)	(0.5)	(5.2)

第69表　石槍一覧表

単位：cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
SD89	先端部欠	サヌカイト	(4.7)	1.5	0.5	(2.9)
SD110	基部欠	サヌカイト	(12.7)	3.9	1.0	(49.7)
コ35区　第5層上位	先端部欠	サヌカイト	(4.5)	2.2	0.7	(6.9)

第70表　楔形石器一覧表

単位：cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
ス33区　第2層	先端・脚部欠	サヌカイト	(4.8)	(1.9)	(0.9)	(7.7)

第71表　不明石器一覧表

単位：cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石　質	長　さ	巾	厚　さ	重　さ
SX314	一部欠	結晶片岩	(16.1)	(5.7)	(3.0)	(47.6)
SX327	完存	石英斑岩	13.4	12.7	2.7	98.0
ケ40区　第6・7層	一部欠	サヌカイト	(7.1)	(2.8)	(0.7)	(18.0)
ケ42区　第6層	〃	結晶片岩	(10.6)	(3.3)	(1.5)	(86.1)
サ37区　第5層	先端・脚部欠	サヌカイト	(4.9)	(2.4)	(0.8)	(10.8)
サ39区　第4層	一部欠	サヌカイト	(6.7)	(2.4)	(1.0)	(16.5)

四国横断自動車道建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告
第七冊
一の谷遺跡群
〈本文編〉

平成2年2月28日　発行

編集　(財)香川県埋蔵文化財調査センター
坂出市府中町南谷5001－4

発行　香川県教育委員会
(財)香川県埋蔵文化財調査センター
日本道路公団

印刷　新日本法規出版(株)

四国横断自動車道建設に伴う

埋蔵文化財発掘調査報告

第　七　冊

一の谷遺跡群

写真図版編

1990．2

香川県教育委員会
財団法人香川県埋蔵文化財調査センター
日本道路公団

四国横断自動車道建設に伴う

埋蔵文化財発掘調査報告

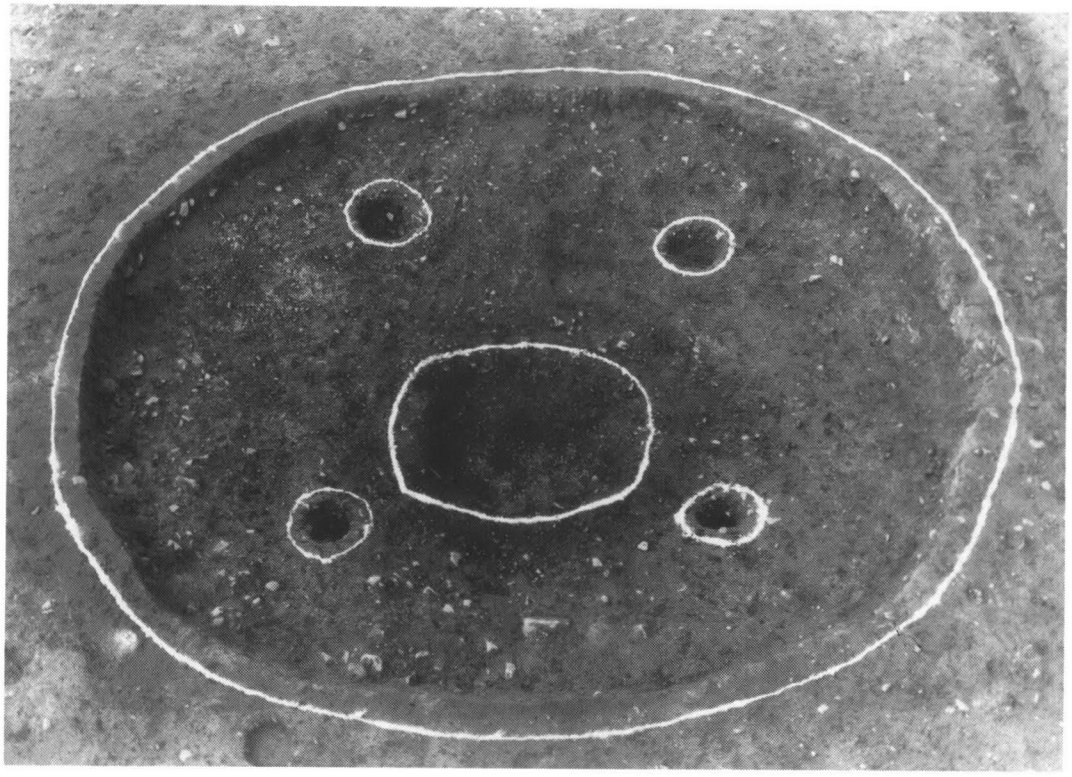
第　七　冊

一の谷遺跡群

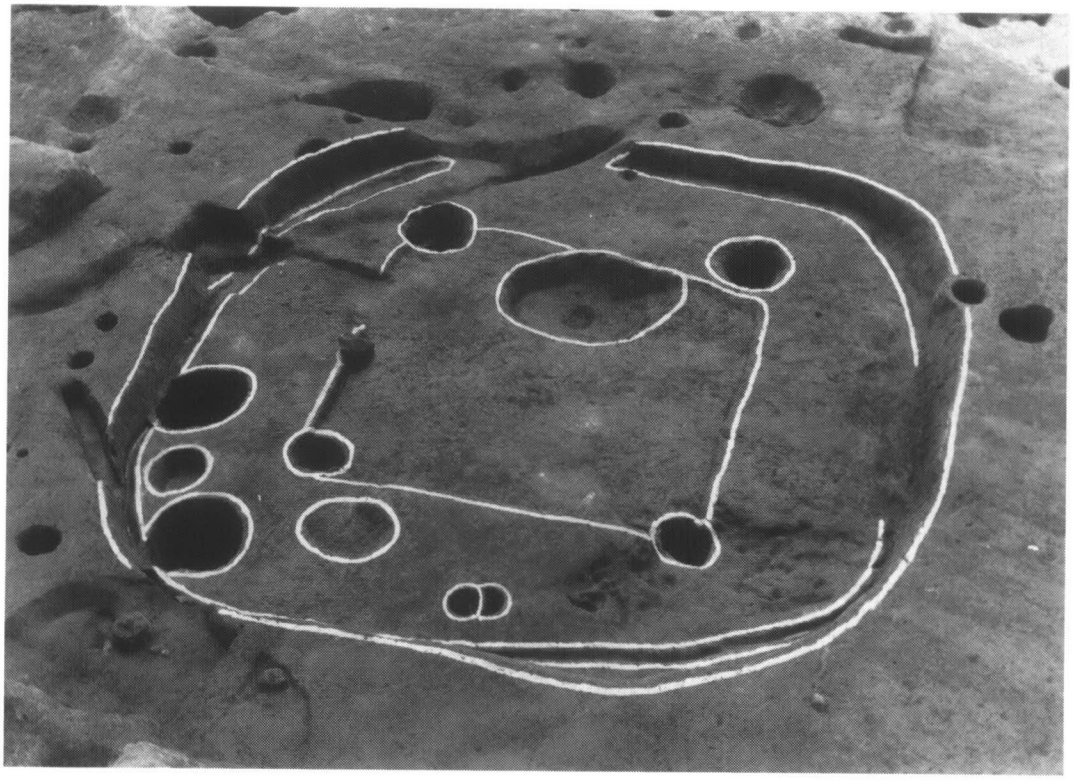
写真図版編

1990. 2

香　川　県　教　育　委　員　会
財団法人香川県埋蔵文化財調査センター
日　本　道　路　公　団



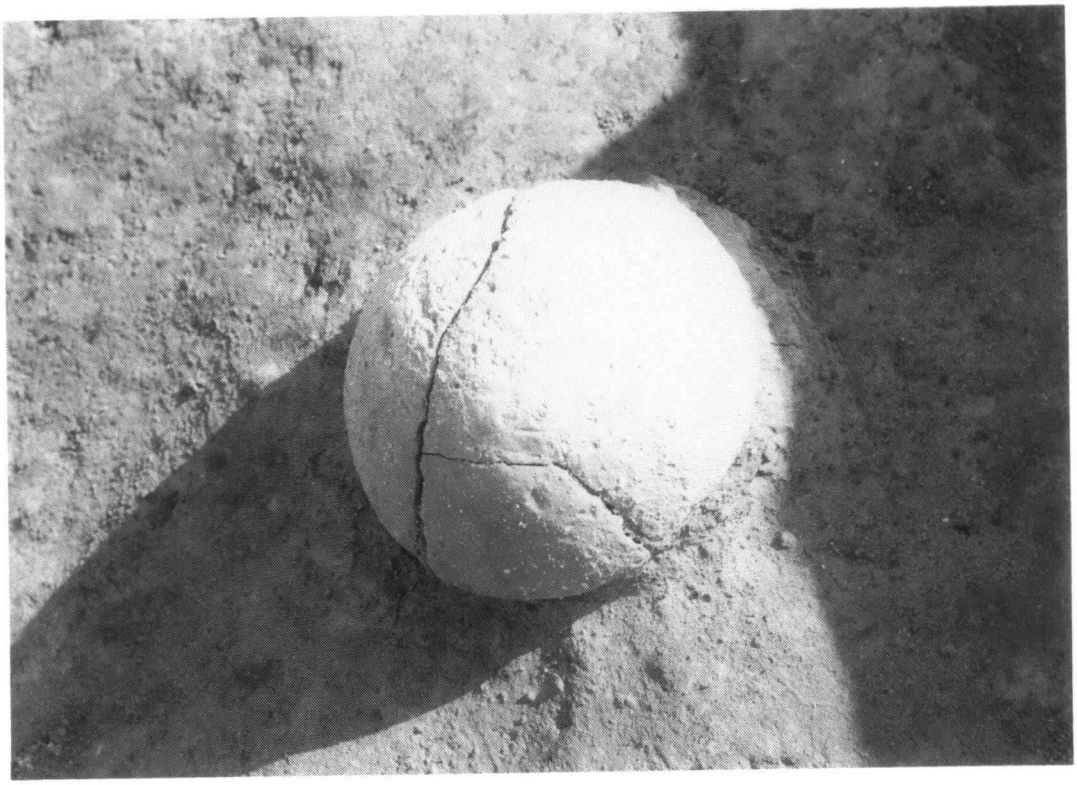
第 1 号竪穴住居跡



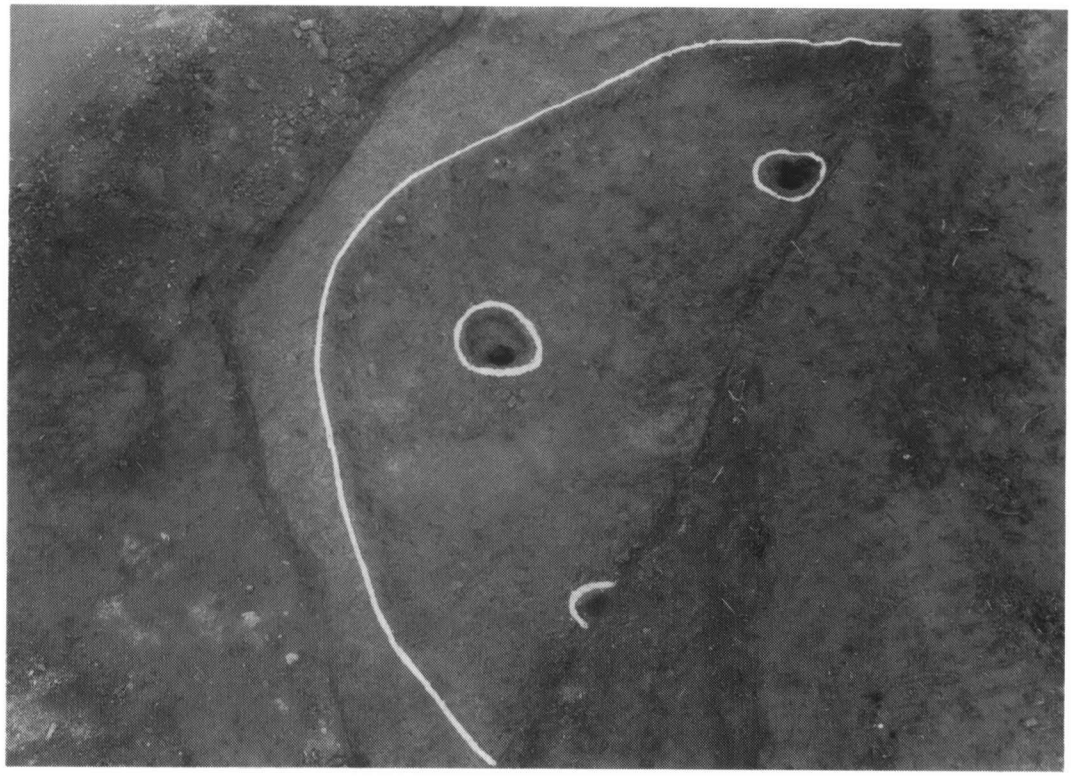
第 2 号竪穴住居跡

図版 2

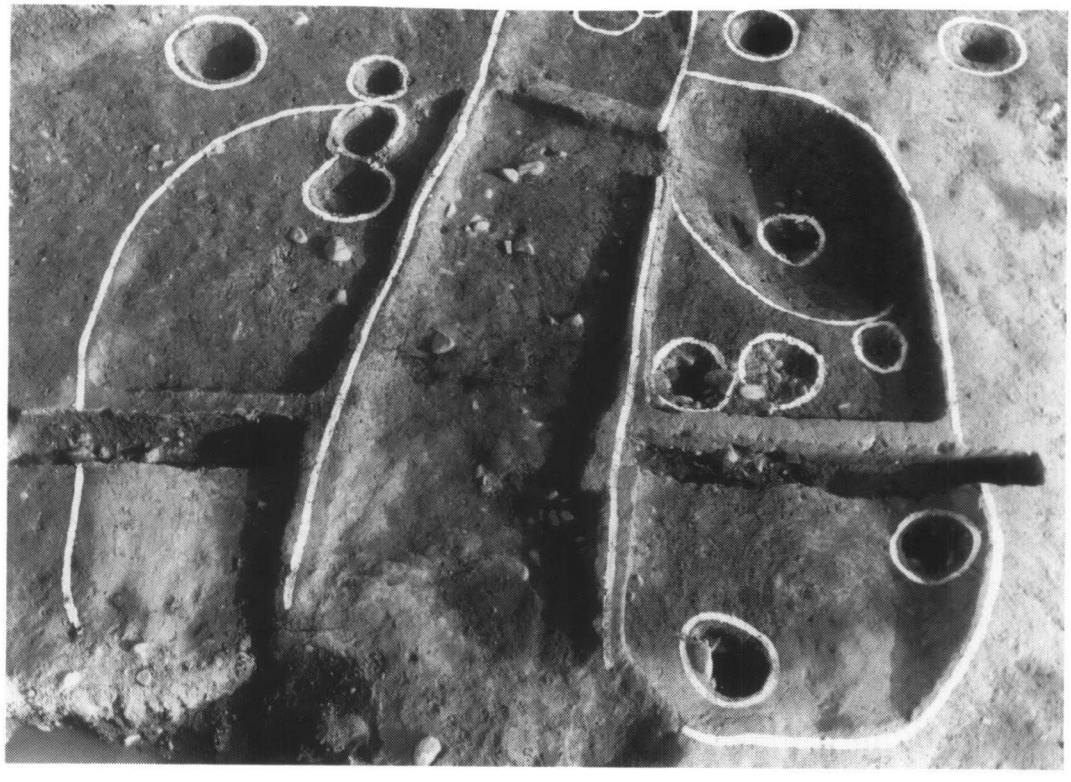
第 2 号竪穴住居跡伴出遺物(1)



第 2 号竪穴住居跡伴出遺物(2)

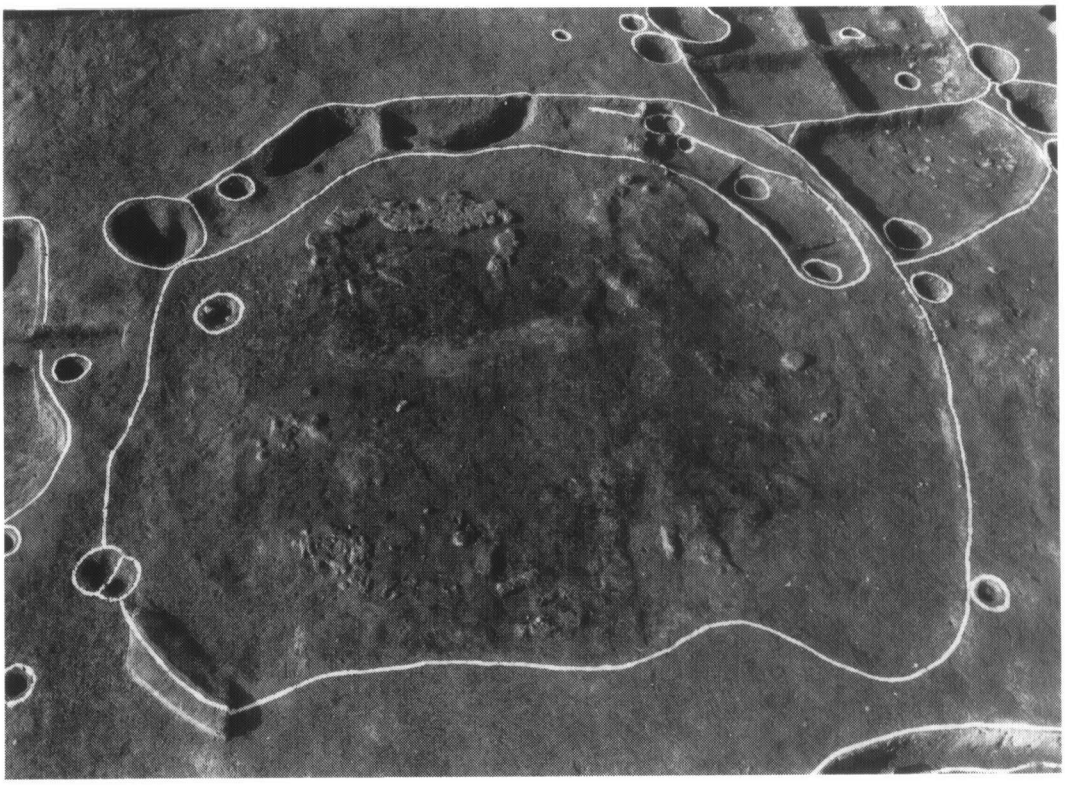


第 3 号竪穴住居跡

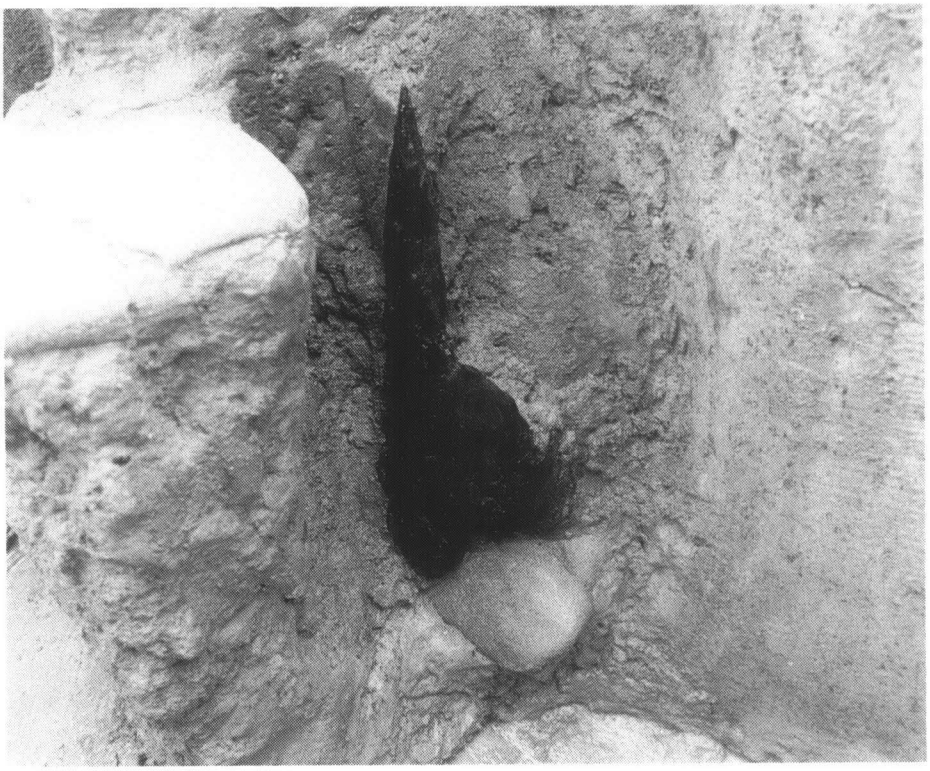


第 4 号竪穴住居跡

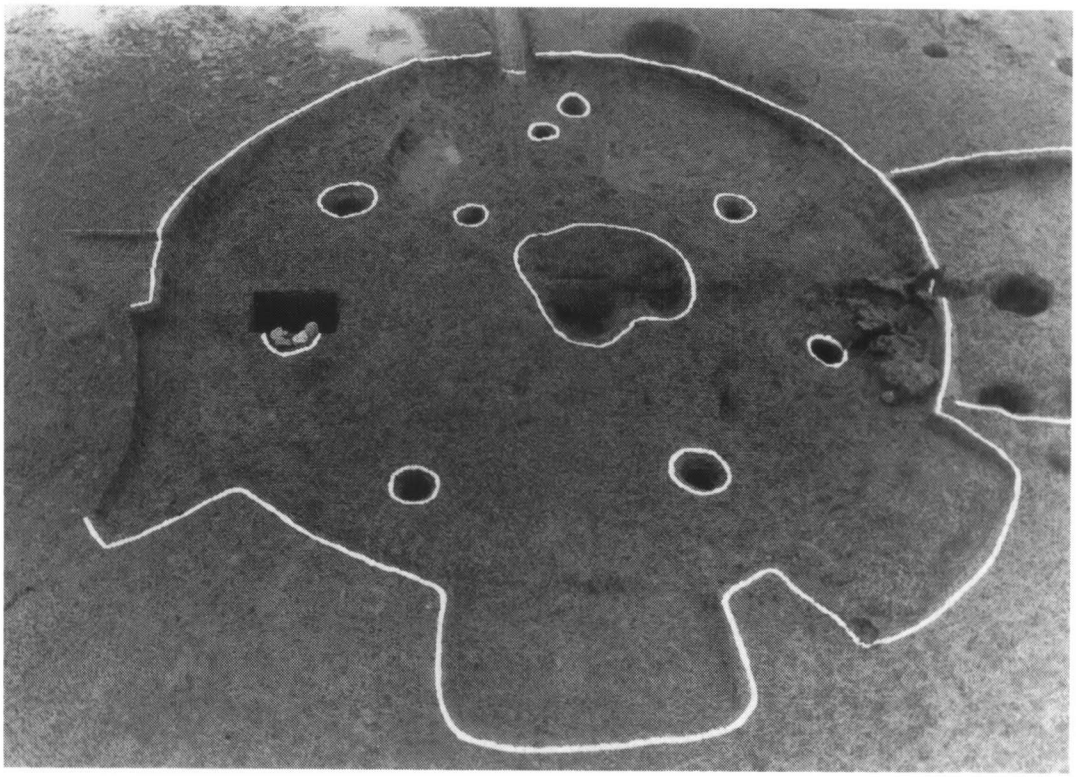
図版 4



第 5 号竪穴住居跡



第 5 号竪穴住居跡柱材



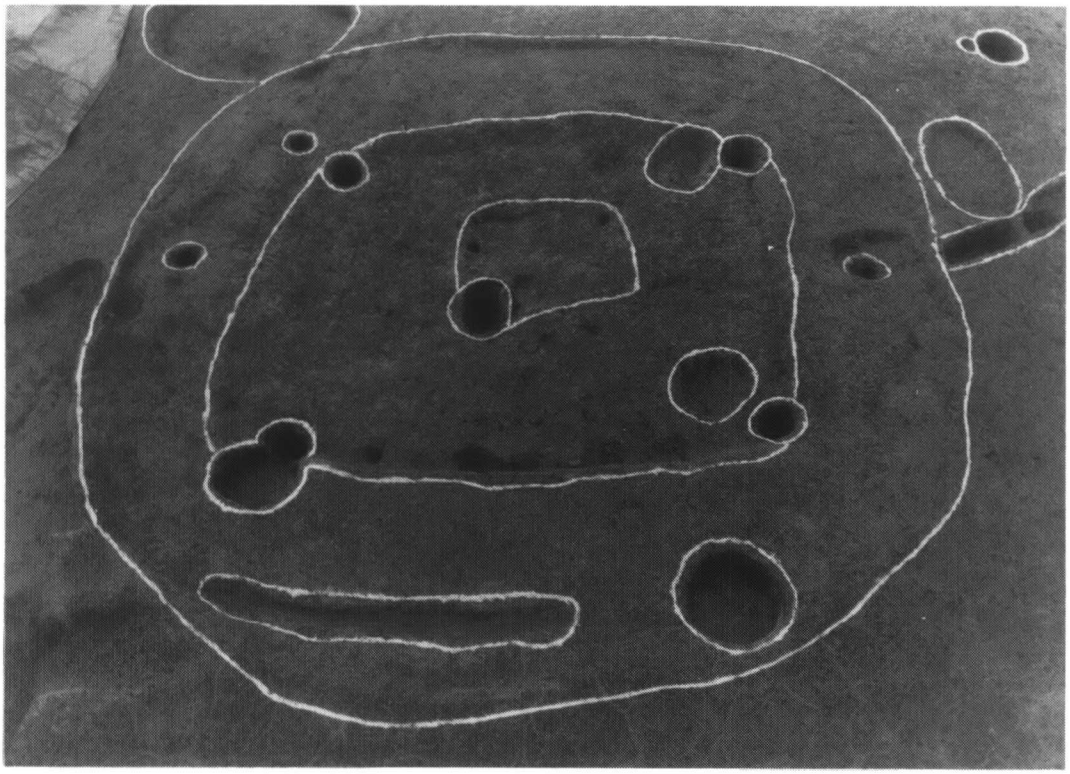
第 6 号竪穴住居跡

第 6 号竪穴住居跡伴出遺物

図版 6

第 6 号竪穴住居跡柱穴

第 6 号竪穴住居跡検出焼土塊

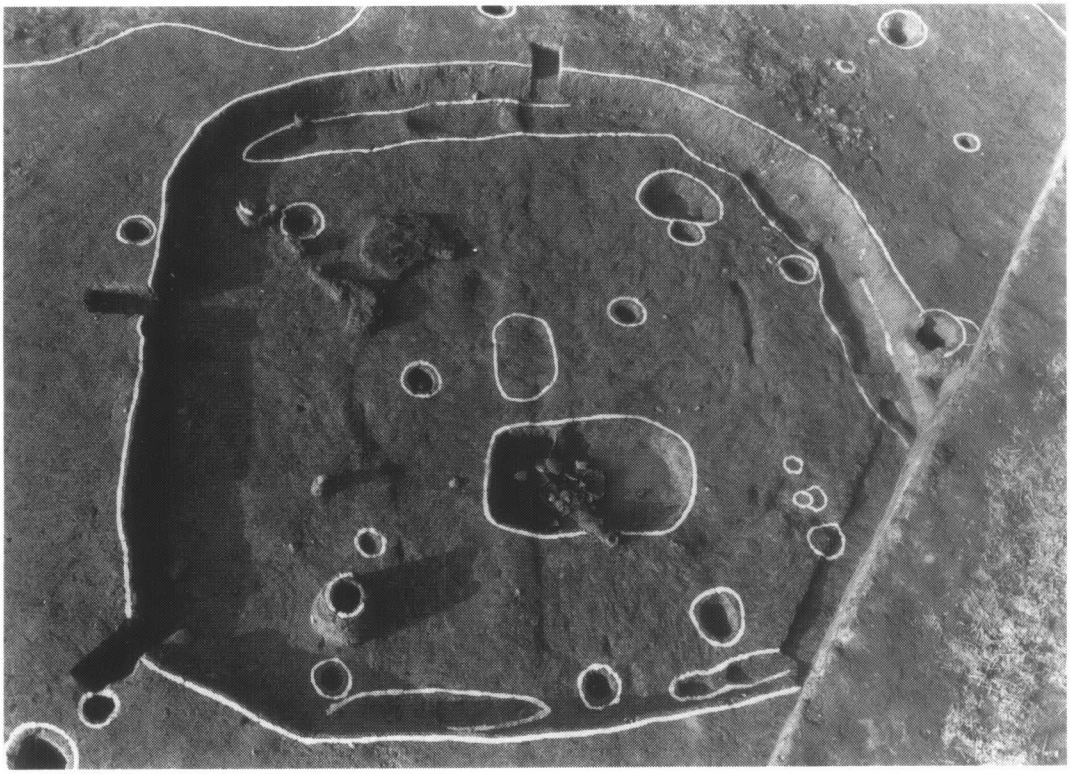


第 7 号竪穴住居跡

第 7 号竪穴住居跡伴出遺物

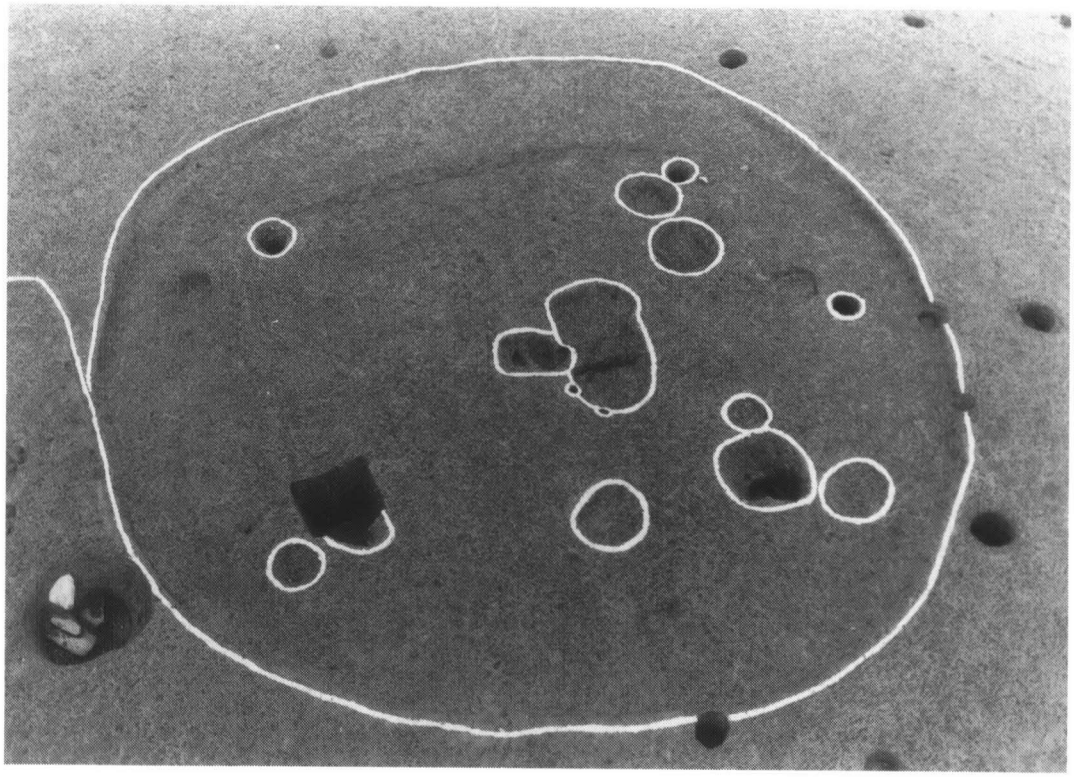
図版 8

第 7 号竪穴住居跡柱穴



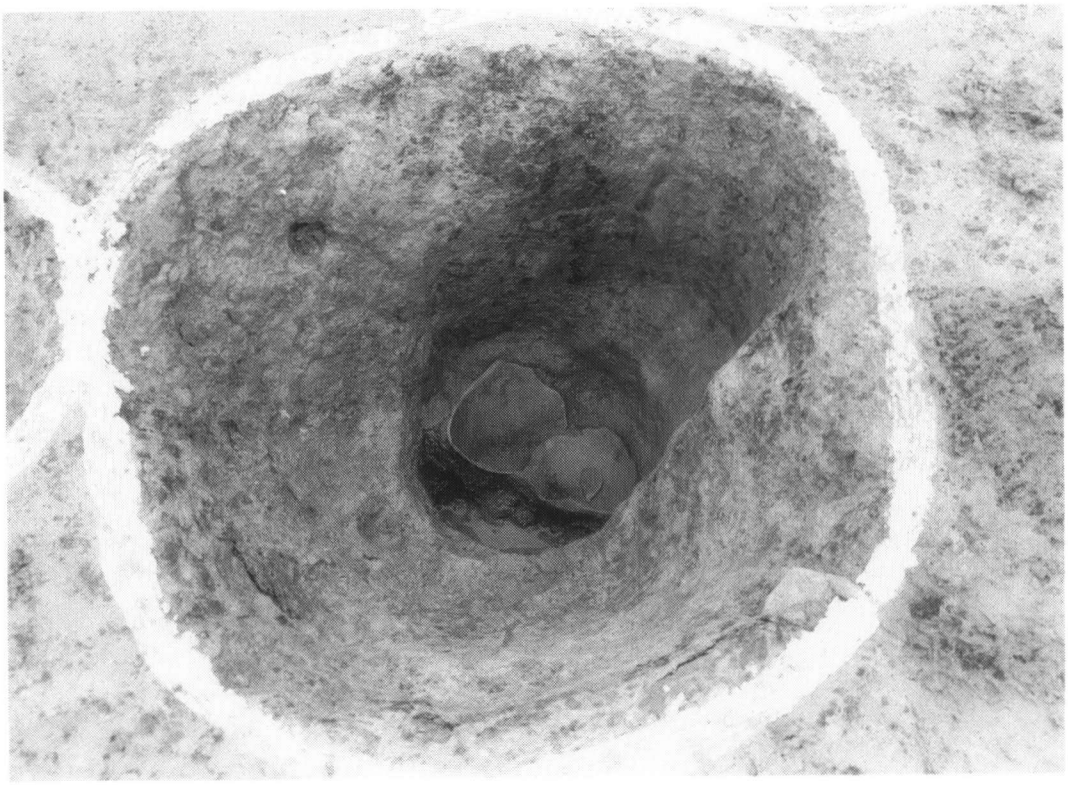
第 8 号竪穴住居跡

第 8 号竪穴住居跡伴出遺物



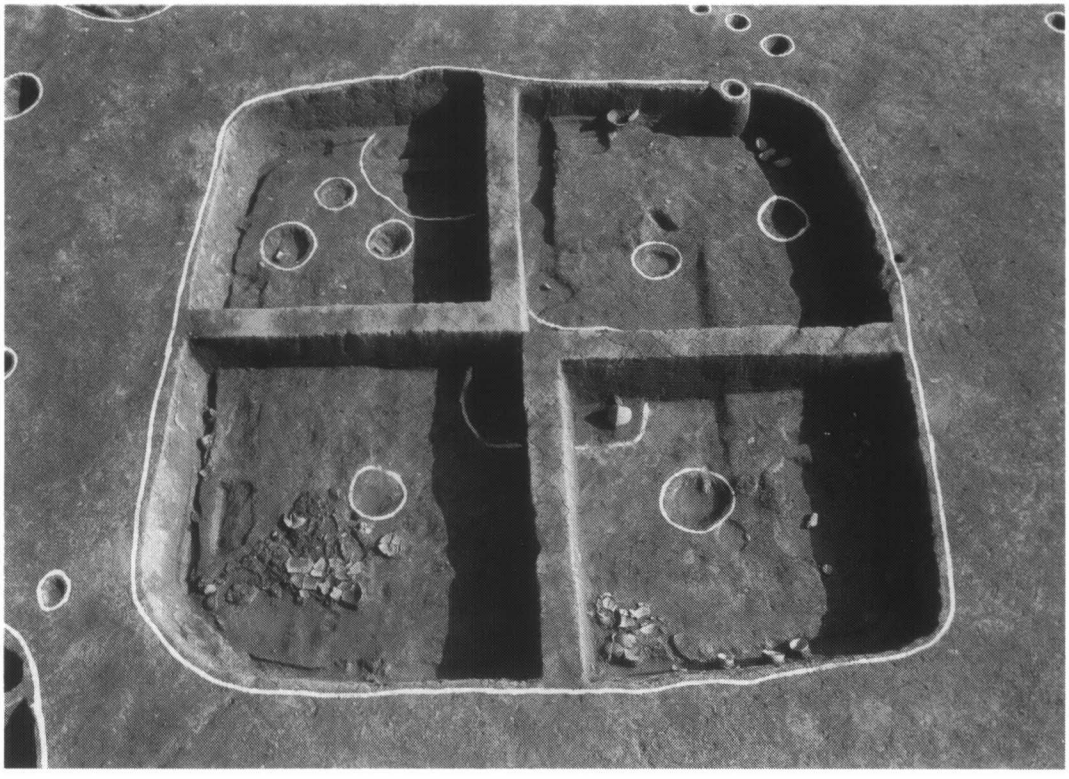
第 9 号竪穴住居跡

図版10

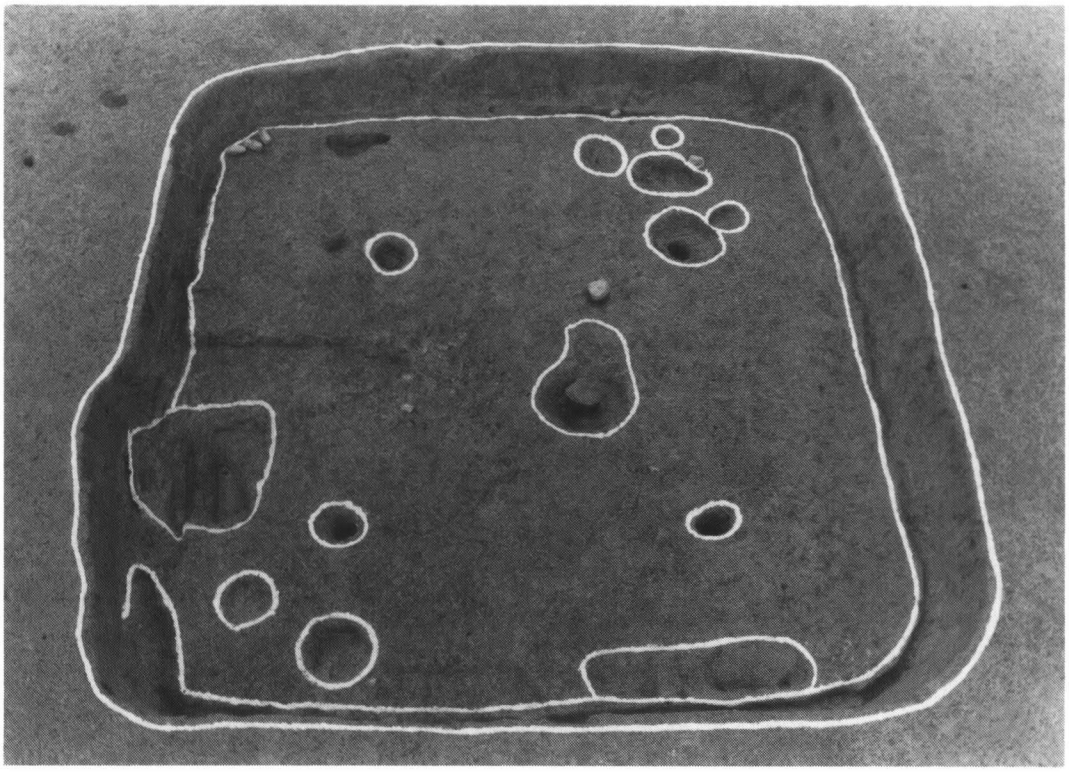


第 9 号竪穴住居跡伴出遺物(1)

第 9 号竪穴住居跡伴出遺物(2)



第10号竪穴住居跡(1)

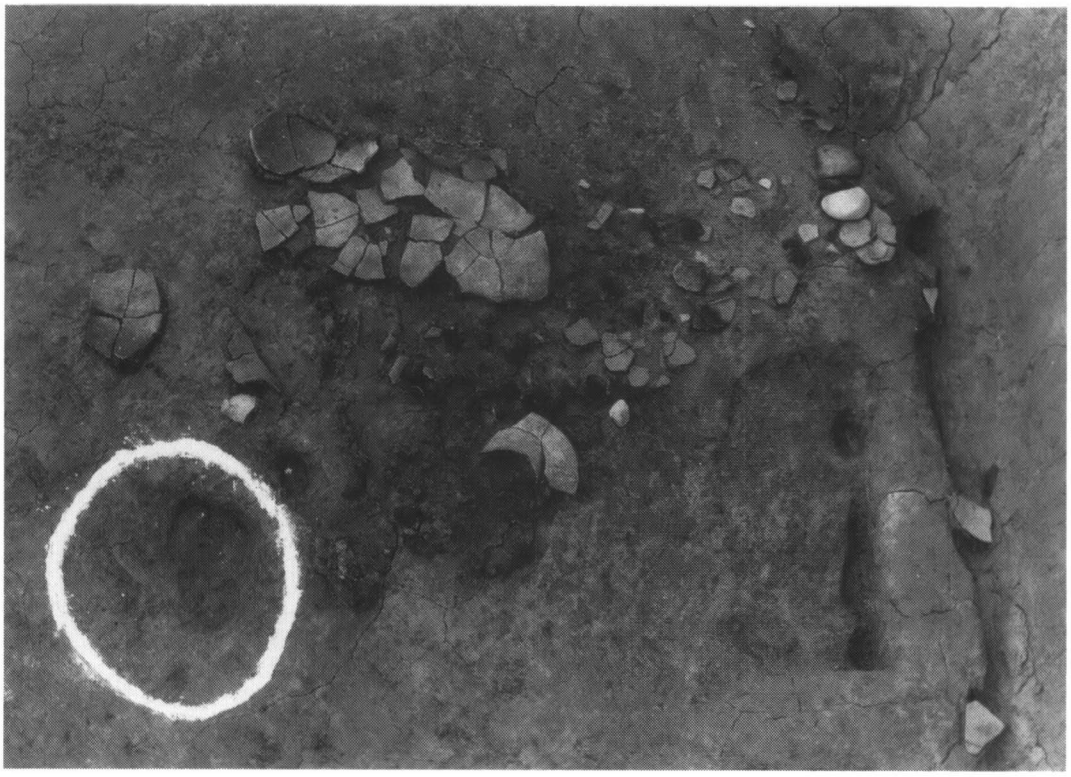


第10号竪穴住居跡(2)

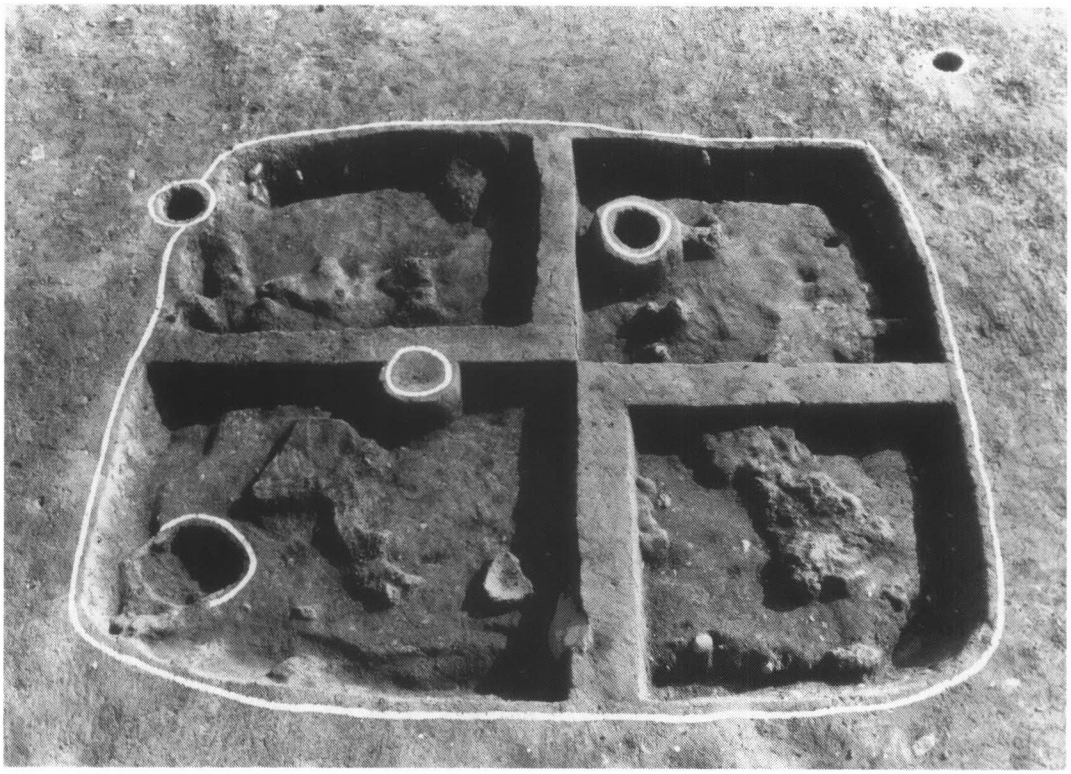
図版12

第10号竪穴住居跡伴出遺物(1)

第10号竪穴住居跡伴出遺物(2)

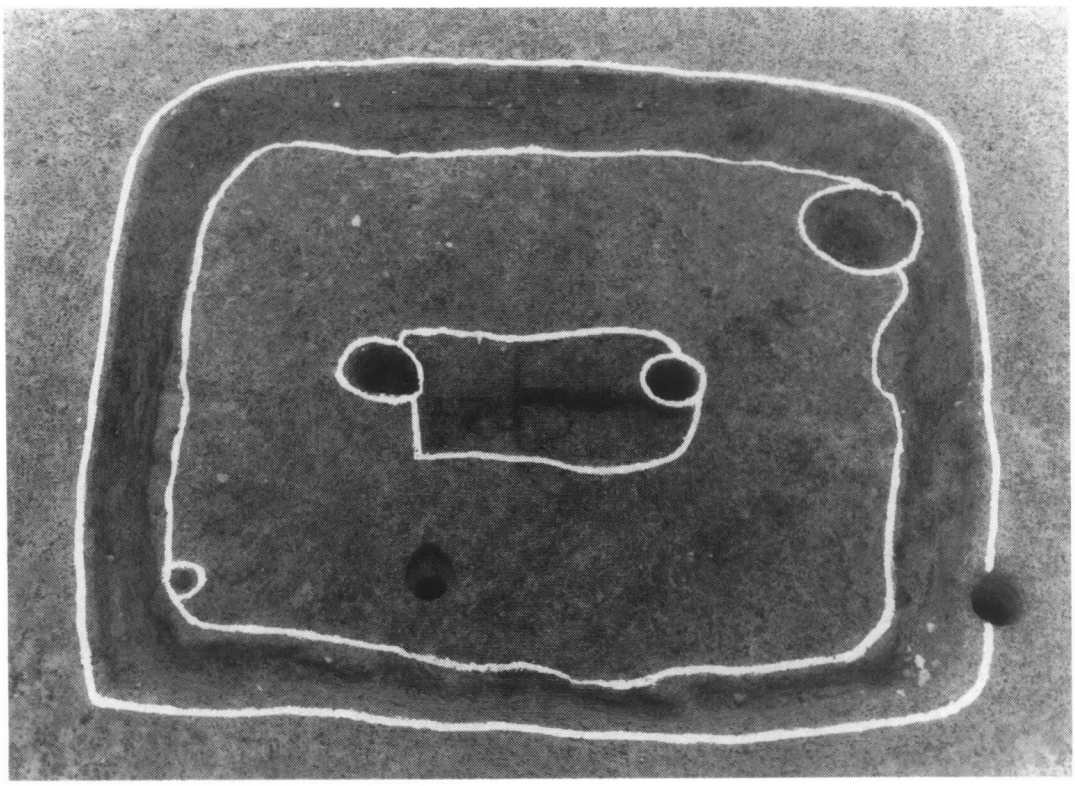


第10号竪穴住居跡伴出遺物(3)



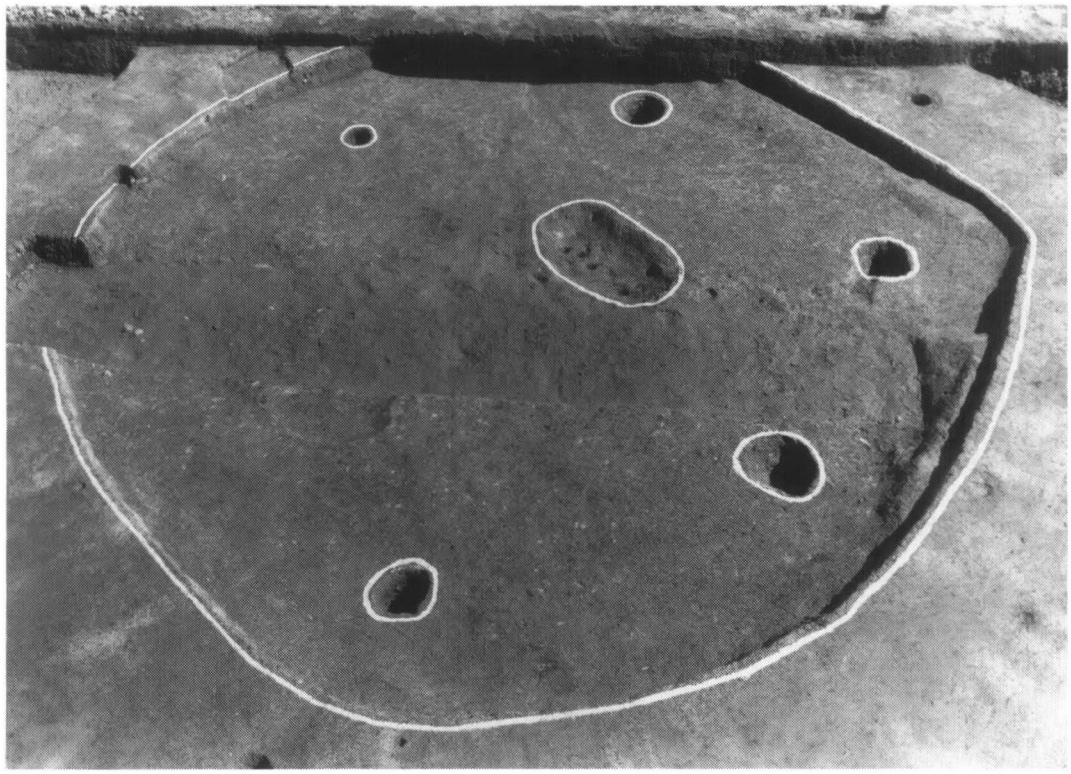
第11号竪穴住居跡(1)

図版14



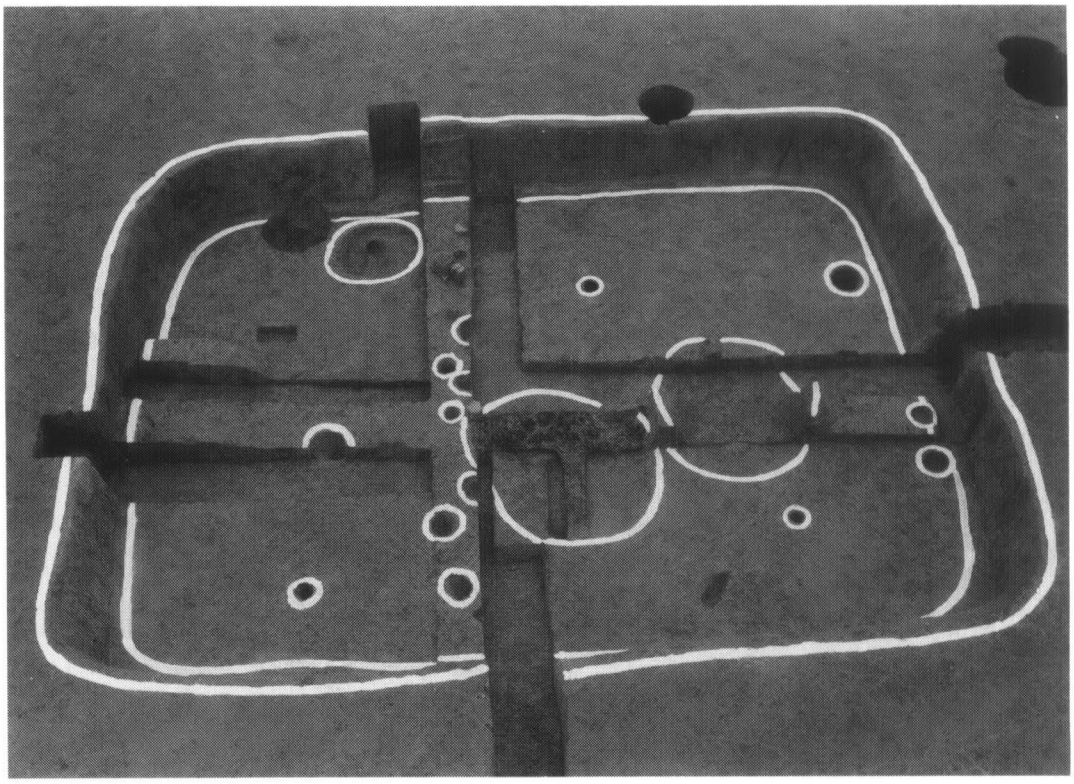
第11号竪穴住居跡(2)

第12号竪穴住居跡



第13号竪穴住居跡

第13号竪穴住居跡伴出遺物

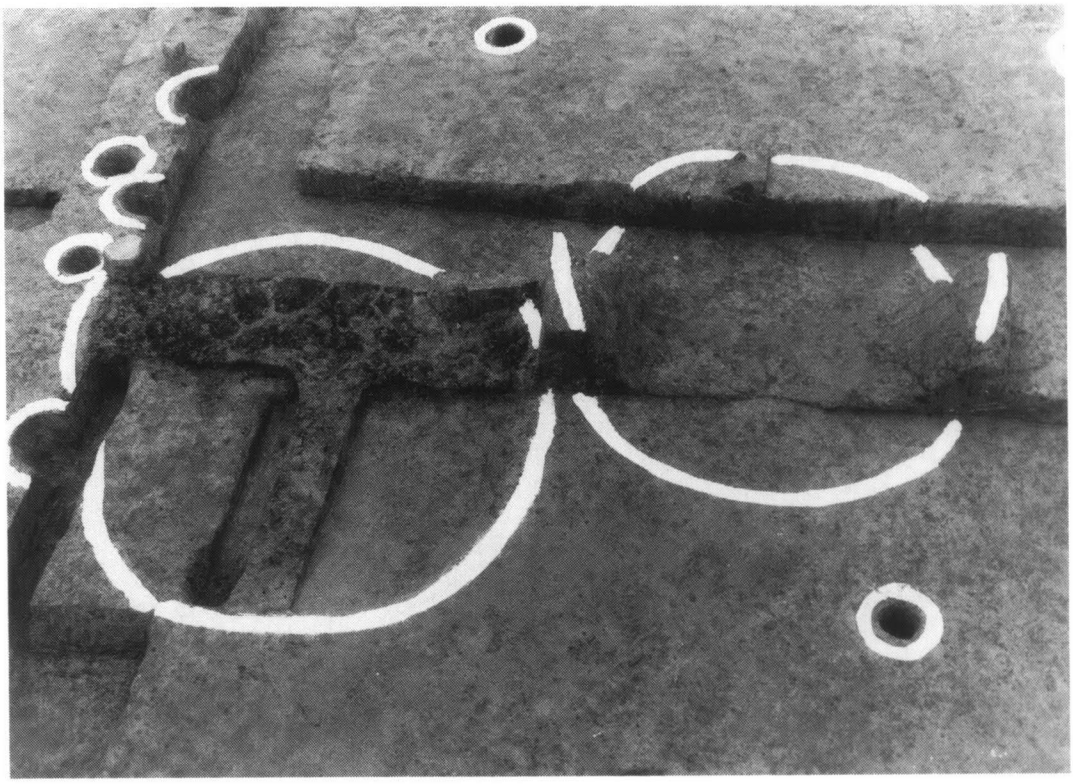


第14号竪穴住居跡

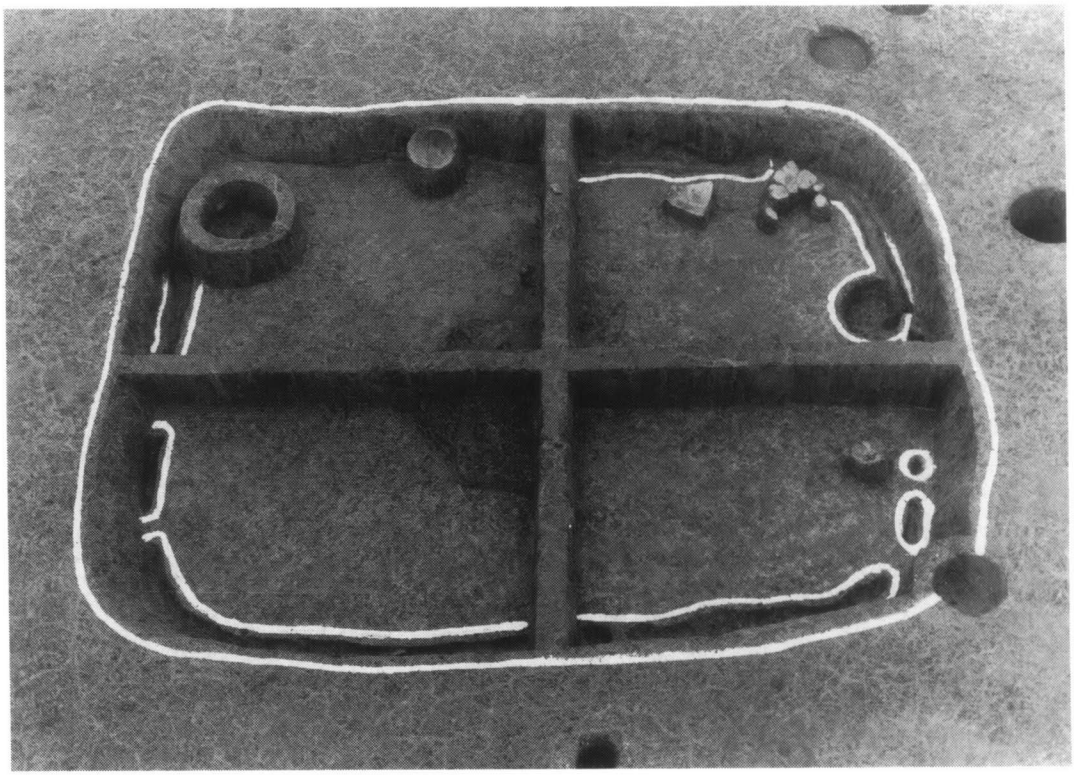
第14号竪穴住居跡伴出遺物(1)

第14号竪穴住居跡伴出遺物(2)

第14号竪穴住居跡祭壇状遺構



第14号竪穴住居跡炉跡



第15号竪穴住居跡

第15号竪穴住居跡伴出遺物(1)

第15号竪穴住居跡伴出遺物(2)

図版20

第16号竪穴住居跡伴出遺物(1)

第16号竪穴住居跡伴出遺物(2)

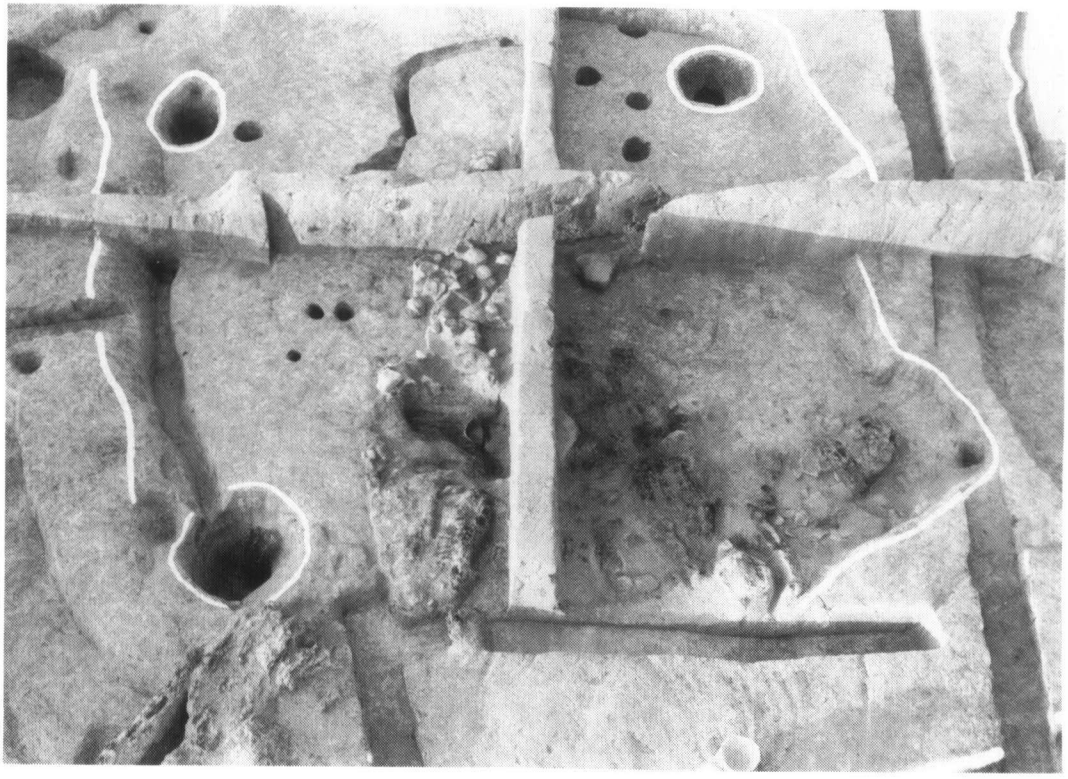
第16号竪穴住居跡伴出遺物(3)

第17号竪穴住居跡(1)

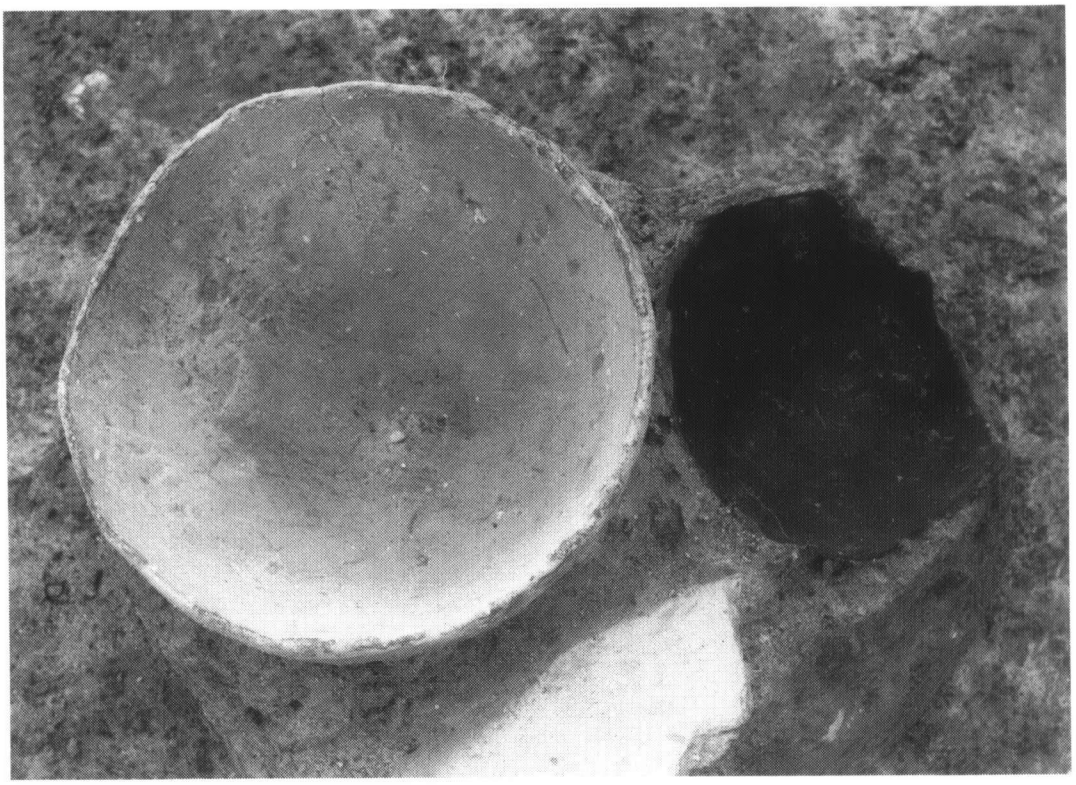
第17号竪穴住居跡(2)

第17号竪穴住居跡検出焼土塊

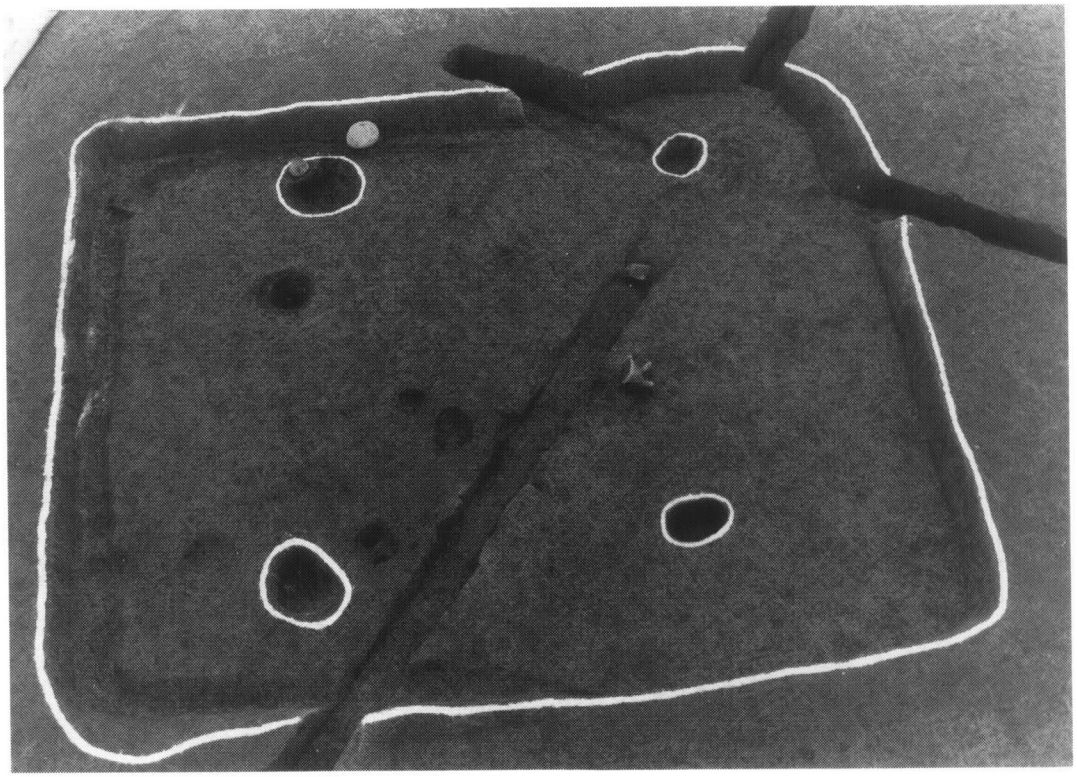
第17号竪穴住居跡柱穴



第17号竪穴住居跡伴出遺物(1)



第17号竪穴住居跡伴出遺物(2)

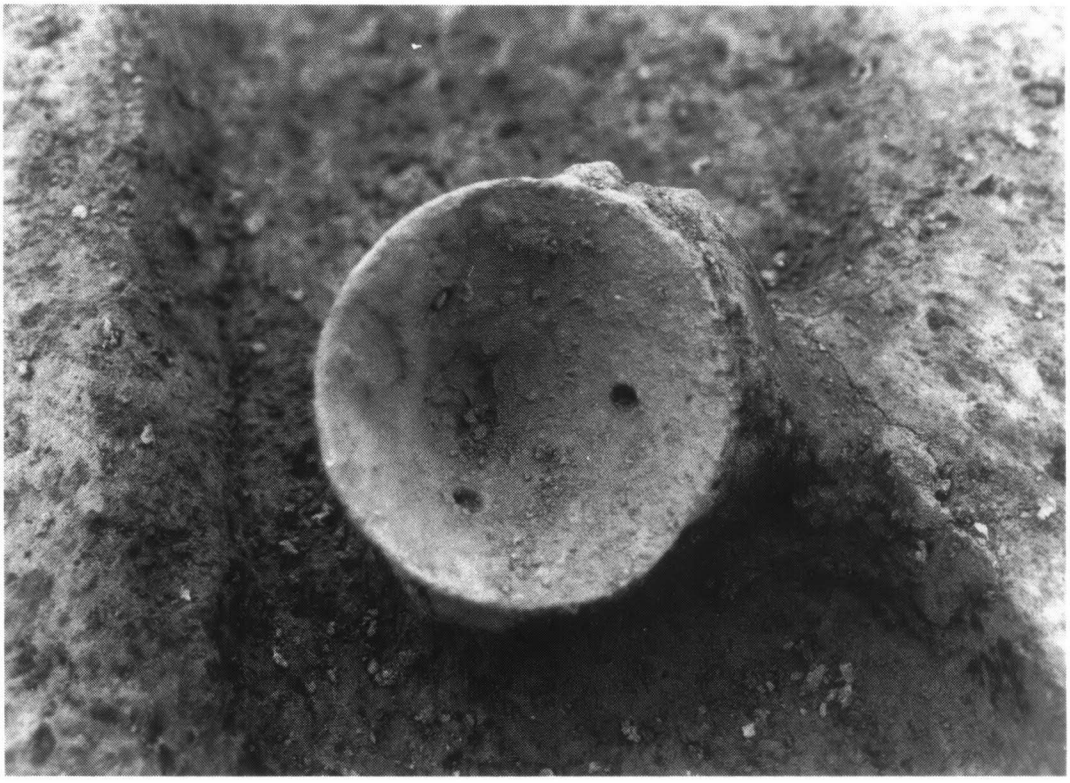


第18号竪穴住居跡

第18号竪穴住居跡伴出遺物(1)

第18号竪穴住居跡伴出遺物(2)

図版26



第18号竪穴住居跡伴出遺物(3)

第18号竪穴住居跡伴出遺物(4)